

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定
基礎調査報告書

令和元年11月

水 戸 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の設計	3
3	調査の内容	3
4	回収結果	4
5	調査結果をみる上での注意事項	7
II	調査結果の分析	9
1	水戸市の住みやすさや、印象など	11
1-1	水戸市の印象（問1）	11
1-2	全体としての住みやすさ（問2）	17
1-3	定住意向（問3）	21
1-4	定住を希望する理由（問3（1））	24
1-5	定住を希望しない理由（問3（2））	27
1-6	住む場所を選ぶ際に重視すること（問4）	30
2	水戸市の地方創生の取組	32
2-1	水戸市の地方創生の取組の成果（問5）	32
2-2	今後優先すべき取組（問6）	38
3	住まいの周辺の環境	40
3-1	生活環境の評価（問7）	40
3-2	生活環境の満足度（問8）	46
3-3	施設整備の要望（問9）	48
4	人口減少に対する意識やその対応策	53
4-1	人口減少が進んだ場合に影響が大きいこと（問10）	53
4-2	産業振興のために取り組むべきこと（問11）	56
4-3	少子化対策の取組（問12）	59
4-4	安全安心に暮らせる地域づくりへの取組（問13）	62
4-5	高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組（問14）	65
4-6	地域の活性化やにぎわい創出のための取組（問15）	68
4-7	水戸市への新たなひとの流れを生み出すための取組（問16）	71
4-8	今後の人口減少対策で最も重要なこと（問17）	73
5	職業意識・職業観や結婚・子育て	75
5-1	就職を希望する職種（問18）	75
5-2	就職を希望する分野（問19）	76
5-3	就職先を決める際の情報元（問20）	78
5-4	職業や就職先を選ぶときに重視すること（問21）	79
5-5	将来就職を希望する場所（問22）	81
5-6	水戸市で就職を希望する理由（問22（1））	82

5-7	市内での就職に向けて行政に希望すること（問22（2））	83
5-8	市外で就職を希望する理由（問22（3））	84
5-9	結婚に対する考え（問23）	85
5-10	結婚したい理由（問23（1））	86
5-11	結婚したい年齢（問23（2））	87
5-12	欲しい子どもの人数（問23（3））	88
5-13	結婚や結婚生活で心配なこと（問23（4））	89
5-14	結婚したいと思わない理由（問23（5））	90
5-15	結婚したいと思える条件（問23（6））	91
6	これからのまちづくり	92
6-1	目指すべきまちの姿，現在課題となっていること（問30）	92
6-2	水戸市に協力したいこと，協力できること（問31）	94
III	分析結果のまとめ	95
1	水戸市の住みやすさや，印象など	97
1-1	水戸市の印象及び住みやすさ	97
1-2	定住意向及び住む場所を選ぶ際に重視すること	100
2	水戸市の地方創生の取組	101
3	住まいの周辺の環境	104
3-1	生活環境の評価及び満足度	104
3-2	施設整備の要望	106
4	人口減少に対する意識やその対応策	107
5	職業意識・職業観や結婚・子育て	108
5-1	職業意識・職業観	108
5-2	結婚・子育て	111
6	これからのまちづくり	111
7	まとめ	112
	資料編	113
1	集計表	115
2	調査票	129

I 調査の概要

1 調査の目的

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2次）の策定に当たり、本市における地方創生の取組に関して、広く市民の意見等を把握し、今後の行政運営に反映させることを目的とする。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 水戸市全体
- (2) 調査対象 水戸市在住の満15歳以上の個人
- (3) 標本数 4,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- (5) 調査方法 郵便配布一郵送回収法
- (6) 調査期間 令和元年8月2日～8月19日

3 調査の内容

- (1) 水戸市の住みやすさや、印象など
 - ・水戸市の印象（問1）
 - ・全体としての住みやすさ（問2）
 - ・定住意向（問3）
 - ・定住を希望する理由（問3（1））
 - ・定住を希望しない理由（問3（2））
 - ・住む場所を選ぶ際に重視すること（問4）
- (2) 水戸市の地方創生の取組
 - ・水戸市の地方創生の取組の成果（問5）
 - ・今後優先すべき取組（問6）
- (3) 住まいの周辺の環境
 - ・生活環境の評価（問7）
 - ・生活環境の満足度（問8）
 - ・施設整備の要望（問9）
- (4) 人口減少に対する意識やその対応策
 - ・人口減少が進んだ場合に影響が大きいこと（問10）
 - ・産業振興のために取り組むべきこと（問11）
 - ・少子化対策の取組（問12）
 - ・安全安心に暮らせる地域づくりへの取組（問13）
 - ・高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組（問14）
 - ・地域の活性化やにぎわい創出のための取組（問15）
 - ・水戸市への新たなひとの流れを生み出すための取組（問16）
 - ・今後の人口減少対策で最も重要なこと（問17）
- (5) 職業意識・職業観や結婚・子育て（高校生、大学生、短期大学生、専門学生の方のみ回答）
 - ・就職を希望する職種（問18）
 - ・就職を希望する分野（問19）

- ・就職先を決める際の情報元（問20）
 - ・職業や就職先を選ぶときに重視すること（問21）
 - ・将来就職を希望する場所（問22）
 - ・水戸市で就職を希望する理由（問22（1））
 - ・市内での就職に向けて行政に希望すること（問22（2））
 - ・市外で就職を希望する理由（問22（3））
 - ・結婚に対する考え（問23）
 - ・結婚したい理由（問23（1））
 - ・結婚したい年齢（問23（2））
 - ・欲しい子どもの人数（問23（3））
 - ・結婚や結婚生活で心配なこと（問23（4））
 - ・結婚したいと思わない理由（問23（5））
 - ・結婚したいと思える条件（問23（6））
- (6) これからのまちづくり
- ・目指すべきまちの姿，現在課題となっていること（問30）
 - ・水戸市に協力したいこと，協力できること（問31）

4 回収結果

(1) 市全体の回収結果

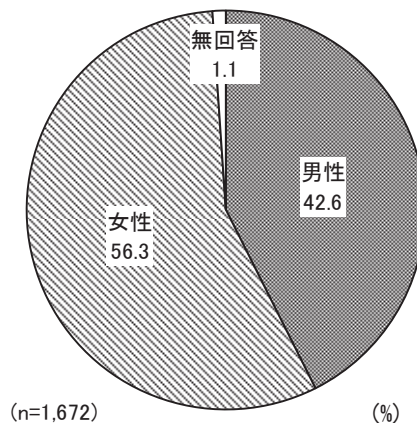
内訳	標本数 (A)	回収総数	有効回収数 (B)	回収率(%) (B)／(A)
市全体	4,000	1,673	1,672	41.8

※回収総数と有効回収数の差(1)は、白紙無効件数を示す。

(2) 属性別回収結果

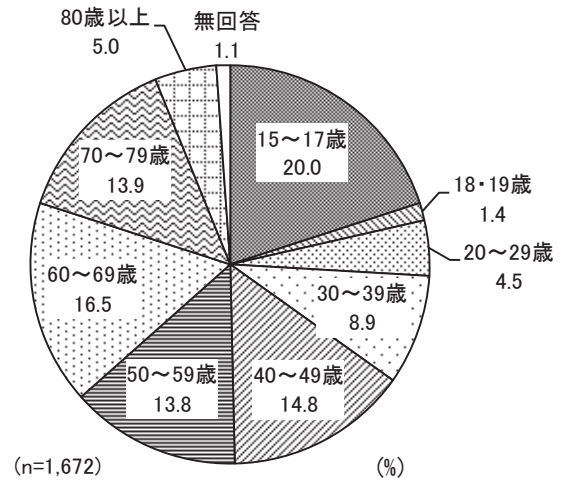
①性別

内訳 区分	標本数 (A)	構成比 (%)	有効回収数(B)		回収率(%) (B)／(A)
				構成比 (%)	
市全体	4,000	100.0	1,672	100.0	41.8
男性	1,950	48.8	712	42.6	36.5
女性	2,050	51.3	941	56.3	45.9
無回答	-	-	19	1.1	-



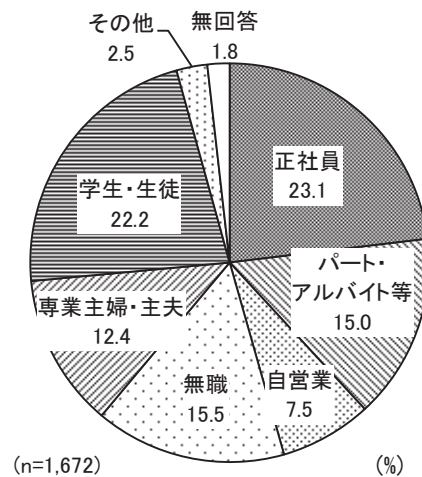
②年齢別

区分	内訳	標本数 (A)	構成比 (%)	有効回収数(B)		回収率(%) (B)／(A)
					構成比 (%)	
市全体		4,000	100.0	1,672	100.0	41.8
	15～17歳	1,000	25.0	335	20.0	33.5
	18・19歳	36	0.9	24	1.4	66.7
	20～29歳	305	7.6	76	4.5	24.9
	30～39歳	405	10.1	148	8.9	36.5
	40～49歳	610	15.3	247	14.8	40.5
	50～59歳	521	13.0	231	13.8	44.3
	60～69歳	521	13.0	276	16.5	53.0
	70～79歳	418	10.5	233	13.9	55.7
	80歳以上	184	4.6	83	5.0	45.1
	無回答	-	-	19	1.1	-



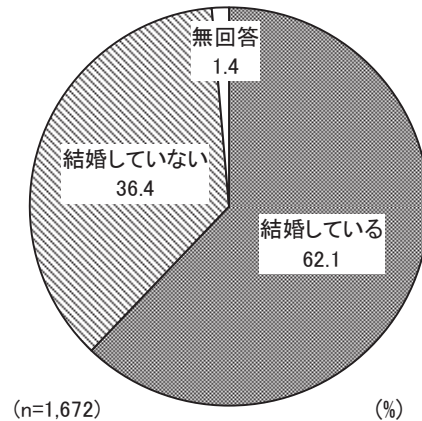
③職業別

区分	内訳	実数 (人)	構成比 (%)
市全体		1,672	100.0
	正社員	387	23.1
	パート・アルバイト等	251	15.0
	自営業	126	7.5
	無職	259	15.5
	専業主婦・主夫	207	12.4
	学生・生徒	371	22.2
	その他	41	2.5
	無回答	30	1.8



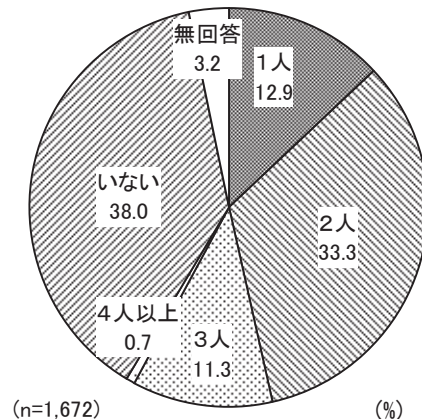
④未既婚別

区分	内訳	実数 (人)	構成比 (%)
市全体		1,672	100.0
	結婚している	1,039	62.1
	結婚していない	609	36.4
	無回答	24	1.4



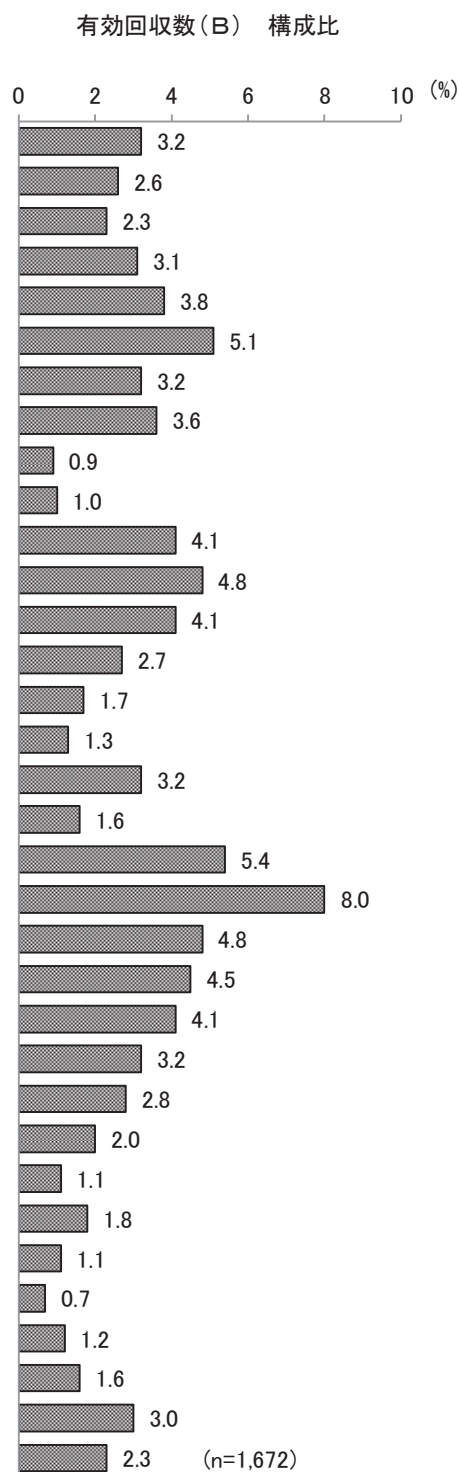
⑤子どもの有無・子どもの数別

区分	内訳	実数 (人)	構成比 (%)
市全体		1,672	100.0
	いる	982	58.7
	1人	216	12.9
	2人	556	33.3
	3人	189	11.3
	4人以上	12	0.7
	いない	636	38.0
	無回答	54	3.2



⑥地区（小学校区）別

内訳 区分	標本数 (A)	構成比 (%)	有効回収数(B)		回収率(%) (B)÷(A)
				構成比 (%)	
市全体	4,000	100.0	1,672	100.0	41.8
三の丸	119	3.0	54	3.2	45.4
五軒	95	2.4	43	2.6	45.3
新荘	89	2.2	39	2.3	43.8
城東	102	2.6	51	3.1	50.0
浜田	185	4.6	64	3.8	34.6
常磐	169	4.2	86	5.1	50.9
緑岡	246	6.2	54	3.2	22.0
寿	166	4.2	61	3.6	36.7
上大野	28	0.7	15	0.9	53.6
柳河	49	1.2	17	1.0	34.7
渡里	189	4.7	69	4.1	36.5
吉田	199	5.0	80	4.8	40.2
酒門	164	4.1	69	4.1	42.1
石川	169	4.2	45	2.7	26.6
飯富	54	1.4	29	1.7	53.7
国田	36	0.9	21	1.3	58.3
河和田	114	2.9	53	3.2	46.5
上中妻	86	2.2	26	1.6	30.2
見川	157	3.9	90	5.4	57.3
千波	270	6.8	134	8.0	49.6
梅が丘	228	5.7	80	4.8	35.1
双葉台	168	4.2	76	4.5	45.2
笠原	165	4.1	69	4.1	41.8
赤塚	67	1.7	53	3.2	79.1
吉沢	147	3.7	46	2.8	31.3
堀原	106	2.7	34	2.0	32.1
下大野	40	1.0	19	1.1	47.5
稲荷第一	77	1.9	30	1.8	39.0
稲荷第二	53	1.3	18	1.1	34.0
大場	34	0.9	12	0.7	35.3
妻里	70	1.8	20	1.2	28.6
鯉淵	76	1.9	26	1.6	34.2
内原	83	2.1	50	3.0	60.2
無回答	-	-	39	2.3	-





5 調査結果をみる上での注意事項

- (1) 「n」(Number of Casesの略) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示す。
なお、評価点の表については、各項目・属性ごとにnが異なるため、記載を省略している。
- (2) 複数回答(1回答者が2つ以上の回答をすることができる質問)の回答の計は、回答者数(100%)を超える。
- (3) 回答はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入している。そのため、百分比の合計が100%を前後する場合がある。
- (4) 回答者数が20未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向をみるにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- (5) 図表及び文章中、表示の都合上、選択肢の文言を一部簡略化している場合がある。

- ・次章「Ⅱ 調査結果の分析」では、より正確なデータを得るため、それぞれの項目について無回答を除外した割合を算出、掲載している。
- ・同様に、クロス項目における「全体」の結果は、各クロス項目における無回答を除いた全体の数値である。

(6) 調査結果には統計上多少誤差（標本誤差）が生じることがある。標本誤差は次の式で得られる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\left\{ \begin{array}{l} N = \text{母集団数} \\ n = \text{比率算出の基数 (回答者数)} \\ p = \text{回答の比率 (\%)} \end{array} \right.$

調査結果の標本誤差の範囲は、以下の標本誤差早見表の通りとなる。

回答の比率 (p) 基礎 (n)	10%又は 90%前後	20%又は 80%前後	30%又は 70%前後	40%又は 60%前後	50%前後
1,672	±1.47%	±1.96%	±2.24%	±2.40%	±2.45%
1,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
800	±2.12%	±2.83%	±3.24%	±3.46%	±3.54%
600	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4.00%	±4.08%
400	±3.00%	±4.00%	±4.58%	±4.90%	±5.00%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

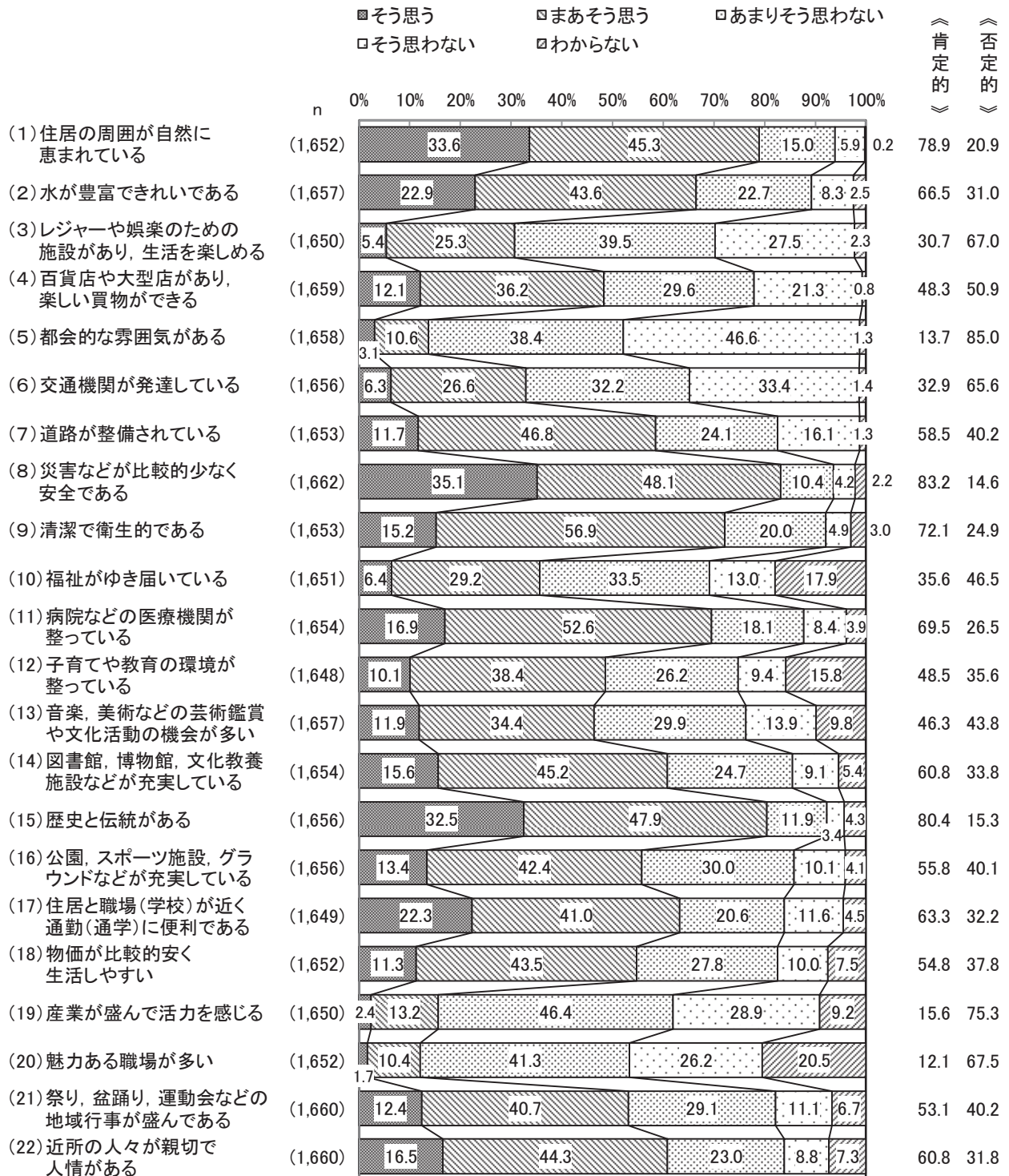
II 調査結果の分析

1 水戸市の住みやすさや、印象など

1-1 水戸市の印象（問1）

安全性、歴史と伝統、自然は高評価、都会的な雰囲気、活力ある産業、魅力ある職場は低評価

問1 あなたは、水戸市をどのように感じていますか。各項目について、「1 そう思う」「2 まあそう思う」「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」「5 わからない」の中から1つずつ選んで、番号に○をつけてください。



水戸市の印象について、22項目にわたり市民に評価してもらったところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた《肯定的》な回答は、「(8) 災害などが比較的少なく安全である」が83.2%で最も高く、以下「(15) 歴史と伝統がある」80.4%、「(1) 住居の周囲が自然に恵まれている」78.9%、「(9) 清潔で衛生的である」72.1%の順で続いている。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた《否定的》な回答は、「(5) 都会的な雰囲気がある」が85.0%で最も高く、以下「(19) 産業が盛んで活力を感じる」75.3%、「(20) 魅力ある職場が多い」67.5%、「(3) レジャーや娯楽のための施設があり、生活を楽しめる」67.0%、「(6) 交通機関が発達している」65.6%の順で続いている。

次に、各項目の結果を、以下の方法により「評価点」として数値化した。なお、「わからない」及び無回答の場合は数値化の際の母数から除外した。

$$\text{■評価点} = \frac{\text{「そう思う」} \times 2 \text{点} + \text{「まあそう思う」} \times 1 \text{点} + \text{「あまりそう思わない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「そう思わない」} \times (-2 \text{点})}{\text{回答数} - \text{無回答} - \text{「わからない」}}$$

この算出方法（加重平均）では、評価点は-2.00点～+2.00点の間に分布し、0.00点が中間点であり、+2.00点に近いほど評価が高く、逆に-2.00点に近いほど評価が低いということを表す。

評価点 水戸市の印象



市民からの評価が高い項目は、「(8) 災害などが比較的少なく安全である」1.02点、「(15) 歴史と伝統がある」0.99点、「(1) 住居の周囲が自然に恵まれている」0.86点、「(9) 清潔で衛生的である」0.59点などで、全22項目の半分以上の15項目でプラス評価となっている。

一方、市民からの評価が低い項目は、「(5) 都会的な雰囲気がある」-1.16点、「(20) 魅力ある職場が多い」-1.00点、「(19) 産業が盛んで活力を感じる」-0.95点などとなっている。

こうしたことから、比較的安全で、歴史と伝統があり、自然に恵まれ、清潔なまちと評価されている一方、都会的な雰囲気、産業の活力や魅力的な職場には乏しいと考えられていることがわかる。

性別、年齢別 評価点 水戸市の印象

(点)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	
	住に居の恵まれて自然	水が豊富できれい	レジャー施設が充実している	百貨店や大型店が買物ができる	都会的な雰囲気がある	交通機関が発達している	道路が整備されている	災害などが比較的安全である	清潔で衛生的である	福祉がゆき届いている	病院などの医療機関が整っている	
全体	0.86	0.51	-0.59	-0.11	-1.16	-0.60	0.14	1.02	0.60	-0.22	0.54	
性別	男性	0.86	0.43	-0.60	-0.13	-1.09	-0.57	0.15	0.97	0.55	-0.15	0.56
	女性	0.86	0.57	-0.59	-0.11	-1.21	-0.63	0.14	1.06	0.63	-0.27	0.53
全体	0.87	0.52	-0.59	-0.11	-1.16	-0.60	0.14	1.03	0.60	-0.21	0.54	
年齢別	20歳未満	0.90	0.51	-0.48	0.35	-0.88	-0.13	0.43	1.10	0.71	0.38	0.99
	20歳代	0.71	0.22	-0.71	-0.04	-1.08	-0.55	-0.16	0.85	0.49	-0.33	0.49
	30歳代	0.64	0.12	-0.58	0.07	-1.25	-0.82	0.08	0.89	0.46	-0.62	0.43
	40歳代	0.82	0.28	-0.74	-0.22	-1.31	-0.95	-0.12	0.84	0.58	-0.38	0.31
	50歳代	0.86	0.47	-0.63	-0.43	-1.32	-0.89	0.05	0.95	0.66	-0.44	0.39
	60歳代	0.92	0.71	-0.66	-0.27	-1.32	-0.59	0.11	0.99	0.62	-0.45	0.40
	70歳以上	0.97	0.84	-0.51	-0.30	-1.08	-0.55	0.22	1.27	0.49	-0.10	0.56

(点)

	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	
	子育て環境が整っている	音楽、美術、鑑賞など多岐にわたる	図書館、博物館など	歴史と伝統がある	公園、グラウンド、スポーツ施設など	通勤・通学・通商に便利である	物価が比較的安い	産業が盛んで活力を感じる	魅力ある職場がある	祭事、盆踊りなど地域行事が盛んである	近所の人々が親切である	
全体	0.17	0.01	0.36	0.99	0.21	0.44	0.20	-0.95	-1.00	0.16	0.41	
性別	男性	0.22	-0.04	0.32	0.92	0.17	0.41	0.11	-0.99	-1.02	0.12	0.36
	女性	0.12	0.05	0.40	1.05	0.23	0.46	0.27	-0.91	-0.99	0.19	0.44
全体	0.17	0.01	0.36	0.99	0.20	0.44	0.20	-0.95	-1.00	0.16	0.40	
年齢別	20歳未満	0.64	0.55	0.84	1.18	0.37	0.52	0.51	-0.40	-0.59	0.74	0.86
	20歳代	0.03	0.36	0.47	1.09	0.26	0.39	0.31	-0.81	-0.79	0.30	0.14
	30歳代	-0.15	0.01	0.53	0.81	0.19	0.53	0.11	-0.88	-1.14	0.28	0.06
	40歳代	-0.13	0.10	0.40	1.05	0.18	0.53	0.26	-1.09	-1.05	0.17	0.30
	50歳代	0.06	-0.10	0.12	0.97	0.21	0.41	0.19	-1.25	-1.16	-0.19	0.27
	60歳代	0.05	-0.38	0.09	0.95	0.10	0.40	0.07	-1.13	-1.11	0.04	0.34
	70歳以上	0.25	-0.33	0.06	0.84	0.11	0.28	0.03	-1.07	-1.13	-0.24	0.34

※評価点がマイナスの項目に色付けしている。

性別でみると、評価の低い項目は男女ではほぼ一致しており、「(5) 都会的な雰囲気がある」、「(6) 交通機関が発達している」、「(10) 福祉がゆき届いている」は特に女性で低い評価となっている。一方、「(19) 産業が盛んで活力を感じる」は男性の方が低い評価となっている。

年齢別でみると、「(8) 災害などが比較的少なく安全である」と「(15) 歴史と伝統がある」は全ての年齢層で0.80点以上となっており、特に「(8) 災害などが比較的少なく安全である」は20歳未満と70歳以上、「(15) 歴史と伝統がある」は20歳未満、20歳代、40歳代で1.00点を超え、評価が高くなっている。また、「(1) 住居の周囲が自然に恵まれている」は20歳未満及び40歳以上、「(2) 水が豊富できれいである」は70歳以上、「(11) 病院などの医療機関が整っている」と「(22) 近所の人々が親切で人情がある」は20歳未満で0.80点以上となっている。一方、「(5) 都会的な雰囲気がある」、「(20) 魅力ある職場が多い」、「(19) 産業が盛んで活力を感じる」、「(6) 交通機関が発達している」、「(3) レジャーや娯楽のための施設があり、生活を楽しめる」は全ての年齢層でマイナスとなっており、特に「(5) 都会的な雰囲気がある」は20歳以上、「(20) 魅力ある職場が多い」は30歳以上、「(19) 産業が盛んで活力を感じる」は40歳以上で-1.00点を下回り、評価が低くなっている。

地区別 評価点 水戸市の印象

(点)

	(1) 住に恵まれた周囲が自然	(2) 水が豊富できれい	(3) レジャー施設が楽しめる	(4) 百貨店や大型店が買物ができる	(5) 都会的な雰囲気がある	(6) 交通機関が発達している	(7) 道路が整備されている	(8) 災害などが比較的安全である	(9) 清潔で衛生的である	(10) 福祉がゆき届いている	(11) 病院などが整っている	
全体	0.87	0.52	-0.59	-0.11	-1.16	-0.60	0.14	1.03	0.60	-0.21	0.54	
地区別	三の丸	0.67	0.15	-0.78	-0.08	-1.06	-0.43	0.23	0.60	0.57	-0.02	0.39
	五軒	0.81	0.65	-0.52	0.00	-0.67	-0.05	0.24	1.02	0.58	0.03	0.56
	新荘	0.45	0.69	-1.03	-0.69	-1.36	-0.69	-0.15	0.63	0.49	-0.72	-0.11
	城東	0.76	0.45	-0.45	-0.32	-1.06	-0.54	0.33	0.61	0.39	-0.03	0.28
	浜田	0.55	0.27	-0.85	-0.42	-1.19	-0.75	0.05	0.87	0.40	-0.21	0.59
	常磐	0.86	0.47	-0.50	-0.12	-1.25	-0.11	0.04	1.00	0.59	-0.06	0.69
	緑岡	1.06	0.69	-0.62	0.10	-1.06	-0.52	0.35	1.17	0.50	-0.19	0.65
	寿	0.70	0.50	-0.81	-0.24	-1.26	-0.75	-0.04	1.16	0.61	-0.24	0.59
	上大野	1.33	0.40	-0.86	-0.60	-1.47	-0.67	-0.07	0.87	0.21	0.07	0.40
	柳河	1.12	0.76	-0.53	0.06	-1.19	-0.87	0.25	0.50	0.69	0.19	0.59
	渡里	0.84	0.62	-0.64	-0.22	-1.24	-0.60	0.03	1.17	0.75	-0.06	0.75
	吉田	0.23	0.38	-0.60	-0.28	-1.19	-0.73	-0.15	0.88	0.55	-0.46	0.38
	酒門	0.93	0.29	-0.68	-0.06	-1.10	-0.91	0.09	1.28	0.73	-0.20	0.62
	石川	0.74	0.64	-0.61	-0.23	-1.14	-0.64	0.16	1.12	0.74	-0.33	0.40
	飯富	1.63	1.33	-0.66	-0.62	-1.24	-0.93	0.55	0.83	0.61	-0.04	0.25
	国田	1.50	1.10	-1.15	-0.43	-1.67	-1.24	-0.55	0.62	0.45	-0.33	-0.29
	河和田	0.87	0.39	-0.67	-0.17	-1.38	-0.72	-0.13	1.18	0.32	-0.36	0.53
	上中妻	1.38	0.92	-0.24	0.23	-1.50	-1.08	-0.12	0.77	0.84	-0.05	0.58
	見川	0.84	0.24	-0.59	0.11	-1.03	-0.44	0.24	1.26	0.56	-0.44	0.54
	千波	0.99	0.67	-0.36	-0.02	-0.91	-0.37	0.33	1.05	0.80	-0.29	0.59
	梅が丘	0.43	0.25	-0.47	-0.01	-1.15	-0.61	0.09	1.06	0.73	-0.26	0.46
双葉台	1.29	0.79	-0.49	0.03	-1.19	-0.48	0.48	1.43	0.79	-0.05	0.97	
笠原	0.80	0.60	-0.84	-0.10	-1.09	-0.55	0.48	1.15	0.67	-0.40	0.88	
赤塚	0.66	0.62	-0.62	-0.06	-1.06	-0.73	0.17	1.02	0.53	-0.21	0.66	
吉沢	0.39	0.30	-0.59	-0.07	-1.09	-0.51	0.02	1.04	0.36	-0.33	0.66	
堀原	0.91	0.91	-0.24	0.48	-1.00	-0.03	0.62	1.06	0.71	0.27	0.88	
下大野	1.00	0.47	-1.05	-0.95	-1.33	-0.47	0.16	0.32	0.39	-0.06	-0.06	
稻荷第一	1.34	0.20	-0.69	-0.37	-1.40	-1.21	0.24	0.81	0.71	-0.22	0.67	
稻荷第二	1.67	0.76	-0.61	-0.75	-1.31	-1.00	-0.39	1.17	0.47	-0.41	0.56	
大場	1.75	0.58	-0.50	-0.92	-1.67	-1.67	-0.75	0.25	0.75	-0.50	0.40	
妻里	1.30	-0.21	0.00	0.65	-1.30	-0.90	0.30	1.40	0.65	0.06	0.50	
鯉淵	1.69	0.76	-0.46	0.44	-1.64	-1.32	0.04	1.46	0.50	-0.29	0.56	
内原	1.02	0.52	-0.36	0.37	-1.18	-0.40	0.04	1.02	0.43	-0.16	0.10	

※評価点がマイナスの項目に色付けしている。

地区別 評価点 水戸市の印象（続き）

（点）

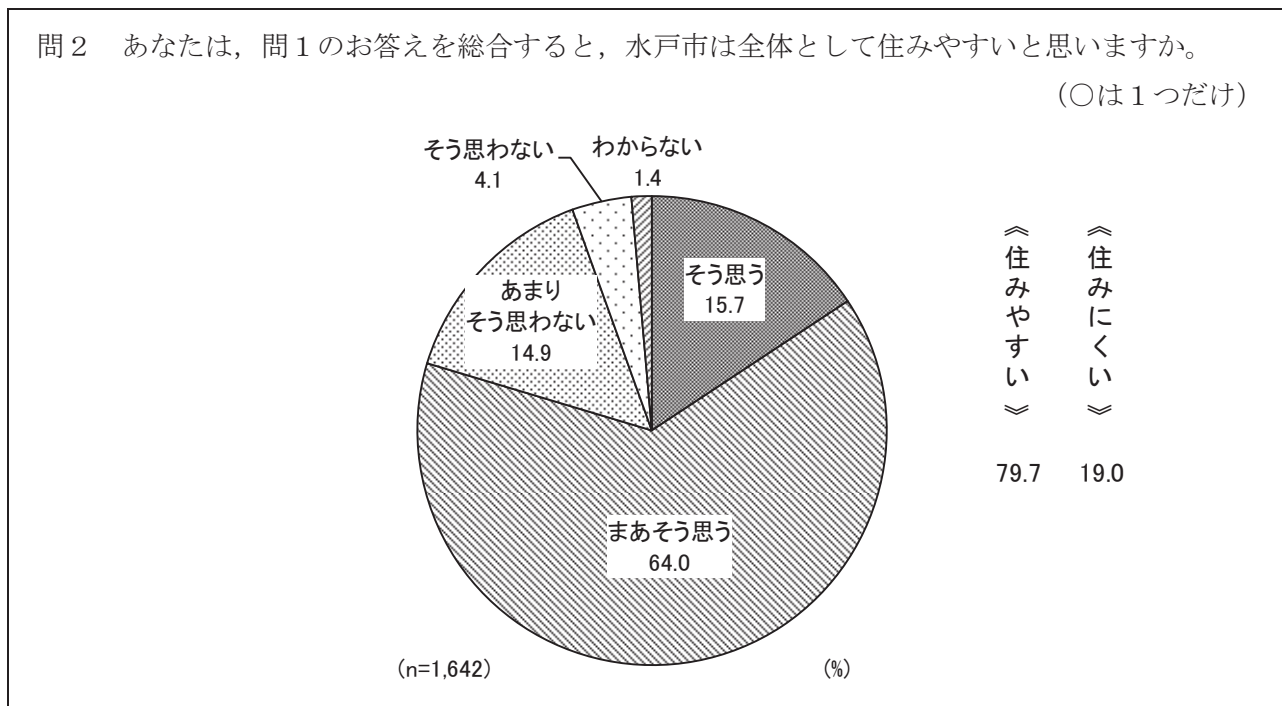
	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	
	子環 育境 てが や整 教つ 育て のい る	音芸活 楽術動 鑑の機 美賞や 術な会 など化 のい	図文が 書化充 館教実 博施し 物設い 館な	歴史と 伝統が ある	公設ど 園が充 スラ実 ポウン ツドい 施なる	住通 居勤に と便利 場がで 近く	物生 価活し が比や 較的す い安 く	産を 業が 盛ん で活 力	魅多 力い ある 職場 が	祭動事 り会が 盆ど 踊の り地 域 運行	近で 所人 の情 人々 がある が 親切	
全体	0.17	0.01	0.36	0.99	0.20	0.44	0.21	-0.95	-1.01	0.16	0.40	
地区別	三の丸	0.15	0.53	0.73	1.12	0.21	0.85	0.29	-1.00	-1.07	0.43	0.14
	五軒	0.42	0.40	0.83	1.47	0.21	0.53	0.00	-1.18	-0.90	-0.18	0.50
	新荘	-0.37	0.00	-0.08	0.92	-0.17	0.42	0.36	-1.48	-1.20	-0.09	0.26
	城東	0.06	-0.28	0.24	1.06	-0.04	0.59	0.13	-0.80	-1.10	-0.31	0.47
	浜田	0.06	0.22	0.52	0.97	0.00	0.34	0.18	-1.07	-1.12	-0.02	0.41
	常磐	0.13	0.12	0.57	1.11	0.41	0.65	0.46	-0.96	-0.94	0.30	0.53
	緑岡	0.16	0.29	0.42	0.94	0.13	0.75	0.25	-0.92	-0.97	0.29	0.37
	寿	0.10	-0.31	0.19	0.96	0.15	0.21	0.33	-0.85	-1.00	0.27	0.35
	上大野	0.31	-0.31	-0.31	0.36	-0.53	-0.27	0.00	-1.14	-1.21	-0.07	0.36
	柳河	0.56	0.41	0.29	1.19	0.50	0.18	-0.06	-0.88	-0.63	0.13	0.59
	渡里	0.47	-0.24	0.14	0.88	0.23	0.42	0.29	-0.92	-1.02	0.08	0.29
	吉田	0.03	0.00	0.12	0.90	-0.22	0.32	-0.08	-1.09	-1.30	-0.08	0.06
	酒門	0.11	0.20	0.44	0.82	0.37	0.66	0.42	-0.71	-0.77	0.26	0.82
	石川	0.00	-0.08	0.22	0.74	0.14	0.58	0.08	-1.00	-0.74	0.20	0.55
	飯富	-0.04	-0.41	-0.30	1.03	-0.10	-0.41	0.07	-1.25	-1.08	-0.25	0.73
	国田	-0.82	-0.47	0.13	0.82	-0.50	-0.40	-0.20	-1.18	-1.27	0.70	0.80
	河和田	0.13	-0.09	0.22	0.84	0.37	0.22	0.08	-1.16	-1.18	0.13	0.18
	上中妻	0.38	0.00	0.52	1.32	0.36	-0.12	0.00	-1.00	-0.83	0.46	0.08
	見川	0.31	0.12	0.55	1.15	0.41	0.71	0.35	-0.93	-0.89	0.24	0.17
	千波	0.28	0.33	0.59	1.28	0.36	0.68	0.23	-0.75	-0.93	0.31	0.39
	梅が丘	0.32	0.08	0.43	0.97	0.25	0.64	0.35	-0.96	-1.02	0.08	0.29
	双葉台	0.27	-0.07	0.21	0.79	0.38	0.39	0.06	-0.96	-1.09	0.07	0.54
	笠原	0.21	0.00	0.17	0.85	0.08	0.58	0.22	-0.92	-0.96	0.24	0.39
赤塚	0.28	-0.11	0.36	1.23	0.35	0.75	0.35	-0.68	-0.89	0.66	0.35	
吉沢	0.34	-0.07	0.37	0.95	-0.04	0.49	0.28	-1.02	-0.83	0.48	0.37	
堀原	0.67	0.26	1.09	1.26	0.69	1.09	0.55	-0.55	-0.48	0.59	0.58	
下大野	-0.50	-0.68	-0.17	0.89	-0.16	-0.16	0.06	-1.28	-1.33	-0.22	0.67	
稻荷第一	0.38	-0.15	0.34	0.79	0.17	-0.03	0.37	-0.74	-1.19	-0.25	0.50	
稻荷第二	0.12	0.06	0.65	1.44	0.28	-0.29	0.29	-0.88	-1.13	-0.12	0.00	
大場	-0.44	-0.50	-0.25	0.27	-0.50	-1.17	-0.20	-1.18	-1.10	-0.67	1.17	
妻里	-0.06	-0.47	0.05	0.74	0.80	0.20	-0.11	-1.05	-1.12	-0.15	0.44	
鯉淵	0.00	-0.59	0.25	0.83	0.00	-0.58	0.22	-0.91	-1.14	-0.21	0.92	
内原	-0.02	-0.47	0.26	0.65	0.34	0.35	-0.15	-1.07	-1.20	0.34	0.39	

※評価点がマイナスの項目に色付けしている。

地区別でみると、「(5) 都会的な雰囲気がある」、「(20) 魅力ある職場が多い」、「(19) 産業が盛んで活力を感じる」、「(6) 交通機関が発達している」は全地区で低い評価となっている。「(5) 都会的な雰囲気がある」は全33地区中31地区で-1.00点を下回っており、国田地区と大場地区でいずれも-1.67点、鯉淵地区で-1.64点と特に低い評価となっている。「(6) 交通機関が発達している」は大場地区で-1.67点と特に低く、鯉淵地区（-1.32点）、国田地区（-1.24点）、稲荷第一地区（-1.21点）などでも低い評価となっている。

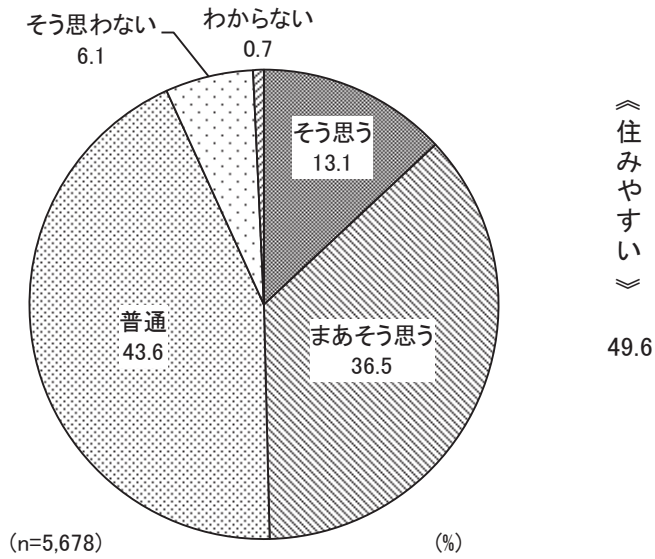
1-2 全体としての住みやすさ（問2）

約8割の方が「全体として住みやすい」



水戸市は全体として住みやすいと思うかは、「そう思う」が15.7%で、これに「まあそう思う」64.0%を合わせた《住みやすい》が79.7%を占めている。一方、「あまりそう思わない」は14.9%、これに「そう思わない」4.1%を合わせた《住みにくい》が19.0%となっている。このように、《住みやすい》は《住みにくい》の4倍以上となっている。

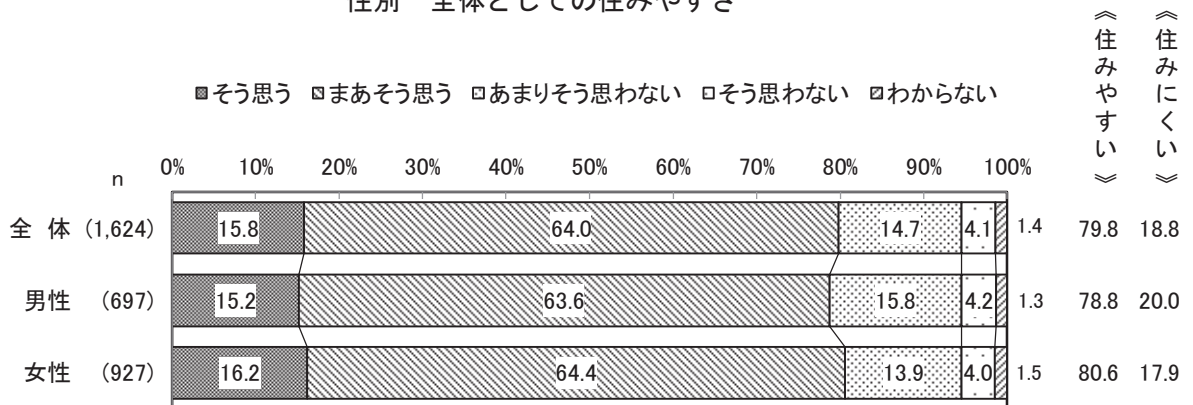
平成23年調査（参考） 全体としての住みやすさ



※「未来の水戸をつくる市民1万人アンケート」（平成23年12月実施）。なお、平成23年調査は無回答を含めた構成比としており、本報告書への掲載にあたって新たに無回答を除外した値を算出したため、「未来の水戸をつくる市民1万人アンケート報告書（平成24年3月発行）」に掲載している数値とは異なる（以下同様）。

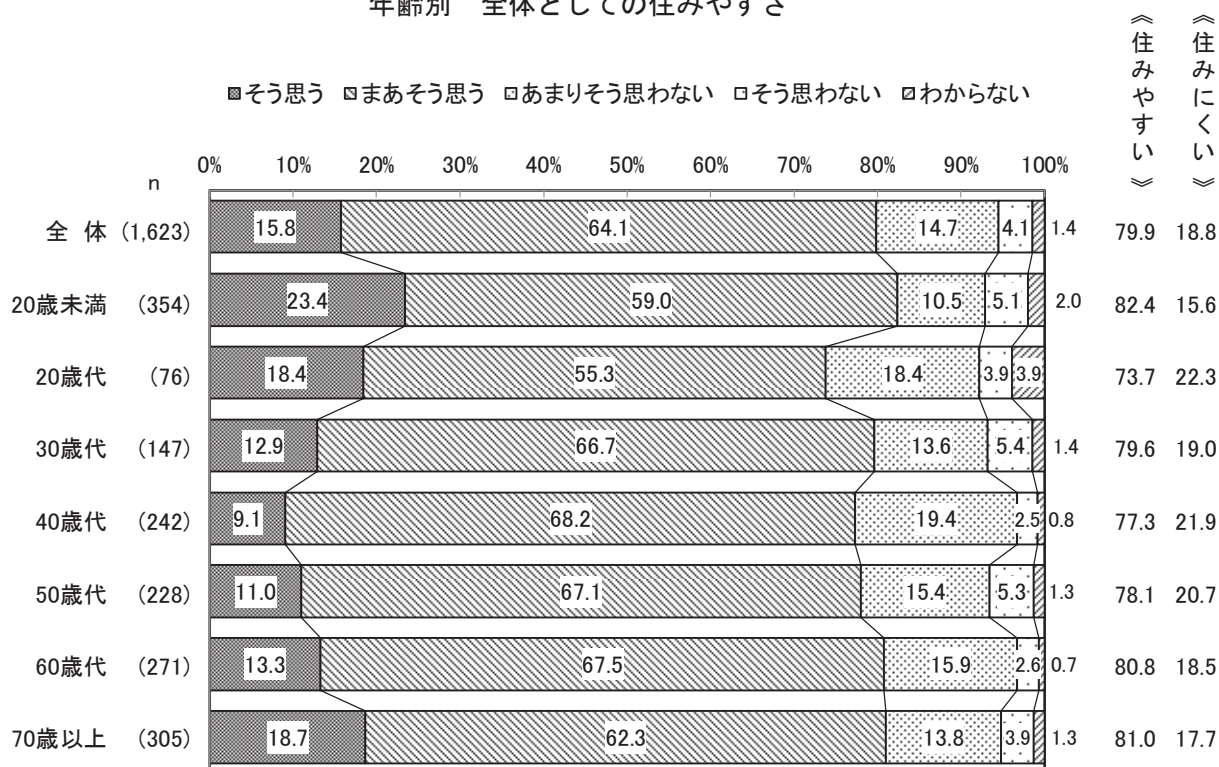
平成23年調査とは選択肢が異なるため単純な比較は行えないが、「そう思う」、「そう思わない」といったはっきりとした回答はほぼ同様（「そう思う」平成23年調査13.1%、今回調査15.7%、「そう思わない」平成23年調査6.1%、今回調査4.1%）の結果となっている。

性別 全体としての住みやすさ



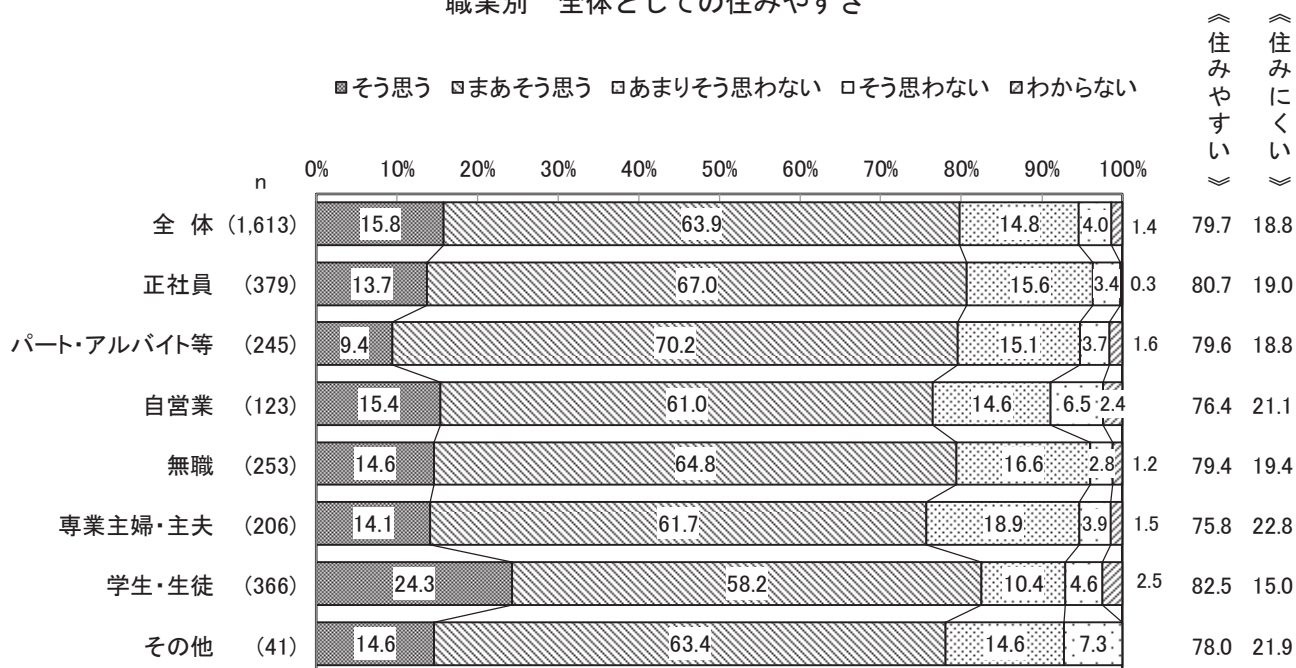
性別でみると、《住みやすい》は男性78.8%、女性80.6%となっており、性別による大きな差はみられない。

年齢別 全体としての住みやすさ



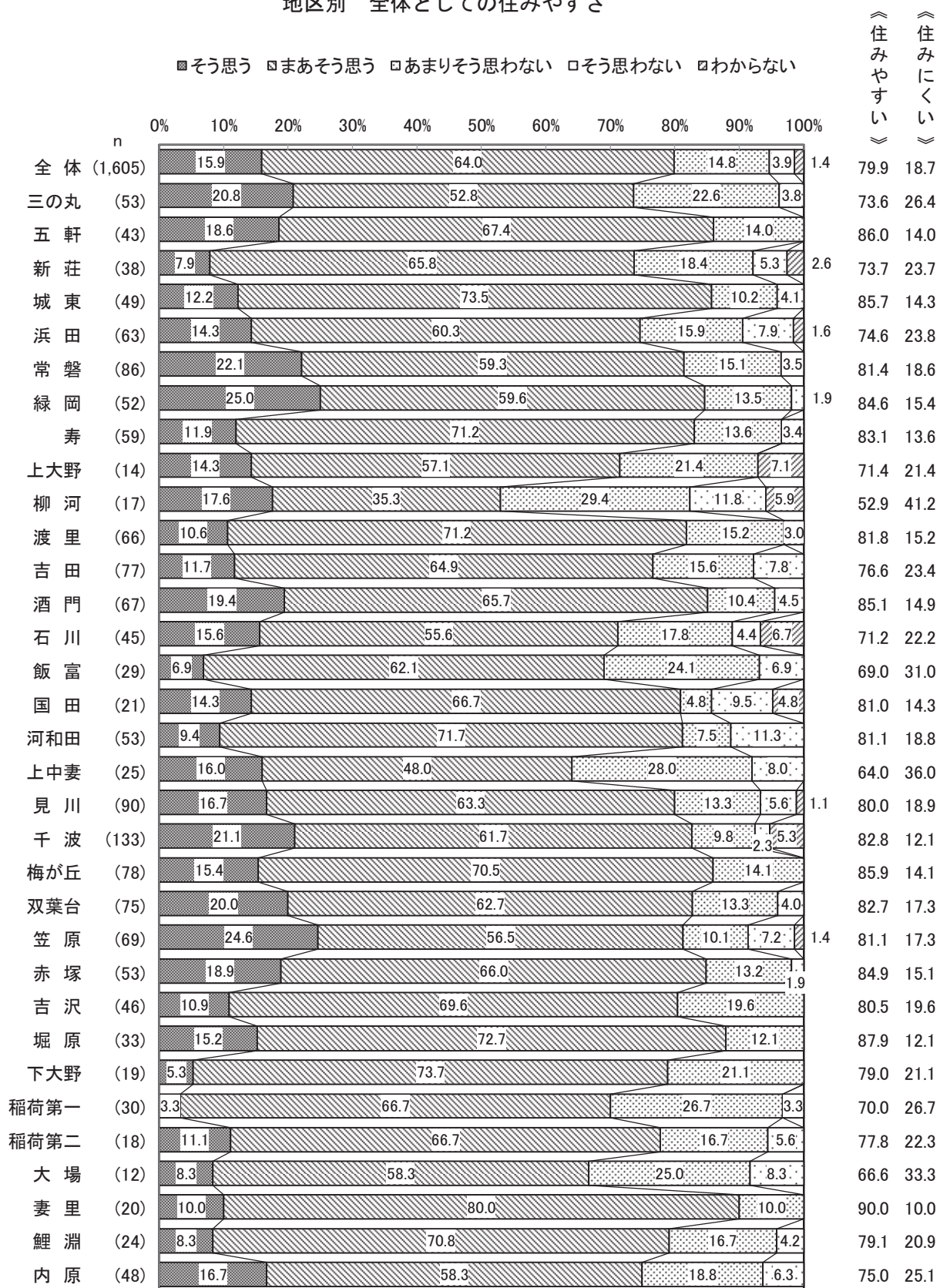
年齢別でみると、《住みやすい》は20歳代で73.7%とやや低くなっており、その他の年齢層では大きな差はみられない。「そう思う」でみると、20歳未満で23.4%と最も高く、40歳代にかけて減少するが、それ以降は再び年齢が上がるほど上昇している。

職業別 全体としての住みやすさ



職業別でみると、学生・生徒は「そう思う」が24.3%と他の層よりも高く、《住みやすい》でも82.5%と最も高くなっている。

地区別 全体としての住みやすさ

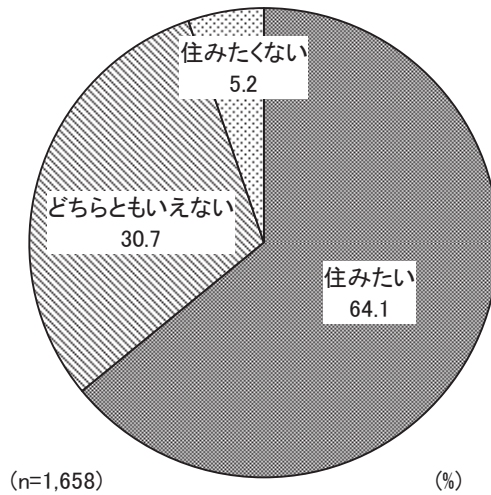


地区別で見ると、《住みやすい》は全ての地区で《住みにくい》を上回っており、妻里地区（90.0%）、堀原地区（87.9%）、五軒地区（86.0%）などで特に高くなっている。一方、《住みにくい》は上中妻地区（36.0%）と飯富地区（31.0%）で比較的高くなっている。

1-3 定住意向（問3）

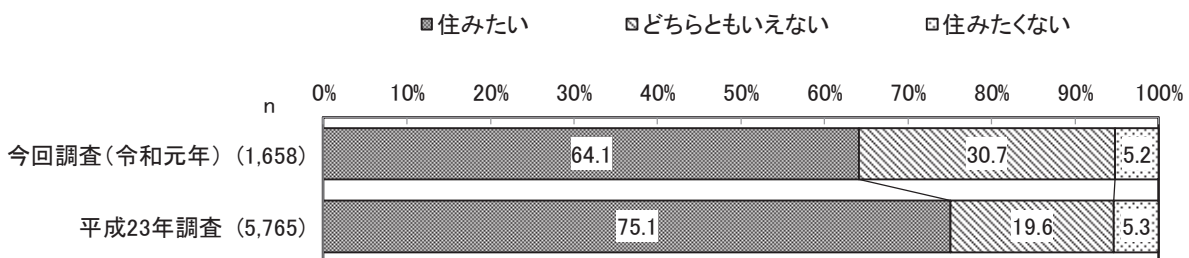
「住みたい」が6割強

問3 あなたは、今後とも水戸市に住みたいと思いますか。（○は1つだけ）



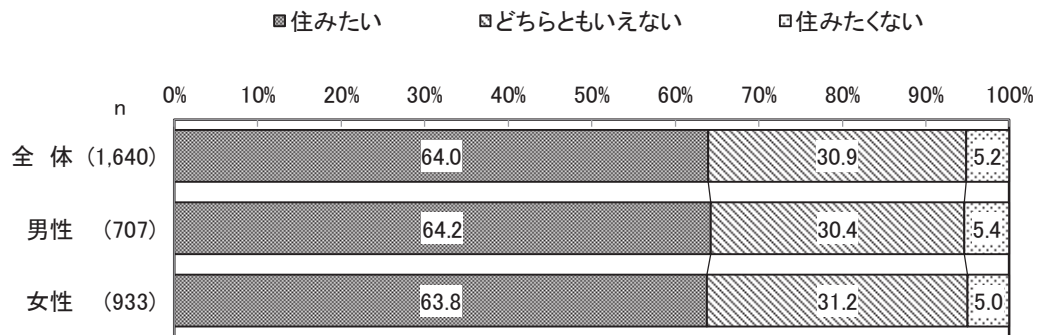
今後とも水戸市に住みたいかどうかたずねたところ、「住みたい」が最も多く64.1%、次いで「どちらともいえない」30.7%、「住みたくない」5.2%となっている。「住みたい」と答えた人が全体の6割を超えているのに対して、「住みたくない」と答えた人は5%強と極めて低くなっている。

平成23年調査結果との比較 定住意向



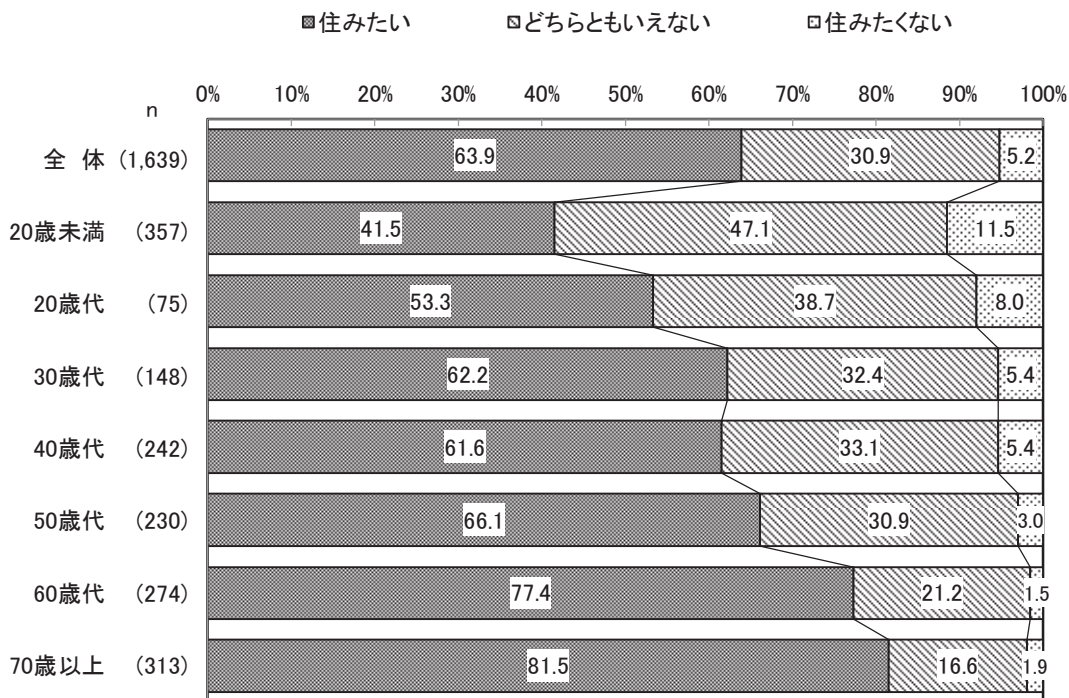
「住みたい」は平成23年調査より11%減少している。

性別 定住意向



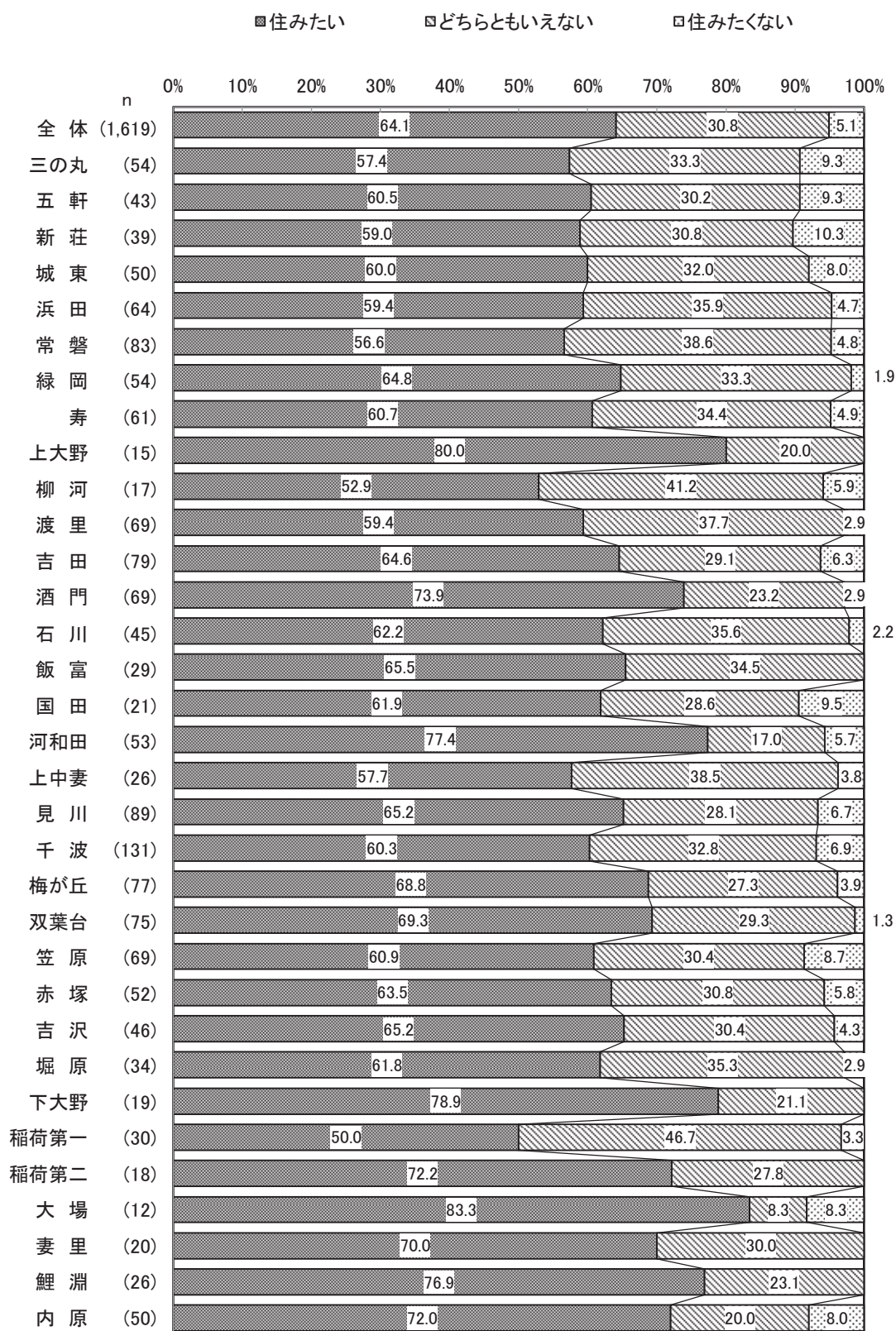
性別でみると、「住みたい」は男性64.2%、女性63.8%となっており、性別による大きな差はみられない。

年齢別 定住意向



年齢別でみると、「住みたい」は年齢が高くなるにつれて増加し、20歳未満の41.5%に対し、70歳以上では81.5%を占めている。また、「どちらともいえない」は20歳未満で47.1%と、「住みたい」の41.5%を上回るが、70歳以上では16.6%と少なくなっている。

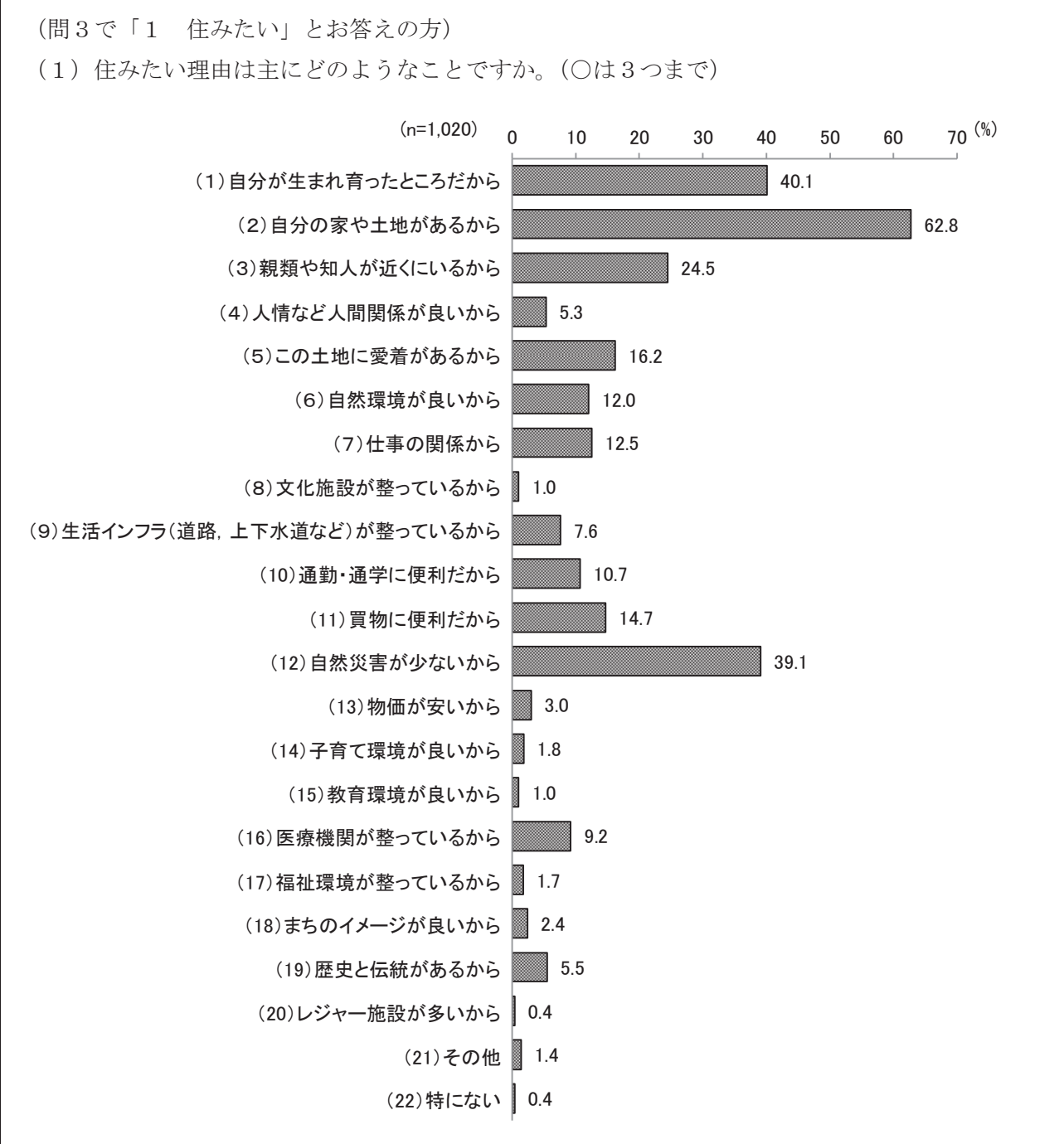
地区別 定住意向



地区別で見ると、全ての地区で「住みたい」が最も高くなっており、河和田地区（77.4%）、鯉淵地区（76.9%）、酒門地区（73.9%）、内原地区（72.0%）などで特に高くなっている。一方、稲荷第一地区では「住みたい」が50.0%にとどまっているほか、常磐地区（56.6%）、三の丸地区（57.4%）、上中妻地区（57.7%）などでも5割台と低くなっている。

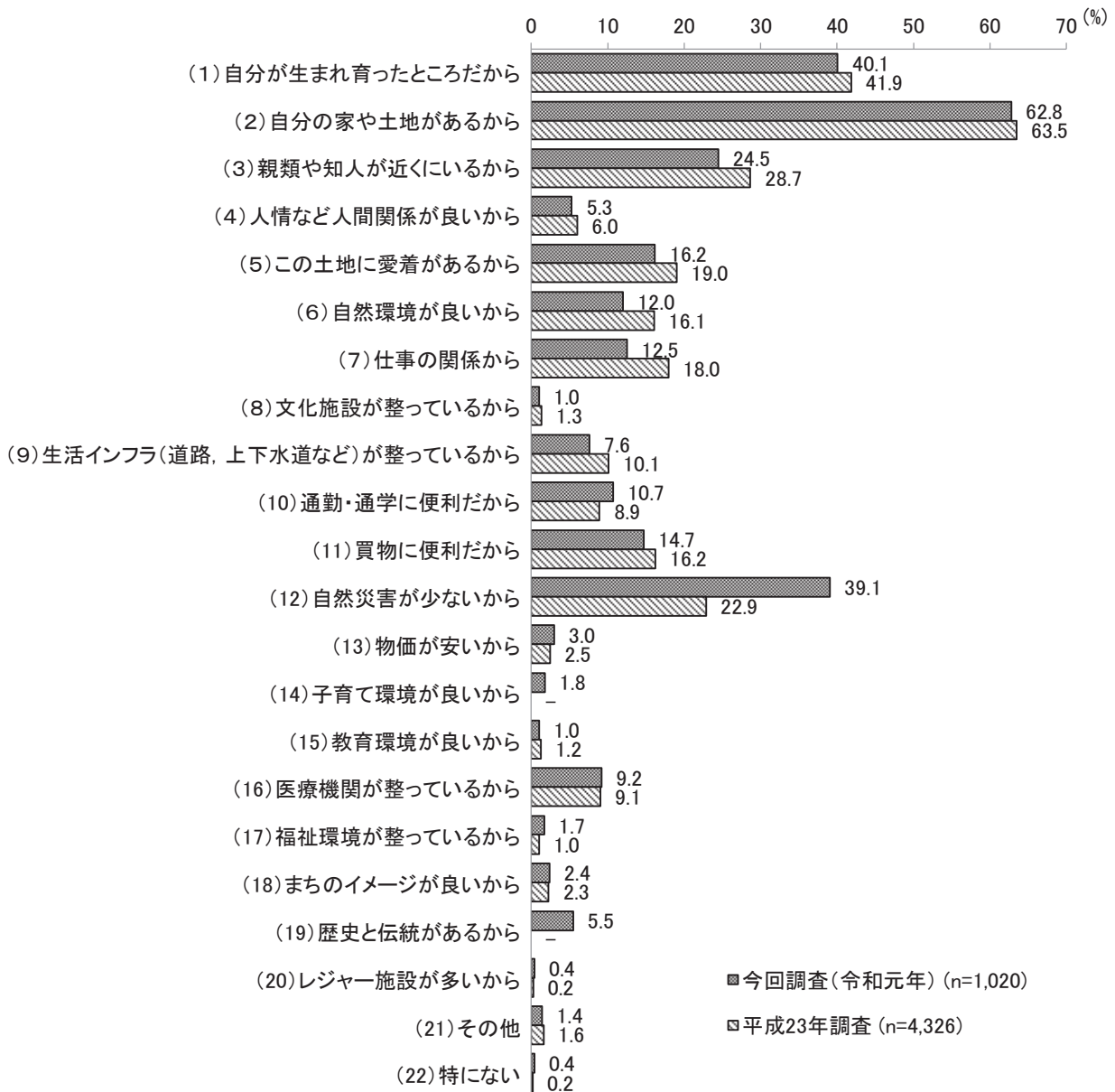
1-4 定住を希望する理由（問3（1））

定住を希望する主な理由は地縁・血縁，災害の少なさ



定住を希望する理由をたずねたところ、「(2) 自分の家や土地があるから」が62.8%で最も多く、以下「(1) 自分が生まれ育ったところだから」40.1%、「(12) 自然災害が少ないから」39.1%、「(3) 親類や知人が近くにいるから」24.5%の順で続いている。定住要因としては、自然的要因が上位を占めている。

平成23年調査結果との比較 定住を希望する理由



※ 「(14) 子育て環境が良いから」, 「(19) 歴史と伝統があるから」は今回調査で追加

「(12) 自然災害が少ないから」が平成23年調査より約16%増加している。

性別，年齢別 定住を希望する理由

(%)

		n	(1) 自 分 が 生 ま れ 育 っ た と こ ろ だ か ら	(2) 自 分 の 家 や 土 地 が あ る か ら	(3) 親 類 や 知 人 が 近 く に い る か ら	(4) 良 い 人 間 関 係 が あ る か ら	(5) こ の 土 地 に 愛 着 が あ る か ら	(6) 自 然 環 境 が 良 い か ら	(7) 仕 事 の 関 係 か ら	(8) 文 化 施 設 が 整 っ て い る か ら	(9) 生 活 上 の 便 利 な 道 路 が あ る か ら	(10) 通 勤 ・ 通 学 に 便 利 だ か ら	(11) 買 物 に 便 利 だ か ら
全 体		1,007	40.1	63.2	24.1	5.4	16.3	11.9	12.5	1.0	7.6	10.6	14.6
性 別	男性	440	46.4	64.3	22.5	4.5	17.7	12.5	12.3	1.4	8.0	10.5	13.0
	女性	567	35.3	62.3	25.4	6.0	15.2	11.5	12.7	0.7	7.4	10.8	15.9
全 体		1,006	40.3	63.2	24.2	5.4	16.2	11.8	12.5	1.0	7.7	10.5	14.6
年 齢 別	20歳未満	142	63.4	38.7	30.3	7.0	25.4	10.6	-	0.7	-	20.4	9.2
	20歳代	40	52.5	35.0	37.5	2.5	32.5	12.5	12.5	2.5	12.5	10.0	15.0
	30歳代	87	36.8	52.9	32.2	4.6	14.9	3.4	25.3	2.3	5.7	18.4	19.5
	40歳代	144	33.3	70.8	25.0	6.3	18.8	11.1	23.6	0.7	7.6	16.7	14.6
	50歳代	145	41.4	58.6	25.5	3.4	13.1	9.7	22.1	1.4	6.2	14.5	15.2
	60歳代	204	35.8	75.5	16.2	4.9	12.3	12.7	11.8	-	9.8	3.4	16.2
	70歳以上	244	33.2	73.8	20.9	6.1	12.3	16.4	3.7	1.2	11.1	2.0	14.3

(%)

		n	(12) 自 然 災 害 が 少 な い か ら	(13) 物 価 が 安 い か ら	(14) 子 育 て 環 境 が 良 い か ら	(15) 教 育 環 境 が 良 い か ら	(16) 医 療 機 関 が 整 っ て い る か ら	(17) 福 祉 環 境 が 整 っ て い る か ら	(18) ま ち の イ メ ー ジ が 良 い か ら	(19) 歴 史 と 伝 統 が あ る か ら	(20) レ ジ ャ ー 施 設 が 多 い か ら	(21) そ の 他	(22) 特 に な い
全 体		1,007	39.2	3.1	1.8	1.0	9.2	1.5	2.4	5.6	0.4	1.4	0.3
性 別	男性	440	34.3	1.4	2.0	1.1	9.8	0.9	3.0	7.3	0.7	1.6	0.5
	女性	567	43.0	4.4	1.6	0.9	8.8	1.9	1.9	4.2	0.2	1.2	0.2
全 体		1,006	39.2	3.1	1.8	1.0	9.2	1.5	2.4	5.6	0.4	1.4	0.3
年 齢 別	20歳未満	142	28.2	4.2	2.1	2.8	3.5	-	7.0	4.2	1.4	2.1	0.7
	20歳代	40	12.5	7.5	-	-	2.5	-	5.0	-	2.5	-	2.5
	30歳代	87	21.8	2.3	5.7	-	6.9	1.1	1.1	1.1	-	1.1	-
	40歳代	144	27.1	2.1	2.8	1.4	4.9	2.8	0.7	3.5	0.7	1.4	0.7
	50歳代	145	34.5	3.4	0.7	2.1	11.7	0.7	3.4	8.3	-	2.1	-
	60歳代	204	52.5	3.9	2.0	0.5	8.3	1.5	1.0	6.4	-	1.0	-
	70歳以上	244	54.9	1.6	0.4	-	16.4	2.5	1.2	7.8	-	1.2	-

※各属性の上位項目に色付けしている。 1位 2位 3位

性別でみると、男女ともに「(2) 自分の家や土地があるから」が最も多くなっている。「(1) 自分が生まれ育ったところだから」は男性が女性よりも約11%高くなっている。一方、「(12) 自然災害が少ないから」は女性が男性よりも約9%高くなっている。

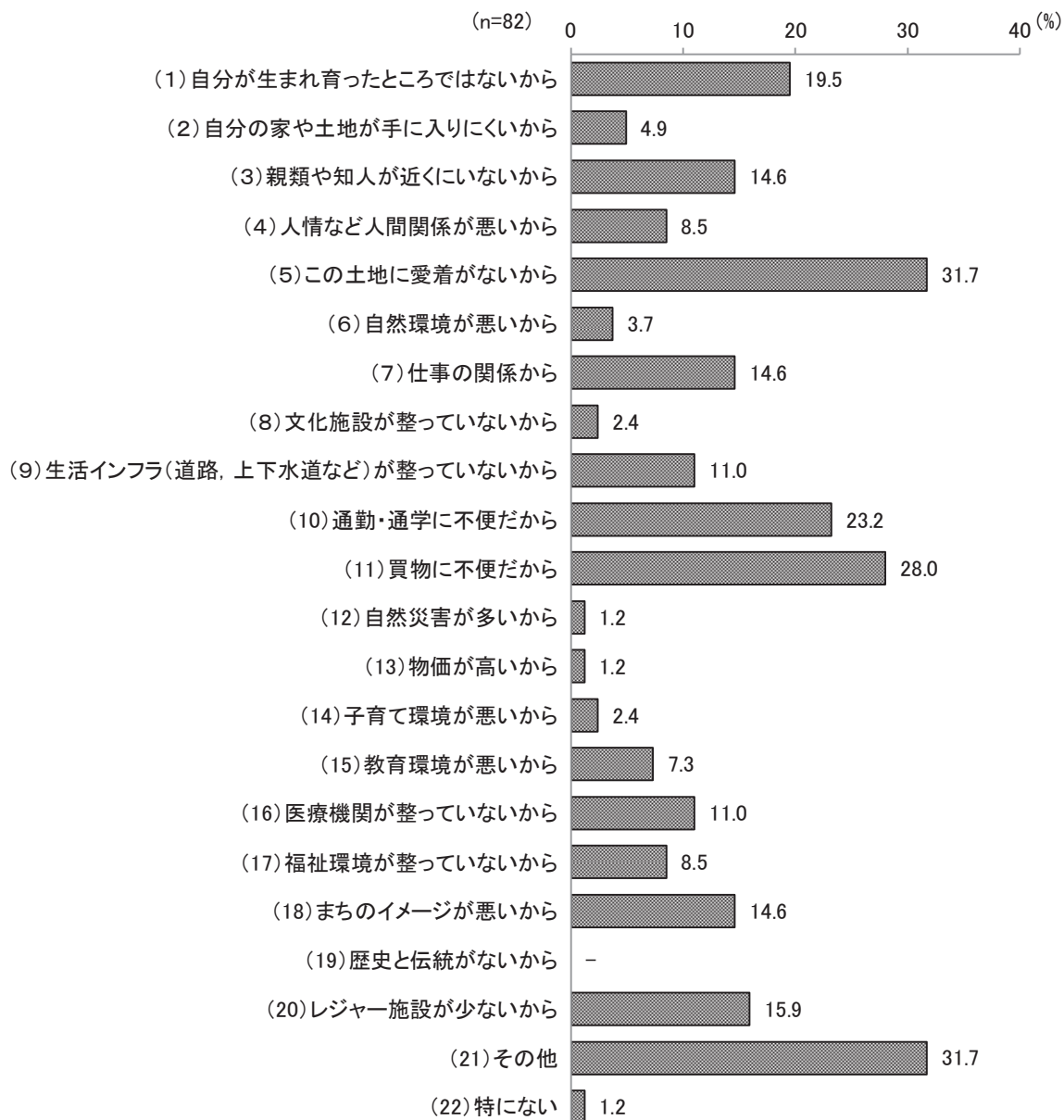
年齢別でみると、年齢にかかわらず、「(2) 自分の家や土地があるから」、「(1) 自分が生まれ育ったところだから」、「(12) 自然災害が少ないから」、「(3) 親類や知人が近くにいるから」が上位を占めているが、60歳以上の高齢層では「(2) 自分の家や土地があるから」や「(12) 自然災害が少ないから」、20歳代以下の若年層では「(1) 自分が生まれ育ったところだから」、「(3) 親類や知人が近くにいるから」、「(5) この土地に愛着があるから」が多くなっている。

1-5 定住を希望しない理由（問3（2））

定住を希望しない主な理由は地縁、生活上の利便性

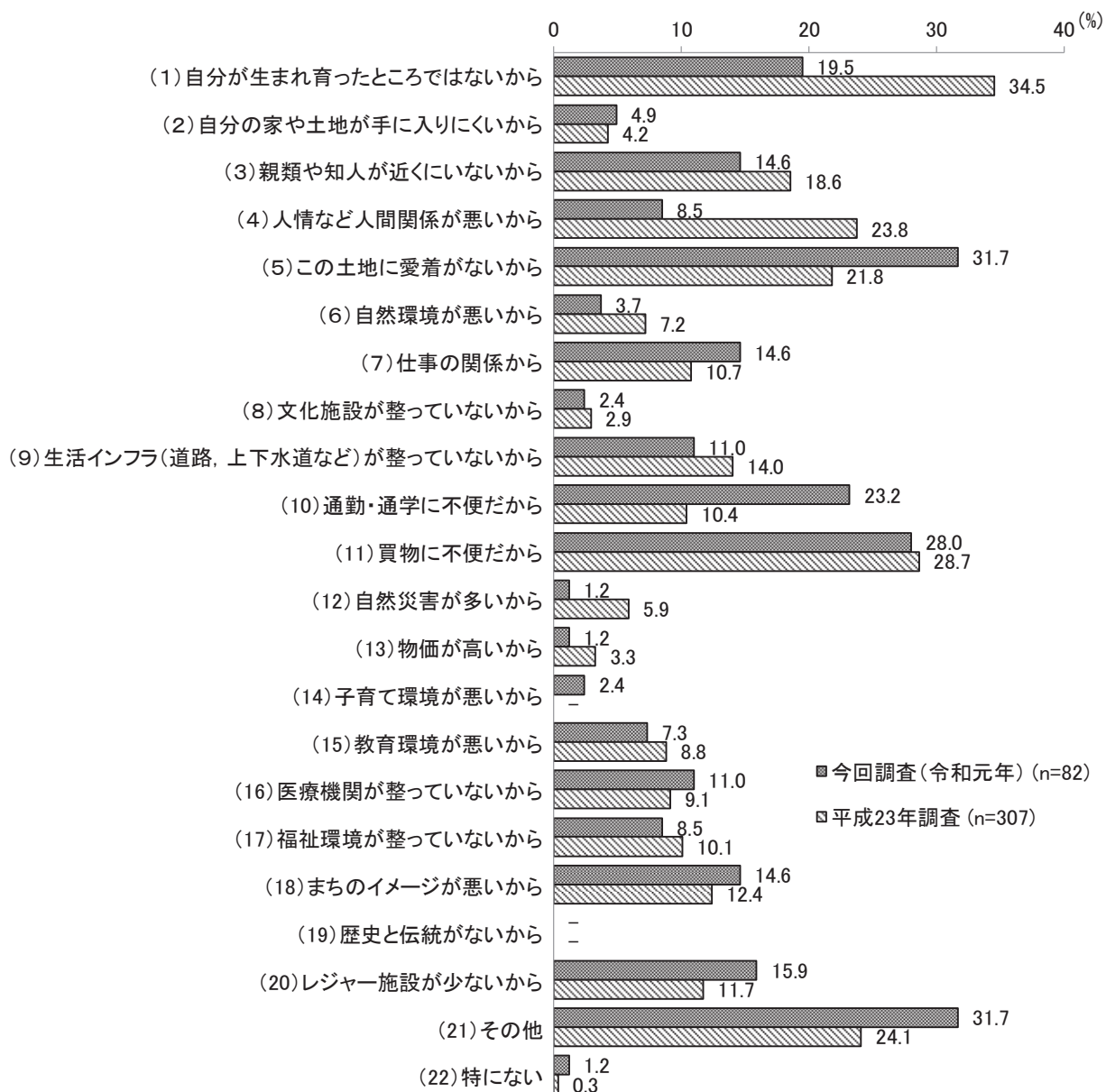
（問3で「3住みたくない」とお答えの方）

（2）住みたくない理由は主にどのようなことですか。（〇は3つまで）



定住を希望しない理由をたずねたところ、「(5) この土地に愛着がないから」が31.7%で最も多く、以下「(11) 買物に不便だから」28.0%、「(10) 通勤・通学に不便だから」23.2%、「(1) 自分が生まれ育ったところではないから」19.5%の順で続いている。定住を希望しない要因としては、個人の地縁や生活上の利便性が上位を占めている。

平成23年調査結果との比較 定住を希望しない理由



※「(14) 子育て環境が悪いから」, 「(19) 歴史と伝統がないから」は今回調査で追加

平成23年調査よりも「(10) 通勤・通学に不便だから」が約13%, 「(5) この土地に愛着がないから」が約10%増加している。一方, 「(1) 自分が生まれ育ったところではないから」と「(4) 人情など人間関係が悪いから」はいずれも約15%減少している。

性別，年齢別 定住を希望しない理由

(%)

		n	(1) 自 分 が 生 ま れ な い 所 で な い か ら	(2) 自 分 の 入 居 り に よ り に よ く な ら な い か ら	(3) 親 類 や 知 人 が 近 く に い な い か ら	(4) 人 情 な ら ず 人 間 関 係 が 悪 い か ら	(5) こ の 土 地 に 愛 着 が な い か ら	(6) 自 然 環 境 が 悪 い か ら	(7) 仕 事 の 関 係 か ら	(8) 文 化 施 設 が 整 っ て い な い か ら	(9) 生 活 上 の 不 便 な い か ら (道 路 が 悪 い か ら)	(10) 通 勤 ・ 通 学 に 不 便 だ か ら	(11) 買 物 に 不 便 だ か ら
全体	81	19.8	4.9	14.8	7.4	32.1	2.5	14.8	2.5	11.1	23.5	28.4	
性別	男性	37	24.3	8.1	8.1	5.4	29.7	2.7	13.5	-	13.5	24.3	21.6
	女性	44	15.9	2.3	20.5	9.1	34.1	2.3	15.9	4.5	9.1	22.7	34.1
全体	80	18.8	3.8	15.0	7.5	32.5	2.5	15.0	2.5	11.3	23.8	28.8	
年齢別	20歳未満	40	5.0	5.0	2.5	2.5	37.5	2.5	12.5	2.5	2.5	32.5	35.0
	20歳代	6	33.3	-	16.7	16.7	16.7	-	50.0	-	50.0	33.3	16.7
	30歳代	8	12.5	12.5	37.5	-	25.0	-	12.5	12.5	12.5	-	37.5
	40歳代	13	30.8	-	23.1	-	38.5	7.7	15.4	-	15.4	30.8	15.4
	50歳代	5	40.0	-	20.0	40.0	20.0	-	20.0	-	-	-	20.0
	60歳代	4	50.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0
	70歳以上	4	50.0	-	75.0	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0

(%)

		n	(12) 自 然 災 害 が 多 い か ら	(13) 物 価 が 高 い か ら	(14) 子 育 て の 環 境 が 悪 い か ら	(15) 教 育 環 境 が 悪 い か ら	(16) 医 療 機 関 が 整 っ て い な い か ら	(17) 福 祉 環 境 が 整 っ て い な い か ら	(18) ま ち の イ メ ー ジ が 悪 い か ら	(19) 歴 史 と 伝 統 が な い か ら	(20) レ ジ ャ ー 施 設 が 少 な い か ら	(21) そ の 他	(22) 特 に な い
全体	81	1.2	1.2	2.5	7.4	11.1	8.6	13.6	-	16.0	32.1	1.2	
性別	男性	37	2.7	2.7	5.4	8.1	10.8	13.5	21.6	-	2.7	40.5	2.7
	女性	44	-	-	-	6.8	11.4	4.5	6.8	-	27.3	25.0	-
全体	80	1.3	1.3	2.5	7.5	11.3	7.5	13.8	-	16.3	32.5	1.3	
年齢別	20歳未満	40	-	2.5	2.5	10.0	2.5	5.0	15.0	-	22.5	37.5	2.5
	20歳代	6	-	-	16.7	-	-	-	33.3	-	16.7	-	-
	30歳代	8	-	-	-	-	25.0	12.5	25.0	-	-	25.0	-
	40歳代	13	-	-	-	15.4	23.1	15.4	7.7	-	23.1	23.1	-
	50歳代	5	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-
	60歳代	4	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	75.0	-
	70歳以上	4	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-

※各属性の上位項目に色付けしている。

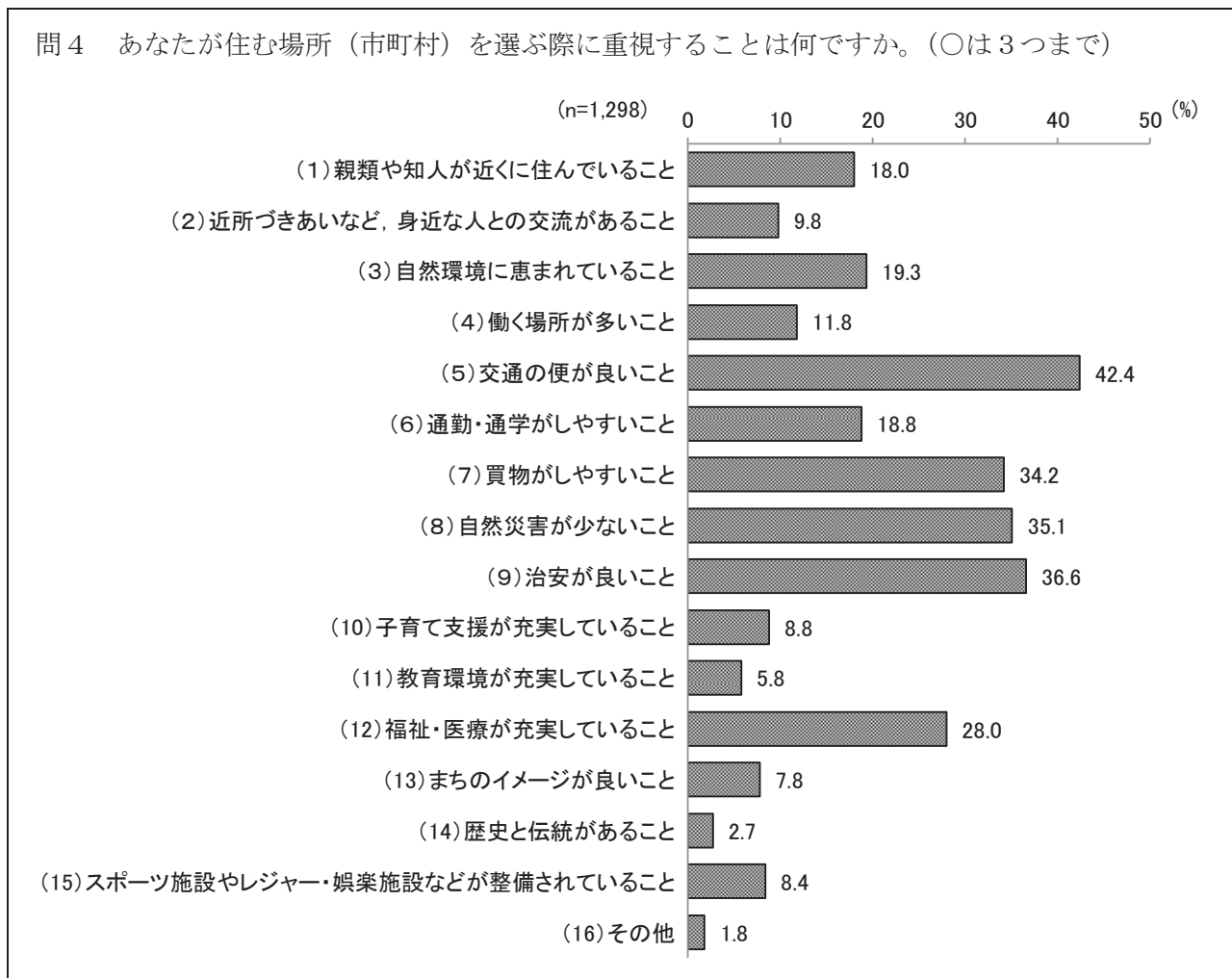
1位	2位	3位
----	----	----

性別でみると、男女ともに「(5) この土地に愛着がないから」が最も多くなっている。男性は女性よりも「(18) まちのイメージが悪いから」が約15%、「(17) 福祉環境が整っていないから」が9%、「(1) 自分が生まれ育ったところでないから」が約8%高くなっている。一方、女性は男性よりも「(20) レジャー施設が少ないから」が約25%、「(11) 買物に不便だから」が約13%、「(3) 親類や知人が近くにいないから」が約12%高くなっている。

年齢別では、20歳未満は「(5) この土地に愛着がないから」が37.5%で最も多く、「(11) 買物に不便だから」35.0%、「(10) 通勤・通学に不便だから」32.5%が続いている。なお、20歳以上は回答者が少ないため参考程度とする。

1-6 住む場所を選ぶ際に重視すること（問4）

住む場所に重視する主な要素は生活上の利便性や治安・防災の安全面



住む場所を選ぶ際に重視することをたずねたところ、「(5) 交通の便が良いこと」が42.4%で最も多く、以下「(9) 治安が良いこと」36.6%、「(8) 自然災害が少ないこと」35.1%、「(7) 買物がしやすいこと」34.2%、「(12) 福祉・医療が充実していること」28.0%の順で続いている。住む場所に重視する要素としては、生活上の利便性や治安・防災の安全面が上位を占めている。

性別，年齢別 住む場所を選ぶ際に重視すること

(%)

		n	(1) 親に類や知人が近く	(2) 近所づきあいのこと	(3) 自然環境に恵まれ	(4) 働く場所が多い	(5) 交通の便が良い	(6) 通勤・通学がしやすいこと	(7) 買物がしやすいこと	(8) 自然災害が少ないこと
全体		1,285	17.7	9.9	19.4	11.8	42.3	18.9	34.2	34.8
性別	男性	526	16.9	9.3	20.7	13.7	41.3	20.0	31.4	32.7
	女性	759	18.2	10.3	18.4	10.5	43.1	18.2	36.2	36.2
全体		1,286	17.7	9.9	19.4	11.8	42.3	18.8	34.3	34.9
年齢別	20歳未満	281	14.6	8.5	14.6	13.2	50.9	33.1	30.6	17.4
	20歳代	58	27.6	1.7	13.8	12.1	58.6	27.6	41.4	13.8
	30歳代	120	20.8	3.3	11.7	8.3	35.0	28.3	34.2	24.2
	40歳代	196	17.3	7.1	16.3	17.3	35.7	28.1	31.6	27.0
	50歳代	179	13.4	4.5	19.0	19.6	46.9	13.4	39.1	34.6
	60歳代	212	17.5	9.4	25.9	6.6	36.3	6.6	36.8	54.2
	70歳以上	240	21.3	23.3	27.1	6.3	39.2	2.5	33.3	55.4

(%)

		n	(9) 治安が良いこと	(10) 子育て支援が充実	(11) 教育環境が充実	(12) 福祉・医療が充実	(13) まのちの良いイメージが	(14) 歴史と伝統がある	(15) スジャなどの施設やレジャー	(16) その他
全体		1,285	36.7	8.9	5.8	27.9	7.8	2.7	8.5	1.9
性別	男性	526	36.9	7.0	5.5	25.7	11.6	3.6	10.6	2.7
	女性	759	36.6	10.1	6.1	29.5	5.1	2.1	7.0	1.3
全体		1,286	36.8	8.9	5.8	27.8	7.8	2.7	8.5	1.9
年齢別	20歳未満	281	43.8	6.0	6.4	11.0	11.4	0.7	21.4	2.1
	20歳代	58	36.2	13.8	1.7	12.1	10.3	3.4	10.3	6.9
	30歳代	120	38.3	31.7	13.3	17.5	7.5	0.8	6.7	2.5
	40歳代	196	39.3	11.7	10.7	27.6	7.7	1.5	8.7	1.5
	50歳代	179	44.7	4.5	3.4	34.1	8.4	1.7	5.6	1.7
	60歳代	212	32.5	7.1	4.7	39.6	5.2	2.8	2.4	1.4
	70歳以上	240	23.8	2.1	1.3	41.7	5.0	7.5	1.3	0.8

※各属性の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

性別でみると、上位3項目は男女でほぼ一致しており、割合の差も少なくなっている。「(13) まちのイメージが良いこと」は男性が女性よりも約7%高くなっている。一方、「(7) 買物がしやすいこと」は女性が男性よりも約5%高くなっている。

年齢別でみると、「(5) 交通の便が良いこと」は20歳代で58.6%と最も多く、20歳未満でも50.9%と多くなっている。「(9) 治安が良いこと」は50歳代で44.7%，20歳未満で43.8%，「(7) 買物がしやすいこと」は20歳代で41.4%と多い。「(8) 自然災害が少ないこと」と「(12) 福祉・医療が充実していること」は年齢が上がるにつれて多くなる傾向がみられ、60歳以上では上位2項目となっている。

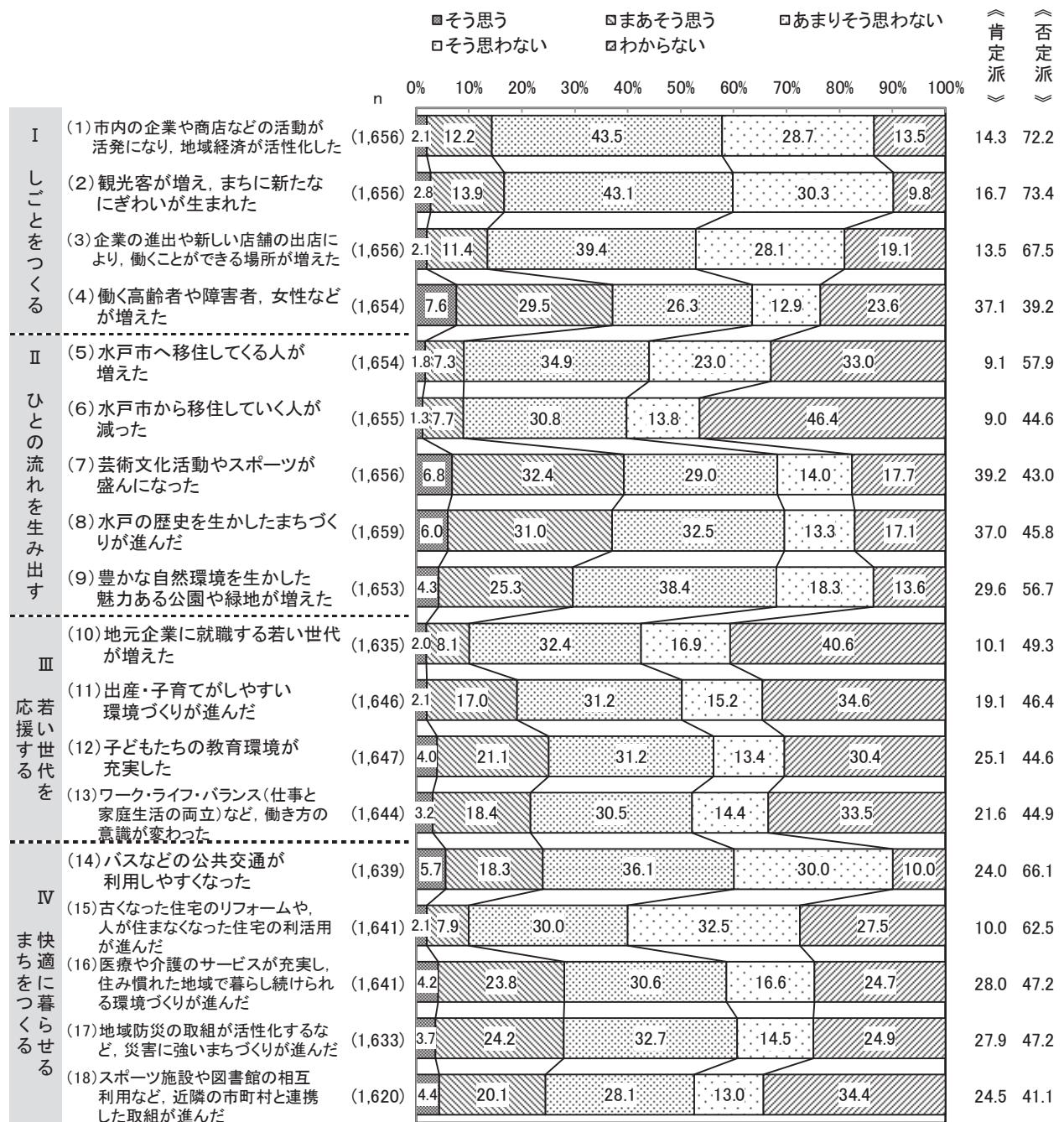
2 水戸市の地方創生の取組

2-1 水戸市の地方創生の取組の成果（問5）

住宅の利活用や経済・商業活性化が低評価

問5 水戸市では、平成27年度から、「Ⅰ しごとをつくる」「Ⅱ ひとの流れを生み出す」「Ⅲ 若い世代を応援する」「Ⅳ 快適に暮らせるまちをつくる」ことを目標として、地方創生に向けた取組を進めています。

あなたは、この4年間で、水戸市において次にあげる結果が生じたと思いますか。各項目について、「1 そう思う」「2 まあそう思う」「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」「5 わからない」の中から1つずつ選んで、番号に○をつけてください。



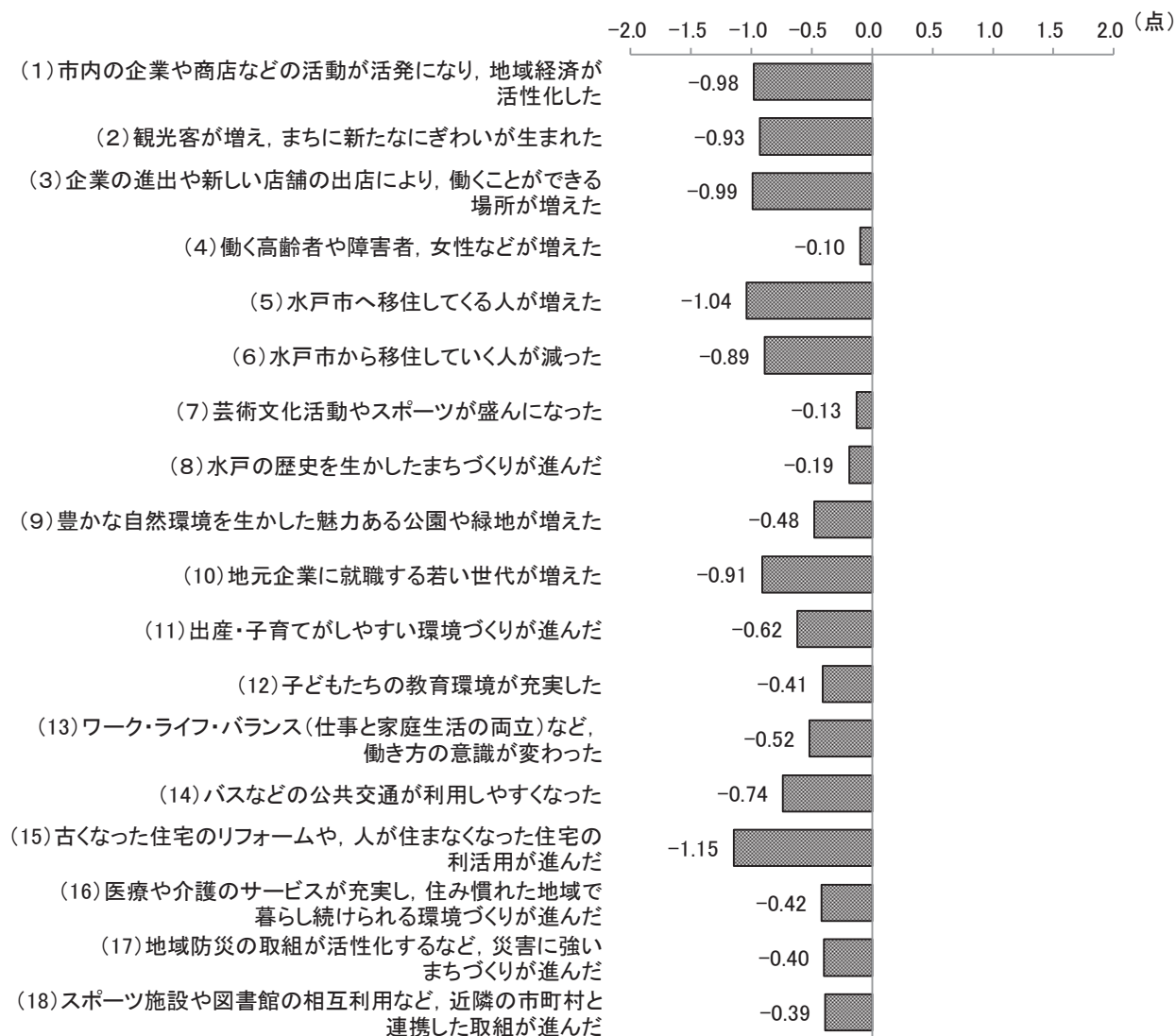
水戸市の地方創生の取組の成果について、18項目を市民に評価してもらったところ、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた《肯定派》は、「(7) 芸術文化活動やスポーツが盛んになった」が39.2%で最も高く、以下「(4) 働く高齢者や障害者、女性などが増えた」37.1%、「(8) 水戸の歴史を生かしたまちづくりが進んだ」37.0%、「(9) 豊かな自然環境を生かした魅力ある公園や緑地が増えた」29.6%の順で続いている。一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた《否定派》は、「(2) 観光客が増え、まちに新たなにぎわいが生まれた」が73.4%で最も高く、以下「(1) 市内の企業や商店などの活動が活発になり、地域経済が活性化した」72.2%、「(3) 企業の進出や新しい店舗の出店により、働くことができる場所が増えた」67.5%、「(14) バスなどの公共交通が利用しやすくなった」66.1%の順で続いている。

次に、各項目の結果を、以下の方法により「評価点」として数値化した。なお、「わからない」及び無回答の場合は数値化の際の母数から除外した。

$$\blacksquare \text{ 評価点} = \frac{\text{「そう思う」} \times 2 \text{ 点} + \text{「まあそう思う」} \times 1 \text{ 点} + \text{「あまりそう思わない」} \times (-1 \text{ 点}) + \text{「そう思わない」} \times (-2 \text{ 点})}{\text{回答数} - \text{無回答} - \text{「わからない」}}$$

この算出方法（加重平均）では、評価点は-2.00点～+2.00点の間に分布し、0.00点が中間点であり、+2.00点に近いほど評価が高く、逆に-2.00点に近いほど評価が低いということを表す。

評価点 水戸市の地方創生の取組の成果



全ての項目がマイナス評価となったが、その中でも比較的评价が高い（マイナスの度合いが低い）項目は、「(4) 働く高齢者や障害者、女性などが増えた」-0.10点、「(7) 芸術文化活動やスポーツが盛んになった」-0.13点、「(8) 水戸の歴史を生かしたまちづくりが進んだ」-0.19点となっている。

一方、評価が低い項目は、「(15) 古くなった住宅のリフォームや、人が住まなくなった住宅の利活用が進んだ」-1.15点、「(5) 水戸市へ移住してくる人が増えた」-1.04点、「(3) 企業の進出や新しい店舗の出店により、働くことができる場所が増えた」-0.99点、「(1) 市内の企業や商店などの活動が活発になり、地域経済が活性化した」-0.98点などとなっている。

こうしたことから、地方創生の取組は全体的に低い評価となっており、特に住宅の利活用や経済・商業の活性化の面での評価が低いことがわかる。

性別、年齢別 評価点 水戸市の地方創生の取組の成果

(点)

	(1) 市の地域活動の企業が活きた	(2) 観光客が増え、まちに	(3) 企業の進出や新しい店舗	(4) 働く女性や高齢者が	(5) 水戸市へ移住してくる	(6) 水戸市から移住して	(7) 芸術文化活動やスポーツ	(8) 水戸の歴史を生かした	(9) 豊かな自然環境を
全体	-0.98	-0.93	-0.99	-0.09	-1.04	-0.89	-0.13	-0.19	-0.48
性別	男性	-0.98	-0.96	-1.00	-0.21	-1.02	-0.20	-0.34	-0.46
	女性	-0.98	-0.91	-0.98	0.00	-1.06	-0.07	-0.08	-0.49
全体	-0.98	-0.93	-0.99	-0.09	-1.04	-0.90	-0.13	-0.19	-0.47
年齢別	20歳未満	-0.46	-0.52	-0.23	0.52	-0.70	0.44	0.04	-0.33
	20歳代	-0.88	-0.68	-0.91	-0.02	-0.92	-0.12	-0.08	-0.73
	30歳代	-1.08	-0.93	-1.10	-0.29	-0.97	-1.05	-0.15	-0.77
	40歳代	-0.98	-0.90	-1.11	-0.09	-1.07	-0.91	-0.05	-0.55
	50歳代	-1.20	-1.06	-1.26	-0.27	-1.10	-0.76	-0.25	-0.40
	60歳代	-1.17	-1.08	-1.12	-0.14	-1.10	-0.92	-0.45	-0.37
	70歳以上	-1.14	-1.26	-1.25	-0.43	-1.25	-1.06	-0.47	-0.54

(点)

	(10) 地元企業に就職する	(11) 出産・子育てがしやすい環境	(12) 子どもが充実した教育環境	(13) 意識が変わった労働者の	(14) パラスポーツなど公共の	(15) 古くなくなった住宅のリ	(16) 医療や介護の住み慣れた	(17) 地域防災の取り組みが	(18) スポーツ施設や図書館
全体	-0.91	-0.61	-0.42	-0.52	-0.74	-1.14	-0.42	-0.39	-0.38
性別	男性	-0.97	-0.69	-0.44	-0.58	-0.72	-1.16	-0.39	-0.43
	女性	-0.86	-0.55	-0.40	-0.46	-0.75	-1.13	-0.37	-0.35
全体	-0.91	-0.62	-0.41	-0.51	-0.74	-1.14	-0.42	-0.40	-0.39
年齢別	20歳未満	-0.35	-0.23	0.13	0.06	-0.06	-0.56	0.20	0.09
	20歳代	-0.77	-0.91	-0.67	-0.70	-0.81	-0.79	-0.58	-0.23
	30歳代	-1.03	-0.60	-0.74	-0.66	-0.94	-1.27	-0.88	-0.37
	40歳代	-0.92	-0.70	-0.59	-0.71	-1.00	-1.17	-0.72	-0.47
	50歳代	-1.01	-0.68	-0.66	-0.60	-0.98	-1.21	-0.63	-0.55
	60歳代	-1.18	-0.73	-0.58	-0.74	-0.87	-1.37	-0.49	-0.54
	70歳以上	-1.11	-0.66	-0.37	-0.46	-0.91	-1.40	-0.34	-0.62

※評価点が-1.00以下の項目に色付けている。

性別でみると、低評価の項目は男女でほぼ一致しており、「(10) 地元企業に就職する若い世代が増えた」、「(11) 出産・子育てがしやすい環境づくりが進んだ」などは、男性でより低評価となっている。

年齢別でみると、「(15) 古くなった住宅のリフォームや、人が住まなくなった住宅の利活用が進んだ」は60歳以上、「(5) 水戸市へ移住してくる人が増えた」と「(2) 観光客が増え、まちに新たなにぎわいが生まれた」は70歳以上、「(3) 企業の進出や新しい店舗の出店により、働くことができる場所が増えた」は50歳代及び70歳以上で特に評価が低くなっている。

地区別 評価点 水戸市の地方創生の取組の成果

(点)

	(1) 市の地域活動の企業が活きた	(2) 観光客が増え、まちに	(3) 企業の進出や新しい店	(4) 働く女性や高齢者が増え、障害者	(5) 水戸市へ移住してくる	(6) 水戸市から移住して	(7) 芸術文化活動やスポーツ	(8) 水戸の歴史を生かした	(9) 豊かな自然環境を
全体	-0.98	-0.93	-0.99	-0.09	-1.04	-0.89	-0.13	-0.19	-0.47
地区別	三の丸	-0.94	-0.76	-1.02	-0.68	-1.14	0.22	0.31	-0.43
	五軒	-1.30	-0.92	-1.17	-0.06	-1.19	-0.05	0.48	-0.08
	新荘	-1.50	-1.18	-1.41	-0.14	-1.36	-1.21	-0.19	0.00
	城東	-0.98	-1.04	-1.18	-0.04	-1.15	-1.10	-0.15	-0.70
	浜田	-1.33	-1.27	-0.98	-0.08	-0.88	-0.94	-0.19	-0.46
	常磐	-1.09	-0.99	-1.07	-0.38	-1.23	-0.89	-0.14	-0.42
	緑岡	-1.16	-0.73	-1.03	-0.16	-0.94	-0.97	-0.02	-0.44
	寿	-0.70	-0.61	-0.87	0.09	-0.86	-0.68	-0.18	-0.39
	上大野	-1.07	-1.08	-1.18	-0.73	-1.36	-0.89	-0.08	0.15
	柳河	-0.79	-1.07	-1.31	-0.23	-0.92	-0.55	-0.31	0.31
	渡里	-0.91	-0.95	-0.84	0.23	-0.81	-0.92	-0.32	-0.15
	吉田	-0.93	-1.07	-0.95	-0.16	-1.04	-1.16	-0.29	-0.43
	酒門	-0.91	-1.05	-0.96	-0.04	-1.05	-0.92	-0.02	-0.04
	石川	-1.12	-1.15	-1.17	-0.31	-1.15	-0.84	0.03	-0.79
	飯富	-1.14	-0.89	-0.89	0.05	-0.81	-0.53	-0.17	-0.17
	国田	-1.24	-1.11	-1.06	-0.06	-1.54	-1.44	0.43	-0.24
	河和田	-1.15	-0.98	-1.11	-0.12	-0.95	-1.08	-0.34	-0.65
	上中妻	-1.12	-1.04	-0.68	-0.45	-1.25	-1.40	-0.23	-0.27
	見川	-0.95	-0.75	-1.20	0.01	-0.98	-0.64	-0.03	-0.29
	千波	-0.77	-0.78	-0.91	-0.20	-0.95	-0.83	0.05	-0.12
	梅が丘	-0.99	-0.97	-1.12	0.02	-1.14	-0.75	-0.17	-0.25
	双葉台	-0.90	-1.01	-0.90	0.34	-1.30	-1.00	-0.13	-0.28
	笠原	-0.67	-1.08	-0.79	-0.04	-0.54	-0.90	0.14	-0.42
	赤塚	-1.09	-0.64	-0.89	0.15	-0.97	-0.96	-0.11	-0.32
吉沢	-0.87	-1.05	-0.95	-0.24	-1.06	-0.96	-0.43	-0.53	
堀原	-0.61	-0.69	-0.57	0.34	-0.92	-0.94	0.32	0.35	
下大野	-1.07	-1.00	-1.19	0.13	-1.63	-0.55	-0.81	-0.38	
稻荷第一	-1.04	-0.92	-0.92	-0.42	-1.14	-0.90	-0.35	-0.41	
稻荷第二	-0.88	-0.61	-0.88	-0.17	-0.91	-1.27	0.23	0.79	
大場	-1.40	-1.00	-0.86	0.20	-1.50	-1.20	-0.11	-0.29	
妻里	-0.78	-1.29	-1.06	-0.06	-1.31	-1.00	-0.64	-0.50	
鯉淵	-0.96	-0.74	-0.68	-0.30	-1.00	-0.53	-0.48	-0.48	
内原	-0.86	-0.86	-0.80	-0.05	-0.65	-0.62	-0.40	-0.34	

※評価点が -1.00 以下の項目に色付けしている。

地区別 評価点 水戸市の地方創生の取組の成果（続き）

（点）

	(10) 地若い 元い企 業世代 にが就 職増え する	(11) 出い環 産境・ 子づ育 育てり がが進 やんす だ	(12) 子が充 ども実 たした ちの教 育環境	(13) ワン意 ース識 クなが ・ど変 ラ、わ イ働つ フきた ・方バ のラ	(14) バ利用 スなし などの やすく のす公 共く交 通たつ が	(15) 古フな くオが くーな なつム たやた 住、住 宅人宅 のがの り住利 ま活	(16) 医が地 療充域 や実で 介し暮 護、ら の住し サみ続 ー慣け ビれら スたれ だ	(17) 地化い 域すま 防るち 災なづ のどく 取、り 組災が が害進 活にん 性強だ	(18) スのの ポ相市 ー互町 ツ利村 施用と 設な連 やど携 図、し 書近た 館隣取	
全体	-0.91	-0.61	-0.41	-0.51	-0.73	-1.15	-0.42	-0.39	-0.38	
地区別	三の丸	-0.91	-0.79	-0.28	-0.55	-0.51	-1.09	-0.56	-0.24	-0.09
	五軒	-1.00	-0.69	-0.38	-0.27	-0.25	-1.11	-0.38	-0.03	-0.28
	新荘	-1.15	-0.61	-0.41	-0.59	-0.82	-1.34	-0.67	-0.57	-0.56
	城東	-0.91	-0.45	-0.11	-0.19	-0.50	-1.27	-0.44	-0.11	-0.62
	浜田	-0.97	-0.83	-0.48	-0.76	-0.84	-1.39	-0.44	-0.33	-0.24
	常磐	-0.96	-0.76	-0.68	-0.60	-0.59	-1.06	-0.56	-0.45	-0.39
	緑岡	-0.70	-0.19	-0.19	-0.23	-0.61	-1.15	-0.54	-0.17	-0.44
	寿	-0.68	-0.40	-0.30	-0.24	-0.68	-1.12	-0.14	-0.15	-0.24
	上大野	-1.14	-0.33	-0.10	-0.38	-1.14	-1.60	-0.15	-0.15	-0.70
	柳河	-0.55	-0.30	0.00	-0.09	-1.20	-1.00	-0.25	-0.27	-0.30
	渡里	-0.78	-0.56	-0.31	-0.60	-0.53	-1.00	-0.06	-0.43	-0.42
	吉田	-1.12	-0.75	-0.52	-0.61	-1.07	-1.16	-0.72	-0.77	-0.69
	酒門	-0.71	-0.45	-0.23	-0.58	-0.49	-0.96	-0.49	-0.51	-0.29
	石川	-0.82	-0.33	-0.69	-0.32	-0.56	-1.15	-0.56	-0.71	-0.52
	飯富	-0.53	-0.29	-0.42	-0.36	-1.14	-1.09	-0.40	-0.29	-0.35
	国田	-0.82	-1.17	-0.27	-0.69	-1.05	-1.38	-0.71	-0.55	-0.20
	河和田	-0.97	-0.60	-0.59	-0.89	-0.92	-1.31	-0.65	-0.85	-0.76
	上中妻	-0.71	-0.67	-0.25	-0.68	-1.15	-1.26	-0.42	-0.30	-0.42
	見川	-1.19	-0.84	-0.60	-0.60	-0.67	-1.13	-0.57	-0.54	-0.48
	千波	-0.88	-0.65	-0.51	-0.53	-0.69	-0.97	-0.42	-0.29	-0.23
	梅が丘	-0.86	-0.76	-0.56	-0.68	-0.69	-1.18	-0.51	-0.62	-0.24
	双葉台	-1.00	-0.52	-0.39	-0.67	-0.66	-1.37	-0.42	-0.51	-0.49
	笠原	-0.98	-0.64	-0.25	-0.47	-0.80	-0.96	-0.21	-0.45	-0.51
	赤塚	-0.89	-0.73	-0.51	-0.36	-0.55	-1.08	-0.21	-0.13	-0.19
吉沢	-0.86	-0.61	-0.35	-0.36	-0.88	-1.18	-0.46	0.19	-0.21	
堀原	-0.57	0.00	0.05	0.04	-0.07	-0.62	0.41	-0.09	0.23	
下大野	-0.93	-0.85	-0.31	-0.54	-1.12	-1.56	-0.63	-0.44	-0.46	
稻荷第一	-1.09	-0.52	-0.23	-0.57	-0.81	-0.92	-0.36	-0.54	-0.81	
稻荷第二	-1.27	-0.33	-0.15	0.09	-1.11	-1.33	-0.13	0.06	-0.31	
大場	-0.71	-0.78	-0.75	-1.17	-1.58	-1.38	-0.40	-0.71	-0.83	
妻里	-0.91	-0.73	-0.71	-0.42	-0.95	-1.62	-0.73	-0.60	-0.57	
鯉淵	-0.76	-0.79	-0.30	-0.76	-1.04	-1.06	-0.05	-0.10	-0.56	
内原	-1.12	-0.65	-0.59	-0.60	-0.93	-1.25	-0.34	-0.60	0.05	

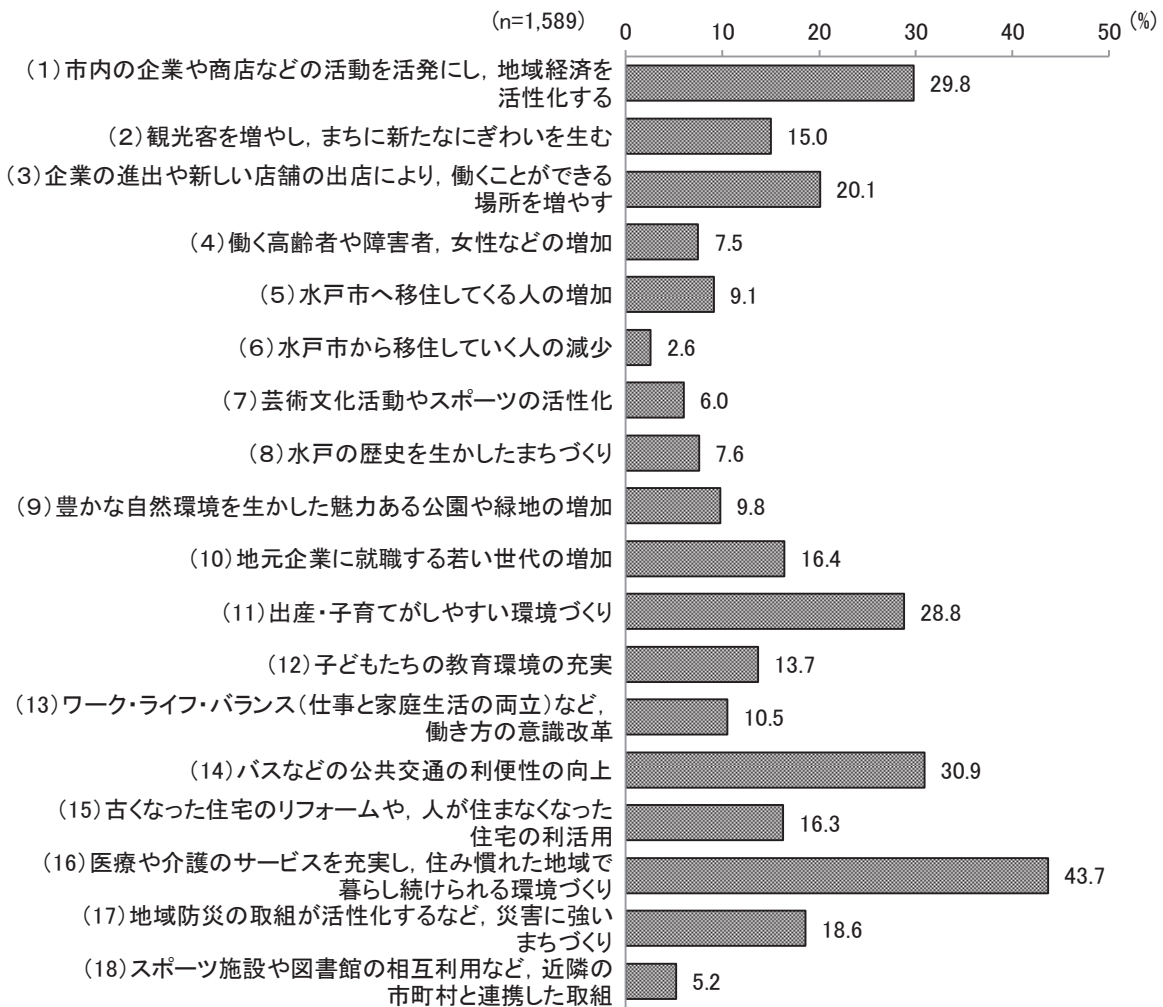
※評価点が -1.00 以下の項目に色付けしている。

地区別でみると、-1.50点以下と特に評価が低い地区は、「(15) 古くなった住宅のリフォームや、人が住まなくなった住宅の利活用が進んだ」の妻里地区 (-1.62点)、上大野地区 (-1.60点)、下大野地区 (-1.56点)、「(5) 水戸市へ移住してくる人が増えた」の下大野地区 (-1.63点)、国田地区 (-1.54点)、大場地区 (-1.50点)、「(14) バスなどの公共交通が利用しやすくなった」の大場地区 (-1.58点)、「(1) 市内の企業や商店などの活動が活発になり、地域経済が活性化した」の新荘地区 (-1.50点) となっている。

2-2 今後優先すべき取組（問6）

今後優先すべき主な項目は医療・介護，子育て支援，公共交通の利便性，経済の活性化

問6 あなたが、水戸市において今後優先すべきと思う項目は何ですか。問5に示した項目（1）～（18）の中から3つまで選んで、下記の回答欄に記入してください。



水戸市において今後優先すべきと思う項目をたずねたところ、「(16) 医療や介護のサービスを充実し、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくり」が43.7%で最も多く、以下「(14) バスなどの公共交通の利便性の向上」30.9%、「(1) 市内の企業や商店などの活動を活発にし、地域経済を活性化する」29.8%、「(11) 出産・子育てがしやすい環境づくり」28.8%の順で続いている。

医療・介護や子育て支援といった福祉施策及び公共交通の利便性や経済の活性化が多く求められていることがわかる。

性別，年齢別 今後優先すべき取組

(%)

		n	(1) 市内の企業や商店などの活動を活性化	(2) 観光客を増やしたり、新しい観光客を呼び込む	(3) 店舗の進出や新しい店舗の増やす	(4) 働く女性や高齢者などの増加	(5) 水戸市への移住して	(6) 水戸市からの移住して	(7) 芸術文化活性化やスポーツ	(8) 水戸の歴史を生かす	(9) 豊かな自然環境を生かす
全体		1,576	30.1	15.0	20.0	7.4	8.9	2.6	6.0	7.7	9.8
性別	男性	681	30.7	17.3	23.6	8.2	11.5	3.7	7.9	10.9	10.4
	女性	895	29.6	13.3	17.2	6.8	7.0	1.8	4.6	5.3	9.4
全体		1,575	30.0	15.0	19.9	7.4	9.0	2.6	6.0	7.6	9.8
年齢別	20歳未満	353	23.2	19.5	17.3	6.8	8.5	4.2	11.9	6.5	13.0
	20歳代	74	31.1	20.3	13.5	2.7	6.8	1.4	4.1	5.4	10.8
	30歳代	147	27.2	13.6	16.3	7.5	8.2	1.4	2.7	4.1	7.5
	40歳代	242	23.1	15.7	22.3	6.2	7.0	2.1	3.7	7.4	11.2
	50歳代	223	39.5	15.2	28.7	6.7	13.5	2.7	7.2	4.9	5.8
	60歳代	264	34.8	11.7	16.7	10.6	7.6	3.0	2.3	9.5	10.2
	70歳以上	272	33.8	11.0	20.6	7.7	9.9	1.5	5.5	12.1	8.5

(%)

		n	(10) 若い世代の増加	(11) 出産・子育てがしやすい環境づくり	(12) 子どもの充実の教育	(13) ワークライフバランスの意識改革	(14) バスの利便性の向上	(15) 古くから住み慣れた住宅の住みやすさ	(16) 医療や介護のサービスを充実し、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくり	(17) 地域防災の取り組み	(18) 近隣の施設や図書館など連携
全体		1,576	16.5	28.7	13.8	10.5	30.8	16.3	43.7	18.6	5.2
性別	男性	681	17.6	26.1	12.6	7.9	28.8	15.3	36.1	17.0	7.2
	女性	895	15.6	30.6	14.7	12.5	32.3	17.1	49.4	19.8	3.7
全体		1,575	16.4	28.6	13.8	10.5	30.9	16.4	43.7	18.6	5.3
年齢別	20歳未満	353	12.2	25.8	18.4	12.7	36.0	13.9	27.2	17.3	11.6
	20歳代	74	14.9	45.9	10.8	25.7	43.2	9.5	23.0	10.8	5.4
	30歳代	147	15.6	51.0	25.2	20.4	31.3	15.6	30.6	11.6	3.4
	40歳代	242	16.1	32.6	22.7	12.0	31.4	17.8	41.3	19.0	3.7
	50歳代	223	20.6	21.1	5.8	6.3	25.6	16.1	50.2	22.4	3.6
	60歳代	264	19.3	27.3	8.0	6.1	26.1	17.0	59.8	20.8	1.9
	70歳以上	272	16.9	19.5	7.0	4.8	29.4	20.2	58.8	20.6	4.0

※各属性の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

性別で見ると、男女ともに「(16) 医療や介護のサービスを充実し、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくり」が最も多くなっており、女性が男性よりも約13%高くなっている。一方、「(3) 企業の進出や新しい店舗の出店により、働くことができる場所を増やす」は男性が女性よりも約6%高くなっている。

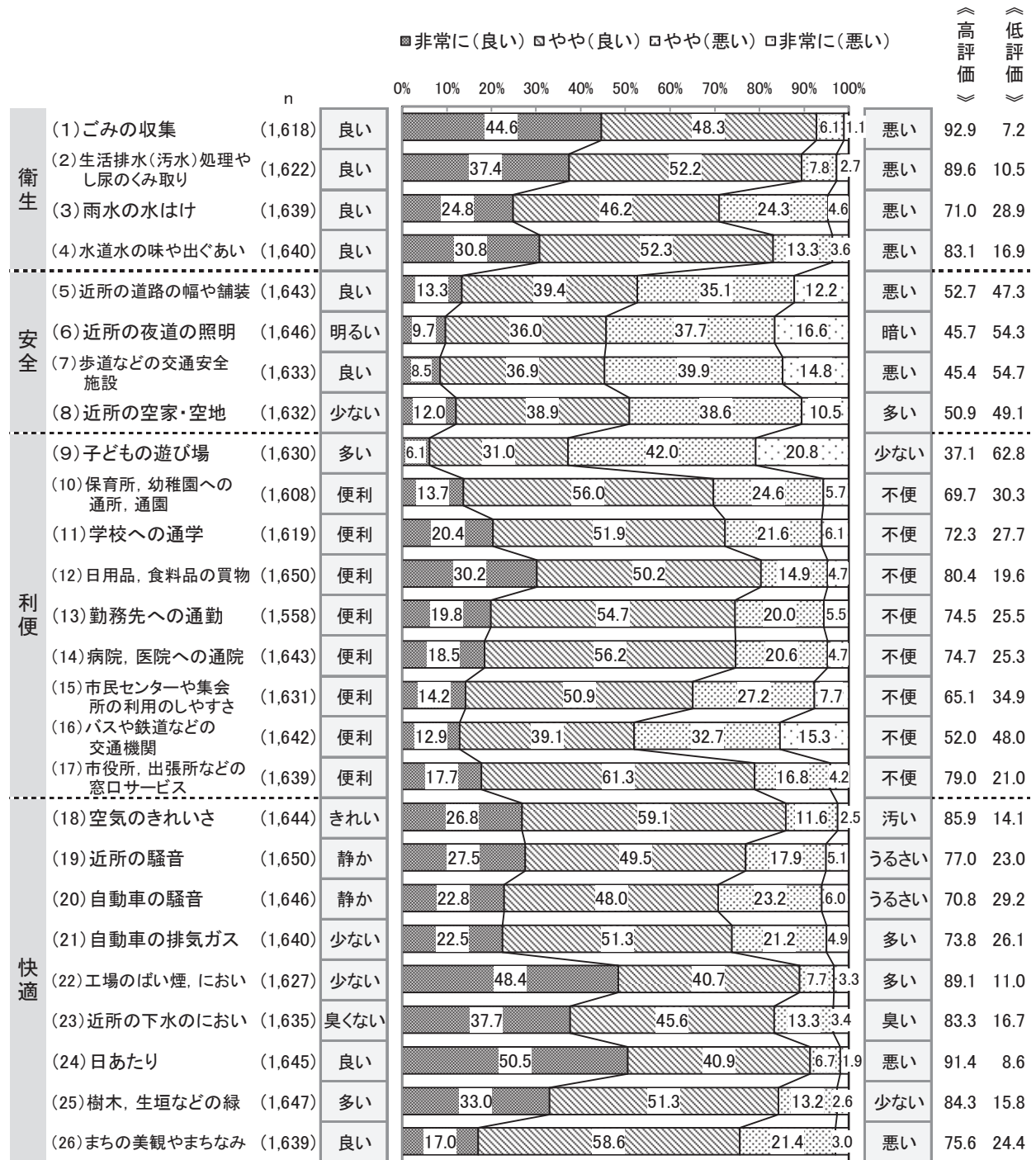
年齢別で見ると、「(16) 医療や介護のサービスを充実し、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくり」は50歳以上で5割を超え、60歳以上で約6割と特に多くなっている。「(11) 出産・子育てがしやすい環境づくり」は30歳代で51.0%と特に多く、20歳代でも45.9%となっている。「(14) バスなどの公共交通の利便性の向上」は20歳代で43.2%、「(1) 市内の企業や商店などの活動を活性化し、地域経済を活性化」は50歳代で39.5%と多い。

3 住まいの周辺の環境

3-1 生活環境の評価（問7）

生活環境の快適性への評価は高く、子どもの遊び場や歩道などの整備に対する評価は低い

問7 あなたは、お住まいの周囲の生活環境について、どのように思いますか。各項目について、「非常に（良い）…1」「やや（良い）…2」「やや（悪い）…3」「非常に（悪い）…4」の中から1つずつ選んで番号に○をつけてください。



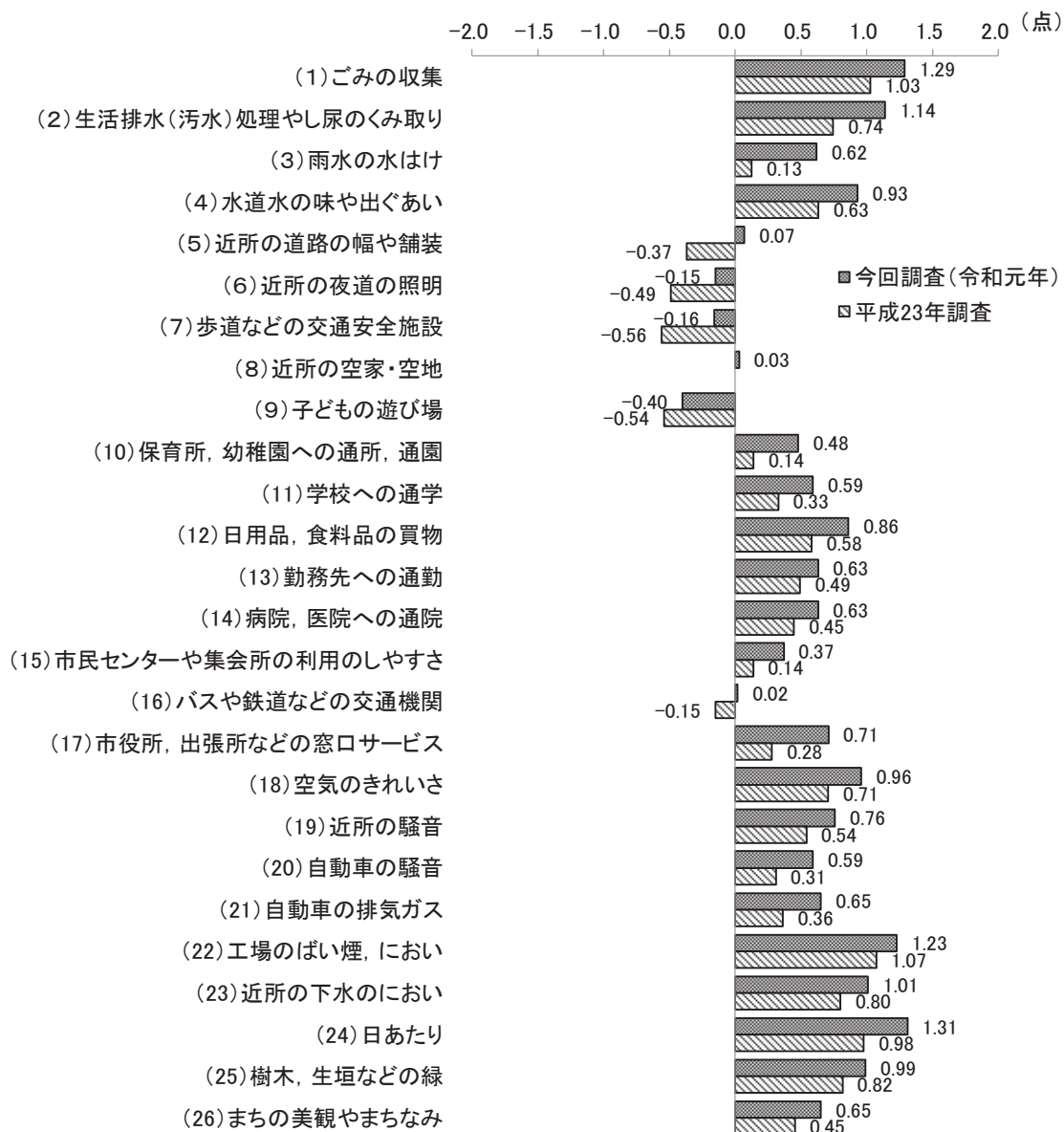
住まいの周囲の生活環境について、26項目にわたり市民に評価してもらったところ、【衛生】及び【快適】の分野では「非常に（良い）」と「やや（良い）」を合わせた《高評価》が全ての項目で7割以上となっており、「(1) ごみの収集」(92.9%) や「(24) 日あたり」(91.4%) で特に評価が高くなっている。一方、【安全】の分野では《高評価》は4～5割台にとどまっており、「(7) 歩道などの交通安全施設」と「(6) 近所の夜道の照明」は「やや（悪い）」と「非常に（悪い）」を合わせた《低評価》が5割台と、評価が低くなっている。また、【利便】の分野は評価が高い項目と低い項目に分かれており、「(12) 日用品、食料品の買物」は《高評価》が80.4%と高いが、「(9) 子どもの遊び場」は《低評価》が62.8%となっている。

次に、各項目の結果を、以下の方法により「評価点」として数値化した。なお、無回答の場合は数値化の際の母数から除外した。

$$\blacksquare \text{ 評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「非常に（良い）」} \times 2 \text{ 点} + \text{「やや（良い）」} \times 1 \text{ 点} + \\ \text{「やや（悪い）」} \times (-1 \text{ 点}) + \text{「非常に（悪い）」} \times (-2 \text{ 点}) \end{array}}{\text{回答数} - \text{無回答}}$$

この算出方法（加重平均）では、評価点は-2.00点～+2.00点の間に分布し、0.00点が中間点であり、+2.00点に近いほど評価が高く、逆に-2.00点に近いほど評価が低いということを表す。

平成23年調査との比較 評価点 生活環境の評価



※「(8) 近所の空家・空地」は今回調査で追加

※「(11) 学校への通学」は、平成23年調査では「小・中学校への通学」

※「(16) バスや鉄道などの交通機関」は、平成23年調査では「バスなどの交通機関」

全26項目中23項目でプラスとなっており、市民からの評価が高い項目は、「(24) 日あたり」1.31点、「(1) ごみの収集」1.29点、「(22) 工場のばい煙, におい」1.23点、「(2) 生活排水(汚水)処理やし尿のくみ取り」1.14点となっている。

一方、市民からの評価が低い項目は、「(9) 子どもの遊び場」-0.40点、「(7) 歩道などの交通安全施設」-0.16点、「(6) 近所の夜道の照明」-0.15点となっている。

こうしたことから、生活環境の快適性への評価は高いが、子どもの遊び場や歩道などの整備に対する評価は低いことがわかる。

全項目で平成23年調査よりも高評価となり、特に「(3) 雨水の水はけ」、「(5) 近所の道路の幅や舗装」、「(17) 市役所, 出張所などの窓口サービス」などで評価が大きく向上した。

一方、「(9) 子どもの遊び場」は他のマイナス項目と比べても平成23年調査との差が少なく、低評価にとどまっている。

性別、年齢別 評価点 生活環境の評価

(点)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
		ごみの収集	生活排水の処理	雨水の水はけ	水道水の味や匂い	近所装束の道路の幅	近所の夜道の照明	歩道などの交通安全	近所の空き家・空地	子どもの遊び場	保育所、幼稚園への通学	学校への通学	日用品、食料品の	勤務先への通勤
全体		1.29	1.14	0.63	0.93	0.07	-0.16	-0.15	0.03	-0.40	0.48	0.59	0.87	0.64
性別	男性	1.30	1.12	0.68	0.90	0.03	-0.12	-0.17	0.02	-0.35	0.41	0.59	0.89	0.56
	女性	1.29	1.15	0.58	0.96	0.10	-0.19	-0.15	0.04	-0.44	0.53	0.59	0.85	0.71
全体		1.29	1.14	0.62	0.93	0.07	-0.16	-0.15	0.03	-0.40	0.48	0.59	0.87	0.64
年齢別	20歳未満	1.23	1.17	0.78	0.92	0.21	-0.57	0.05	0.26	-0.16	0.67	0.73	1.20	0.72
	20歳代	1.05	1.12	0.59	0.66	-0.03	-0.08	-0.07	0.28	-0.41	0.20	0.73	1.03	0.49
	30歳代	1.23	1.06	0.53	0.65	-0.18	-0.30	-0.33	0.10	-0.57	0.35	0.37	0.99	0.73
	40歳代	1.23	1.20	0.53	0.78	0.06	-0.23	-0.41	0.05	-0.49	0.55	0.52	0.89	0.68
	50歳代	1.27	1.07	0.55	0.93	0.00	-0.08	-0.25	-0.01	-0.40	0.41	0.63	0.77	0.64
	60歳代	1.30	1.07	0.46	0.99	-0.07	-0.15	-0.23	-0.15	-0.54	0.34	0.49	0.68	0.56
	70歳以上	1.53	1.19	0.78	1.25	0.22	0.39	0.01	-0.16	-0.39	0.50	0.62	0.60	0.56

(点)

		(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)
		病院、医院への通院	市民センターの集まり	バスや鉄道などの	市の窓口サービスなど	空気のきれいさ	近所の騒音	自動車の騒音	自動車の排気ガス	工場のばい煙、におい	近所の下水のにおい	日あたり	樹木、生垣などの緑	まちなみ
全体		0.64	0.37	0.02	0.72	0.96	0.77	0.58	0.65	1.24	1.01	1.32	0.99	0.66
性別	男性	0.63	0.34	0.01	0.68	0.96	0.73	0.56	0.69	1.22	1.02	1.30	1.00	0.63
	女性	0.65	0.39	0.02	0.74	0.96	0.79	0.60	0.62	1.25	1.01	1.33	0.98	0.67
全体		0.64	0.37	0.02	0.72	0.96	0.77	0.59	0.65	1.23	1.01	1.32	0.99	0.66
年齢別	20歳未満	0.81	0.35	0.32	0.66	0.94	0.84	0.73	0.74	1.29	1.04	1.39	1.09	0.69
	20歳代	0.59	0.18	-0.07	0.46	0.78	0.62	0.54	0.50	1.18	1.05	1.18	0.84	0.80
	30歳代	0.81	0.01	-0.15	0.59	0.82	0.74	0.53	0.62	1.30	1.00	1.27	1.04	0.61
	40歳代	0.61	0.38	-0.10	0.70	0.77	0.69	0.47	0.45	1.12	1.02	1.32	0.88	0.63
	50歳代	0.58	0.37	-0.09	0.56	0.93	0.74	0.57	0.69	1.25	1.03	1.24	0.87	0.57
	60歳代	0.54	0.46	-0.10	0.88	1.12	0.73	0.49	0.71	1.25	0.95	1.33	1.03	0.71
	70歳以上	0.53	0.54	0.04	0.90	1.15	0.85	0.65	0.69	1.21	0.99	1.34	1.04	0.65

※評価点がマイナスの項目に色付けしている。

性別で見ると、評価点がマイナスの項目は男女で一致しており、「(9) 子どもの遊び場」と「(6) 近所の夜道の照明」は特に女性で評価が低くなっている。

年齢別で見ると、「(9) 子どもの遊び場」は全ての年齢層で評価点がマイナスとなっており、特に30歳代で-0.57点、60歳代で-0.54点と評価が低くなっている。「(6) 近所の夜道の照明」は20歳未満で-0.57点、「(7) 歩道などの交通安全施設」は40歳代で-0.41点と評価が低くなっている。

地区別 評価点 生活環境の評価

(点)

	(1) ごみの 収集	(2) 生の 生活くみ 排水取り 処理やし 尿	(3) 雨水の 水はけ	(4) 水道水 の味や 出ぐあ い	(5) 近舗装 所の 道路の 幅や	(6) 近所の 夜道の 照明	(7) 歩道 などの 交通 安全	(8) 近所 の空家 ・空地	(9) 子 ども の遊 び場	(10) 保通 育所、 通園 ・幼稚園 への	(11) 学 校へ の通 学	(12) 日買 用品 ・食 料品の	(13) 勤 務先 への 通 勤	
全 体	1.29	1.14	0.63	0.94	0.06	-0.16	-0.16	0.03	-0.40	0.48	0.59	0.87	0.65	
地区別	三の丸	1.37	1.48	0.69	0.85	0.24	0.28	0.20	-0.09	-0.78	0.19	0.80	0.04	0.70
	五 軒	1.63	1.46	0.88	1.10	0.27	0.07	0.15	0.15	-0.66	0.71	0.78	0.37	0.76
	新 荘	1.28	1.34	0.84	1.00	-0.28	0.28	-0.11	-0.89	-0.32	0.57	1.11	0.21	0.37
	城 東	1.30	1.32	0.69	0.88	0.36	0.10	0.10	-0.48	-0.37	0.84	0.86	0.75	0.85
	浜 田	1.28	1.21	0.19	0.97	0.19	0.22	0.06	0.05	-0.35	0.67	0.76	0.95	0.77
	常 磐	1.19	1.11	0.59	0.80	-0.24	-0.22	-0.38	-0.33	-0.53	0.41	0.65	1.13	0.52
	緑 岡	1.25	1.23	0.94	1.11	0.57	-0.24	-0.24	-0.04	-0.31	0.67	0.65	1.11	0.86
	寿	1.48	1.15	0.75	1.03	0.25	-0.25	0.10	-0.02	-0.03	0.85	0.58	1.22	0.71
	上大野	1.64	0.73	0.27	1.13	-0.13	-0.50	-0.60	-0.13	-1.00	1.00	0.29	0.33	0.46
	柳 河	1.50	1.00	0.44	1.00	0.29	-0.47	-0.18	0.35	-0.29	-0.35	-0.35	-0.65	0.00
	渡 里	1.47	1.01	0.51	0.94	0.06	-0.33	-0.20	-0.03	-0.68	0.33	0.57	1.01	0.66
	吉 田	1.22	0.96	0.39	0.77	-0.33	-0.14	-0.42	0.06	-0.43	0.55	0.37	1.23	0.67
	酒 門	1.26	1.07	0.89	1.03	-0.09	0.12	0.07	0.16	-0.37	0.55	0.59	0.90	0.41
	石 川	1.40	1.12	0.70	1.18	0.02	-0.30	-0.75	-0.18	-0.34	0.80	0.91	0.48	0.53
	飯 富	1.38	1.52	0.79	1.41	0.62	-0.03	0.21	-0.21	-0.48	-0.64	-0.14	-0.41	-0.42
	国 田	1.15	0.86	0.15	1.10	-0.45	-0.62	-0.24	-0.15	-0.89	-0.18	0.33	-0.50	0.06
	河和田	1.24	0.92	0.53	0.88	-0.19	-0.35	-0.37	-0.10	-0.37	0.38	0.38	1.08	0.67
	上中妻	1.19	0.92	0.65	0.96	-0.12	-0.23	0.08	-0.20	-0.58	0.23	0.19	0.58	0.63
	見 川	1.31	1.23	0.49	0.89	-0.02	-0.19	-0.51	0.27	-0.44	0.29	0.74	1.02	0.89
	千 波	1.31	1.29	0.73	0.82	0.08	-0.04	-0.08	0.31	-0.50	0.56	0.59	0.89	0.69
	梅が丘	1.32	1.29	0.91	1.05	0.10	0.10	-0.27	0.13	-0.56	0.64	0.78	1.23	0.87
	双葉台	1.30	1.22	1.01	1.27	0.46	0.05	0.22	-0.18	-0.05	0.61	0.63	0.99	0.67
	笠 原	1.25	1.24	0.62	0.78	0.24	-0.16	-0.03	0.49	-0.01	0.53	0.74	1.48	0.89
	赤 塚	1.31	1.12	0.54	0.87	-0.04	-0.31	-0.16	0.24	-0.29	0.47	0.80	1.13	0.82
	吉 沢	1.27	0.85	0.15	0.70	-0.43	-0.50	-0.54	0.15	-0.54	0.32	0.60	1.04	0.79
	堀 原	1.24	1.29	0.53	1.24	0.21	0.00	0.09	0.09	-0.03	0.85	0.85	1.38	1.00
下大野	1.26	0.74	0.37	0.79	0.05	-0.32	-0.11	0.53	-0.84	-0.42	0.00	0.21	0.72	
稲荷第一	1.29	0.89	0.69	0.43	0.24	-0.41	-0.21	0.32	-0.07	0.36	0.41	0.90	0.19	
稲荷第二	1.50	0.94	0.61	0.89	0.28	-0.89	0.00	0.50	0.06	0.71	0.18	1.17	0.25	
大 場	1.27	1.17	0.83	0.83	0.00	-0.92	-0.67	0.55	-0.82	-0.17	-0.67	0.25	0.25	
妻 里	1.10	0.76	0.55	0.79	0.22	-0.75	-0.11	0.26	-0.20	0.58	0.40	0.95	1.06	
鯉 淵	0.96	0.80	0.69	1.04	-0.38	-0.64	-0.24	0.00	-1.13	0.04	-0.33	0.20	-0.42	
内 原	0.92	0.88	0.38	0.72	0.10	-0.60	-0.31	-0.30	0.00	0.62	0.85	0.94	0.69	

※評価点がマイナスの項目に色付けている。

地区別 評価点 生活環境の評価（続き）

（点）

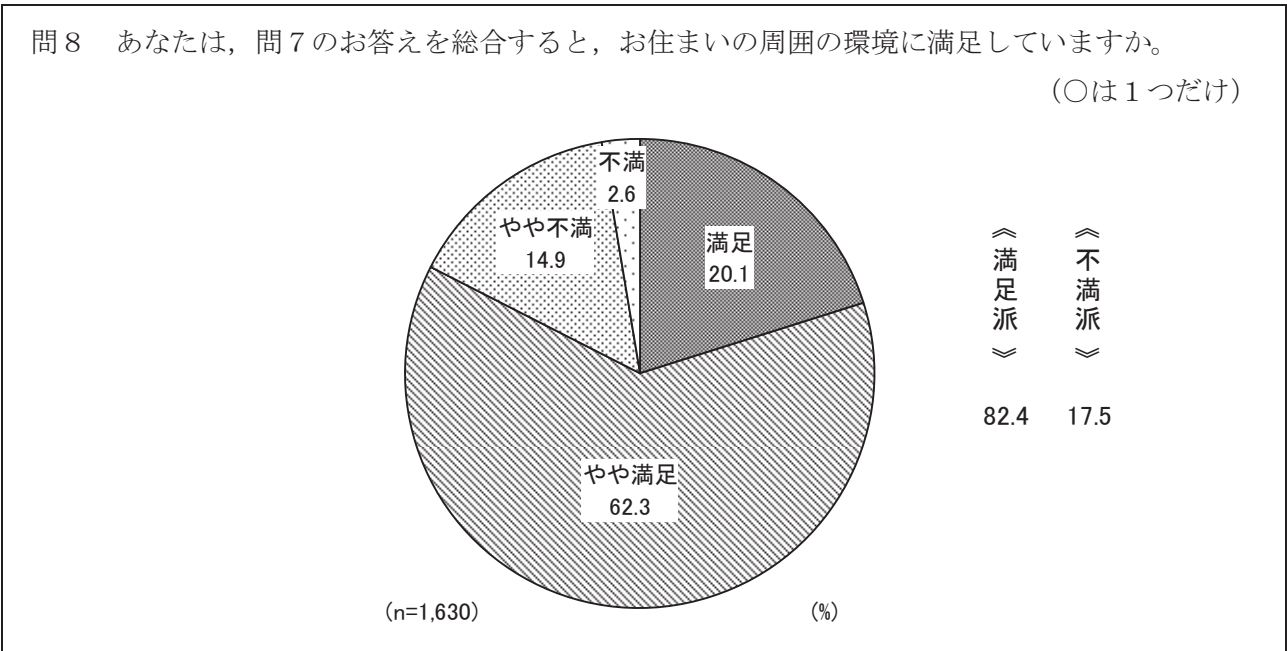
	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)
	病院、 医院への 通院	市の利用 センター や集会所 のしやす さ	交通機 関のバ スや鉄 道など の	市の役 所、サ ービス 出張所 など	空気の きれいさ	近所 の騒音	自動 車の騒 音	自動 車の排 気ガス	工場の ばい煙 にお	近所 の下水 のにお	日あた り	樹木、 生垣な どの緑	ま ちの美 観やま ちな
全 体	0.64	0.37	0.02	0.72	0.97	0.77	0.59	0.66	1.23	1.01	1.32	0.99	0.65
地 区 別	三の丸	0.93	0.19	0.63	0.61	0.70	0.33	0.26	0.30	1.43	1.09	1.17	0.94
	五 軒	0.81	0.41	0.49	0.95	0.90	0.51	0.46	0.20	1.42	1.15	1.17	0.93
	新 荘	0.33	0.44	0.23	0.49	0.67	0.62	0.51	0.71	1.32	1.26	1.38	1.10
	城 東	0.61	0.37	0.14	0.86	1.12	0.82	0.66	0.80	1.10	0.64	1.16	0.84
	浜 田	0.87	0.22	0.13	0.61	0.92	0.62	0.29	0.44	1.16	0.89	1.30	0.94
	常 磐	0.65	0.37	0.49	0.71	0.88	0.69	0.49	0.41	1.20	0.95	1.13	0.73
	緑 岡	0.43	0.51	0.20	0.74	1.07	0.89	0.83	0.72	1.15	1.13	1.58	1.02
	寿	0.81	0.27	-0.33	0.65	0.95	0.98	0.75	0.85	1.42	1.05	1.42	1.07
	上大野	0.40	0.53	-0.27	0.73	1.33	0.47	0.20	0.53	0.62	0.29	1.73	1.33
	柳 河	0.06	0.41	-0.18	1.06	1.29	0.59	0.82	0.71	1.35	0.65	1.56	1.25
	渡 里	0.61	0.51	0.04	0.90	0.94	0.48	0.26	0.54	1.36	0.75	1.46	0.96
	吉 田	0.72	0.36	-0.16	0.73	0.74	0.59	0.32	0.19	1.13	0.81	1.15	0.59
	酒 門	0.50	0.63	-0.34	0.78	0.95	0.90	0.49	0.60	1.40	1.01	1.46	1.12
	石 川	0.52	0.27	0.09	0.45	1.07	0.73	0.93	0.66	1.32	1.20	1.25	0.98
	飯 富	-0.17	0.14	-1.10	0.07	1.34	1.24	1.11	1.07	1.50	1.28	1.59	1.34
	国 田	-0.58	0.89	-0.90	1.00	1.52	1.00	0.90	1.14	1.40	1.45	1.62	1.35
	河和田	0.65	0.56	-0.04	0.63	0.90	0.60	0.21	0.35	1.40	0.90	1.32	0.73
	上中妻	0.50	0.12	-0.65	0.27	1.12	0.77	0.35	0.77	1.27	1.23	1.54	1.23
	見 川	0.65	0.50	0.16	0.76	0.91	0.85	0.75	0.65	1.34	1.09	1.07	0.94
	千 波	0.73	-0.09	0.08	0.74	1.01	0.79	0.72	0.91	1.35	1.18	1.17	0.98
	梅が丘	0.75	0.65	0.16	1.00	1.03	1.09	0.84	0.84	1.38	1.15	1.23	0.85
	双葉台	1.14	0.70	0.19	0.81	1.35	0.97	0.92	1.05	1.30	1.22	1.41	1.28
	笠 原	0.79	0.29	0.04	0.65	0.91	0.83	0.63	0.72	1.32	1.16	1.28	1.00
	赤 塚	0.75	0.17	0.51	0.69	1.00	0.80	0.63	0.67	1.25	1.14	1.49	0.81
	吉 沢	0.74	0.35	-0.17	0.65	0.87	0.76	0.56	0.54	0.93	0.59	1.46	0.65
	堀 原	1.03	0.85	0.62	1.12	1.15	0.59	0.74	0.85	1.44	1.18	1.38	1.35
下大野	0.32	0.37	0.22	0.68	1.21	0.68	0.16	0.53	1.47	0.95	1.58	1.47	
稲荷第一	0.33	0.59	-0.80	0.90	1.10	0.93	0.41	0.66	1.07	0.97	1.43	1.45	
稲荷第二	0.72	0.06	-0.72	0.67	1.50	0.67	0.61	0.94	1.61	1.44	1.83	1.50	
大 場	0.08	0.08	-1.25	0.58	1.58	1.00	0.92	1.17	1.42	1.50	1.67	1.58	
妻 里	0.60	0.35	-0.30	0.45	0.05	0.85	0.60	0.70	-0.11	0.45	1.05	0.95	
鯉 淵	0.16	0.08	-0.88	0.38	0.84	1.20	0.64	0.92	1.13	0.83	1.62	1.52	
内 原	0.50	0.12	0.04	0.60	0.39	0.60	0.54	0.54	-0.06	0.50	1.06	0.86	

※評価点がマイナスの項目に色付けている。

地区別でみると、「(9) 子どもの遊び場」は全33地区中31地区で評価点がマイナスとなっており、特に鯉淵地区(-1.13点)、上大野地区(-1.00点)、国田地区(-0.89点)などで評価が低くなっている。「(16) バスや鉄道などの交通機関」は大場地区(-1.25点)、飯富地区(-1.10点)、「(6) 近所の夜道の照明」は大場地区(-0.92点)、稲荷第二地区(-0.89点)、「(8) 近所の空家・空地」は新荘地区(-0.89点)で特に評価が低くなっている。

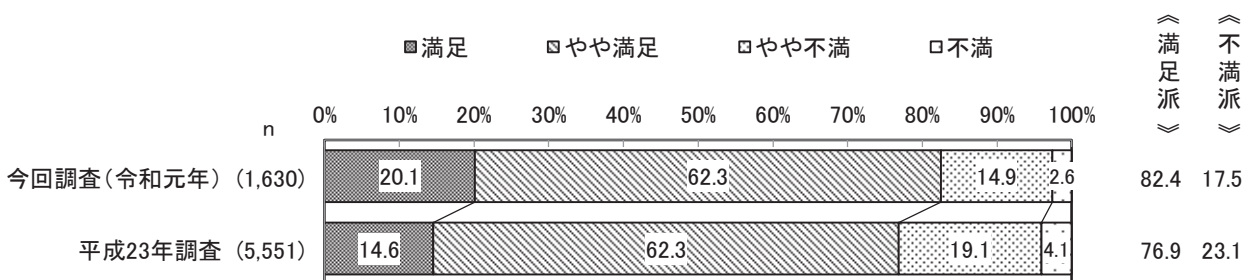
3-2 生活環境の満足度（問8）

“満足派”が8割強



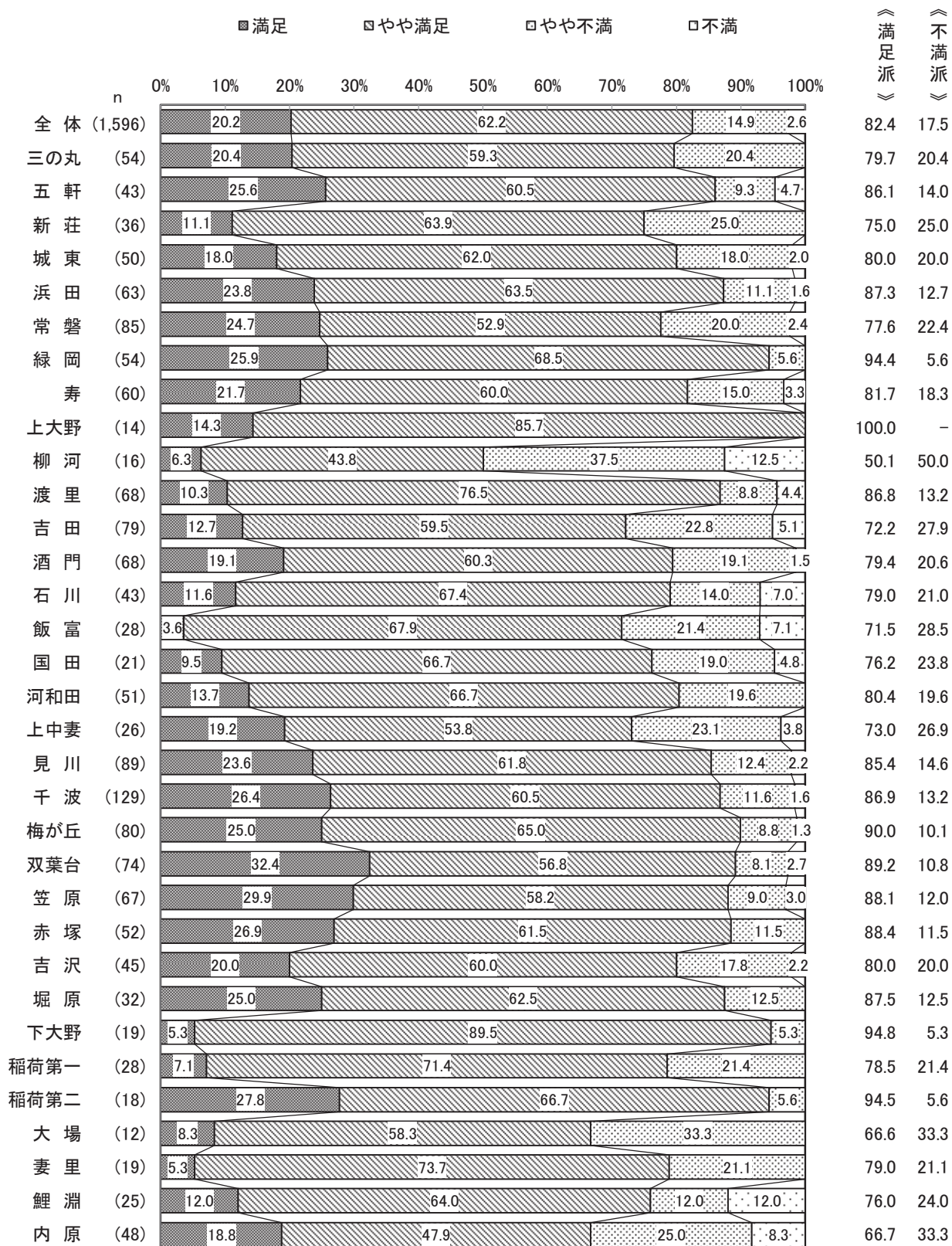
市民を取り巻く生活環境を総合的にみた満足度をみると、「満足」が20.1%で、これに「やや満足」62.3%を合わせた《満足派》が82.4%を占めている。一方、「やや不満」は14.9%、これに「不満」2.6%を合わせた《不満派》が17.5%となっている。このように、《満足派》は《不満派》の5倍近くとなっている。

平成23年調査結果との比較 生活環境の満足度



「満足」が平成23年調査より増加し、《満足派》は約6%増加している。

地区別 生活環境の満足度

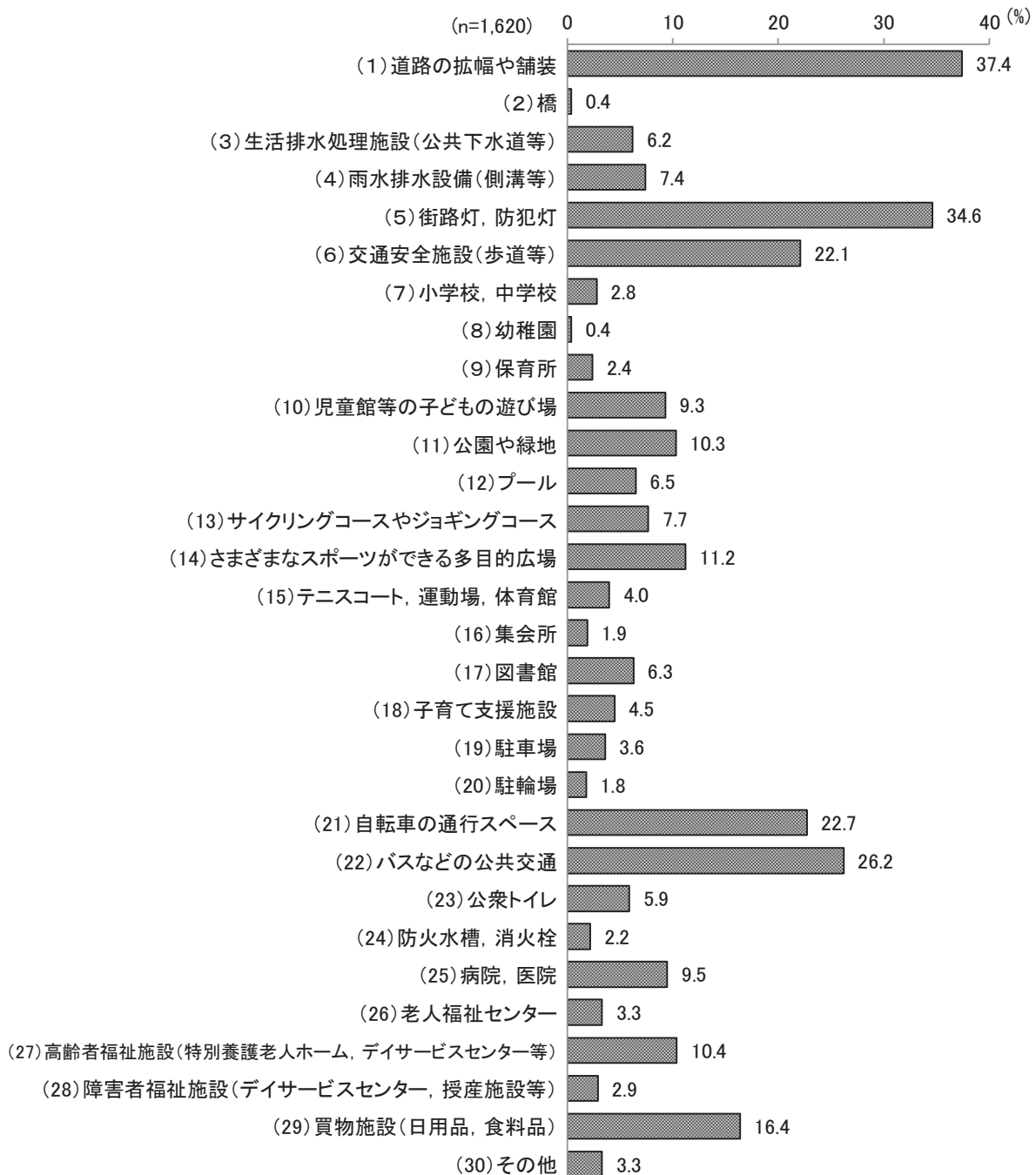


地区別で見ると、《満足派》は緑岡地区で94.4%と最も多く、次いで梅が丘地区90.0%、双葉台地区89.2%となっている。一方、《不満派》は内原地区で33.3%と最も多く、次いで飯富地区28.5%、吉田地区27.9%となっている。

3-3 施設整備の要望（問9）

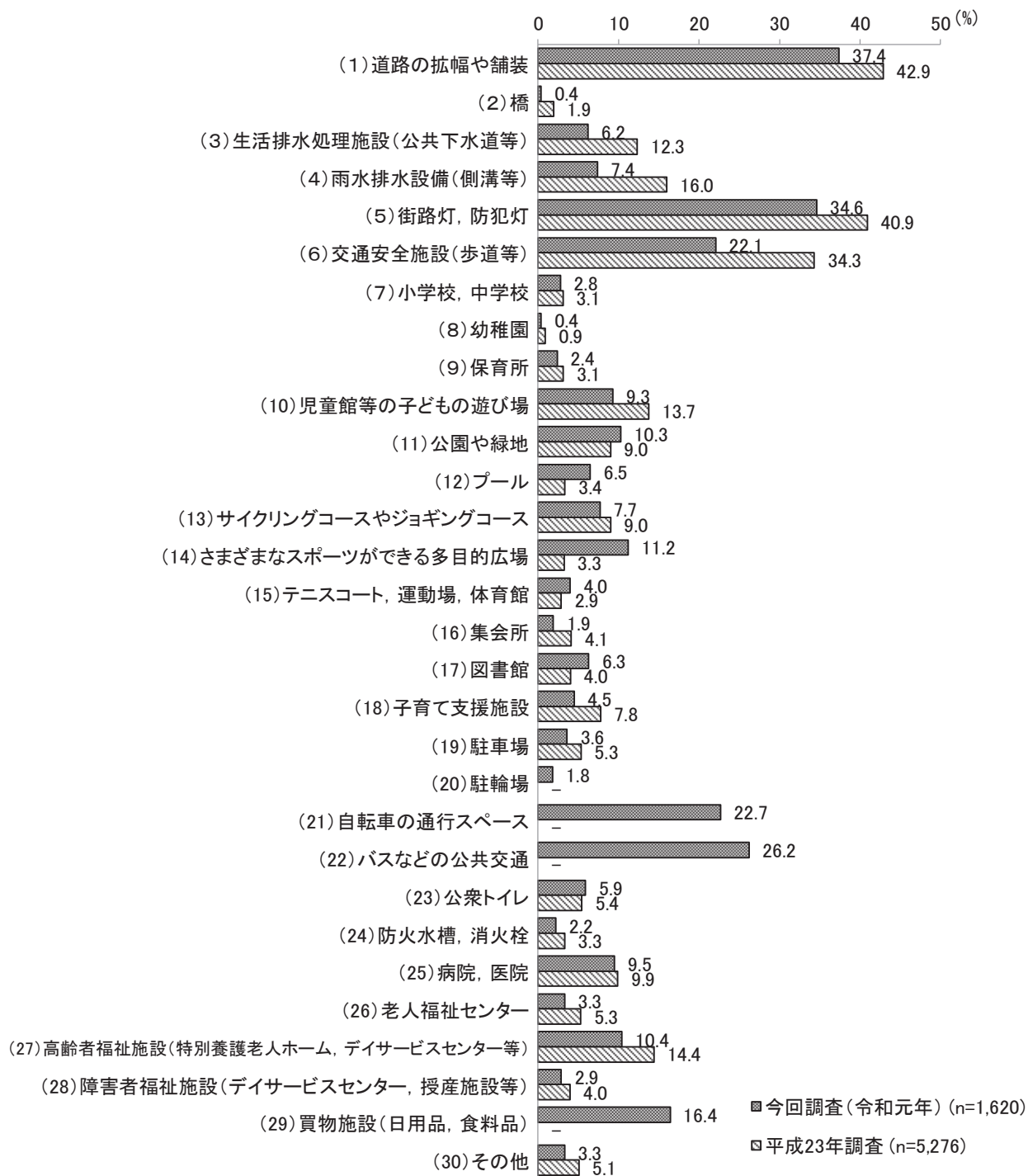
生活基盤面での整備要望が高い

問9 あなたがお住まいの地区で、整備をしてもらいたいと思う施設は何ですか。次の中から3つまで選んで、その番号を下記の回答欄に記入してください。



各地域で整備要望の高い施設についてたずねたところ、「(1) 道路の拡幅や舗装」が37.4%で最も多く、以下「(5) 街路灯, 防犯灯」34.6%、「(22) バスなどの公共交通」26.2%、「(21) 自転車の通行スペース」22.7%、「(6) 交通安全施設(歩道等)」22.1%の順で続いている。

平成23年調査結果との比較 施設整備の要望



※平成23年調査は第1位～第3位の合計

※「(7) 小学校, 中学校」は平成23年調査は「小学校」と「中学校」の合計

※「(14) さまざまなスポーツができる多目的広場」は平成23年調査は「ゲートボール場」と「テニスコート, 運動場, 体育館」の合計

※「(20) 駐輪場」, 「(21) 自転車の通行スペース」, 「(22) バスなどの公共交通」, 「(29) 買物施設(日用品, 食料品)」は今回調査で追加

「(1) 道路の拡幅や舗装」と「(5) 街路灯, 防犯灯」は平成23年調査, 今回調査ともに上位2項目で, 「(6) 交通安全施設(歩道等)」も上位となっている。「(14) さまざまなスポーツができる多目的広場」は今回調査で増加し, 引き続き整備要望が高い。一方, 「(10) 児童館等の子どもの遊び場」, 「(4) 雨水排水設備(側溝等)」, 「(3) 生活排水処理施設(公共下水道等)」は平成23年調査では上位に入っているが, 今回調査では前回より整備要望が低くなっている。

性別，年齢別 施設整備の要望

(%)

		n	(1) 道路の 拡幅や 舗装	(2) 橋	(3) 生活(公 共排水 処理施 設等)	(4) 雨(側 溝等) 排水設 備	(5) 街路 灯， 防犯 灯	(6) 交通 安全 施設 (歩道 等)	(7) 小学 校， 中学 校	(8) 幼 稚 園	(9) 保 育 所	(10) 遊 び 場 等 の 子 ど も の	(11) 公 園 や 緑 地	(12) プ ー ル	(13) サ イ ク リ ン グ コ ー ス	(14) さ ま ま な ス ポ ー ツ	(15) テ ニ ス コ ー ト ， 運 動
全体		1,604	37.4	0.4	6.2	7.4	34.9	22.1	2.9	0.4	2.4	9.4	10.3	6.5	7.7	11.2	4.0
性別	男性	696	43.0	0.7	5.9	6.2	31.5	23.0	2.3	0.3	2.7	7.2	10.3	7.5	10.6	14.1	6.3
	女性	908	33.1	0.2	6.5	8.3	37.4	21.4	3.3	0.4	2.2	11.0	10.4	5.8	5.4	9.0	2.2
全体		1,602	37.4	0.4	6.3	7.4	34.7	22.1	2.9	0.4	2.4	9.4	10.4	6.5	7.7	11.3	4.0
年齢別	20歳未満	357	34.2	0.3	4.5	2.5	45.7	19.0	3.1	-	1.7	5.6	9.2	8.4	4.8	16.0	10.6
	20歳代	74	48.6	1.4	1.4	2.7	39.2	14.9	2.7	-	5.4	16.2	5.4	9.5	8.1	13.5	4.1
	30歳代	147	40.8	-	4.8	5.4	30.6	27.9	10.2	1.4	6.1	17.7	18.4	9.5	6.8	8.8	2.7
	40歳代	243	37.0	1.2	5.3	8.2	38.7	28.8	5.3	0.4	1.6	12.3	13.6	8.6	7.4	9.5	3.3
	50歳代	229	36.7	0.4	4.4	8.7	35.8	19.7	0.4	-	2.6	7.9	10.5	3.9	10.5	11.4	1.7
	60歳代	263	41.1	0.4	9.9	11.8	31.6	20.2	1.1	0.8	2.3	9.1	8.7	5.3	10.3	7.2	0.8
	70歳以上	289	34.3	-	9.7	10.0	20.8	22.8	0.3	0.3	1.4	6.9	7.6	3.1	7.3	11.4	1.7

(%)

		n	(16) 集 会 所	(17) 図 書 館	(18) 子 育 て 支 援 施 設	(19) 駐 車 場	(20) 駐 輪 場	(21) 自 転 車 の 通 行 ス ペ ー 	(22) バ ス な ど の 公 共 交 通	(23) 公 衆 ト イ レ	(24) 防 火 水 槽 ， 消 火 栓	(25) 病 院 ， 医 院	(26) 老 人 福 祉 セ ン タ ー	(27) 高 齢 者 福 祉 施 設 (特 別 養 護 老 人 ホ ー ム ， デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等)	(28) サ ー ビ ス セ ン タ ー (デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 授 産 設 等)	(29) 買 物 施 設 (日 用 品 ， 食 料 品)	(30) そ の 他
全体		1,604	1.9	6.3	4.4	3.6	1.8	22.8	26.3	6.0	2.1	9.4	3.2	10.1	2.9	16.3	3.4
性別	男性	696	2.0	7.5	4.6	3.3	2.3	21.3	23.9	6.2	2.0	8.3	3.7	9.8	3.4	13.1	3.3
	女性	908	1.9	5.4	4.2	3.9	1.4	23.9	28.2	5.8	2.2	10.2	2.9	10.4	2.4	18.8	3.4
全体		1,602	1.9	6.2	4.4	3.6	1.8	22.8	26.3	6.0	2.1	9.4	3.2	10.1	2.7	16.4	3.4
年齢別	20歳未満	357	0.3	8.7	0.8	1.7	7.0	31.9	24.9	14.6	0.8	5.0	0.6	3.1	1.4	15.4	3.6
	20歳代	74	-	4.1	6.8	4.1	-	14.9	35.1	6.8	-	13.5	1.4	5.4	1.4	12.2	8.1
	30歳代	147	-	7.5	7.5	1.4	-	15.6	28.6	4.1	1.4	4.8	1.4	2.7	0.7	11.6	2.7
	40歳代	243	1.6	4.9	3.3	2.1	0.4	19.8	27.6	2.5	1.2	9.9	3.3	4.1	3.7	15.2	4.1
	50歳代	229	1.3	4.4	5.7	6.6	0.4	22.3	27.1	1.7	1.7	12.2	3.9	10.9	4.4	17.0	3.9
	60歳代	263	1.5	5.3	5.3	5.7	0.8	19.4	20.5	3.4	4.6	14.4	3.8	18.6	3.8	14.4	1.9
	70歳以上	289	6.6	6.6	5.5	4.2	-	23.2	28.4	4.8	3.5	8.7	6.9	20.4	2.8	23.2	2.4

※各地区の上位項目に色付けしている。 1位 2位 3位

性別で見ると、上位項目は男女で一致しており、「(1) 道路の拡幅や舗装」は男性が女性よりも約10%高くなっている。一方、「(5) 街路灯，防犯灯」は女性が男性よりも約6%高くなっている。

年齢別で見ると、ほぼ全ての年齢層で「(1) 道路の拡幅や舗装」，「(5) 街路灯，防犯灯」，「(22) バスなどの公共交通」が上位項目を占めており、要望の強さがうかがわれる。「(1) 道路の拡幅や舗装」と「(22) バスなどの公共交通」は20歳代でそれぞれ48.6%，35.1%，「(5) 街路灯，防犯灯」は20歳未満で45.7%と特に多くなっている。

地区別 施設整備の要望

(%)

	n	(1) 道路の 幅や舗装	(2) 橋	(3) 生(公 活排共 水下水 処理道 施設等)	(4) 雨(側 水排水 溝等)設 備	(5) 街路 灯、防 犯灯	(6) 交(歩 通安道 全等)設 施	(7) 小 学 校、中 学 校	(8) 幼 稚 園	(9) 保 育 所	(10) 児遊 童館 等の子 ども の	(11) 公 園 や 緑 地	(12) プ ール	(13) サ イ ク リ ン グ コ ー ス	(14) さ ま ま な ス ポ ー ツ	(15) テ ニ ス コ ー ト 、 運 動	
全 体	1,584	37.3	0.4	6.3	7.4	34.8	22.2	2.9	0.4	2.5	9.5	10.5	6.5	7.8	11.4	4.0	
地 区 別	三の丸	52	30.8	1.9	1.9	5.8	23.1	19.2	-	-	1.9	11.5	15.4	5.8	7.7	11.5	5.8
	五 軒	41	31.7	-	2.4	4.9	26.8	17.1	2.4	-	2.4	4.9	22.0	2.4	-	22.0	7.3
	新 荘	38	36.8	-	2.6	7.9	21.1	23.7	-	2.6	5.3	-	5.3	7.9	5.3	13.2	2.6
	城 東	50	32.0	2.0	-	8.0	20.0	22.0	2.0	-	-	16.0	14.0	4.0	8.0	8.0	4.0
	浜 田	64	26.6	1.6	7.8	12.5	29.7	21.9	1.6	1.6	3.1	6.3	6.3	4.7	7.8	15.6	7.8
	常 磐	81	46.9	-	6.2	7.4	39.5	25.9	-	-	-	16.0	14.8	13.6	6.2	11.1	1.2
	緑 岡	53	35.8	-	3.8	5.7	30.2	49.1	3.8	-	1.9	13.2	15.1	5.7	9.4	7.5	1.9
	寿	59	28.8	-	3.4	3.4	39.0	18.6	6.8	-	-	6.8	6.8	5.1	8.5	8.5	10.2
	上大野	15	40.0	-	20.0	-	40.0	6.7	-	-	-	-	20.0	-	13.3	20.0	-
	柳 河	16	18.8	6.3	25.0	6.3	37.5	-	-	-	-	-	-	12.5	6.3	-	6.3
	渡 里	68	47.1	-	7.4	7.4	35.3	17.6	1.5	1.5	1.5	10.3	11.8	7.4	8.8	7.4	1.5
	吉 田	77	48.1	-	2.6	6.5	27.3	36.4	6.5	-	2.6	9.1	6.5	3.9	10.4	10.4	2.6
	酒 門	68	51.5	-	8.8	5.9	25.0	17.6	5.9	-	2.9	7.4	8.8	4.4	8.8	17.6	5.9
	石 川	44	31.8	-	2.3	4.5	43.2	40.9	2.3	-	6.8	9.1	9.1	4.5	4.5	13.6	4.5
	飯 富	28	14.3	-	-	3.6	39.3	7.1	10.7	-	3.6	7.1	7.1	-	7.1	14.3	3.6
	国 田	21	47.6	-	23.8	14.3	33.3	14.3	-	-	-	4.8	-	-	-	4.8	-
	河和田	52	32.7	-	11.5	5.8	38.5	19.2	5.8	-	3.8	1.9	9.6	5.8	11.5	11.5	-
	上中妻	25	44.0	-	16.0	-	32.0	16.0	-	-	-	12.0	12.0	-	12.0	16.0	-
	見 川	86	45.3	1.2	2.3	11.6	30.2	31.4	1.2	-	3.5	11.6	7.0	4.7	4.7	9.3	7.0
	千 波	131	38.2	0.8	3.1	3.1	38.2	19.1	3.1	0.8	0.8	9.2	16.8	8.4	4.6	16.8	5.3
	梅が丘	79	39.2	-	5.1	2.5	38.0	20.3	-	-	1.3	11.4	13.9	6.3	5.1	6.3	3.8
	双葉台	73	31.5	1.4	9.6	6.8	34.2	19.2	4.1	-	1.4	11.0	6.8	12.3	15.1	17.8	6.8
	笠 原	67	29.9	-	1.5	6.0	44.8	14.9	4.5	-	4.5	16.4	11.9	11.9	3.0	10.4	-
	赤 塚	50	36.0	-	4.0	10.0	42.0	26.0	-	2.0	6.0	8.0	10.0	10.0	4.0	8.0	2.0
	吉 沢	45	48.9	-	8.9	15.6	33.3	33.3	8.9	-	6.7	8.9	15.6	4.4	6.7	11.1	6.7
	堀 原	33	39.4	-	-	9.1	39.4	18.2	-	3.0	6.1	12.1	-	9.1	12.1	12.1	3.0
	下大野	19	42.1	-	26.3	21.1	36.8	26.3	-	-	-	10.5	-	-	10.5	-	5.3
	稲荷第一	29	31.0	-	13.8	10.3	44.8	10.3	3.4	-	-	3.4	10.3	6.9	24.1	3.4	3.4
	稲荷第二	17	29.4	-	29.4	17.6	52.9	11.8	-	-	5.9	5.9	5.9	-	11.8	17.6	-
	大 場	11	45.5	-	-	9.1	45.5	45.5	-	-	-	9.1	-	-	18.2	9.1	-
妻 里	18	5.6	-	11.1	16.7	44.4	11.1	5.6	-	-	11.1	22.2	5.6	16.7	11.1	-	
鯉 淵	24	54.2	-	8.3	4.2	33.3	12.5	4.2	-	-	8.3	8.3	8.3	4.2	8.3	4.2	
内 原	50	30.0	-	10.0	16.0	42.0	12.0	4.0	-	6.0	10.0	4.0	8.0	8.0	4.0	4.0	

※各地区の上位項目に色付けている。 1位 2位 3位

地区別 施設整備の要望（続き）

(%)

	n	(16) 集会所	(17) 図書館	(18) 子育て支援施設	(19) 駐車場	(20) 駐輪場	(21) 自転車 の通行スベ	(22) バスなどの公共交通	(23) 公衆トイ	(24) 防火水槽 消火栓	(25) 病院 、 医院	(26) 老人福祉センター	(27) 高齢者福祉施設 (特別 養護老人ホーム、デイ サービスセンター等)	(28) 障害者福祉施設 (デイ サービスセンター、授 産施設等)	(29) 買物施設 (日用品 、 食料品)	(30) その他	
全体	1,584	2.0	6.2	4.3	3.7	1.8	22.7	26.2	5.9	2.1	9.3	3.2	10.1	2.8	16.2	3.3	
地区別	三の丸	52	-	1.9	3.8	-	5.8	23.1	19.2	11.5	1.9	5.8	-	3.8	1.9	44.2	3.8
	五軒	41	2.4	4.9	4.9	-	4.9	22.0	7.3	2.4	-	7.3	7.3	9.8	2.4	43.9	2.4
	新庄	38	5.3	7.9	7.9	5.3	2.6	31.6	13.2	5.3	2.6	26.3	2.6	10.5	-	34.2	2.6
	城東	50	2.0	8.0	6.0	10.0	-	22.0	26.0	4.0	4.0	16.0	2.0	8.0	6.0	26.0	6.0
	浜田	64	3.1	7.8	3.1	9.4	-	14.1	21.9	12.5	3.1	3.1	4.7	14.1	1.6	23.4	3.1
	常磐	81	-	8.6	2.5	4.9	6.2	24.7	8.6	3.7	1.2	7.4	1.2	11.1	3.7	7.4	7.4
	緑岡	53	1.9	5.7	1.9	3.8	3.8	26.4	24.5	7.5	-	9.4	5.7	9.4	1.9	3.8	-
	寿	59	-	18.6	5.1	5.1	1.7	15.3	28.8	8.5	1.7	8.5	8.5	11.9	5.1	8.5	5.1
	上大野	15	6.7	13.3	-	-	-	13.3	40.0	6.7	20.0	-	-	6.7	-	33.3	-
	柳河	16	12.5	-	-	-	-	6.3	62.5	-	-	-	6.3	18.8	-	56.3	6.3
	渡里	68	-	7.4	5.9	1.5	1.5	33.8	27.9	4.4	-	4.4	2.9	10.3	2.9	4.4	4.4
	吉田	77	-	5.2	1.3	1.3	2.6	18.2	29.9	9.1	1.3	13.0	2.6	10.4	3.9	13.0	2.6
	酒門	68	-	4.4	2.9	4.4	-	23.5	27.9	4.4	1.5	10.3	1.5	11.8	1.5	19.1	-
	石川	44	-	-	4.5	-	2.3	15.9	36.4	6.8	2.3	9.1	2.3	4.5	-	25.0	2.3
	飯富	28	3.6	3.6	3.6	-	-	7.1	50.0	3.6	3.6	25.0	3.6	7.1	3.6	53.6	-
	国田	21	4.8	-	14.3	-	-	4.8	42.9	9.5	-	9.5	9.5	14.3	4.8	19.0	-
	河和田	52	3.8	1.9	5.8	7.7	-	17.3	28.8	3.8	-	13.5	1.9	11.5	3.8	11.5	7.7
	上中妻	25	4.0	4.0	8.0	-	-	20.0	40.0	8.0	8.0	12.0	-	16.0	8.0	8.0	-
	見川	86	-	2.3	4.7	5.8	-	34.9	24.4	7.0	1.2	7.0	3.5	10.5	1.2	11.6	1.2
	千波	131	4.6	6.9	3.8	3.8	0.8	24.4	25.2	4.6	2.3	12.2	3.1	10.7	1.5	10.7	3.1
	梅が丘	79	2.5	3.8	-	6.3	1.3	35.4	25.3	2.5	3.8	20.3	6.3	13.9	5.1	8.9	2.5
	双葉台	73	-	8.2	2.7	1.4	-	23.3	20.5	2.7	2.7	5.5	5.5	8.2	2.7	13.7	1.4
	笠原	67	3.0	22.4	7.5	-	1.5	26.9	38.8	4.5	-	6.0	3.0	4.5	3.0	7.5	4.5
	赤塚	50	4.0	4.0	4.0	8.0	8.0	32.0	20.0	4.0	4.0	-	-	6.0	2.0	10.0	6.0
	吉沢	45	-	8.9	2.2	4.4	4.4	11.1	22.2	4.4	2.2	-	2.2	4.4	6.7	6.7	4.4
	堀原	33	3.0	-	6.1	3.0	-	39.4	18.2	15.2	3.0	3.0	-	12.1	3.0	6.1	-
	下大野	19	-	-	10.5	-	-	10.5	15.8	10.5	5.3	21.1	-	10.5	-	15.8	-
	稻荷第一	29	3.4	-	6.9	6.9	-	24.1	41.4	3.4	-	10.3	3.4	3.4	-	13.8	3.4
	稻荷第二	17	11.8	11.8	-	5.9	-	-	23.5	-	-	5.9	-	5.9	-	11.8	5.9
	大場	11	-	-	9.1	-	9.1	-	36.4	-	-	-	-	9.1	-	36.4	-
妻里	18	-	-	11.1	-	-	33.3	16.7	-	5.6	11.1	5.6	27.8	-	16.7	5.6	
鯉淵	24	-	4.2	-	-	-	12.5	45.8	8.3	-	12.5	4.2	8.3	-	20.8	8.3	
内原	50	-	2.0	8.0	2.0	2.0	14.0	28.0	12.0	4.0	6.0	2.0	16.0	8.0	12.0	4.0	

※各地区の上位項目に色付けている。 1位 2位 3位

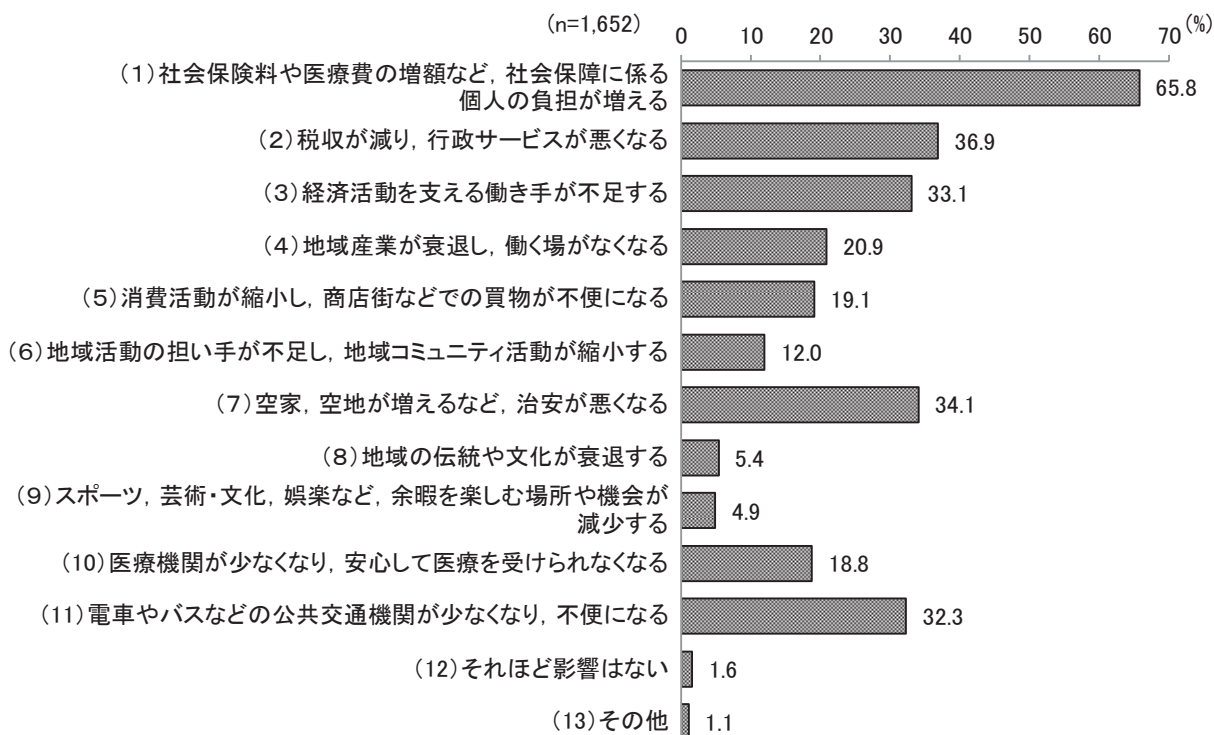
地区別でみると、「(1) 道路の拡幅や舗装」と「(5) 街路灯, 防犯灯」は多くの地区で上位項目となっており、「(1) 道路の拡幅や舗装」は鯉淵地区で54.2%、酒門地区で51.5%、「(5) 街路灯, 防犯灯」は笠原地区と稲荷第一地区でいずれも44.8%と特に多くなっている。また、「(29) 買物施設 (日用品, 食料品)」は飯富地区で56.3%と特に多いほか、三の丸地区で44.2%、五軒地区で43.9%と多い。「(22) バスなどの公共交通」も飯富地区で50.0%と最も多く、鯉淵地区 (45.8%)、国田地区 (42.9%)、稲荷第一地区 (41.4%) でも4割を超えており、これらの項目では地域差が大きくなっている。

4 人口減少に対する意識やその対応策

4-1 人口減少が進んだ場合に影響が大きいこと（問10）

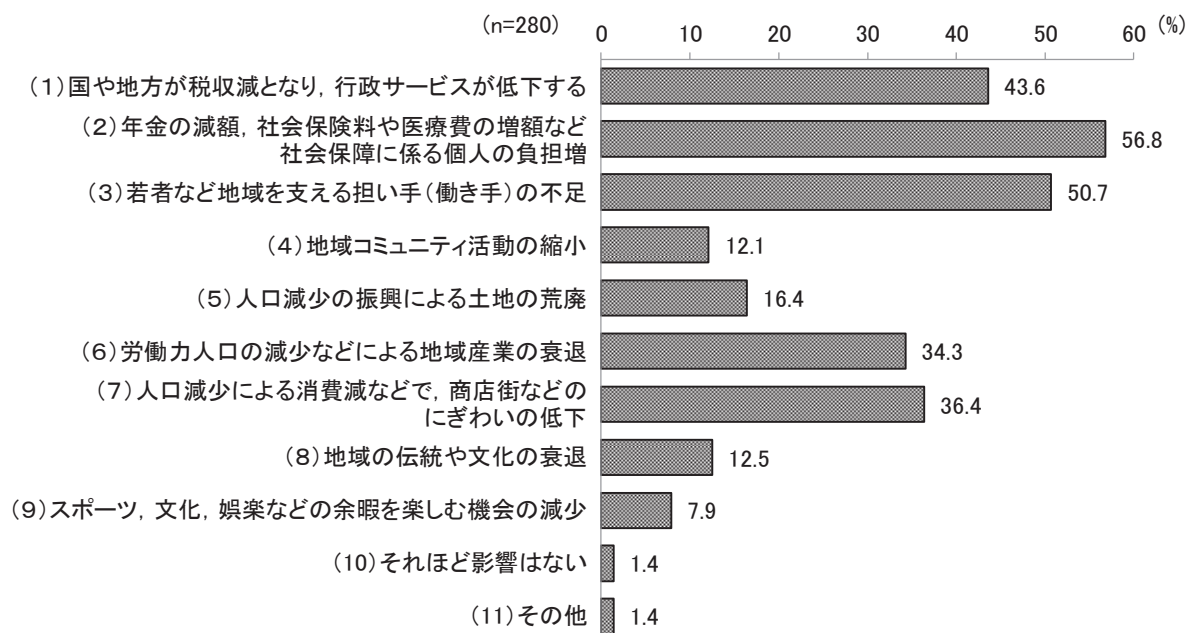
社会保障に係る個人の負担増が最も懸念されている

問10 水戸市の人口は、現在269,677人（令和元年7月1日現在）ですが、将来的には減少していくことが予想されます。水戸市の人口減少が進んだ場合に、あなたが、社会への影響が大きいと考えることは何ですか。（〇は3つまで）



人口減少が進んだ場合に影響が大きいと考えることは、「(1) 社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担が増える」が65.8%と最も多く、次いで「(2) 税収が減り、行政サービスが悪くなる」36.9%、「(7) 空家、空地が増えるなど、治安が悪くなる」34.1%、「(3) 経済活動を支える働き手が不足する」33.1%、「(11) 電車やバスなどの公共交通機関が少なくなり、不便になる」32.3%の順で続いている。

平成27年調査（参考） 人口減少によって不安に感じること



※平成27年調査は「地方創生に関する市民アンケート調査」（平成27年6月実施）（以下同様）

平成27年調査における同様の設問では、今回調査とは選択肢が異なるものの、社会保障に係る個人の負担増が最も高く、働き手の不足や税収減による行政サービスの低下が続いており、今回調査と同様の傾向が読み取れる。

性別，年齢別 人口減少が進んだ場合に影響が大きいこと

(%)

	n	(1) 社会保険料や医療費の増額など、個人の負担が増える	(2) 収入が減り、行政サービスが悪くなる	(3) 経済活動を支える働き手が不足する	(4) 地域産業が衰退し、働く場がなくなる	(5) 消費活動が縮小し、不便利になる	(6) 街などでの買い物が不便になる	(7) 空地が増えるなど、治安が悪くなる	(8) 地域の伝統や文化が衰退する	(9) スポーツ、芸術・文化など、娯楽施設が減少する	(10) 安心できる医療を受けられなくなる	(11) 電車やバスなどの公共機関が少なくなる	(12) それほど影響はない	(13) その他	
全体	1,637	65.9	37.1	33.0	20.9	19.0	11.9	34.2	5.4	4.9	18.7	32.3	1.6	1.1	
性別	男性	710	62.3	39.2	33.5	24.2	19.6	14.9	30.3	7.0	5.5	16.3	29.6	1.7	1.4
	女性	927	68.6	35.6	32.7	18.3	18.6	9.5	37.2	4.1	4.5	20.5	34.3	1.6	0.9
全体	1,635	65.9	37.1	33.1	20.9	19.0	11.9	34.2	5.4	5.0	18.5	32.3	1.7	1.1	
年齢別	20歳未満	356	53.9	31.2	40.4	24.2	16.9	11.8	27.5	7.0	11.2	14.9	34.0	1.4	2.0
	20歳代	76	63.2	35.5	39.5	27.6	17.1	10.5	14.5	10.5	6.6	22.4	30.3	1.3	1.3
	30歳代	147	70.7	48.3	24.5	19.7	15.6	8.8	28.6	4.1	6.1	19.0	34.0	2.7	2.7
	40歳代	246	74.8	40.7	34.1	22.0	16.7	6.5	32.5	3.3	3.3	20.3	28.5	2.0	0.8
	50歳代	230	67.4	40.9	34.8	25.7	18.7	13.9	30.9	6.5	3.0	18.3	29.6	0.4	0.4
	60歳代	274	75.5	43.1	30.3	15.0	21.2	15.7	38.0	4.4	1.1	17.2	26.3	1.1	-
	70歳以上	306	61.4	27.8	27.5	17.0	23.5	13.4	50.0	4.6	2.9	21.6	40.5	2.6	1.0

※各属性の上位項目に色付けしている。 1位 2位 3位

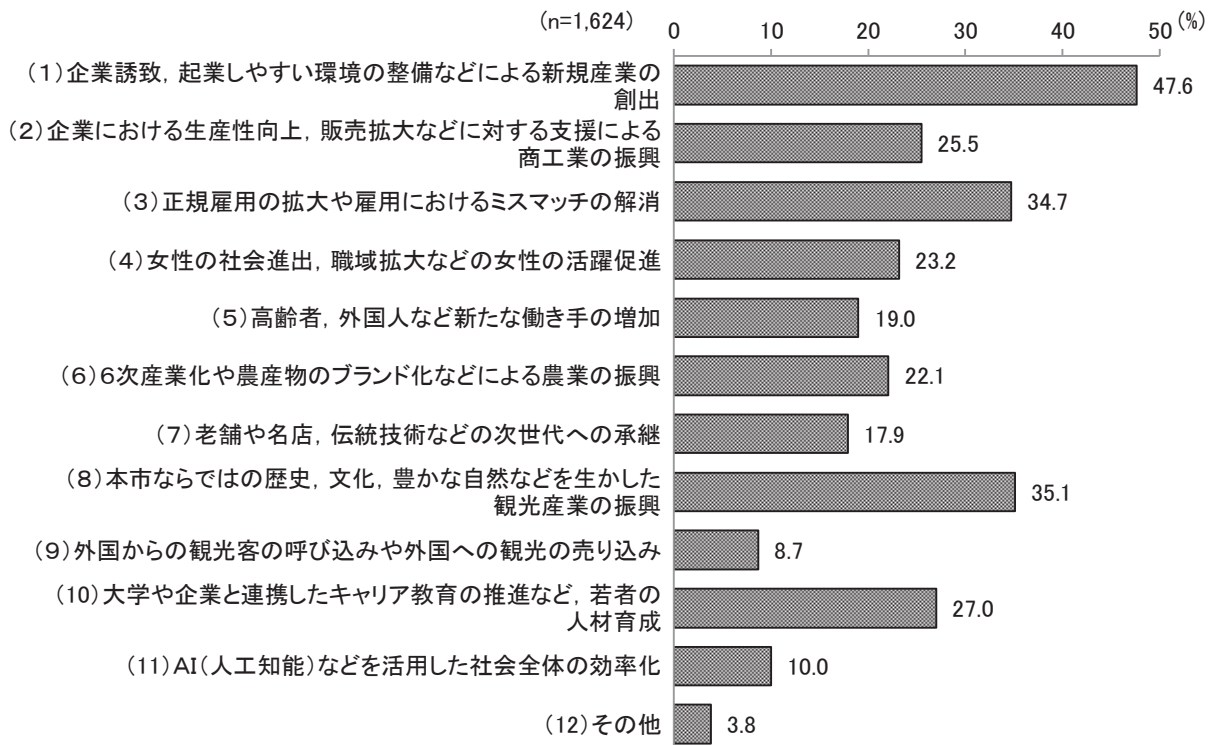
性別でみると、男女とも「(1) 社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担が増える」が最も多くなっており、女性が男性よりも約6%高くなっている。また、「(7) 空家、空地が増えるなど、治安が悪くなる」も女性が男性よりも約7%高い。一方、「(4) 地域産業が衰退し、働く場がなくなる」は男性が女性よりも約6%高くなっている。

年齢別でみると、全ての年齢層で「(1) 社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担が増える」が最も多くなっており、30歳代、40歳代、60歳代で7割台と特に多くなっている。「(2) 収入が減り、行政サービスが悪くなる」は30歳代で48.3%と最も多く、60歳代が43.1%で次いでいる。「(3) 経済活動を支える働き手が不足する」は20歳未満で40.4%、20歳代で39.5%と多くなっている。「(7) 空家、空地が増えるなど、治安が悪くなる」は70歳以上で50.0%と特に多くなっている。

4-2 産業振興のために取り組むべきこと（問11）

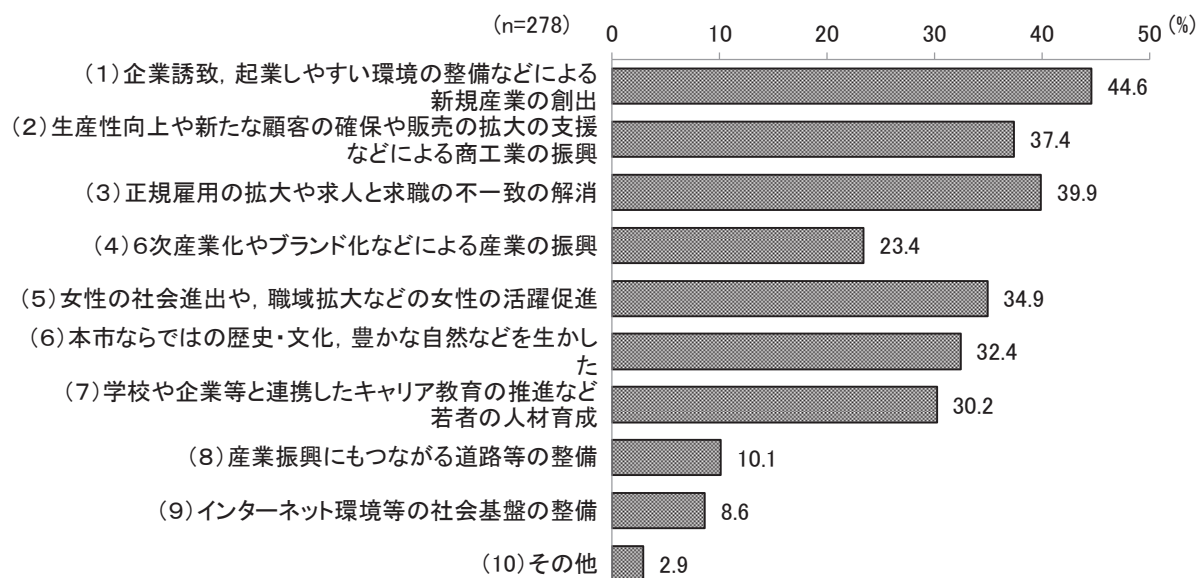
新規産業の創出，観光産業の振興，雇用ミスマッチの解消が上位3項目

問11 あなたは、地域経済の活性化を図っていくために、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。（〇は3つまで）



地域経済活性化のための取組については、「(1) 企業誘致，起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が47.6%で最も多く，以下「(8) 本市ならではの歴史，文化，豊かな自然などを生かした観光産業の振興」35.1%，「(3) 正規雇用の拡大や雇用におけるミスマッチの解消」34.7%，「(10) 大学や企業と連携したキャリア教育の推進など，若者の人材育成」27.0%，「(2) 企業における生産性向上，販売拡大などに対する支援による商工業の振興」25.5%の順で続いている。

平成27年調査（参考） 産業振興のために取り組むべきこと



平成27年調査における同様の設問では、今回調査とは選択肢が異なるものの、上位の項目は今回調査と同様の傾向となっている。

性別、年齢別、職業別 産業振興のために取り組むべきこと

(%)

		n	(1) 企業誘致、起業しやすい	(2) 新規産業の整備などによる創出	(3) 企業販売による拡大や雇用におけるミスマッチの解消	(4) 女性の社会進出、活躍域拡大	(5) 高齢者、外国人増加など新たな労働力	(6) 6次産業化や農産物の振興	(7) ランドの振興	(8) 老舗や名店、伝統技術継承	(9) 本市ならでの歴史、文化、豊かな自然などを生かした観光産業の振興	(10) 大学や企業と連携したキャリア教育の推進など	(11) A I (人工知能) などの活用	(12) その他
全体		1,609	47.5	25.6	34.6	23.3	18.9	22.0	17.9	35.1	8.6	27.0	10.1	3.7
性別	男性	704	53.6	27.6	35.4	19.2	20.5	20.7	16.3	33.9	9.1	24.6	12.2	5.3
	女性	905	42.9	24.1	34.0	26.5	17.7	23.0	19.1	35.9	8.3	28.8	8.4	2.5
全体		1,607	47.6	25.7	34.5	23.4	18.9	21.8	17.9	35.0	8.6	26.9	10.1	3.7
年齢別	20歳未満	354	36.4	24.3	27.4	24.9	20.3	14.4	19.2	25.1	16.7	33.6	15.0	5.6
	20歳代	76	43.4	25.0	35.5	26.3	10.5	14.5	25.0	38.2	11.8	23.7	14.5	6.6
	30歳代	146	49.3	26.7	38.4	30.1	11.0	19.9	15.1	27.4	8.9	29.5	11.6	6.8
	40歳代	243	42.4	21.8	36.6	24.7	16.5	23.5	17.3	41.6	9.9	27.6	9.9	4.1
	50歳代	228	57.0	33.8	36.8	18.9	19.7	24.1	14.9	36.8	4.4	24.6	5.3	3.1
	60歳代	267	50.6	26.2	40.8	16.9	23.2	28.1	18.7	35.2	3.7	22.8	7.1	1.1
	70歳以上	293	55.6	23.5	31.7	25.9	20.8	24.9	17.7	43.0	4.8	23.5	8.9	1.7
全体		1,601	47.6	25.8	34.5	23.4	18.9	22.0	17.7	35.0	8.7	27.1	10.1	3.7
職業別	正社員	385	52.2	28.6	34.5	20.3	17.7	23.4	17.7	40.0	8.1	22.6	9.6	6.2
	パート・アルバイト等	244	42.2	21.3	47.5	27.5	21.7	21.7	18.0	32.0	4.9	31.1	6.1	2.0
	自営業	119	63.0	25.2	31.9	18.5	20.2	22.7	18.5	38.7	4.2	23.5	9.2	1.7
	無職	245	55.5	26.5	32.7	25.3	22.4	28.2	13.1	38.0	6.5	23.7	10.6	2.4
	専業主婦・主夫	200	42.0	25.0	35.0	22.5	14.0	23.5	21.5	40.5	6.0	26.5	7.0	1.5
	学生・生徒	367	37.3	25.3	27.8	24.8	19.1	15.0	19.1	25.3	16.1	33.8	14.2	5.4
	その他	41	63.4	31.7	34.1	22.0	12.2	26.8	12.2	36.6	9.8	19.5	14.6	-

※各属性の上位項目に色付けしている。 1位 2位 3位

性別でみると、男女とも「(1) 企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が最も多くなっており、男性が女性よりも約11%高くなっている。一方、「(4) 女性の社会進出、活躍域拡大などの女性の活躍促進」は女性が男性よりも約7%高くなっている。

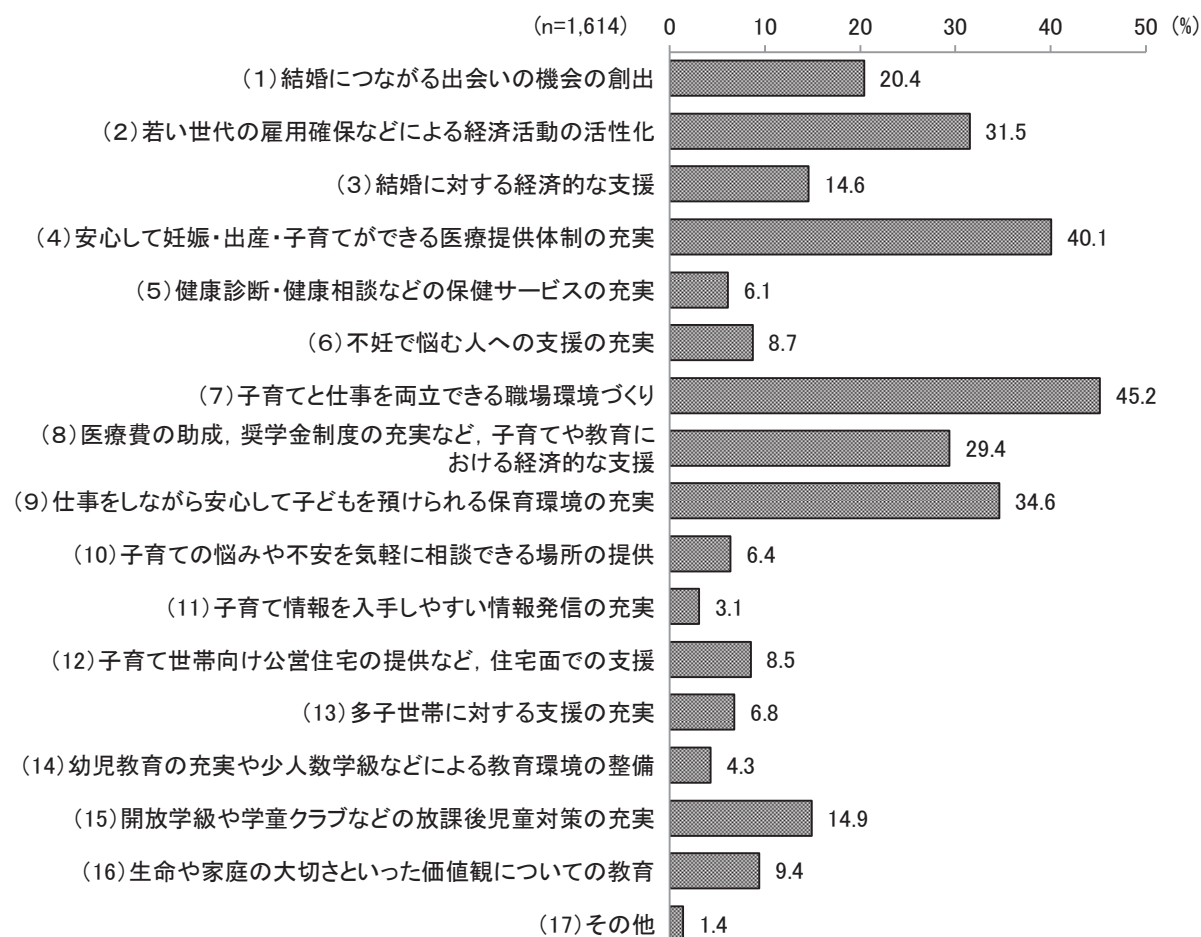
年齢別でみると、全ての年齢層で「(1) 企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が最も多くなっており、50歳以上で5割を超えて多くなっている。「(8) 本市ならでの歴史、文化、豊かな自然などを生かした観光産業の振興」は70歳以上で43.0%、40歳代で41.6%、「(3) 正規雇用の拡大や雇用におけるミスマッチの解消」は60歳代で40.8%と多くなっている。

職業別でみると、「(1) 企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」は自営業で63.0%と特に多く、無職(55.5%)及び正社員(52.2%)でも5割を超えている。「(3) 正規雇用の拡大や雇用におけるミスマッチの解消」はパート・アルバイト等で47.5%と最も多くなっている。「(10) 大学や企業と連携したキャリア教育の推進など、若者の人材育成」は学生・生徒で33.8%と多くなっている。

4-3 少子化対策の取組（問12）

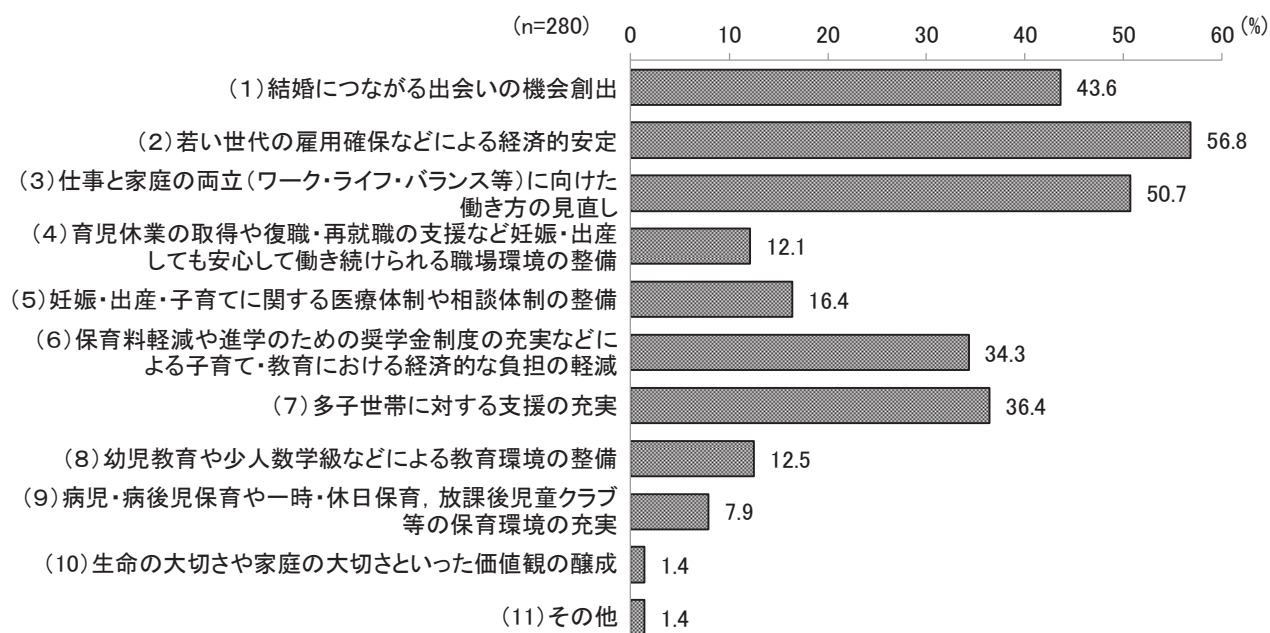
職場環境づくりと医療提供体制の充実の必要性が高い

問12 あなたは、結婚・出産・子育ての希望をかなえるために、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。（〇は3つまで）



少子化対策の取組としては、「(7) 子育てと仕事を両立できる職場環境づくり」が45.2%で最も多く、以下「(4) 安心して妊娠・出産・子育てができる医療提供体制の充実」40.1%、「(9) 仕事をしながら安心して子どもを預けられる保育環境の充実」34.6%、「(2) 若い世代の雇用確保などによる経済活動の活性化」31.5%の順で続いている。

平成27年調査（参考） 少子化対策の取組



平成27年調査における同様の設問では、今回調査とは一部選択肢が異なるものの、今回調査と同様、若い世代の雇用確保や経済的な負担の軽減（支援）が多くなっている。また、平成23年調査の「(3) 仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス等）に向けた働き方の見直し」（50.7%）、「(4) 育児休業の取得や復職・再就職の支援など妊娠・出産しても安心して働き続けられる職場環境の整備」（12.1%）が、今回調査では「(7) 子育てと仕事を両立できる職場環境づくり」（45.2%）となり、最も多く選ばれている。一方、「(1) 結婚につながる出会いの機会（の）創出」や「(13/7) 多子世帯に対する支援の充実」は平成23年調査では3割以上と多かったが、今回調査では減少した。

性別、年齢別 少子化対策の取組

(%)

		n	(1) 結い婚の機会につながる出会い	(2) 若い世代による経済活動	(3) 結婚に対する経済的	(4) 安心して妊娠・出産	(5) 医療提供体制の充実	(6) 健康診断・健康相談	(7) 子育てと仕事を両立できる職場環境づくり	(8) 医療費の削減、奨学金	(9) 経済的な支援	(10) 仕事をしながら安心して子どもを預けられる保育環境の充実
全体		1,600	20.3	31.4	14.6	40.0	6.1	8.8	45.3	29.4	34.7	
性別	男性	696	23.7	34.1	20.5	37.6	5.7	8.5	39.5	28.2	34.5	
	女性	904	17.6	29.3	10.1	41.8	6.3	9.0	49.8	30.3	34.8	
全体		1,599	20.3	31.3	14.6	40.0	6.0	8.8	45.3	29.4	34.7	
年齢別	20歳未満	356	16.0	23.9	23.3	46.6	8.7	6.7	44.7	33.4	27.5	
	20歳代	75	20.0	32.0	26.7	44.0	6.7	8.0	41.3	30.7	34.7	
	30歳代	147	14.3	27.9	16.3	35.4	6.1	19.0	49.0	28.6	34.7	
	40歳代	245	15.1	28.6	13.9	38.0	3.7	14.7	42.4	34.7	33.9	
	50歳代	228	18.9	37.7	7.9	41.7	4.4	8.8	47.8	27.6	37.3	
	60歳代	267	23.2	36.7	8.6	39.3	4.5	6.4	44.6	30.3	42.3	
	70歳以上	281	32.0	34.5	11.0	33.8	7.1	3.2	46.6	20.3	35.2	

(%)

		n	(10) 子育ての不安	(11) 子育ての情報発信	(12) 住宅面での支援	(13) 多世帯に対する	(14) 幼児教育環境の充実	(15) 開放学級や学童クラブ	(16) 生命や家庭の大切さ	(17) その他
全体		1,600	6.4	3.1	8.5	6.8	4.4	14.9	9.3	1.4
性別	男性	696	5.2	2.3	9.9	9.9	3.6	11.4	9.9	1.0
	女性	904	7.4	3.8	7.4	4.4	5.0	17.6	8.8	1.7
全体		1,599	6.4	3.1	8.5	6.8	4.4	14.9	9.4	1.4
年齢別	20歳未満	356	8.1	5.3	6.5	5.9	2.8	11.0	6.5	1.7
	20歳代	75	5.3	6.7	14.7	5.3	5.3	2.7	2.7	-
	30歳代	147	5.4	2.0	7.5	12.9	7.5	10.9	9.5	4.1
	40歳代	245	3.7	2.4	6.5	7.3	5.3	26.5	9.8	0.4
	50歳代	228	6.6	2.6	10.1	7.0	3.9	16.2	7.0	2.2
	60歳代	267	4.1	1.5	7.9	6.4	4.5	15.7	8.6	0.7
	70歳以上	281	9.6	2.5	11.0	5.0	3.9	13.2	17.1	0.7

※各属性の上位項目に色付けしている。 1位 2位 3位

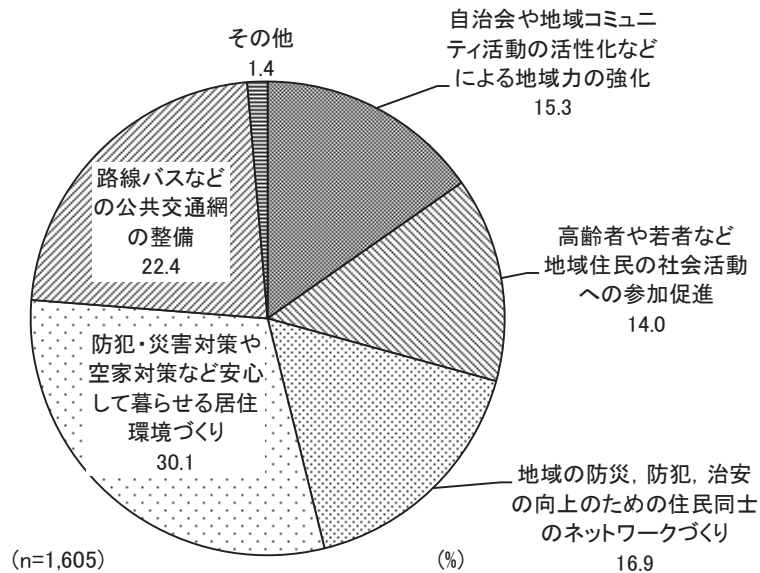
性別でみると、上位3項目は男女で一致しており、「(7) 子育てと仕事を両立できる職場環境づくり」は女性が男性よりも約10%高くなっている。また、「(15) 開放学級や学童クラブなどの放課後児童対策の充実」も女性が男性よりも約6%高くなっている。一方、男性は女性よりも、「(3) 結婚に対する経済的な支援」が約10%、「(1) 結婚につながる出会いの機会の創出」が約6%高くなっている。

年齢別でみると、「(7) 子育てと仕事を両立できる職場環境づくり」は30歳代で49.0%、50歳代で47.8%と特に多くなっている。「(4) 安心して妊娠・出産・子育てができる医療提供体制の充実」は20歳未満で46.6%、20歳代で44.0%と多く、「(9) 仕事をしながら安心して子どもを預けられる保育環境の充実」は60歳代で42.3%と多いほか、20~30歳代でも上位3位となっている。

4-4 安全安心に暮らせる地域づくりへの取組（問13）

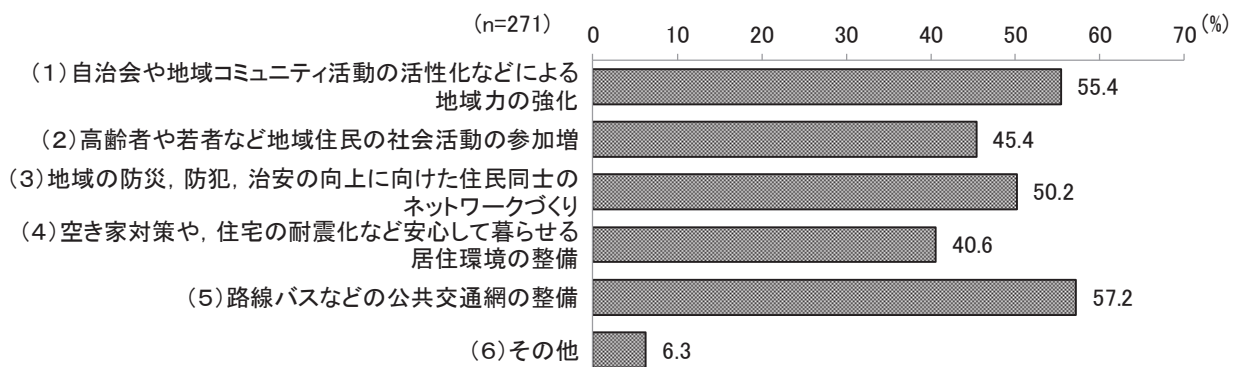
安心して暮らせる居住環境づくりの必要性が最も高い

問13 あなたは、人口減少社会の中でも、安全で安心して暮らせる地域づくりを進めていくために、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。（○は1つだけ）



安全・安心に暮らせる地域づくりへの取組としては、「防犯・災害対策や空家対策など安心して暮らせる居住環境づくり」が30.1%で最も多く、以下「路線バスなどの公共交通網の整備」22.4%、「地域の防災、防犯、治安の向上のための住民同士のネットワークづくり」16.9%、「自治会や地域コミュニティ活動の活性化などによる地域力の強化」15.3%、「高齢者や若者など地域住民の社会活動への参加促進」14.0%の順となっている。

平成27年調査（参考） 安全安心に暮らせる地域づくりへの取組（複数回答、3つまで）



平成27年調査における同様の設問では、今回調査とは設問の方式が異なり、複数回答としていた結果、「(5) 路線バスなどの公共交通網の整備」が最も高く、「(1) 自治会や地域コミュニティ活動の活性化などによる地域力の強化」、「(3) 地域の防災、防犯、治安の向上のための住民同士のネットワークづくり」が続いている。

性別，年齢別 安全安心に暮らせる地域づくりへの取組

(%)

		n	(1) 自治会や地域の活性化	(2) 高齢者の若者などへの参加促進	(3) 地域の防災・防犯の向上	(4) 防犯・災害対策や空家対策など安心して暮らせる居住環境づくり	(5) 路線バスなどの整備	(6) その他
全体		1,589	15.4	13.7	16.9	30.3	22.3	1.4
性別	男性	694	16.7	14.4	16.7	27.8	22.5	1.9
	女性	895	14.3	13.1	17.1	32.3	22.2	1.0
全体		1,589	15.4	13.8	16.9	30.3	22.3	1.4
年齢別	20歳未満	352	16.8	13.9	15.6	24.7	27.0	2.0
	20歳代	75	16.0	12.0	18.7	28.0	21.3	4.0
	30歳代	145	16.6	9.0	15.9	34.5	23.4	0.7
	40歳代	243	14.4	9.5	21.4	28.8	24.3	1.6
	50歳代	224	11.2	15.2	15.2	33.9	23.7	0.9
	60歳代	264	14.0	13.6	17.0	37.5	16.7	1.1
	70歳以上	286	18.2	19.2	16.1	27.3	18.5	0.7

※各属性の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

性別で見ると、必要とする取組は男女でほぼ一致しているが、「(4) 防犯・災害対策や空家対策など安心して暮らせる居住環境づくり」は女性が男性よりも約5%高くなっている。

年齢別で見ると、20歳以上はいずれも「(4) 防犯・災害対策や空家対策など安心して暮らせる居住環境づくり」が最も多く、30歳代(34.5%)、50歳代(33.9%)、60歳代(37.5%)で3割台となっている。20歳未満は「(5) 路線バスなどの公共交通網の整備」が27.0%と最も多くなっている。「(3) 地域の防災、防犯、治安の向上のための住民同士のネットワークづくり」は40歳代で21.4%と他の年齢層よりも多くなっている。

地区別 安全安心に暮らせる地域づくりへの取組

(%)

	n	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
		自治会や地域のコミュニティ強化	高齢者や若者など地域への参加促進	地域の防災、防犯、治安の向上のための住民同士のネットワークづくり	防犯・災害対策や空家対策など安心して暮らせる居住環境づくり	路線バスなどの公共交通網の整備	その他	
全体	1,573	15.4	13.8	17.0	30.1	22.4	1.4	
地区別	三の丸	54	13.0	9.3	11.1	37.0	27.8	1.9
	五軒	38	18.4	21.1	18.4	21.1	21.1	-
	新莊	35	17.1	14.3	17.1	28.6	22.9	-
	城東	51	21.6	15.7	9.8	35.3	15.7	2.0
	浜田	61	11.5	16.4	18.0	24.6	26.2	3.3
	常磐	84	13.1	13.1	19.0	35.7	19.0	-
	緑岡	54	14.8	18.5	16.7	29.6	18.5	1.9
	寿	59	15.3	6.8	23.7	30.5	23.7	-
	上大野	15	33.3	-	13.3	33.3	20.0	-
	柳河	17	17.6	11.8	17.6	23.5	29.4	-
	渡里	67	19.4	19.4	11.9	32.8	14.9	1.5
	吉田	79	7.6	10.1	24.1	31.6	26.6	-
	酒門	65	27.7	9.2	12.3	24.6	26.2	-
	石川	39	7.7	5.1	2.6	53.8	25.6	5.1
	飯富	28	17.9	14.3	14.3	21.4	32.1	-
	国田	19	21.1	10.5	21.1	31.6	15.8	-
	河和田	51	13.7	17.6	23.5	23.5	19.6	2.0
	上中妻	26	7.7	30.8	7.7	34.6	15.4	3.8
	見川	89	14.6	28.1	18.0	23.6	14.6	1.1
	千波	125	18.4	12.8	13.6	24.0	27.2	4.0
	梅が丘	79	19.0	8.9	22.8	35.4	13.9	-
	双葉台	72	13.9	12.5	16.7	33.3	23.6	-
	笠原	66	21.2	4.5	21.2	25.8	27.3	-
	赤塚	52	9.6	17.3	17.3	30.8	21.2	3.8
	吉沢	45	8.9	6.7	17.8	33.3	31.1	2.2
	堀原	33	6.1	15.2	27.3	39.4	12.1	-
	下大野	18	22.2	5.6	33.3	27.8	11.1	-
稻荷第一	29	3.4	20.7	24.1	27.6	20.7	3.4	
稻荷第二	18	5.6	11.1	11.1	38.9	33.3	-	
大場	12	25.0	8.3	16.7	16.7	33.3	-	
妻里	18	22.2	16.7	5.6	27.8	22.2	5.6	
鯉淵	25	12.0	16.0	16.0	24.0	28.0	4.0	
内原	50	16.0	16.0	10.0	30.0	28.0	-	

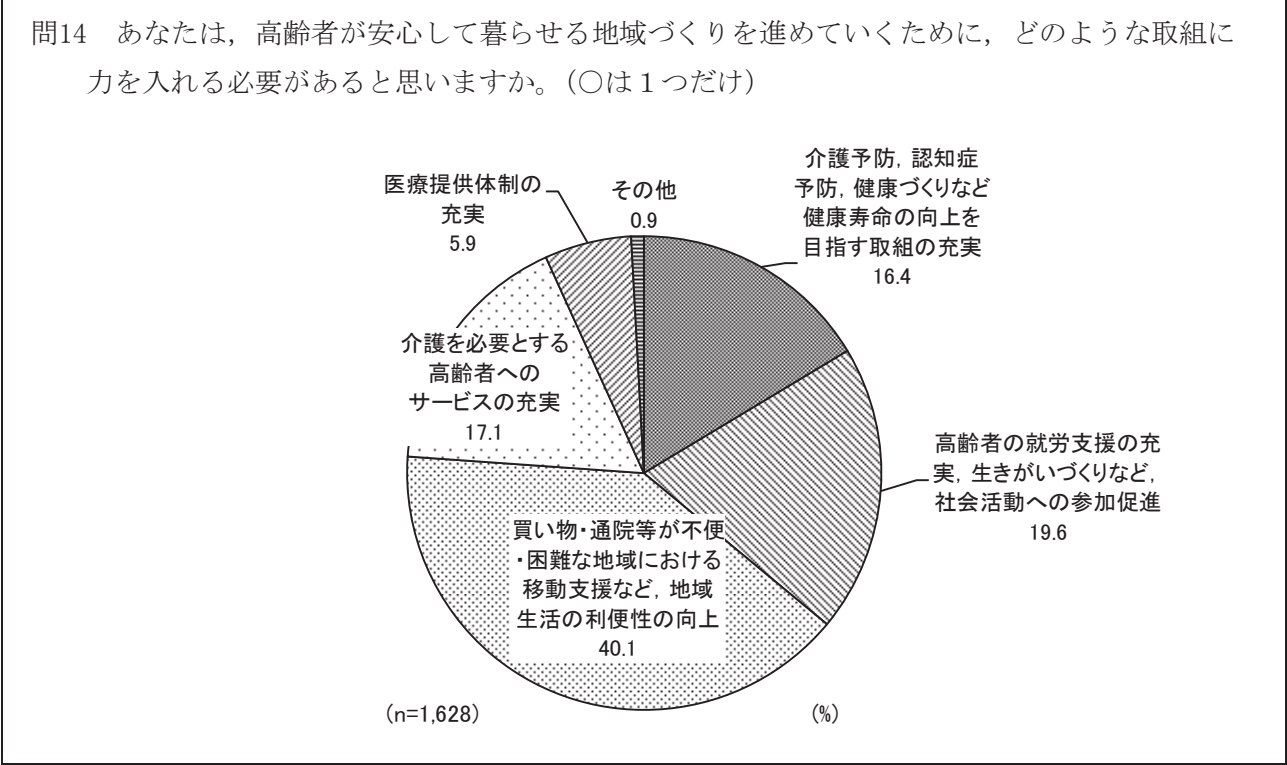
※各属性の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

地区別でみると、「(4) 防犯・災害対策や空家対策など安心して暮らせる居住環境づくり」は石川地区で53.8%と特に多くなっている。「(5) 路線バスなどの公共交通網の整備」は飯富地区で32.1%、吉沢地区で31.1%、「(2) 高齢者や若者など地域住民の社会活動への参加促進」は上中妻地区で30.8%、見川地区で28.1%、「(1) 自治会や地域コミュニティ活動の活性化などによる地域力の強化」は酒門地区で27.7%、「(3) 地域の防災、防犯、治安の向上のための住民同士のネットワークづくり」は堀原地区で27.3%と多くなっている。

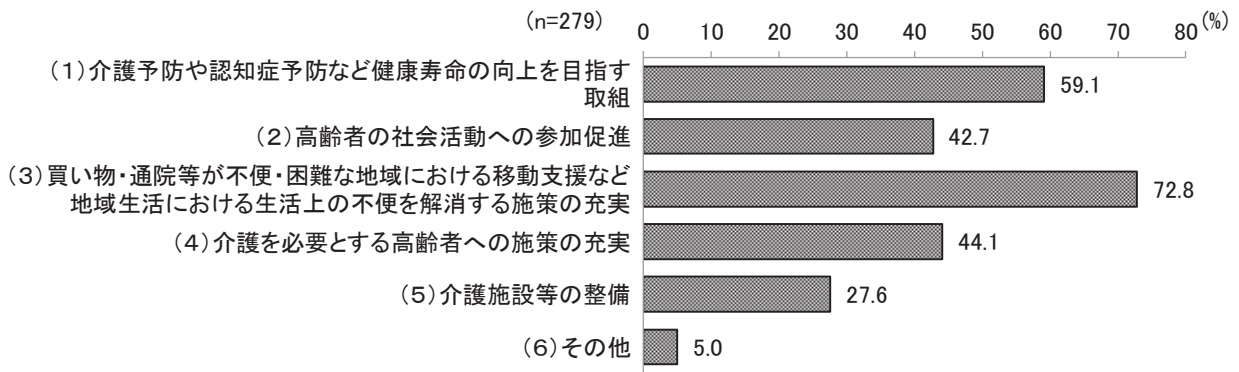
4-5 高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組（問14）

地域生活の利便性の向上が最も必要とされている



高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組としては、「買物・通院等が不便・困難な地域への移動支援など、地域生活の利便性の向上」が40.1%で最も多く、以下「高齢者の就労支援の充実、生きがいつくりなど、社会活動への参加促進」19.6%、「介護を必要とする高齢者へのサービスの充実」17.1%、「介護予防、認知症予防、健康づくりなど健康寿命の向上を目指す取組の充実」16.4%の順で続いている。

平成27年調査（参考） 高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組（複数回答、3つまで）



平成27年調査における同様の設問では、今回調査とは設問の方式が異なり、複数回答としていたが、今回と同様に、地域生活における生活上の不便の解消が最も多くなっている。

性別，年齢別 高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組

(%)

		n	(1) 介護予防 健康づくり 認知症予 防	(2) 高年齢者 の生活活 動への支 援の充実 な	(3) 買い物・通 院等が不 便・困難 な地域へ の移動支 援など	(4) 介護者の 生活の利 便性の向 上	(5) 医療提供 体制の充 実	(6) その他
全体		1,612	16.5	19.5	40.1	17.0	6.0	0.9
性別	男性	699	20.3	22.0	35.6	15.6	5.3	1.1
	女性	913	13.6	17.6	43.5	18.1	6.5	0.8
全体		1,612	16.5	19.6	40.1	17.1	5.8	0.9
年齢別	20歳未満	355	18.9	18.0	35.8	18.9	6.8	1.7
	20歳代	74	10.8	17.6	47.3	13.5	9.5	1.4
	30歳代	145	14.5	21.4	46.9	13.1	4.1	-
	40歳代	245	11.0	24.5	40.8	13.9	8.6	1.2
	50歳代	227	13.7	22.0	41.4	19.4	2.6	0.9
	60歳代	269	14.5	19.3	38.7	18.2	8.2	1.1
70歳以上		297	24.6	15.5	39.7	17.5	2.7	-

※各属性の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

性別でみると、「(3) 買い物・通院等が不便・困難な地域への移動支援など、地域生活の利便性の向上」は女性が男性よりも約8%高くなっている。一方、「(2) 高齢者の就労支援の充実、生きがいくくりなど、社会活動への参加促進」と「(1) 介護予防、認知症予防、健康づくりなど健康寿命の向上を目指す取組の充実」は男性が女性よりも高くなっている。

年齢別でみると、全ての年齢層で「(3) 買い物・通院等が不便・困難な地域への移動支援など、地域生活の利便性の向上」が最も多く、20歳代(47.3%)と30歳代(46.9%)で特に多くなっている。「(2) 高齢者の就労支援の充実、生きがいくくりなど、社会活動への参加促進」は20～60歳代で2位となっており、30～50歳代で2割台と多くなっている。70歳以上は「(1) 介護予防、認知症予防、健康づくりなど健康寿命の向上を目指す取組の充実」が24.6%で2位となっている。

地区別 高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組

(%)

	n	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
		介護予防、健康づくり、認知症予防、健康寿命の向上を目的とする取組の充実	高齢者の生きがいを支える社会活動への参加促進	買い物・通院等が不便・困難な地域への移動支援など、地域生活の利便性の向上	介護を必要とする高齢者へのサービスの充実	医療提供体制の充実	その他	
全体	1,595	16.6	19.7	39.9	17.0	5.8	0.9	
地区別	三の丸	54	18.5	25.9	37.0	14.8	3.7	-
	五軒	40	17.5	20.0	40.0	20.0	2.5	-
	新庄	36	11.1	27.8	44.4	8.3	5.6	2.8
	城東	51	15.7	19.6	35.3	23.5	5.9	-
	浜田	63	14.3	19.0	41.3	19.0	4.8	1.6
	常磐	85	10.6	24.7	36.5	22.4	5.9	-
	緑岡	54	18.5	20.4	40.7	16.7	3.7	-
	寿	59	18.6	22.0	39.0	15.3	3.4	1.7
	上大野	15	13.3	20.0	46.7	13.3	6.7	-
	柳河	17	29.4	23.5	23.5	23.5	-	-
	渡里	67	13.4	14.9	46.3	13.4	10.4	1.5
	吉田	79	20.3	17.7	35.4	12.7	13.9	-
	酒門	66	15.2	25.8	36.4	15.2	7.6	-
	石川	43	9.3	11.6	51.2	18.6	7.0	2.3
	飯富	28	14.3	35.7	39.3	7.1	-	3.6
	国田	20	-	25.0	50.0	25.0	-	-
	河和田	52	15.4	9.6	46.2	25.0	3.8	-
	上中妻	26	19.2	15.4	50.0	3.8	11.5	-
	見川	89	23.6	14.6	29.2	22.5	10.1	-
	千波	128	18.0	21.9	40.6	12.5	3.9	3.1
	梅が丘	80	21.3	21.3	43.8	11.3	1.3	1.3
	双葉台	73	26.0	15.1	31.5	20.5	5.5	1.4
	笠原	67	22.4	19.4	38.8	13.4	6.0	-
	赤塚	52	15.4	11.5	48.1	17.3	5.8	1.9
	吉沢	46	10.9	19.6	43.5	19.6	6.5	-
	堀原	33	15.2	15.2	36.4	24.2	9.1	-
	下大野	19	21.1	10.5	36.8	26.3	5.3	-
	稲荷第一	29	10.3	20.7	51.7	6.9	6.9	3.4
稲荷第二	18	16.7	11.1	38.9	27.8	5.6	-	
大場	12	16.7	16.7	33.3	25.0	8.3	-	
妻里	18	11.1	44.4	22.2	16.7	-	5.6	
鯉淵	26	15.4	23.1	50.0	7.7	3.8	-	
内原	50	6.0	22.0	44.0	24.0	4.0	-	

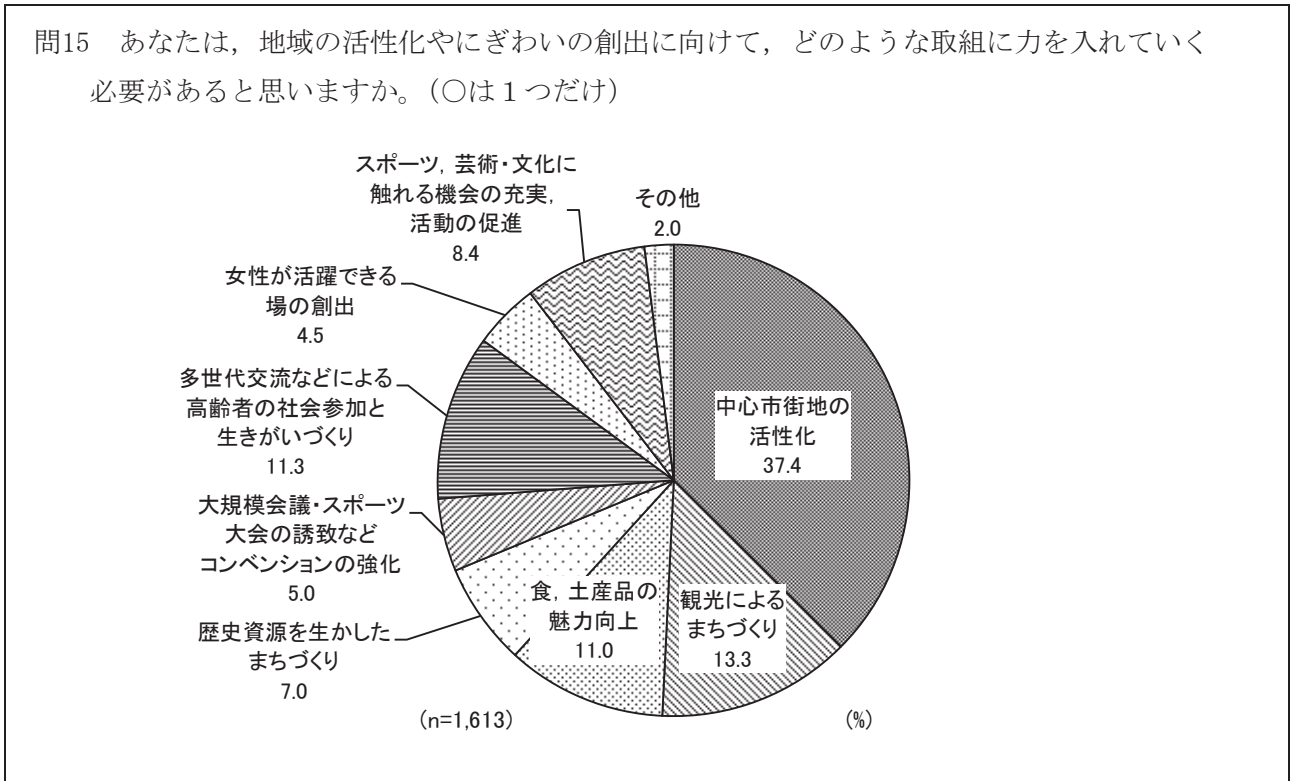
※各属性の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

地区別でみると、「(3) 買い物・通院等が不便・困難な地域への移動支援など、地域生活の利便性の向上」は稲荷第一地区で51.7%、石川地区で51.2%、国田地区、上中妻地区、鯉淵地区でいずれも50.0%と多くなっている。「(2) 高齢者の就労支援の充実、生きがいづくりなど、社会活動への参加促進」は飯富地区で35.7%と多くなっている。「(4) 介護を必要とする高齢者へのサービスの充実」は国田地区と河和田地区(いずれも25.0%)、「(1) 介護予防、認知症予防、健康づくりなど健康寿命の向上を目指す取組の充実」は双葉台地区(26.0%)で25%を超えて多くなっている。

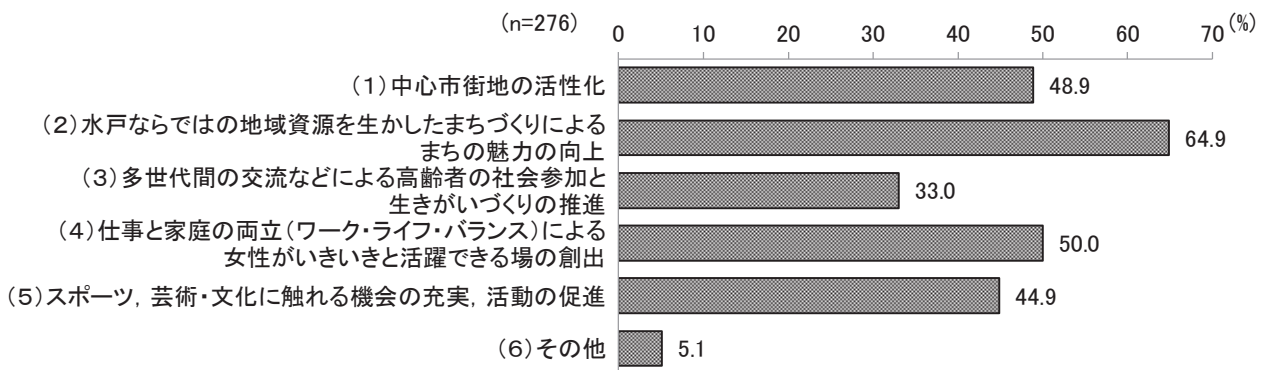
4-6 地域の活性化やにぎわい創出のための取組（問15）

中心市街地の活性化が最も多く、観光によるまちづくりが続く



地域の活性化やにぎわい創出のための取組としては、「中心市街地の活性化」が37.4%で最も多く、以下「観光によるまちづくり」13.3%、「多世代交流などによる高齢者の社会参加と生きがいのづくり」11.3%、「食、土産品の魅力向上」11.0%の順が続いている。

平成27年調査（参考） 地域の活性化やにぎわい創出のための取組（複数回答、3つまで）



平成27年調査における同様の設問では、今回調査とは設問の方式が異なり、複数回答としていた結果、今回調査における「観光によるまちづくり」、「食、土産品の魅力向上」、「歴史資源を生かしたまちづくり」にあたる「(2) 水戸ならではの地域資源を生かしたまちづくりによるまちの魅力の向上」が最も多く、「(4) 仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）による女性がいきいきと活躍できる場の創出」が続いている。

性別，年齢別 地域の活性化やにぎわい創出のための取組

(%)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
		中心市街地の活性化	観光によるまちづくり	食向上，土産品の魅力	歴史まちづくり資源を生かした	大規模イベントの誘致など強化	多世代交流などによる参加	多世代交流などによる参加	女性の創出が活躍できる場	スポーツ文化に触れる機会	その他
全体		1,598	37.4	13.3	11.1	6.9	5.0	11.3	4.5	8.4	2.0
性別	男性	695	35.8	13.2	11.1	8.1	6.9	11.2	3.2	8.6	1.9
	女性	903	38.6	13.4	11.1	6.1	3.5	11.4	5.5	8.2	2.1
全体		1,597	37.4	13.3	11.0	6.9	5.0	11.3	4.6	8.5	2.0
年齢別	20歳未満	352	33.2	17.6	11.6	3.1	8.5	7.4	6.0	10.2	2.3
	20歳代	73	32.9	20.5	17.8	1.4	8.2	2.7	2.7	9.6	4.1
	30歳代	145	41.4	22.8	12.4	4.1	2.1	7.6	3.4	4.8	1.4
	40歳代	245	33.9	15.9	11.8	6.5	4.9	8.6	6.9	7.3	4.1
	50歳代	226	38.1	11.5	11.5	8.0	4.0	11.5	3.5	9.7	2.2
	60歳代	265	42.6	10.6	11.3	11.3	3.0	9.1	2.6	8.7	0.8
	70歳以上	291	39.2	3.4	6.5	9.6	4.1	24.4	4.5	7.6	0.7

※各属性の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

性別で見ると，必要とする取組はおおむね男女で一致している。

年齢別で見ると，「(1) 中心市街地の活性化」は全ての年齢層で最も多く，特に60歳代で42.6%，30歳代で41.4%と多くなっている。「(2) 観光によるまちづくり」は50歳代以下で2位となっており，30歳代で22.8%，20歳代で20.5%と多くなっている。70歳以上は「(6) 多世代交流などによる高齢者の社会参加と生きがづくり」が24.4%で2位となっている。

地区別 地域の活性化やにぎわい創出のための取組

(%)

	n	(1) 中心市街地の活性化	(2) 観光によるまちづくり	(3) 食・土産品の魅力向上	(4) 歴史・資源を生かしたまちづくり	(5) 大規模イベントの誘致・スポート大会の開催などによる活性化	(6) 多世代交流などに参加しやすい場	(7) 女性の活躍できる場	(8) スポーツ・文化・芸術・活動の促進の機会	(9) その他	
全体	1,581	37.6	13.3	10.8	7.0	5.0	11.3	4.6	8.5	1.9	
地区別	三の丸	54	44.4	16.7	9.3	7.4	5.6	11.1	-	5.6	-
	五軒	38	50.0	7.9	10.5	5.3	10.5	10.5	2.6	2.6	-
	新莊	37	51.4	13.5	2.7	8.1	5.4	5.4	-	5.4	8.1
	城東	50	40.0	6.0	14.0	8.0	4.0	14.0	8.0	4.0	2.0
	浜田	62	41.9	14.5	14.5	6.5	3.2	4.8	3.2	9.7	1.6
	常磐	85	38.8	12.9	11.8	3.5	8.2	14.1	3.5	3.5	3.5
	緑岡	53	35.8	15.1	7.5	3.8	3.8	13.2	9.4	7.5	3.8
	寿	59	30.5	23.7	5.1	6.8	6.8	13.6	5.1	6.8	1.7
	上大野	14	57.1	14.3	7.1	-	-	14.3	-	7.1	-
	柳河	17	35.3	5.9	-	17.6	-	11.8	11.8	17.6	-
	渡里	66	37.9	4.5	13.6	3.0	3.0	13.6	6.1	13.6	4.5
	吉田	80	45.0	17.5	7.5	3.8	6.3	11.3	2.5	6.3	-
	酒門	66	31.8	12.1	10.6	9.1	4.5	15.2	3.0	12.1	1.5
	石川	42	31.0	14.3	16.7	-	4.8	9.5	7.1	14.3	2.4
	飯富	28	46.4	7.1	10.7	3.6	3.6	10.7	7.1	7.1	3.6
	国田	19	63.2	-	5.3	10.5	5.3	10.5	-	5.3	-
	河和田	51	31.4	13.7	21.6	9.8	3.9	9.8	2.0	7.8	-
	上中妻	26	23.1	3.8	11.5	11.5	7.7	19.2	7.7	11.5	3.8
	見川	87	43.7	12.6	11.5	5.7	2.3	11.5	5.7	5.7	1.1
	千波	126	38.1	12.7	7.9	7.9	7.9	7.9	2.4	12.7	2.4
	梅が丘	80	40.0	8.8	13.8	6.3	3.8	15.0	3.8	8.8	-
	双葉台	75	29.3	16.0	8.0	5.3	8.0	16.0	2.7	12.0	2.7
	笠原	67	37.3	17.9	7.5	4.5	4.5	10.4	4.5	13.4	-
	赤塚	52	40.4	9.6	9.6	11.5	5.8	7.7	1.9	9.6	3.8
	吉沢	45	33.3	26.7	4.4	6.7	2.2	4.4	8.9	13.3	-
	堀原	33	48.5	9.1	12.1	9.1	3.0	6.1	3.0	9.1	-
下大野	18	22.2	27.8	16.7	16.7	-	11.1	5.6	-	-	
稲荷第一	29	20.7	20.7	6.9	6.9	3.4	20.7	3.4	10.3	6.9	
稲荷第二	17	35.3	17.6	11.8	17.6	-	11.8	-	5.9	-	
大場	12	50.0	8.3	8.3	16.7	8.3	-	-	8.3	-	
妻里	18	27.8	-	22.2	5.6	5.6	16.7	11.1	5.6	5.6	
鯉淵	25	20.0	16.0	28.0	12.0	-	-	16.0	8.0	-	
内原	50	22.0	14.0	16.0	12.0	6.0	14.0	14.0	-	2.0	

※各属性の上位項目に色付けしている。

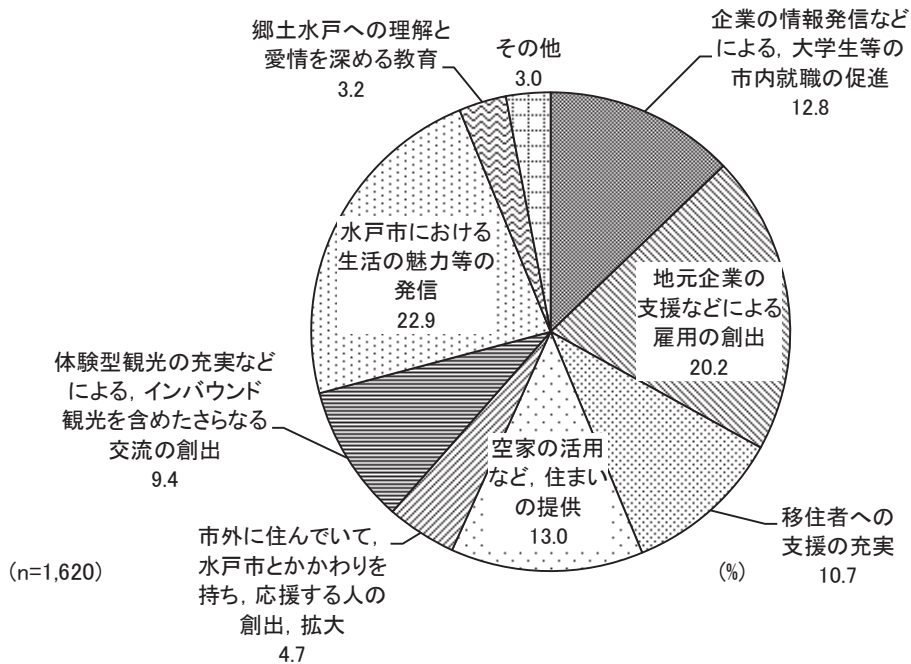
1位	2位	3位
----	----	----

地区別でみると、「(1) 中心市街地の活性化」は新莊地区で51.4%、五軒地区で50.0%、堀原地区で48.5%と特に多くなっている。「(2) 観光によるまちづくり」は吉沢地区で26.7%、「(3) 食、土産品の魅力向上」は鯉淵地区で28.0%と多くなっている。

4-7 水戸市への新たなひとの流れを生み出すための取組（問16）

生活の魅力等の発信と雇用創出の必要性が高い

問16 あなたは、移住・定住、観光交流など、水戸市への新たなひとの流れを生み出すために、どのような取組に力を入れていく必要があると思いますか。（○は1つだけ）



水戸市への新たなひとの流れを生み出すための取組をたずねたところ、「水戸市における生活の魅力等の発信」が22.9%で最も多く、以下「地元企業の支援などによる雇用の創出」20.2%、「空家の活用など、住まいの提供」13.0%、「企業の情報発信などによる、大学生等の市内就職の促進」12.8%の順で続いている。

性別，年齢別，職業別 水戸市への新たなひとの流れを生み出すための取組

(%)

		n	(1) 企、促進 業大進 の学 情生等 報の市 信内就 などに 職よる	(2) 地雇用 元用の 企の創 業の出 の支 援など による	(3) 移住者 への支 援の充 実	(4) 空提 家の 活用 など、 住まい の	(5) 市と 外か に人の 住わ り出 で、 持ち て、 水戸 市	(6) 体る 験、 たさ らな る交 流の 創出 を 含	(7) 水等 戸の 市に おけ る生 活の 魅力	(8) 郷深 土める 水戸 への 理解 と愛 情を	(9) その他
全体		1,605	12.8	20.4	10.7	13.0	4.5	9.3	23.1	3.2	3.1
性別	男性	697	13.2	21.4	10.5	11.2	5.0	9.0	23.1	2.3	4.3
	女性	908	12.4	19.6	10.9	14.3	4.2	9.6	23.0	3.9	2.1
全体		1,604	12.8	20.3	10.8	13.0	4.6	9.3	23.1	3.1	3.1
年齢別	20歳未満	353	15.9	13.6	11.3	16.1	6.2	14.2	17.3	1.7	3.7
	20歳代	73	12.3	13.7	21.9	11.0	1.4	8.2	24.7	2.7	4.1
	30歳代	145	13.1	24.1	11.0	13.1	6.2	11.7	13.1	1.4	6.2
	40歳代	244	9.4	15.6	11.5	15.6	3.3	14.8	23.4	2.0	4.5
	50歳代	228	12.7	21.5	8.8	12.7	4.8	7.0	25.4	4.4	2.6
	60歳代	271	11.4	24.7	11.1	9.6	3.7	7.0	28.0	3.0	1.5
	70歳以上	290	13.4	26.9	7.9	10.7	4.5	1.7	27.9	5.9	1.0
全体		1,597	12.8	20.4	10.8	12.8	4.7	9.2	23.0	3.2	3.1
職業別	正社員	382	11.0	22.0	9.7	12.8	5.2	9.9	23.3	1.8	4.2
	パート・アルバイト等	248	14.5	19.4	13.3	13.3	2.8	7.7	24.6	3.6	0.8
	自営業	124	9.7	20.2	9.7	16.1	6.5	5.6	25.0	4.0	3.2
	無職	242	14.0	28.5	5.8	9.1	4.1	5.0	25.2	5.4	2.9
	専業主婦・主夫	196	9.2	20.4	13.3	9.7	4.1	8.7	28.6	3.1	3.1
	学生・生徒	364	15.9	14.0	12.1	16.2	5.8	13.5	17.0	1.9	3.6
	その他	41	12.2	22.0	14.6	7.3	2.4	12.2	17.1	9.8	2.4

※各属性の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

性別でみると、必要とする取組はおおむね男女で一致している。

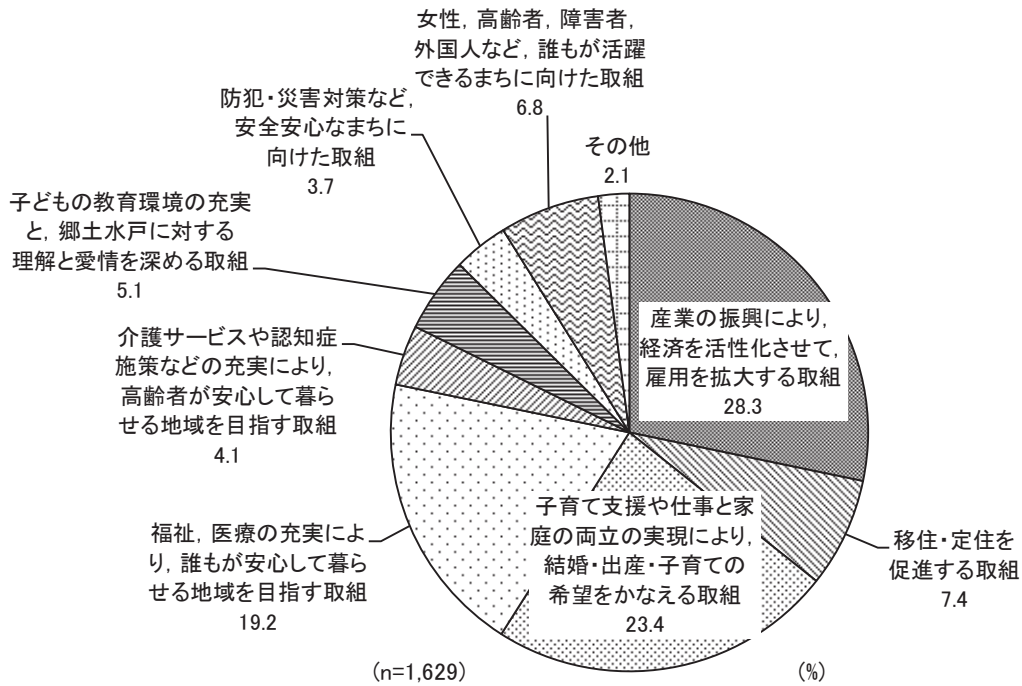
年齢別でみると、「(7) 水戸市における生活の魅力等の発信」は30歳代以外の年齢層で最も多くなっており、60歳代で28.0%、70歳以上で27.9%と多くなっている。「(2) 地元企業の支援などによる雇用の創出」は70歳以上で26.9%、60歳代で24.7%、30歳代で24.1%と多くなっている。「(3) 移住者への支援の充実」は20歳代で21.9%、「(6) 体験型観光の充実などによる、インバウンド観光を含めたさらなる交流の創出」は20歳未満で14.2%、40歳代で14.8%と他の年齢層よりも多くなっている。

職業別でみると、「(7) 水戸市における生活の魅力等の発信」は専業主婦・主夫で28.6%、「(2) 地元企業の支援などによる雇用の創出」は無職で28.5%、「(6) 体験型観光の充実などによる、インバウンド観光を含めたさらなる交流の創出」は学生・生徒で13.5%と他の職業よりも多くなっている。

4-8 今後の人口減少対策で最も重要なこと（問17）

産業振興が最も多く、結婚・出産・子育て支援が続く

問17 あなたは、問11から問16を総合すると、今後水戸市が人口減少対策として取り組むべきことについて、最も重視する必要があると考えることは何ですか。（○は1つだけ）



今後の人口減少対策で最も重要なことをたずねたところ、「産業の振興により、経済を活性化させて、雇用を拡大する取組」が28.3%で最も多く、以下「子育て支援や仕事と家庭の両立の実現により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」23.4%、「福祉、医療の充実により、誰もが安心して暮らせる地域を目指す取組」19.2%の順で続いている。

性別，年齢別 今後の人口減少対策で最も重要なこと

(%)

	n	(1) 産を拡 業活大 の性す 振化取 させ組 により 、雇用 経済を	(2) 移取 住組 ・定 住を 促進 する	(3) 子の婚 育両・か て立出 支の産 援実・な や現子 仕に取 事よ組 とりの 家、希 庭、結 望	(4) 福、る 祉誰地 、も域 医がを 療安目 の心指 の充し 実にす よ取 りせ組	(5) 介策齡 護な者 サどが の安目 び充心 ス実し やにて 認よ暮 知りら せ、せ 施、高	(6) 子と理 ど、解 も郷と の土愛 教水情 育戸を 環に深 境対め のする 充る取 実、組	(7) 防安取 犯全組 ・安 心な 害な 対ま 策ち なに ど向 け、	(8) 女外で 性国き 、人る 、高な 、ま 、誰ち 、障も 、害が 者、た 、活取 、躍組	(9) そ の 他	
全体	1,614	28.4	7.4	23.4	19.3	3.9	5.1	3.8	6.6	2.1	
性別	男性	32.7	8.4	21.4	14.7	4.1	5.6	5.1	5.6	2.4	
	女性	25.2	6.6	25.0	22.8	3.7	4.7	2.7	7.4	1.9	
全体	1,613	28.3	7.4	23.4	19.3	4.0	5.1	3.8	6.6	2.1	
年齢別	20歳未満	24.0	4.8	23.4	20.1	2.8	5.9	6.8	8.8	3.4	
	20歳代	27.0	10.8	36.5	10.8	-	2.7	5.4	4.1	2.7	
	30歳代	29.9	9.0	34.0	9.7	-	6.9	2.8	3.5	4.2	
	40歳代	28.2	6.9	25.3	17.6	4.1	7.8	1.6	6.5	2.0	
	50歳代	22.9	12.7	19.7	19.7	3.1	3.5	2.2	7.4	1.7	
	60歳代	27.2	30.9	5.9	24.6	20.2	3.3	4.0	2.6	7.0	1.5
	70歳以上	29.5	29.5	6.4	15.3	25.4	9.5	3.7	4.4	5.4	0.3

※各属性の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

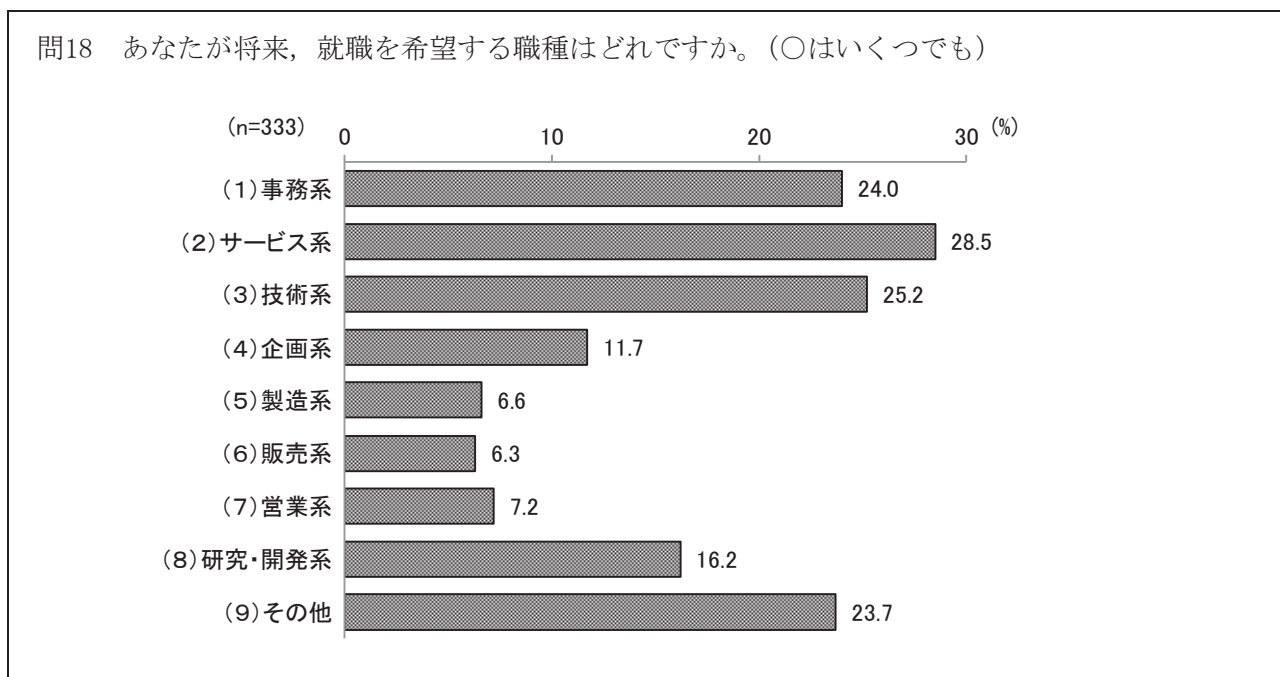
性別でみると、「(1) 産業の振興により、経済を活性化させて、雇用を拡大する取組」は男性が女性よりも約8%高くなっている。一方、「(4) 福祉、医療の充実により、誰もが安心して暮らせる地域を目指す取組」は女性が男性よりも約8%高くなっている。

年齢別でみると、「(1) 産業の振興により、経済を活性化させて、雇用を拡大する取組」は20歳以上でいずれも3割程度を占めている。「(3) 子育て支援や仕事と家庭の両立の実現により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」は20歳代で36.5%、30歳代で34.0%、「(4) 福祉、医療の充実により、誰もが安心して暮らせる地域を目指す取組」は70歳以上で25.4%と他の年齢層よりも多くなっている。

5 職業意識・職業観や結婚・子育て

5-1 就職を希望する職種（問18）

サービス系，技術系，事務系が多い



高校生，大学生，短期大学生，専門学生に，将来就職を希望する職種をたずねたところ，「(2) サービス系」が28.5%で最も多く，以下「(3) 技術系」25.2%，「(1) 事務系」24.0%，「(8) 研究・開発系」16.2%の順で続いている。

性別 就職を希望する職種

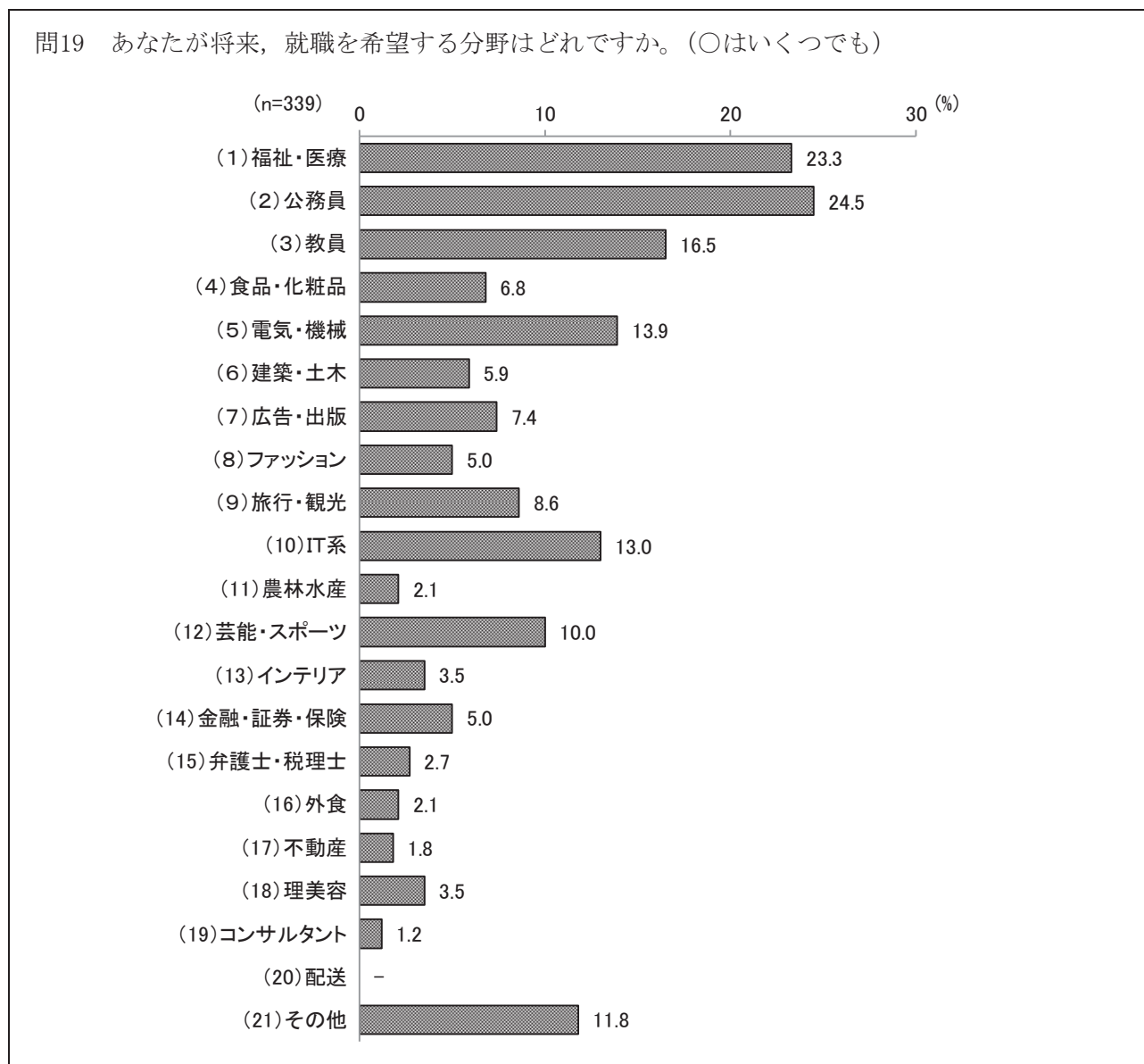
		(%)								
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
		事務系	サービス系	技術系	企画系	製造系	販売系	営業系	研究・開発系	その他
全体		24.0	28.5	25.2	11.7	6.6	6.3	7.2	16.2	23.7
性別	男性	18.7	21.9	34.8	12.9	7.1	5.8	8.4	21.9	18.1
	女性	28.7	34.3	16.9	10.7	6.2	6.7	6.2	11.2	28.7

※各層の上位項目に色付けしている。 1位 2位 3位

性別で見ると，男性は女性よりも「(3) 技術系」が約18%，「(8) 研究・開発系」が約11%高くなっている。一方，女性は男性よりも「(2) サービス系」が約12%，「(1) 事務系」が10%高くなっている。

5-2 就職を希望する分野（問19）

公務員と医療・福祉が多い



就職を希望する分野をたずねたところ、「(2) 公務員」が24.5%で最も多く、以下「(1) 福祉・医療」23.3%、「(3) 教員」16.5%、「(5) 電気・機械」13.9%、「(10) IT系」13.0%の順が続いている。

性別 就職を希望する分野

(%)

		n	(1) 福祉・医療	(2) 公務員	(3) 教員	(4) 食品・化粧品	(5) 電気・機械	(6) 建築・土木	(7) 広告・出版	(8) ファッション	(9) 旅行・観光	(10) IT系	(11) 農林水産
全体		339	23.3	24.5	16.5	6.8	13.9	5.9	7.4	5.0	8.6	13.0	2.1
性別	男性	157	15.9	24.2	11.5	0.6	24.2	10.2	7.0	3.2	5.7	20.4	0.6
	女性	182	29.7	24.7	20.9	12.1	4.9	2.2	7.7	6.6	11.0	6.6	3.3

(%)

		n	(12) 芸能・スポーツ	(13) インテリア	(14) 金融・証券・保険	(15) 弁護士・税理士	(16) 外食	(17) 不動産	(18) 理美容	(19) コンサルタント	(20) 配送	(21) その他
全体		339	10.0	3.5	5.0	2.7	2.1	1.8	3.5	1.2	-	11.8
性別	男性	157	11.5	3.8	5.1	3.8	1.3	2.5	-	0.6	-	11.5
	女性	182	8.8	3.3	4.9	1.6	2.7	1.1	6.6	1.6	-	12.1

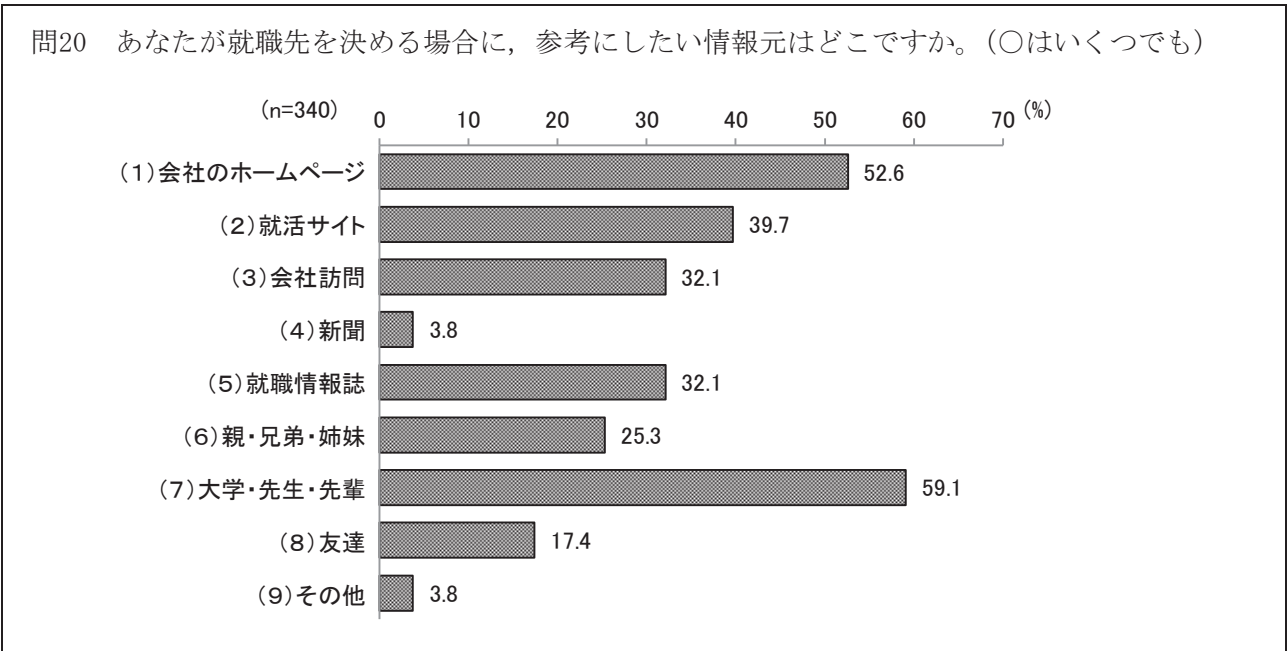
※各層の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

性別でみると、「(2) 公務員」は男女ともに高い。男性は女性よりも「(5) 電気・機械」が約19%、「(10) IT系」が約14%、「(6) 建築・土木」が8%高くなっている。一方、女性は男性よりも「(1) 福祉・医療」が約14%、「(4) 食品・化粧品」が約12%、「(3) 教員」が約9%高くなっている。

5-3 就職先を決める際の情報元（問20）

大学・先生・先輩や会社のホームページが多い



就職先を決める際の情報元をたずねたところ、「(7) 大学・先生・先輩」が59.1%で最も多く、以下「(1) 会社のホームページ」52.6%、「(2) 就活サイト」39.7%、「(3) 会社訪問」及び「(5) 就職情報誌」32.1%の順が続いている。

性別 就職先を決める際の情報元

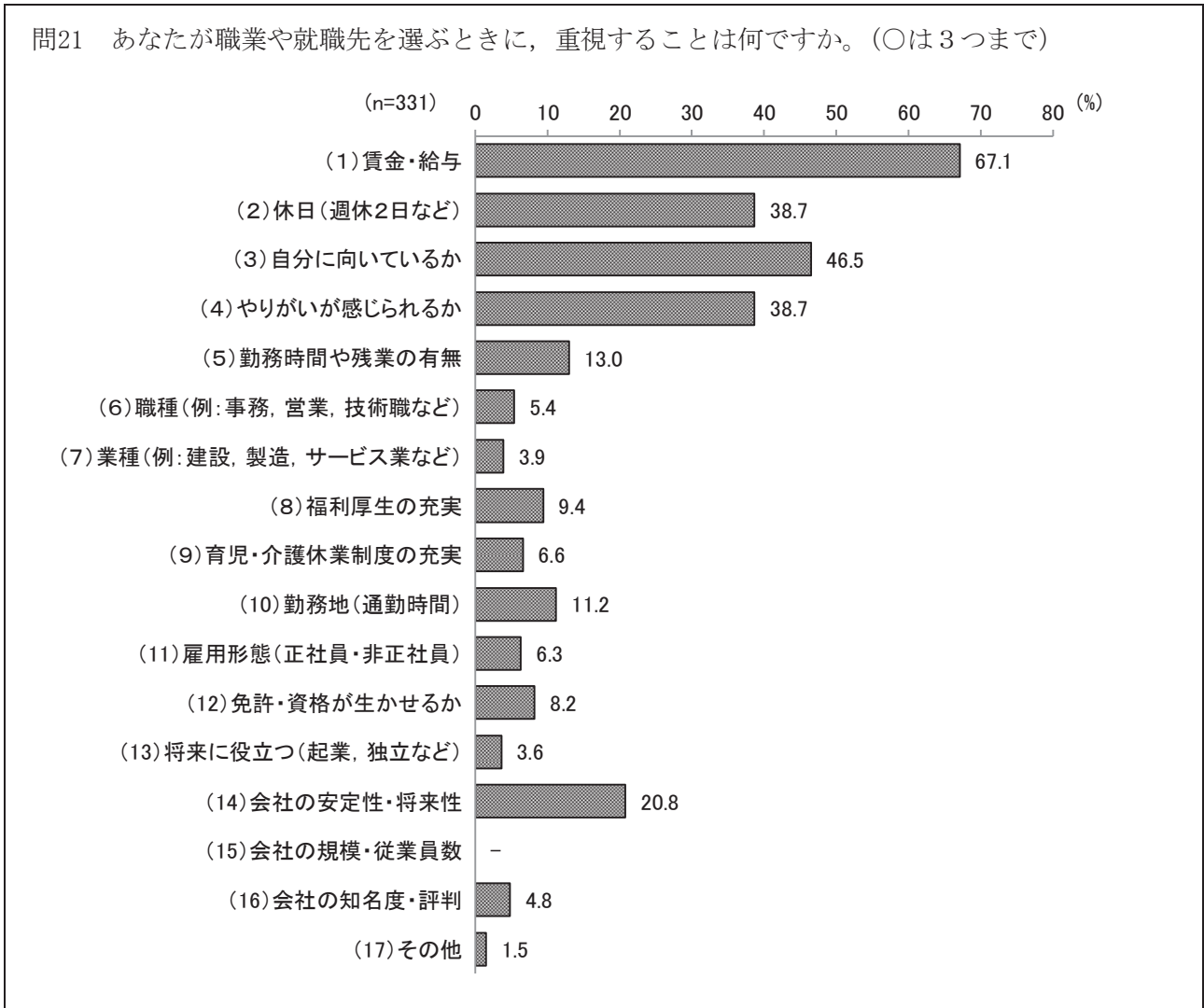
		(%)								
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
		会社 の ホーム ページ	就 活 サイ ト	会 社 訪 問	新 聞	就 職 情 報 誌	親 ・ 兄 弟 ・ 姉 妹	大 学 ・ 先 生 ・ 先 輩	友 達	そ の 他
全体	n=340	52.6	39.7	32.1	3.8	32.1	25.3	59.1	17.4	3.8
性別										
男性	157	51.0	36.9	29.3	5.7	31.8	21.7	56.1	18.5	4.5
女性	183	54.1	42.1	34.4	2.2	32.2	28.4	61.7	16.4	3.3

※各層の上位項目に色付けしている。 1位 2位 3位

性別でみると、参考にしたい情報元の順番は男女でほぼ同じであるが、ほとんどの項目で女性が男性よりも高くなっており、女性の方が就職先を決める際の情報収集に熱心であることがうかがえる。特に「(6) 親・兄弟・姉妹」は約7%、「(7) 大学・先生・先輩」は約6%、「(2) 就活サイト」は約5%女性の方が高くなっている。

5-4 職業や就職先を選ぶときに重視すること（問21）

賃金・給与が特に重視されている



職業や就職先を選ぶときに重視することをたずねたところ、「(1) 賃金・給与」が67.1%で最も多く、以下「(3) 自分に向いているか」46.5%、「(2) 休日（週休2日など）」及び「(4) やりがいが感じられるか」38.7%の順で続いている。

性別 職業や就職先を選ぶときに重視すること

(%)

		n	(1) 賃金・給与	(2) 休日など (週休2日)	(3) 自分 に分る に向 いて	(4) や感 じら れる か	(5) 勤の 務有 時間 や残 業	(6) 職、 種、 営、 業 (例、 技術 事務 職)	(7) 業、 種、 業 (例、 サ ー 建 設 ビ ル ド イ ン グ)	(8) 福 利 厚 生 の 充 実	(9) 育 児 度 の 充 実 休 業 制 度 の 充 実
全 体		331	67.1	38.7	46.5	38.7	13.0	5.4	3.9	9.4	6.6
性 別	男性	153	69.9	49.0	45.8	39.9	11.1	2.0	3.9	7.8	1.3
	女性	178	64.6	29.8	47.2	37.6	14.6	8.4	3.9	10.7	11.2

(%)

		n	(10) 勤 務 地 (通 勤 時 間)	(11) 雇 用 ・ 形 態 正 社 員 (正 社 員)	(12) 免 許 ・ 資 格 が	(13) 将 来 に 業 務 立 ち 上 げ が	(14) 会 社 の 安 定 性	(15) 会 社 の 規 模 ・ 員 数	(16) 会 社 の 知 名 度	(17) そ の 他
全 体		331	11.2	6.3	8.2	3.6	20.8	-	4.8	1.5
性 別	男性	153	8.5	3.9	7.8	7.2	22.9	-	3.9	2.0
	女性	178	13.5	8.4	8.4	0.6	19.1	-	5.6	1.1

※各層の上位項目に色付けしている。

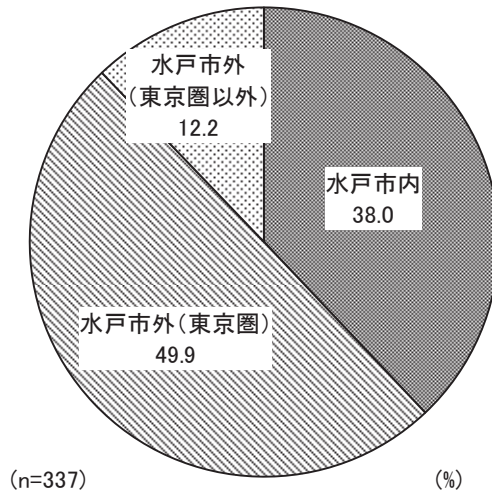
1位	2位	3位
----	----	----

性別でみると、男女ともに「(1) 賃金・給与」を最も重視しており、特に男性は69.9%と多くなっている。また、「(2) 休日 (週休2日など)」も男性が女性よりも約19%高くなっている。一方、「(9) 育児・介護休業制度の充実」は女性が男性よりも約10%、「(10) 勤務地 (通勤時間)」は女性が男性よりも5%高くなっている。

5-5 将来就職を希望する場所（問22）

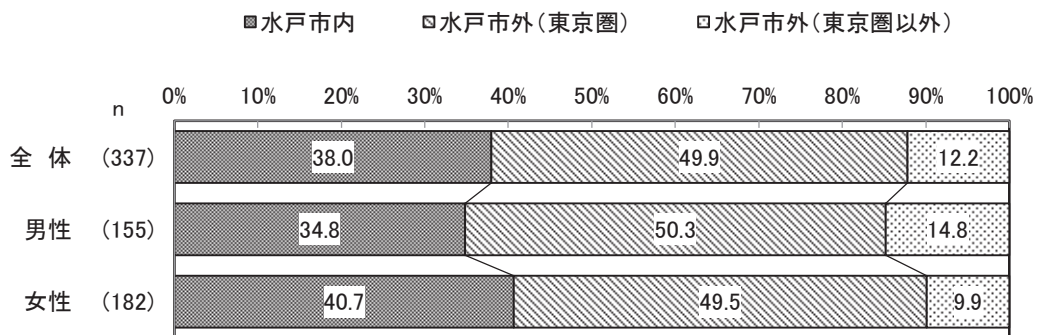
市内就職希望者は約4割

問22 あなたが将来、就職（起業を含む）を希望する場所はどこですか。（○は1つだけ）



将来就職を希望する場所をたずねたところ、「水戸市内」は38.0%で、「水戸市外（東京圏）」が49.9%、「水戸市外（東京圏以外）」が12.2%となっている。

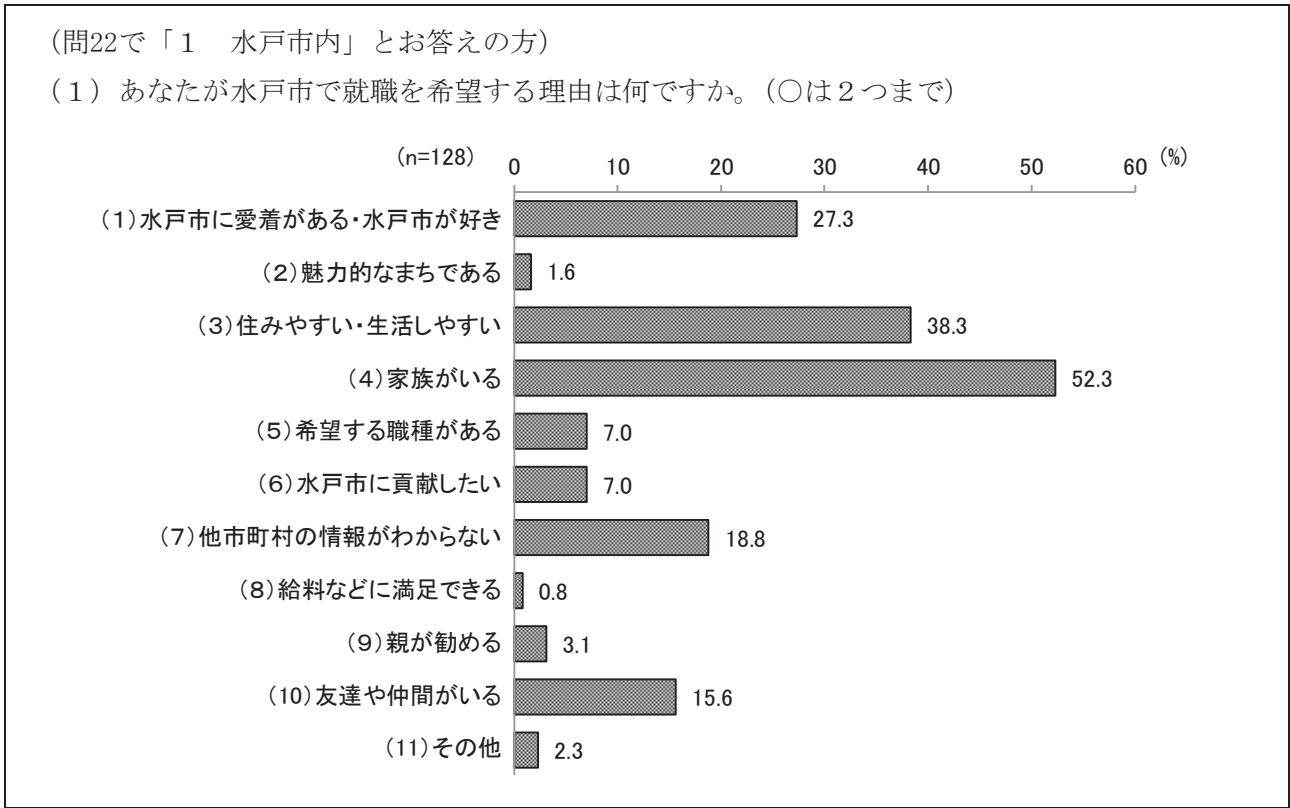
性別 将来就職を希望する場所



性別で見ると、「水戸市外（東京圏）」は男女ともに約5割を占めている。「水戸市内」は女性が男性よりも約6%高くなっている。一方、「水戸市外（東京圏以外）」は男性が女性よりも約5%高くなっている。

5-6 水戸市で就職を希望する理由（問22（1））

「家族がいる」が最も多いが、「住みやすい・生活しやすい」や愛着がある・好きといった理由も多い



水戸市で就職を希望する理由をたずねたところ、「(4) 家族がいる」が52.3%で最も多く、以下「(3) 住みやすい・生活しやすい」38.3%、「(1) 水戸市に愛着がある・水戸市が好き」27.3%、「(7) 他市町村の情報がわからない」18.8%の順で続いている。

性別 水戸市で就職を希望する理由

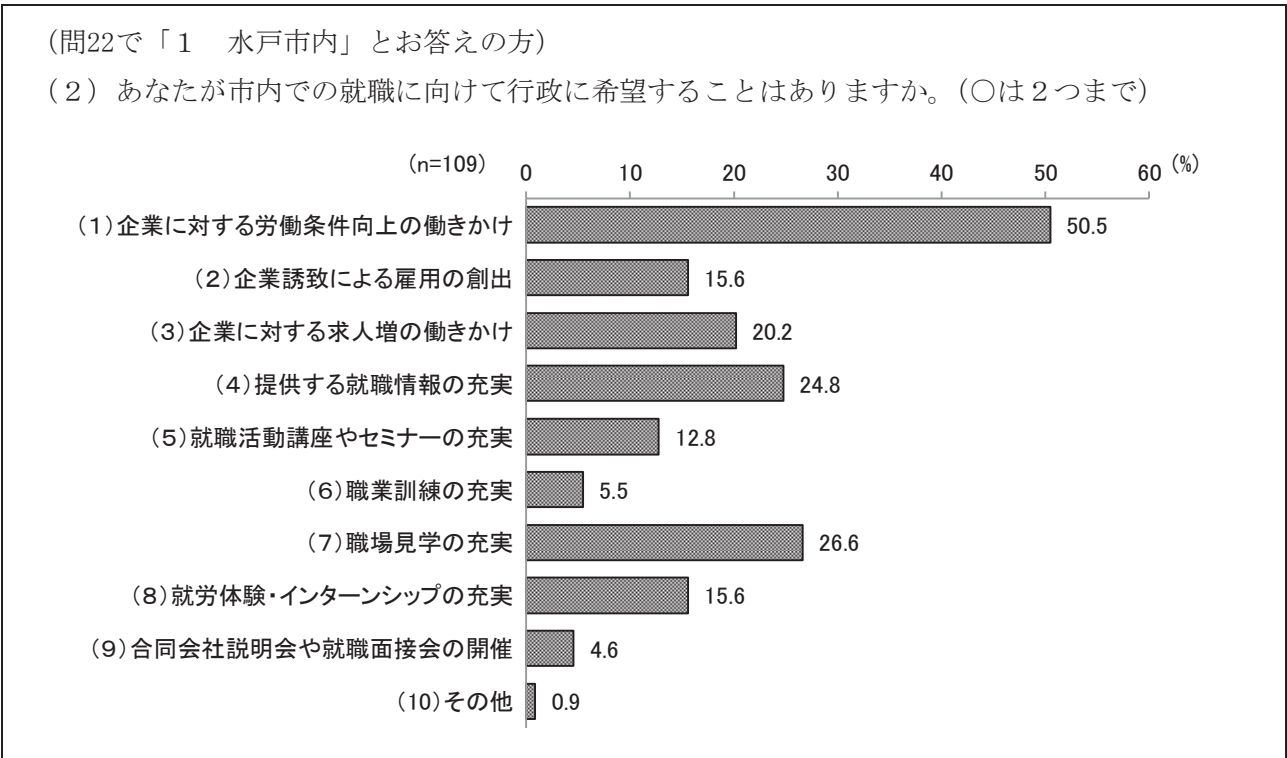
		理由										
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)
		水が市 戸があ 市が好 に・き 愛水 着戸	魅で 力あ 的る な まち	住生 み活 やし やす いす ・い	家 族 が い る	希が 望あ する 職 種	水し 戸た 市い に 貢 献	他情 市報 町が 村わ の から	給満 料足 なで ど きに る	親 が 勧 め る	友 達 る や 仲 間 が	そ の 他
全体	128	27.3	1.6	38.3	52.3	7.0	7.0	18.8	0.8	3.1	15.6	2.3
性別												
男性	54	31.5	1.9	37.0	48.1	11.1	5.6	18.5	1.9	-	16.7	-
女性	74	24.3	1.4	39.2	55.4	4.1	8.1	18.9	-	5.4	14.9	4.1

※各属性の上位項目に色付けしている。 1位 2位 3位

性別でみると、上位項目は男女で一致している。「(4) 家族がいる」は女性が男性よりも約7%高くなっている。一方、男性は女性よりも「(1) 水戸市に愛着がある・水戸市が好き」と「(5) 希望する職種がある」がいずれも約7%高くなっている。

5-7 市内での就職に向けて行政に希望すること（問22（2））

「企業に対する労働条件向上の働きかけ」が特に多い



市内での就職に向けて行政に希望することをたずねたところ、「(1) 企業に対する労働条件向上の働きかけ」が50.5%で最も多く、以下「(7) 職場見学の充実」26.6%、「(4) 提供する就職情報の充実」24.8%、「(3) 企業に対する求人増の働きかけ」20.2%の順で続いている。

性別 市内での就職に向けて行政に希望すること

		(%)										
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	
		企業労働条件向上の働きかけ	企業誘致による雇用の創出	企業増の働きかけ	提供する就職情報の充実	就職活動講座やセミナーの充実	職業訓練の充実	職場見学の充実	就労体験・インターンシップの充実	合同会社説明会や就職面接会の開催	その他	
全体	n=109	50.5	15.6	20.2	24.8	12.8	5.5	26.6	15.6	4.6	0.9	
性別	男性	42	61.9	26.2	19.0	23.8	14.3	7.1	19.0	9.5	7.1	-
	女性	67	43.3	9.0	20.9	25.4	11.9	4.5	31.3	19.4	3.0	1.5

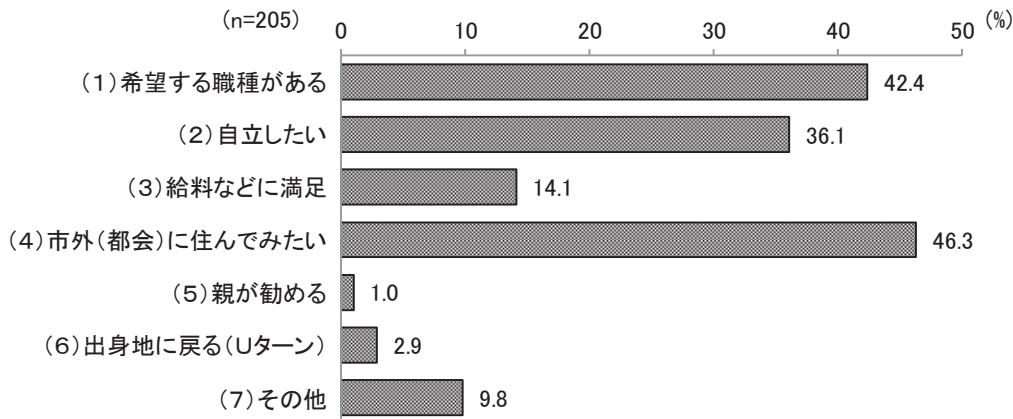
※各属性の上位項目に色付けしている。 1位 2位 3位

性別でみると、男女ともに「(1) 企業に対する労働条件向上の働きかけ」を最も希望しており、男性が女性よりも約19%多くなっている。また、「(2) 企業誘致による雇用の創出」も男性の方が約17%高くなっている。一方、女性は男性よりも「(7) 職場見学の充実」が約12%、「(8) 就労体験・インターンシップの充実」が約10%高くなっている。

5-8 市外で就職を希望する理由（問22（3））

「市外（都会）に住んでみたい」と「希望する職種がある」が多い

（問22で「2 水戸市外（東京圏）」または「3 水戸市外（東京圏以外）」とお答えの方）
 （3）あなたが水戸市外で就職を希望する理由は何ですか。（○は2つまで）



市外で就職を希望する理由をたずねたところ、「(4) 市外（都会）に住んでみたい」が46.3%で最も多く、以下「(1) 希望する職種がある」42.4%、「(2) 自立したい」36.1%の順が続いている。

性別 市外で就職を希望する理由

		性別 市外で就職を希望する理由 (%)						
		(1) 希 望 す る 職 種 が あ る	(2) 自 立 し た い	(3) 給 料 な ど に 満 足	(4) 市 住 外 へ （ 都 会 ） に 住 んで み た い	(5) 親 が 勧 め る	(6) 出 身 地 に 戻 る （ U ター ン ）	(7) そ の 他
全体	n=205	42.4	36.1	14.1	46.3	1.0	2.9	9.8
性別								
男性	n=99	41.4	35.4	18.2	42.4	1.0	3.0	11.1
女性	n=106	43.4	36.8	10.4	50.0	0.9	2.8	8.5

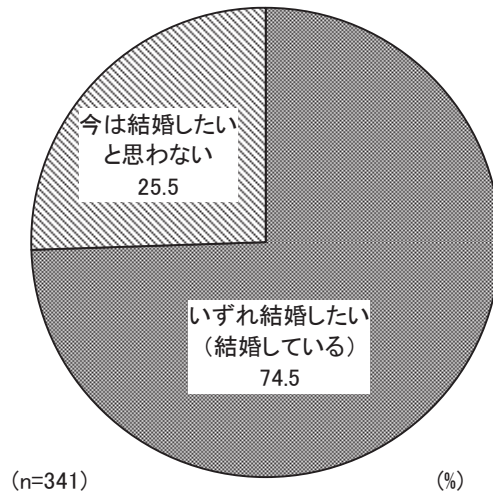
※各属性の上位項目に色付けしている。 1位 2位 3位

性別で見ると、上位項目は男女で一致しており、「(4) 市外（都会）に住んでみたい」は女性が男性よりも約8%高くなっている。一方、男性は「(3) 給料などに満足」が女性よりも約8%高くなっている。

5-9 結婚に対する考え（問23）

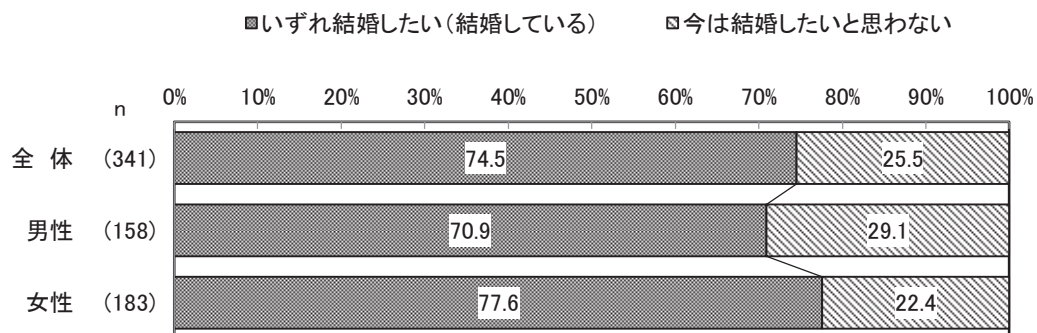
75%が結婚の意志あり

問23 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどれにあてはまりますか。（○は1つだけ）



高校生、大学生、短期大学生、専門学生に、結婚に対する考えをたずねたところ、「いずれ結婚したい（結婚している）」が74.5%、「今は結婚したいと思わない」が25.5%となっている。

性別 結婚に対する考え



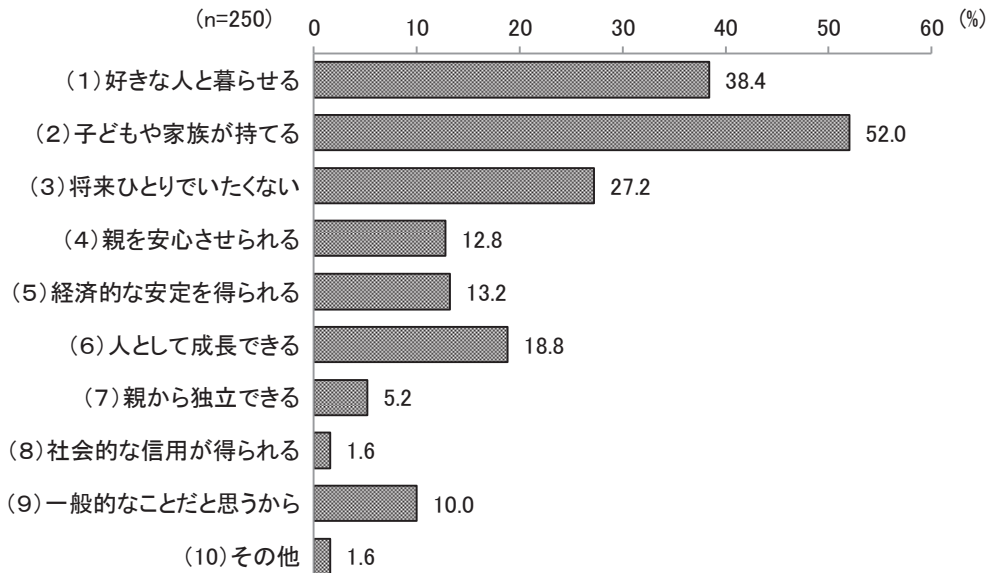
性別でみると、「いずれ結婚したい（結婚している）」は女性が男性よりも約7%高くなっている。

5-10 結婚したい理由（問23（1））

「子どもや家族が持てる」が最も多い

（問23で「1 いずれ結婚したい（結婚している）」とお答えの方）

（1）あなたはなぜ結婚したいと思いますか。（○は2つまで）



結婚したい理由をたずねたところ、「(2) 子どもや家族が持てる」が52.0%で最も多く、以下「(1)好きな人と暮らせる」38.4%、「(3) 将来ひとりでいたくない」27.2%、「(6) 人として成長できる」18.8%の順で続いている。

性別 結婚したい理由

		(%)									
	n	(1) 好暮 きな せ ら せ る と	(2) 子 が ど も て も て る 家 族	(3) 将 来 た ひ く と な り い で	(4) 親 を れ を 安 心 さ せ	(5) 経 済 得 的 ら な れ 安 定	(6) 人 で と き し る て 成 長	(7) 親 で か き ら る 独 立	(8) 社 が 会 得 的 ら な れ 信 用	(9) 一 だ と 思 う な う こ ら	(10) そ の 他
全 体	250	38.4	52.0	27.2	12.8	13.2	18.8	5.2	1.6	10.0	1.6
性 別											
男性	109	46.8	45.0	19.3	11.0	5.5	25.7	5.5	2.8	13.8	1.8
女性	141	31.9	57.4	33.3	14.2	19.1	13.5	5.0	0.7	7.1	1.4

※各属性の上位項目に色付けしている。

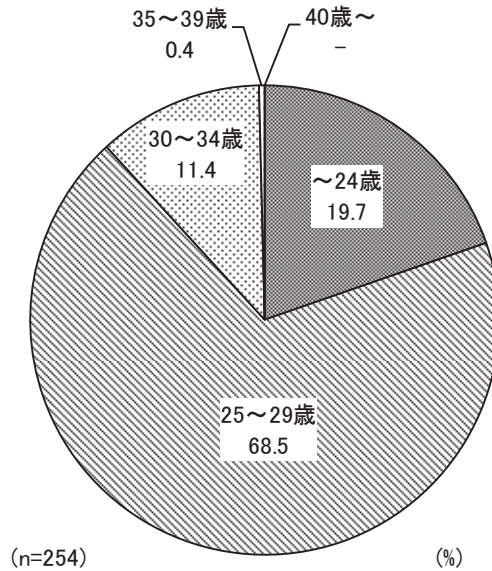
1位	2位	3位
----	----	----

性別でみると、男性は女性よりも「(1)好きな人と暮らせる」が約15%、「(6) 人として成長できる」が約12%、「(9) 一般的なことだと思うから」が約7%高くなっている。一方、女性は男性よりも「(3) 将来ひとりでいたくない」と「(5) 経済的な安定を得られる」がいずれも約14%、「(2) 子どもや家族が持てる」が約12%高くなっている。

5-11 結婚したい年齢（問23（2））

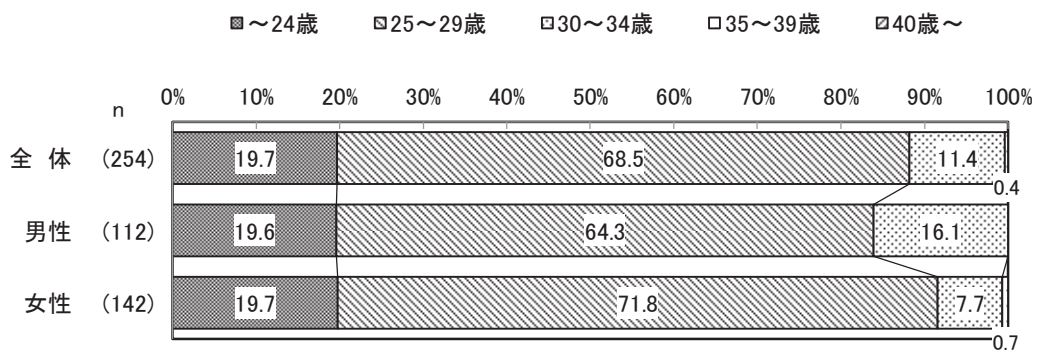
25～29歳が約7割を占める

（問23で「1 いずれ結婚したい（結婚している）」とお答えの方）
 （2）あなたは何歳ごろに結婚したいですか。（○は1つだけ）



結婚したい年齢をたずねたところ、「25～29歳」が68.5%で最も多く、以下「～24歳」19.7%、「30～34歳」11.4%の順が続いている。

性別 結婚したい年齢

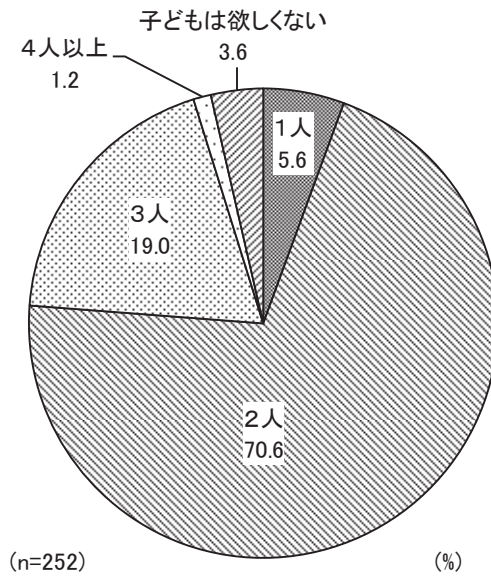


性別で見ると、「25～29歳」は女性が男性よりも約8%高くなっている。一方、「30～34歳」は男性が女性よりも約8%高くなっている。

5-12 欲しい子どもの人数（問23（3））

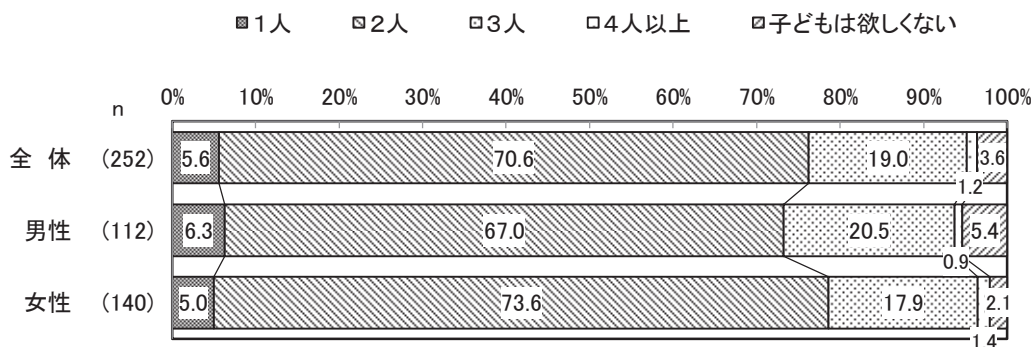
2人が7割

（問23で「1 いずれ結婚したい（結婚している）」とお答えの方）
 （3）あなたは子どもを何人欲しいですか。（○は1つだけ）



欲しい子どもの人数をたずねたところ、「2人」が70.6%で最も多く、以下「3人」19.0%、「1人」5.6%、「子どもは欲しくない」3.6%の順で続いている。

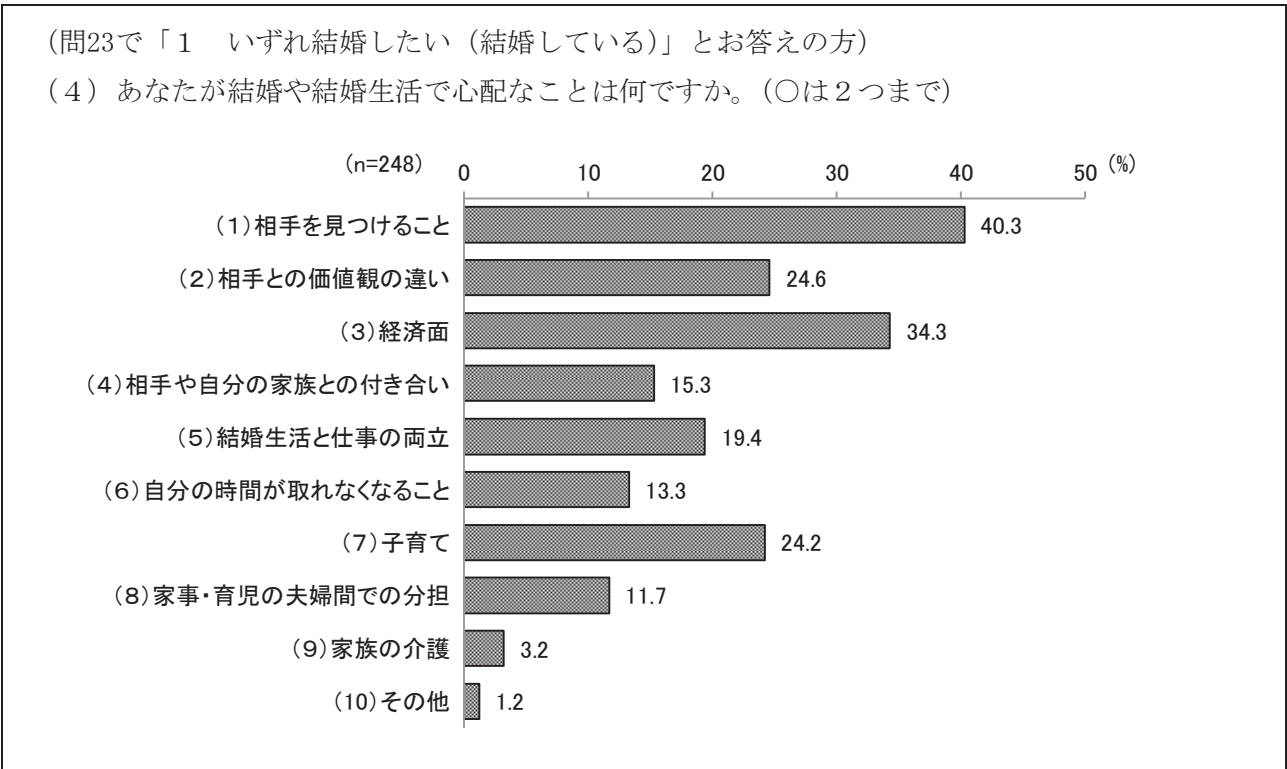
性別 欲しい子どもの人数



性別で見ると、「2人」は女性が男性よりも約7%高くなっている。一方、「3人」及び「子どもは欲しくない」は男性の方がやや高くなっている。

5-13 結婚や結婚生活で心配なこと（問23（4））

「相手を見つけること」や「経済面」が多い



結婚や結婚生活で心配なことをたずねたところ、「(1) 相手を見つけること」が40.3%で最も多く、以下「(3) 経済面」34.3%、「(2) 相手との価値観の違い」24.6%、「(7) 子育て」24.2%の順で続いている。

性別 結婚や結婚生活で心配なこと

		性別 結婚や結婚生活で心配なこと (%)									
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
		相手と 見つける	相手と の違い の価値 観	経済 面	相手と 家族 の自 分の 付き 合 い	結婚 生活 と 仕事 の 両 立	自分 な く な る 時 間 が こ と	子 育 て	家 事・ 夫婦 間 で の 育 児 の 分 担	家 族 の 介 護	そ の 他
全体	248	40.3	24.6	34.3	15.3	19.4	13.3	24.2	11.7	3.2	1.2
性別	男性	39.8	25.0	38.9	13.0	18.5	13.9	21.3	11.1	1.9	1.9
	女性	40.7	24.3	30.7	17.1	20.0	12.9	26.4	12.1	4.3	0.7

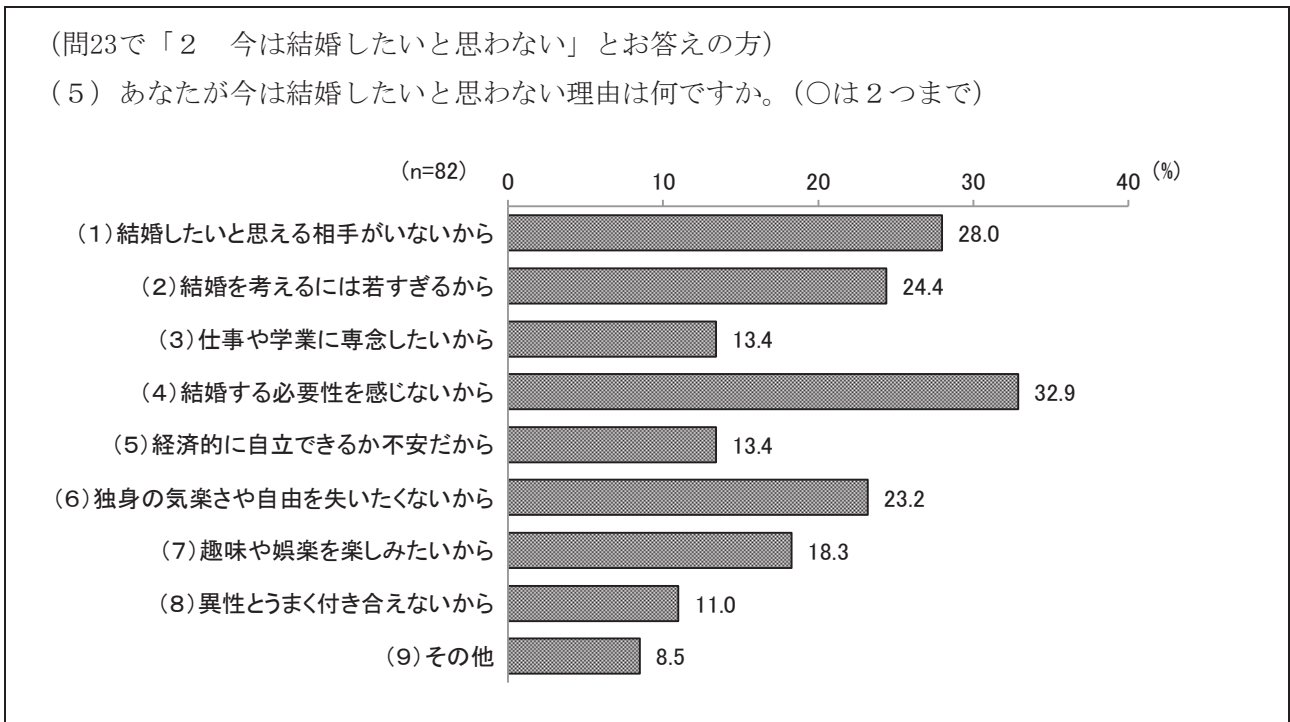
※各属性の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

性別でみると、男女ともに「(1) 相手を見つけること」が最も多く、「(3) 経済面」が次いでおり、「(3) 経済面」は男性が女性よりも約8%高くなっている。一方、「(7) 子育て」は女性が男性よりも約5%高くなっている。

5-14 結婚したいと思わない理由（問23（5））

「結婚する必要性を感じないから」が最も多い



結婚したいと思わない理由をたずねたところ、「(4) 結婚する必要性を感じないから」が32.9%で最も多く、以下「(1) 結婚したいと思える相手がいないから」28.0%、「(2) 結婚を考えるには若すぎるから」24.4%、「(6) 独身の気楽さや自由を失いたくないから」23.2%の順で続いている。

性別 結婚したいと思わない理由

		(%)									
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
n		結相 婚手 しが たい ない 思か えら る	結若 婚す ぎを 考る えか ら に は	仕し 事た やい 学か 業ら に 専 念	結感 婚じ すな るい 必か 要ら 性を	経か 済不 的安 にだ 自か 立ら でき る	独を 身失 のい 気た 楽く さな やい 自か 由ら	趣た 味い やか ら 娯ら 楽を 楽し み	異え 性な とい うか まら く 付 き 合	そ の 他	
全体	82	28.0	24.4	13.4	32.9	13.4	23.2	18.3	11.0	8.5	
性別	男性	42	28.6	31.0	11.9	33.3	16.7	21.4	16.7	4.8	9.5
	女性	40	27.5	17.5	15.0	32.5	10.0	25.0	20.0	17.5	7.5

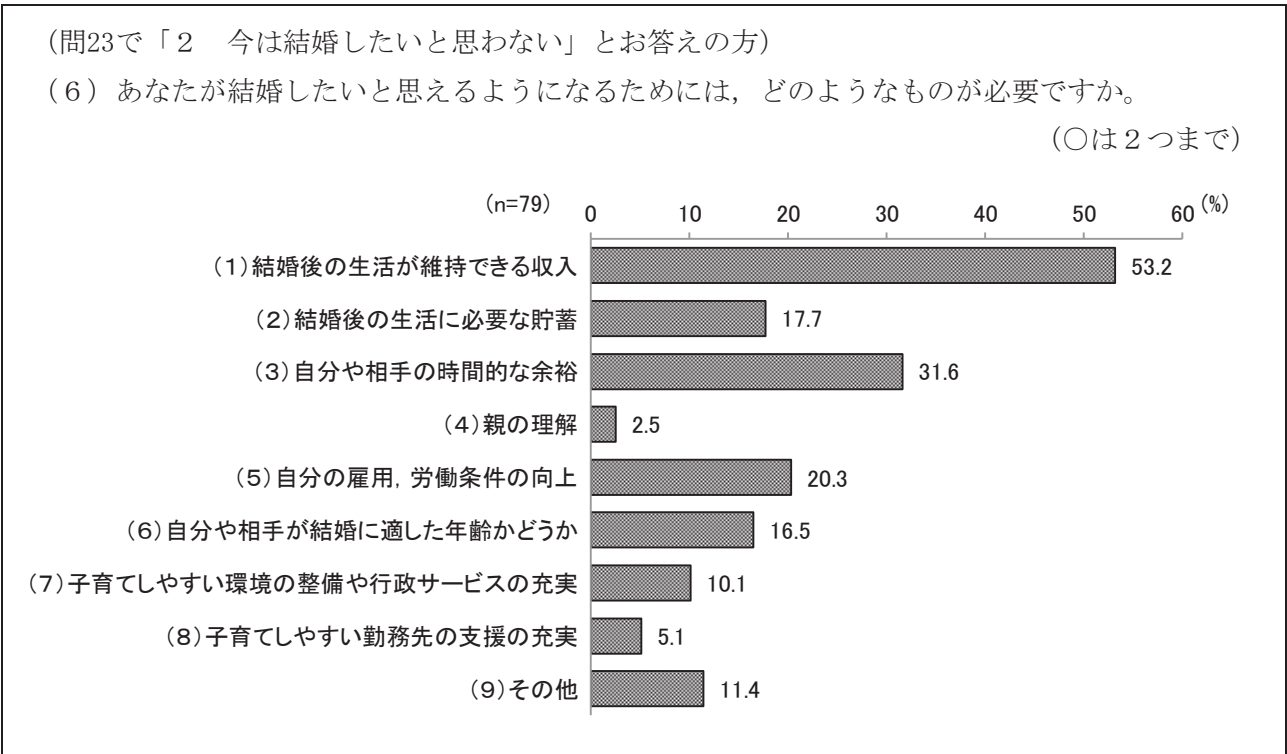
※各属性の上位項目に色付けている。

1位	2位	3位
----	----	----

性別でみると、男女とも「(4) 結婚する必要性を感じないから」が最も多くなっている。男性は女性よりも「(2) 結婚を考えるには若すぎるから」が約14%、「(5) 経済的に自立できるか不安だから」が約7%多くなっている。一方、女性は男性よりも「(8) 異性とうまく付き合えないから」が約13%多くなっている。

5-15 結婚したいと思える条件（問23（6））

「結婚後の生活が維持できる収入」が特に多い



結婚したいと思える条件をたずねたところ、「(1) 結婚後の生活が維持できる収入」が53.2%で最も多く、以下「(3) 自分や相手の時間的な余裕」31.6%、「(5) 自分の雇用、労働条件の向上」20.3%、「(2) 結婚後の生活に必要な貯蓄」17.7%の順で続いている。

性別 結婚したいと思える条件

		(%)								
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
		結婚後の生活が維持できる収入	結婚に必要な貯蓄	自分や相手の時間的な余裕	親の理解	自分の雇用、労働条件の向上	自分や相手が結婚に適した年齢かどうか	子育てしやすい環境の整備や行政サービスの充実	子育てしやすい勤務先の支援の充実	その他
全体	n=79	53.2	17.7	31.6	2.5	20.3	16.5	10.1	5.1	11.4
性別	男性	54.8	19.0	35.7	2.4	21.4	14.3	11.9	2.4	7.1
	女性	51.4	16.2	27.0	2.7	18.9	18.9	8.1	8.1	16.2

※各属性の上位項目に色付けしている。 1位 2位 3位

性別でみると、上位項目は男女でおおむね一致しているが、「(3) 自分や相手の時間的な余裕」は男性が女性よりも約9%高くなっている。一方、「(8) 子育てしやすい勤務先の支援の充実」は女性が男性よりも約6%高くなっている。

6 これからのまちづくり

6-1 目指すべきまちの姿，現在課題となっていること（問30）

問30 あなたは，これからの水戸市はどのようなまちになっていけばよいと思いますか。また，そのようなまちにするにあたって，現在課題となっていると思うことは何ですか。ご自由にご記入ください。

（1）水戸市が目指すべきまちの姿

内 容	件数	内 容	件数
交通機関が発達しており道路も整備されている	125	音楽，美術などの芸術鑑賞や文化活動の機会が多い	9
市内商店街が活性化している	113	子どもが元気に安心して過ごせる環境が整っている	9
魅力的で住みやすい	103	住居環境が整備されている	8
人口減少対策を推進している	74	イベントやコンサートの開催が盛んである	8
魅力ある職場が多い	69	市民の声に耳を傾ける，市民目線の行政	8
人も街も活力にあふれている	69	清潔で衛生的である	7
子育ての環境が整っている	64	病院などの医療機関が整っている	7
観光施設が充実していて観光客が多い	63	図書館，博物館，文化教養施設などが充実している	7
高齢者が生活しやすい環境が整っている	61	歴史と伝統がある	7
治安が良く，安心して生活できる	56	祭り，盆踊り，運動会など地域の行事が盛んである	6
若者が魅力を感じられる環境がある	50	コンパクトシティ化が進んでいる	6
レジャーや娯楽のための施設が多く，生活を楽しめる	29	都会的な雰囲気がある	5
人々の交流が盛んである	29	水が豊富できれいである	2
災害などが比較的少なく安全であり，公害も少ない	28	物価が比較的安く生活しやすい	2
福祉がゆき届いている	28	企業を誘致している	2
公園，運動施設，グラウンドなどが多く利用しやすい	20	駐車場が整備されていて出かけやすい	2
子どもの教育に十分整った環境がある	19	政令指定都市となる	2
住居の周囲が自然に恵まれ静かである	17	住居と職場(学校)が近く通勤(通学)に便利である	1
百貨店や大型店が多く，楽しい買物ができる	17	今のままでよい	5
産業が盛んで活力を感じる	17	その他	24

問1の項目にあてはまらない内容

これからの水戸市はどのようなまちになっていけばよいと思うかを、「問1 水戸市の印象」の各項目を基準として分類した（問1の項目にあてはまらない内容については，新たに項目を設けている）。最も多かった意見としては，「交通機関が発達しており道路も整備されている」が125件で，「市内商店街が活性化している」が113件，「魅力的で住みやすい」が103件で続き，この3項目が100件以上となっている。

(2) 現在課題となっていること

内 容	件数
経済・商業・まちづくり	548
企業誘致, 雇用の増加, 労働条件の向上	99
観光振興	90
中心市街地の活性化	89
レジャー施設の誘致	56
地域間交流, 多世代交流	34
空き店舗の活用	31
産業振興	27
百貨店・大型店の誘致	27
公園・緑地の整備・保全	26
住環境の整備	12
移住者の誘致	11
空き家対策	11
買い物の利便性	9
農地の活用, 農業振興	4
地域活性化	3
その他	19
道路・交通	314
バス路線の拡充・増便, バス運賃	112
鉄道の増設・増便	50
車道の整備, 交通渋滞の改善	36
歩道の整備	33
街路灯の設置	25
駐車場の整備・無料化	17
自転車道の整備	11
デマンドタクシーの設置	8
交通マナーの改善	6
その他	16
保健・福祉・医療	182
社会保障の充実	47
子育て支援全般	46
福祉全般	24
医療の充実	21
保育施設の充実, 保育士の待遇改善	11
高齢者福祉全般	11

内 容	件数
高齢者・障害者福祉施設の充実	6
結婚への支援, 出会いの場の創出	4
ペット・動物対策	3
その他	9
行政	160
市内外へのPR活動	55
市政全般	30
税金・財政	18
人口増加	16
箱物行政の見直し	8
近隣市町村との合併, 政令指定都市への移行	8
行政の窓口対応	3
このアンケートについて	9
その他	13
教育・文化・地域活動	90
学校教育の充実, 教職員の待遇改善	28
地域活動・コミュニティの活性化	22
スポーツ施設の充実	12
教育教養施設の充実	11
文化芸術活動の充実	6
大学の設置・充実	4
その他	7
安全・安心	33
災害全般	9
防犯対策	8
原発・放射線対策	7
交通安全対策	7
その他	2
ごみ・上下水道・環境保全対策	27
上下水道の整備, 水道料金の低減	9
悪臭の改善	9
ごみ・廃棄物対策	8
その他	1
その他	4

“目指すべきまちの姿”にするにあたって、現在課題となっていることは、経済・商業・まちづくりに関する意見が548件で最も多く、内容としては「企業誘致, 雇用の増加, 労働条件の向上」(99件)、「観光振興」(90件)、「中心市街地の活性化」(89件)などとなっている。次いで道路・交通に関する意見が314件で、内容としては「バス路線の拡充・増便, バス運賃」(112件)、「鉄道の増設・増便」(50件)などであった。以下、保健・福祉・医療に関する意見が182件、行政に関する意見が160件、教育・文化・地域活動に関する意見が90件などとなっている。

以上のように、市政全般にわたり様々な意見が多く寄せられており、市民の市政に対する意識・期待の高さがあらわれている。こうした市民の貴重な意見を今後の市政運営に反映し、魅力あるまちづくりに向けた施策を展開していかなければならない。

6-2 水戸市に協力したいこと、協力できること（問31）

問31 水戸市では、人口減少や社会環境の変化、市民ニーズの多様化に対応するため、市民と行政があらゆる分野で協力する「協働のまちづくり」を進めています。あなたが、問30でご回答いただいた、現在課題となっていると思うことを解決するために、水戸市に協力したいことまたは協力できることがあれば、ご自由にご記入ください。

内 容	件数
ボランティア活動	70
情報の発信	30
地域活動への参加	23
まちづくり会議等	19
納税，働き続けること	13
できることがあれば協力したい	14
アンケート，広聴への参加	12
街の美化活動	11
募金	10
健康でいること	6
消費行動	5
あいさつ，見守り活動	5
市政等について知る	5
他人に思いやりを持って接する	5
市内で就職	3
市内で結婚・出産・子育て	2
災害に対する備え	2
できることを考えたい	2
その他	29

水戸市が抱える課題を解決するために協力したいことまたは協力できることとしては、「ボランティア活動」が70件で最も多く、次いで「情報の発信」（30件）、「地域活動への参加」（23件）、「まちづくり会議等」（19件）などとなっている。

こうした市民の参画意識をくみ取り、水戸市が抱える課題を市民と一丸となって解決するための取組など、市民との協働のまちづくりを一層進めていかなければならない。

III 分析結果のまとめ

1 水戸市の住みやすさや、印象など

1-1 水戸市の印象及び住みやすさ（11～20ページ）

水戸市の印象としては、比較的安全で、歴史と伝統があり、自然に恵まれ、清潔なまちと評価されている一方、都会的な雰囲気、産業の活力や魅力的な職場には乏しいと考えられている。

約8割の方が「全体として住みやすい」と感じており、全ての地区で住みやすいと感じる人が住みにくいと感じる人を上回っているが、上中妻地区や飯富地区では住みにくいと感じる人が3割台と比較的多くなっている。

次に、水戸市の印象と全体としての住みやすさの関係をみるため、「問1 水戸市の印象」と「問2 全体としての住みやすさ」の結果を基に、相関係数を算出した。

	問1 加重平均	問1×問2 相関係数
(1)住居の周囲が自然に恵まれている	0.86	0.29
(2)水が豊富できれいである	0.51	0.37
(3)レジャーや娯楽のための施設があり、生活を楽しめる	-0.60	0.44
(4)百貨店や大型店があり、楽しい買物ができる	-0.12	0.44
(5)都会的な雰囲気がある	-1.16	0.37
(6)交通機関が発達している	-0.61	0.39
(7)道路が整備されている	0.14	0.41
(8)災害などが比較的少なく安全である	1.02	0.36
(9)清潔で衛生的である	0.59	0.46
(10)福祉がゆき届いている	-0.21	0.47
(11)病院などの医療機関が整っている	0.54	0.50
(12)子育てや教育の環境が整っている	0.16	0.55
(13)音楽、美術などの芸術鑑賞や文化活動の機会が多い	0.01	0.42
(14)図書館、博物館、文化教養施設などが充実している	0.35	0.47
(15)歴史と伝統がある	0.99	0.37
(16)公園、スポーツ施設、グラウンドなどが充実している	0.20	0.42
(17)住居と職場(学校)が近く通勤(通学)に便利である	0.44	0.40
(18)物価が比較的安く生活しやすい	0.20	0.47
(19)産業が盛んで活力を感じる	-0.95	0.42
(20)魅力ある職場が多い	-1.00	0.44
(21)祭り、盆踊り、運動会などの地域行事が盛んである	0.15	0.39
(22)近所の人々が親切で人情がある	0.40	0.40

※値が高いほど濃い色としている。

↓ ↓
満足度 相関

○加重平均の算出方法はP12を参照のこと。

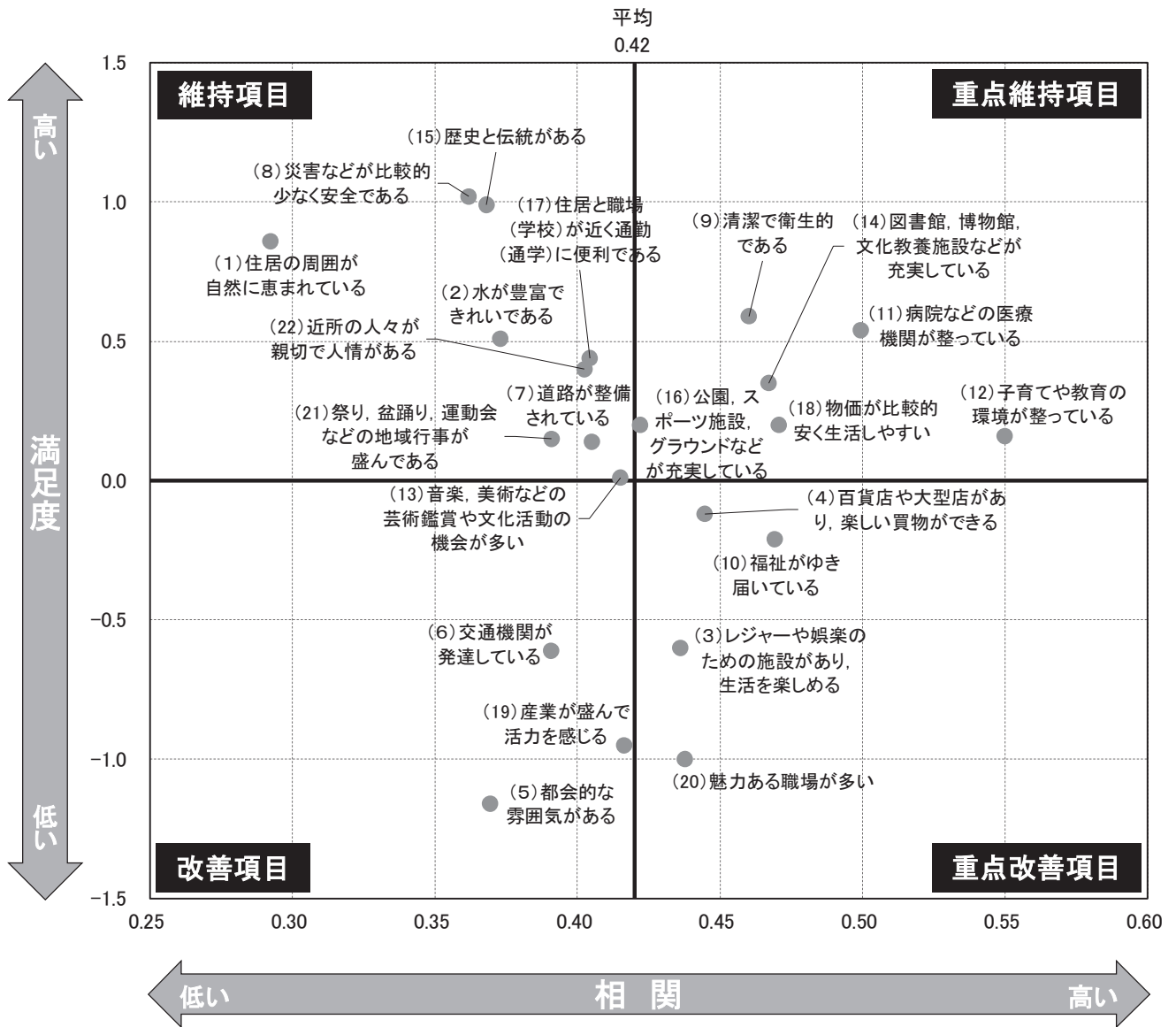
○相関係数※は、問1の(1)～(22)それぞれと問2の回答結果(「わからない」は除く)について、以下の式により算出する。

$$\frac{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})(y_i - \bar{y})}{\sqrt{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2} \sqrt{\sum_{i=1}^n (y_i - \bar{y})^2}}$$

※相関係数：2種類のデータの関係を示す指標。-1から1までの値となり、値が大きいほど2項目の相関関係が強くなる。おおむね0.2以上の場合、一方が増加するともう一方も増加する「正の相関」、-0.2以下の場合、一方が増加するともう一方は減少する「負の相関」となる。

問1の加重平均値を「満足度」(縦軸), 問1と問2の相関係数を「相関」(横軸)として設定し, プロットした結果が, 下図の通りである。

水戸市の印象と全体としての住みやすさの相関



重点維持項目	満足度が高く, 全体的な住みやすさとの相関も高いことから, 今後もより重点的に維持(充実)すべき項目
維持項目	満足度が高く, 全体的な住みやすさとの相関が低いことから, 現状を維持すべき項目
重点改善項目	満足度が低く, 全体的な住みやすさとの相関が高いことから, 重点的に改善すべき項目
改善項目	満足度が低いが, 全体的な住みやすさとの相関も低いことから, 優先度は低いが改善すべき項目

前頁の図では、相関度が高い（横軸の値が大きい）ほど、問1（1）～（22）それぞれの印象と問2の全体的な住みやすさとの関係が強い（住みやすさに及ぼす影響が大きい）ことを表している。

満足度の正負及び相関の平均値で区切った4つのグループに分類すると、満足度が高く全体的な住みやすさとの相関が高い「重点維持項目」は、「（9）清潔で衛生的である」、「（11）病院などの医療機関が整っている」、「（14）図書館、博物館、文化教養施設などが充実している」、「（16）公園、スポーツ施設、グラウンドなどが充実している」、「（18）物価が比較的安く生活しやすい」、「（12）子育てや教育の環境が整っている」の6項目となっている。また、満足度が高く全体的な住みやすさとの相関が低い「維持項目」は、「（8）災害などが比較的少なく安全である」、「（15）歴史と伝統がある」、「（1）住居の周囲が自然に恵まれている」、「（2）水が豊富できれいである」、「（17）住居と職場（学校）が近く通勤（通学）に便利である」、「（22）近所の人々が親切で人情がある」、「（21）祭り、盆踊り、運動会などの地域行事が盛んである」、「（7）道路が整備されている」、「（13）音楽、美術などの芸術鑑賞や文化活動の機会が多い」の9項目が該当している。

一方、満足度が低く全体的な住みやすさとの相関が高い「重点改善項目」は、「（20）魅力ある職場が多い」、「（3）レジャーや娯楽のための施設があり、生活を楽しめる」、「（10）福祉がゆき届いている」、「（4）百貨店や大型店があり、楽しい買物ができる」の4項目となっている。また、満足度が低い全体的な住みやすさとの相関も低い「改善項目」は、「（5）都会的な雰囲気がある」、「（19）産業が盛んで活力を感じる」、「（6）交通機関が発達している」の3項目が該当している。

まとめると、衛生面、医療機関、文化施設、公園、スポーツ施設、物価、子育て・教育環境は現状の満足度が高く、重点的に維持することで住みやすさを向上させる効果も大きいことから、今後もより重点的に維持（充実）していくべきである。また、防災、歴史・伝統、自然・水環境、職住接近、地域社会、道路整備、文化・芸術活動は満足度が高く、住みやすさの向上にもそれほど影響がないため、現状を維持するべきである。

一方、魅力ある職場、レジャー・娯楽施設、福祉、商業施設については現状の満足度が低く、住みやすさに与える影響も大きいため、重点的に改善するべきである。また、都会的な雰囲気、産業振興、交通機関は満足度が低い住みやすさにはそれほど影響がないため、重点改善項目より優先度は低いものの改善すべき項目となっている。

1-2 定住意向及び住む場所を選ぶ際に重視すること (21~31ページ)

- ・今後も水戸市に住みたいかどうかについては、今後も水戸市に「住みたい」が6割強を占めるが、平成23年調査からは11%減少した。年齢が高くなるにつれて増加する傾向があり、60歳以上では8割前後に達するが、20歳未満では半数を下回っている。また、稲荷第一地区で50%と他の地区に比べて低くなっている。
- ・定住を希望する主な理由としては、地縁・血縁（「自分の家や土地があるから」、「自分が生まれ育ったところだから」、「親類や知人が近くにいるから」）及び災害の少なさが挙げられている。災害の少なさは平成23年調査より大幅に増加した。
- ・定住を希望しない理由としては、地縁（「この土地に愛着がないから」、「自分が生まれ育ったところではないから」）及び生活上の利便性を挙げるものが多かった。男女とも「愛着がない」が最も多く、男性は「生まれ育ったところではない」や「通勤・通学に不便」、女性は「買物に不便」や「レジャー施設が少ない」が多くなっている。
- ・住む場所を選ぶ際に重視する主な要素は、生活上の利便性や治安・防災の安全面となっている。「交通の便」は20歳代以下、「治安の良さ」は20歳未満及び50歳代、「買物のしやすさ」は20歳代、「自然災害の少なさ」や「医療・福祉」は60歳以上で多くなっている。

2 水戸市の地方創生の取組（32～39ページ）

水戸市の地方創生の取組の成果を「結果が生じたか」で評価してもらったところ、全項目で否定派（「そう思わない」＋「あまりそう思わない」）が肯定派（「そう思う」＋「まあそう思う」）を上回り、「(15)古くなった住宅のリフォームや、人が住まなくなった住宅の利活用が進んだ」、「(5)水戸市へ移住してくる人が増えた」、「(3)企業の進出や新しい店舗の出店により、働くことができる場所が増えた」、「(1)市内の企業や商店などの活動が活発になり、地域経済が活性化した」は特に評価が低かった。

一方、「働く高齢者、女性などが増えた」、「(7)芸術文化活動やスポーツが盛んになった」、「(8)水戸の歴史を生かしたまちづくりが進んだ」は比較的評価が高かった。

また、これらの中から今後優先すべき項目を選んでももらったところ、医療・介護や子育て支援といった福祉施策及び公共交通の利便性や経済の活性化が多く求められていることがわかる。

次に、地方創生の取組の評価と今後優先すべき項目の関係をみるため、「問5 水戸市の地方創生の取組の成果」と「問6 市において今後優先すべき項目」の結果をまとめた。

	問5 肯定派 (%)	問5 否定派 (%)	問6
(1)市内の企業や商店などの活動が活発になり、地域経済が活性化した	14.3	72.2	29.8
(2)観光客が増え、まちに新たなにぎわいが生まれた	16.7	73.4	15.0
(3)企業の進出や新しい店舗の出店により、働くことができる場所が増えた	13.5	67.5	20.1
(4)働く高齢者や障害者、女性などが増えた	37.1	39.2	7.5
(5)水戸市へ移住してくる人が増えた	9.1	57.9	9.1
(6)水戸市から移住していく人が減った	9.0	44.6	2.6
(7)芸術文化活動やスポーツが盛んになった	39.2	43.0	6.0
(8)水戸の歴史を生かしたまちづくりが進んだ	37.0	45.8	7.6
(9)豊かな自然環境を生かした魅力ある公園や緑地が増えた	29.6	56.7	9.8
(10)地元企業に就職する若い世代が増えた	10.1	49.3	16.4
(11)出産・子育てがしやすい環境づくりが進んだ	19.1	46.4	28.8
(12)子どもたちの教育環境が充実した	25.1	44.6	13.7
(13)ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭生活の両立)など、働き方の意識が変わった	21.6	44.9	10.5
(14)バスなどの公共交通が利用しやすくなった	24.0	66.1	30.9
(15)古くなった住宅のリフォームや、人が住まなくなった住宅の利活用が進んだ	10.0	62.5	16.3
(16)医療や介護のサービスが充実し、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりが進んだ	28.0	47.2	43.7
(17)地域防災の取組が活性化するなど、災害に強いまちづくりが進んだ	27.9	47.2	18.6
(18)スポーツ施設や図書館の相互利用など、近隣の市町村と連携した取組が進んだ	24.5	41.1	5.2

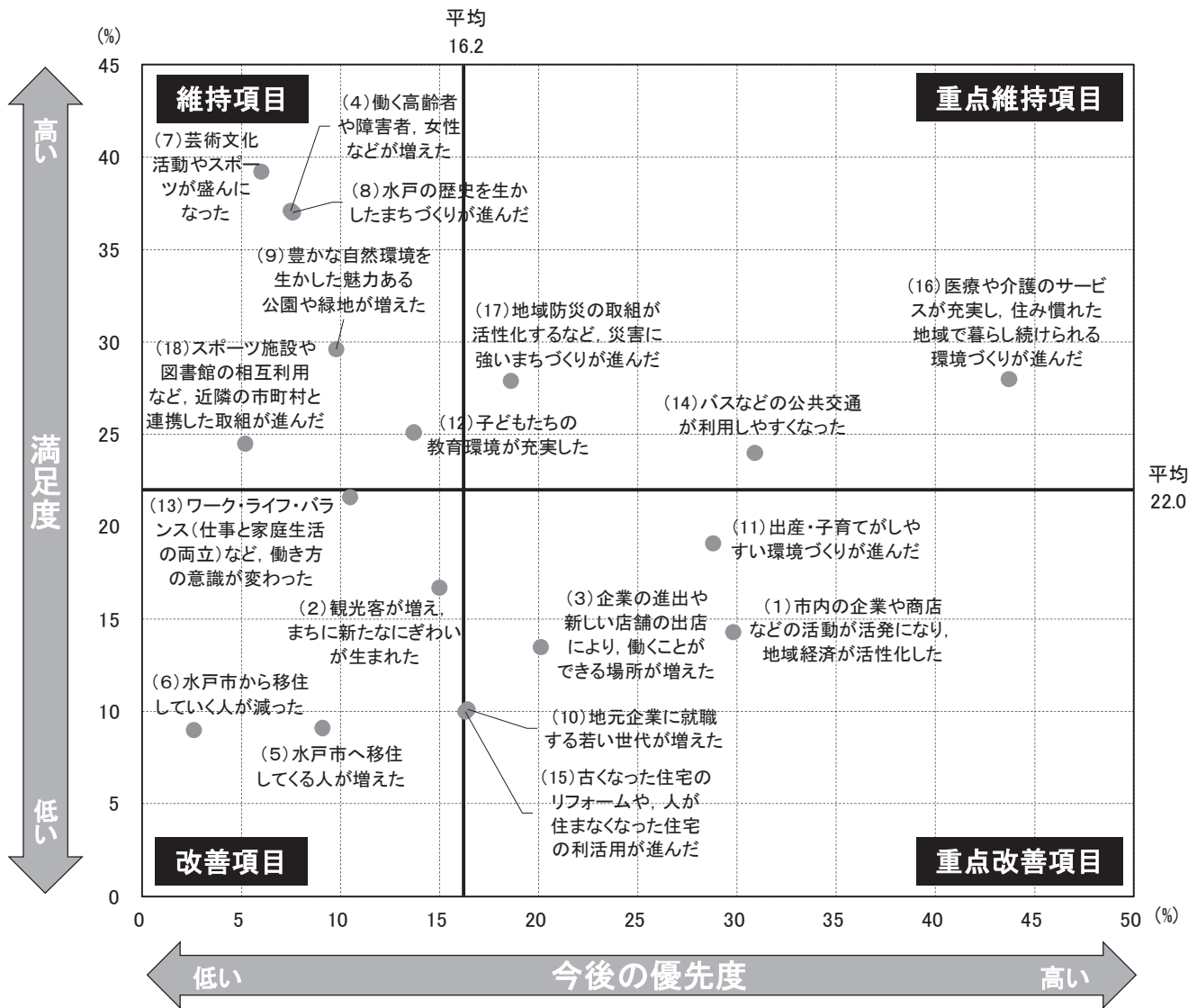
※値が高いほど濃い色としている。

↓
満足度

↓
今後の優先度

問5の肯定派を「満足度」(縦軸), 問6の結果を「今後の優先度」(横軸)として設定し, プロットした結果が, 下図の通りである。

水戸市の地方創生の取組の成果と今後優先すべき項目の相関 (満足度)



重点維持項目	満足度が高く, 今後の優先度も高いことから, 今後もより重点的に維持(充実)すべき項目
維持項目	満足度が高く, 今後の優先度が低いことから, 現状を維持すべき項目
重点改善項目	満足度が低く, 今後の優先度が高いことから, 重点的に改善すべき項目
改善項目	満足度が低い, 今後の優先度も低いことから, 優先度は低い改善すべき項目

前頁の図では、問5（1）～（18）の各項目について、縦軸の値が大きいほど満足度が高く、横軸の値が大きいほど今後の優先度が高いことを表している。

満足度及び今後の優先度の平均値で区切った4つのグループに分類すると、満足度と今後の優先度がいずれも高い「重点維持項目」は、「(16) 医療や介護のサービスが充実し、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりが進んだ」、「(17) 地域防災の取組が活性化するなど、災害に強いまちづくりが進んだ」、「(14) バスなどの公共交通が利用しやすくなった」の3項目となっている。また、満足度が高く今後の優先度が低い「維持項目」は、「(7) 芸術文化活動やスポーツが盛んになった」、「(4) 働く高齢者や障害者、女性などが増えた」、「(8) 水戸の歴史を生かしたまちづくりが進んだ」、「(9) 豊かな自然環境を生かした魅力ある公園や緑地が増えた」、「(12) 子どもたちの教育環境が充実した」、「(18) スポーツ施設や図書館の相互利用など、近隣の市町村と連携した取組が進んだ」の6項目が該当している。

一方、満足度が低く、今後の優先度が高い「重点改善項目」は、「(15) 古くなった住宅のリフォームや、人が住まなくなった住宅の利活用が進んだ」、「(10) 地元企業に就職する若い世代が増えた」、「(3) 企業の進出や新しい店舗の出店により、働くことができる場所が増えた」、「(1) 市内の企業や商店などの活動が活発になり、地域経済が活性化した」、「(11) 出産・子育てがしやすい環境づくりが進んだ」の5項目となっている。また、満足度が低いが、今後の優先度も低い「改善項目」は、「(5) 水戸市へ移住してくる人が増えた」、「(6) 水戸市から移住していく人が減った」、「(2) 観光客が増え、まちに新たなにぎわいが生まれた」、「(13) ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の両立）など、働き方の意識が変わった」の4項目が該当している。

まとめると、医療・介護、地域防災、公共交通は現状の満足度と今後の優先度がいずれも高いことから、今後もより重点的に維持（充実）していくべきである。また、芸術文化・スポーツ、ダイバーシティ、歴史を生かしたまちづくり、公園・緑地、教育環境、近隣市町村との連携は満足度が高く今後の優先度が低いため、現状を維持するべきである。

一方、住宅の利活用、地元企業への就職、働く場所の確保、地域経済の活性化、出産・子育て環境については現状の満足度が低く、今後の優先度が高いため、重点的に改善するべきである。また、水戸市への移住者の増加及び水戸市からの移住者の減少、観光振興、働き方改革は満足度が低いが今後の重要度も低いため、重点改善項目より優先度は低いものの改善すべき項目となっている。

3 住まいの周辺の環境

3-1 生活環境の評価及び満足度（40～47ページ）

住まいの周囲の生活環境を評価してもらったところ、加重平均は全26項目中23項目でプラスとなり、全体的に評価が高かった。特に「(24) 日あたり」、「(1) ごみの収集」、「(22) 工場のばい煙、におい」、「(2) 生活排水（污水）やし尿のくみ取り」は評価が高くなっている。

一方、「(9) 子どもの遊び場」、「(7) 歩道などの交通安全施設」、「(6) 近所の夜道の照明」はマイナス点となり評価が低かった。

これらを総合した生活環境の満足度は、「満足」と「やや満足」を合わせた満足派が8割強を占めている。

次に、生活環境の評価と総合的な満足度の関係を見るため、「問7 生活環境の評価」と「問8 生活環境の満足度」の結果を基に、相関係数を算出した。

	問7 加重平均	問7×問8 相関係数
(1)ごみの収集	1.29	0.36
(2)生活排水(污水)処理やし尿のくみ取り	1.14	0.39
(3)雨水の水はけ	0.62	0.37
(4)水道水の味や出ぐあい	0.93	0.34
(5)近所の道路の幅や舗装	0.07	0.40
(6)近所の夜道の照明	-0.15	0.36
(7)歩道などの交通安全施設	-0.16	0.37
(8)近所の空家・空地	0.03	0.29
(9)子どもの遊び場	-0.40	0.31
(10)保育所, 幼稚園への通所, 通園	0.48	0.37
(11)学校への通学	0.59	0.38
(12)日用品, 食料品の買物	0.86	0.37
(13)勤務先への通勤	0.63	0.39
(14)病院, 医院への通院	0.63	0.39
(15)市民センターや集会所の利用のしやすさ	0.37	0.35
(16)バスや鉄道などの交通機関	0.02	0.37
(17)市役所, 出張所などの窓口サービス	0.71	0.32
(18)空気のきれいさ	0.96	0.35
(19)近所の騒音	0.76	0.38
(20)自動車の騒音	0.59	0.35
(21)自動車の排気ガス	0.65	0.38
(22)工場のばい煙, におい	1.23	0.33
(23)近所の下水のにおい	1.01	0.35
(24)日あたり	1.31	0.33
(25)樹木, 生垣などの緑	0.99	0.32
(26)まちの美観やまちなみ	0.65	0.47

※値が高いほど濃い色としている。

↓
評価 ↓
 相関

○加重平均の算出方法はP41を参照のこと。

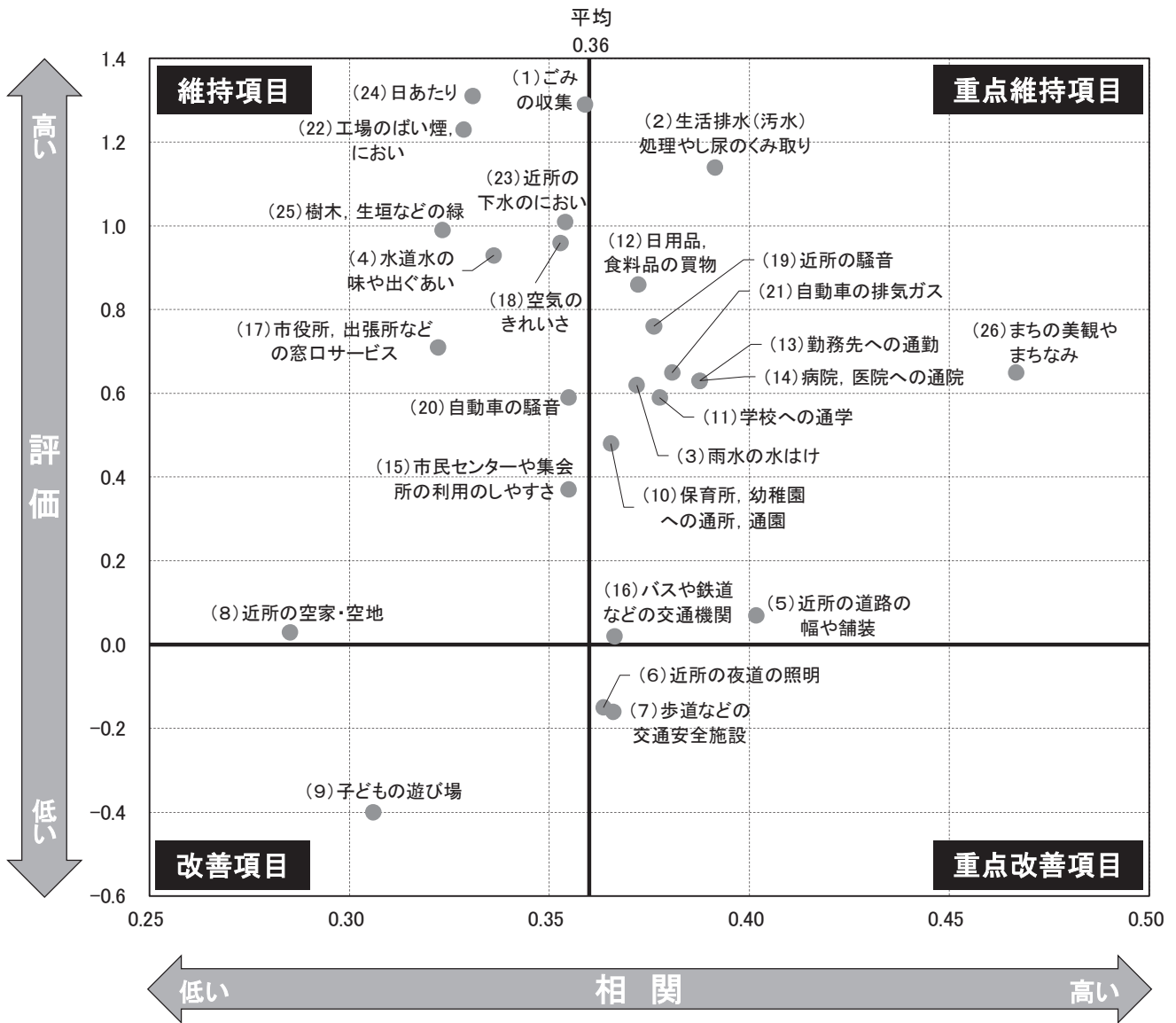
○相関係数^{*}は、問7の(1)～(26)それぞれと問8の回答結果について、以下の式により算出する。

$$\frac{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})(y_i - \bar{y})}{\sqrt{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2} \sqrt{\sum_{i=1}^n (y_i - \bar{y})^2}}$$

※相関係数：2種類のデータの関係を示す指標。-1から1までの値となり、値が大きいほど2項目の相関関係が強くなる。おおむね0.2以上の場合、一方が増加するともう一方も増加する「正の相関」、-0.2以下の場合、一方が増加するともう一方は減少する「負の相関」となる。

問7の加重平均値を「評価」(縦軸), 問7と問8の相関係数を「相関」(横軸)として設定し, プロットした結果が, 下図の通りである。

生活環境の評価と総合満足度の相関



重点維持項目	評価が高く, 生活環境の満足度との相関も高いことから, 今後もより重点的に維持(充実)すべき項目
維持項目	評価が高く, 生活環境の満足度との相関が低いことから, 現状を維持すべき項目
重点改善項目	評価が低く, 生活環境の満足度との相関が高いことから, 重点的に改善すべき項目
改善項目	評価が低いが, 生活環境の満足度との相関も低いことから, 優先度は低い改善すべき項目

前頁の図では、相関度が高い（横軸の値が大きい）ほど、問7（1）～（26）それぞれの評価と問8の総合的な満足度との関係が強い（満足度に及ぼす影響が大きい）ことを表している。

評価の正負及び相関の平均値で区切った4つのグループに分類すると、評価が高く生活環境の満足度との相関が高い「重点維持項目」は、「(2) 生活排水（汚水）処理やし尿のくみ取り」、「(12) 日用品、食料品の買物」、「(19) 近所の騒音」、「(21) 自動車の排気ガス」、「(26) まちの美観やまちなみ」、「(13) 勤務先への通勤」、「(14) 病院、医院への通院」、「(3) 雨水の水はけ」、「(11) 学校への通学」、「(10) 保育所、幼稚園への通所、通園」、「(5) 近所の道路の幅や舗装」、「(16) バスや鉄道などの交通機関」の12項目となっている。また、評価が高く生活環境の満足度との相関が低い「維持項目」は、「(24) 日あたり」、「(1) ごみの収集」、「(22) 工場のばい煙、におい」、「(23) 近所の下水のにおい」、「(25) 樹木、生垣などの緑」、「(18) 空気のきれいさ」、「(4) 水道水の味や出ぐあい」、「(17) 市役所、出張所などの窓口サービス」、「(20) 自動車の騒音」、「(15) 市民センターや集会所の利用のしやすさ」、「(8) 近所の空家・空地」の11項目が該当している。

一方、評価が低く生活環境の満足度との相関が高い「重点改善項目」は、「(7) 歩道などの交通安全施設」と「(6) 近所の夜道の照明」の2項目となっている。また、評価が低い生活環境の満足度との相関も低い「改善項目」は、「(9) 子どもの遊び場」が該当している。

まとめると、排水処理・し尿くみ取り、日用品・食料品の買物、近所の騒音、自動車の排気ガス、まちなみ、勤務先・学校・保育所・幼稚園への通勤・通学、病院・医院への通院、道路幅・舗装や水はけ、交通機関については現状の評価が高く、重点的に維持することで生活環境の満足度を上げる効果も大きいことから、今後もより重点的に維持（充実）していくべきである。また、日あたり、ごみ収集、工場のばい煙・においや下水のにおい、樹木などの緑、空気のきれいさ、水道水、市役所などの窓口サービス、自動車の騒音、市民センターなどの利便性、空家・空地については評価が高く生活環境の満足度にはそれほど影響がないため、現状を維持するべきである。

一方、交通安全施設と夜間の照明については現状の評価が低く、生活環境の満足度に与える影響も大きいため、重点的に改善するべきである。また、子どもの遊び場は評価が低い生活環境の満足度にはそれほど影響がないため、重点改善項目より優先度は低いものの改善すべき項目となっている。

3-2 施設整備の要望（48～52ページ）

住まいの地区で整備してもらいたい施設は、「道路の拡幅や舗装」、「街路灯、防犯灯」、「バスなどの公共交通」、「自転車の通行スペース」、「交通安全施設（歩道等）」の順で多く、生活基盤面での整備要望が高い。「道路の拡幅や舗装」は鯉淵地区と酒門地区、「街路灯、防犯灯」は笠原地区と稲荷第一地区、「買物施設（日用品、食料品）」は飯富地区、三の丸地区、五軒地区、「バスなどの公共交通」は飯富地区、鯉淵地区、国田地区、稲荷第一地区でそれぞれ多くなっている。

4 人口減少に対する意識やその対応策（53～74ページ）

- ・人口減少が進んだ場合に影響が大きいと考えることは、「社会保険料や医療費の増額など、社会保障にかかる個人の負担が増える」が特に多く、「税金が減り、行政サービスが悪くなる」、「空家、空地が増えるなど、治安が悪くなる」、「経済活動を支える働き手が不足する」、「電車やバスなどの公共交通機関が少なくなり、不便になる」が3割台となっており、個人の負担増が最も懸念されている。
- ・地域経済活性化のために取り組むべきこととしては、「企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出」が最も多く、「本市ならではの歴史・文化、豊かな自然などを生かした観光産業の振興」、「正規雇用の拡大や雇用におけるミスマッチの解消」が続いている。
- ・少子化対策の取組としては、「子育てと仕事を両立できる職場環境づくり」が最も多く、「安心して妊娠・出産・子育てができる医療提供体制の充実」、「仕事をしながら安心して子どもを預けられる保育環境の充実」、「若い世代の雇用確保などによる経済活動の活性化」と続いており、職場環境づくりは女性で特に多くなっている。
- ・安全・安心に暮らせる地域づくりへの取組としては、「防犯・災害対策や空家対策など安心して暮らせる居住環境づくり」が最も多く、「路線バスなどの公共交通網の整備」、「地域の防災、防犯、治安の向上のための住民同士のネットワークづくり」、「自治会や地域コミュニティ活動の活性化などによる地域力の強化」、「高齢者や若者など地域住民の社会活動への参加促進」の順となっている。
- ・高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組としては、「買い物・通院等が不便・困難な地域への移動支援など、地域生活の利便性の向上」が最も多く、「高齢者の就労支援の充実、生きがいつくりなど、社会活動への参加促進」、「介護を必要とする高齢者へのサービスの充実」、「介護予防、認知症予防、健康づくりなど健康寿命の向上を目指す取組の充実」の順で続いている。
- ・地域の活性化やにぎわい創出のための取組としては、「中心市街地の活性化」が最も多く、「観光によるまちづくり」、「多世代交流などによる高齢者の社会参加と生きがいつくり」、「食、土産品の魅力向上」の順で続いている。
- ・水戸市への新たなひとの流れを生み出すための取組としては、「水戸市における生活の魅力等の発信」が最も多く、「地元企業の支援などによる雇用の創出」、「空家の活用など、住まいの提供」、「企業の情報発信などによる、大学生等の市内就職の促進」の順で続いている。また、「体験型観光の充実などによる、インバウンド観光を含めたさらなる交流の創出」は20歳未満、40歳代及び学生・生徒で1割台と比較的が多くなっている。
- ・今後の人口減少対策で最も重要なことは、「産業の振興により、経済を活性化させて、雇用を拡大する取組」が最も多く、「子育て支援や仕事と家庭の両立の実現により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組」、「福祉、医療の充実により、誰もが安心して暮らせる地域を目指す取組」の順で続いている。産業振興は男性、子育て支援や仕事と家庭の両立は20～30歳代、福祉・医療の充実は女性及び70歳以上で多くなっている。

5 職業意識・職業観や結婚・子育て

5-1 職業意識・職業観 (75~84ページ)

高校生，大学生，短期大学生，専門学生が将来就職を希望する職種は，「サービス系」，「技術系」，「事務系」が多くなっている。男性は「技術系」，「サービス系」，「研究・開発系」，女性は「サービス系」，「事務系」，「技術系」が上位3職種となっている。

就職を希望する分野は，「公務員」と「福祉・医療」が多く，「教員」，「電気・機械」，「IT系」と続く。男性は「公務員」，「電気・機械」，「IT系」，女性は「福祉・医療」，「公務員」，「教員」が上位3分野となっている。

就職先を決める際の情報元は，「大学・先生・先輩」と「会社のホームページ」が多く，「就活サイト」，「会社訪問」，「就職情報誌」が続く。情報元の傾向は男女ではほぼ同じだが，全体的に女性の方が参考にしたいと思う割合が高く，情報収集に熱心であることがうかがえる。

職業や就職先を選ぶときに重視することとしては「賃金・給与」が突出しており，「自分に向いているか」，「休日（週休2日など）」，「やりがいを感じられるか」が続く。給与や休日といった待遇が最も重視されているものの，適性ややりがいも重要な要素であることがわかる。

就職を希望する場所としては，東京圏が男女ともに約5割を占める。「水戸市内」を選択した人は約4割で，女性の方がやや高くなっている。市内で就職を希望する理由としては，「家族がいる」が最も多いが，「住みやすい・生活しやすい」や「水戸市に愛着がある・水戸市が好き」といった理由を挙げる人も多かった。一方，市外で就職を希望する理由としては「市外（都会）に住んでみたい」，「希望する職種がある」，「自立したい」が多くなっている。

市内での就職を希望する人が行政に希望することとしては，「企業に対する労働条件向上の働きかけ」が突出し，以下，「職場見学の充実」，「提供する就職情報の充実」となっており，男性では「企業誘致による雇用の創出」を希望する人も多かった。

次に，学生が就職を希望する場所別に，希望する職種及び分野，情報源，就職先に重視することをみると以下の通りである。

就職希望場所別 就職を希望する職種

		(%)									
		n	(1) 事務系	(2) サービス系	(3) 技術系	(4) 企画系	(5) 製造系	(6) 販売系	(7) 営業系	(8) 研究・開発系	(9) その他
全体		327	24.5	28.7	24.8	11.9	6.7	6.4	7.3	16.5	23.5
就職希望場所別	水戸市内	122	35.2	24.6	16.4	3.3	5.7	8.2	8.2	9.8	27.9
	水戸市外(東京圏)	164	20.1	34.1	31.1	20.7	6.1	6.1	8.5	18.3	18.3
	水戸市外(東京圏以外)	41	9.8	19.5	24.4	2.4	12.2	2.4	-	29.3	31.7

※各層の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

職種は，市内の就職希望者は「(1) 事務系」が35.2%で最も多く，「(2) サービス系」が24.6%，「(3) 技術系」が16.4%で続く。東京圏の就職希望者は「(2) サービス系」，東京圏以外の就職希望者は「(8) 研究・開発系」が最も多くなっている。

就職希望場所別 就職を希望する分野

(%)

	n	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)
		福祉・医療	公務員	教員	食品・化粧品	電気・機械	建築・土木	広告・出版	ファッション	旅行・観光	I T系	農林水産
全体	339	23.3	24.5	16.5	6.8	13.9	5.9	7.4	5.0	8.6	13.0	2.1
全体	333	23.4	24.6	16.2	6.9	13.8	6.0	7.5	5.1	8.4	13.2	2.1
就職希望場所別	水戸市内	126	25.4	35.7	23.8	7.9	6.3	7.1	4.8	5.6	11.9	2.4
	水戸市外(東京圏)	166	19.9	18.7	11.4	7.2	15.1	5.4	11.4	5.4	12.0	15.1
	水戸市外(東京圏以外)	41	31.7	14.6	12.2	2.4	31.7	4.9	-	2.4	2.4	9.8

(%)

	n	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	
		芸能・スポーツ	インテリア	金融・証券・保険	弁護士・税理士	外食	不動産	理美容	コンサルタント	配送	その他	
全体	339	10.0	3.5	5.0	2.7	2.1	1.8	3.5	1.2	-	11.8	
全体	333	9.9	3.6	5.1	2.7	2.1	1.8	3.6	1.2	-	11.7	
就職希望場所別	水戸市内	126	7.9	4.0	4.0	2.4	2.4	1.6	3.2	2.4	-	9.5
	水戸市外(東京圏)	166	12.7	3.0	7.2	3.6	2.4	1.8	4.2	0.6	-	12.7
	水戸市外(東京圏以外)	41	4.9	4.9	-	-	-	2.4	2.4	-	-	14.6

※各層の上位項目に色付けている。 1位 2位 3位

分野は、市内の就職希望者は「(2) 公務員」が35.7%で最も多く、「(1) 福祉・医療」が25.4%、「(3) 教員」が23.8%で続く。東京圏の就職希望者は「(1) 福祉・医療」が最も多いが、多様な分野に分散する傾向がみられる。東京圏以外の就職希望者は「(1) 福祉・医療」と「(5) 電気・機械」が多くなっている。

就職希望場所別 就職先を決める際の情報元

(%)

	n	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
		会社のホームページ	就活サイト	会社訪問	新聞	就職情報誌	親・兄弟・姉妹	大学・先生・先輩	友達	その他	
全体	334	53.3	39.8	31.7	3.9	32.0	25.7	59.6	17.7	3.6	
就職希望場所別	水戸市内	127	48.8	42.5	22.8	2.4	31.5	25.2	67.7	18.1	1.6
	水戸市外(東京圏)	166	54.2	41.0	39.8	4.8	32.5	24.7	54.2	18.7	4.8
	水戸市外(東京圏以外)	41	63.4	26.8	26.8	4.9	31.7	31.7	56.1	12.2	4.9

※各層の上位項目に色付けている。 1位 2位 3位

情報源は、市内の就職希望者は「(7) 大学・先生・先輩」が67.7%で最も多く、「(1) 会社のホームページ」が48.8%、「(2) 就活サイト」が42.5%で続く。東京圏及び東京圏以外の就職希望者も「(1) 会社のホームページ」と「(7) 大学・先生・先輩」が上位2項目となっている。

就職希望場所別 職業や就職先を選ぶときに重視すること

(%)

		n	(1) 賃金・給与	(2) 休日など (週休2日)	(3) 自分に向いているか	(4) やりがいがあるか	(5) 勤務時間や残業	(6) 職種(例: 技術職務)	(7) 業種(例: サイバー建設)	(8) 福利厚生の充実	(9) 育児制度の充実 介護休業
全体		325	67.4	38.8	46.2	38.5	13.2	5.5	3.7	9.2	6.8
就職希望場所別	水戸市内	123	67.5	39.0	48.8	35.0	14.6	4.1	1.6	13.0	8.1
	水戸市外(東京圏)	162	68.5	38.9	44.4	38.3	13.6	4.9	4.9	6.2	5.6
	水戸市外(東京圏以外)	40	62.5	37.5	45.0	50.0	7.5	12.5	5.0	10.0	7.5

(%)

		n	(10) 勤(通勤時間)	(11) 雇用形態(非正社員)	(12) 免許・資格	(13) 将来(起立)	(14) 会社性(安定性)	(15) 従業員数	(16) 会社評判(知名度)	(17) その他
全体		325	11.1	6.5	8.0	3.7	20.6	-	4.9	1.5
就職希望場所別	水戸市内	123	16.3	6.5	10.6	2.4	13.0	-	3.3	0.8
	水戸市外(東京圏)	162	8.0	6.2	6.2	4.9	26.5	-	5.6	1.2
	水戸市外(東京圏以外)	40	7.5	7.5	7.5	2.5	20.0	-	7.5	5.0

※各層の上位項目に色付けしている。

1位	2位	3位
----	----	----

就職先に重視することは、就職希望場所に関わらず「(1) 賃金・給与」が最も多くなっている。次いで、市内及び東京圏の就職希望者は「(3) 自分に向いているか」と「(2) 休日(週休2日など)」, 東京圏以外の就職希望者は「(4) やりがいがあるか」と「(3) 自分に向いているか」が続いている。

5-2 結婚・子育て (85~91ページ)

高校生, 大学生, 短期大学生, 専門学生に, 結婚に対する考えをたずねたところ, 男性71%, 女性78%, 全体では75%が「いずれ結婚したい (結婚している)」と答えている。結婚したい理由としては, 「子どもや家族が持てる」が最も多く, 「好きな人と暮らせる」, 「将来ひとりでいたくない」と続く。男性は「好きな人と暮らせる」が最も多く, 「人として成長できる」も多い。女性は「子どもや家族が持てる」が最も多く, 「将来ひとりでいたくない」が次いでいる。結婚したい年齢は「25~29歳」, 欲しい子どもの人数は「2人」がそれぞれ約7割を占める。結婚や結婚生活で心配なことは, 「相手を見つけること」が最も多く, 「経済面」, 「相手との価値観の違い」, 「子育て」と続く。

一方, 結婚したいと思わない理由としては, 「結婚する必要性を感じない」が最も多く, 「結婚したいと思える相手がない」, 「結婚を考えるには若すぎる」, 「独身の気楽さや自由を失いたくない」と続いている。結婚したいと思える条件としては, 「結婚後の生活が維持できる収入」が特に多く, 「自分や相手の時間的な余裕」, 「自分の雇用, 労働条件の向上」が続いている。

6 これからのまちづくり (92~94ページ)

水戸市が目指すべきまちの姿を自由に記入してもらったところ, 「交通機関が発達しており道路も整備されている」まちを望む意見が最も多く, 「市内商店街が活性化している」まちや「魅力的で住みやすい」まちを望む意見も多かった。

そのようなまちにするにあたって, 現在課題となっていることとしては, 「企業誘致, 雇用の増加, 労働条件の向上」, 「観光振興」, 「中心市街地の活性化」といった経済・商業・まちづくりに関する意見が最も多く, 「バス路線の拡充・増便, バス運賃」, 「鉄道の増設・増便」等の道路・交通に関する意見, 「社会保障の充実」等の保健・福祉・医療に関する意見, 「市内外へのPR活動」等の行政に関する意見など, 市政全般にわたり様々な意見が寄せられた。

課題を解決するために自らが協力したいこと, または協力できることとしては, 「ボランティア活動」が最も多く, 「情報の発信」, 「地域活動への参加」と続いている。目指すべきまちの姿及び目指すにあたっての課題と比べ, 協力したい・協力できることを記入した人は少なくなっており, 「できることがあれば協力したい」, 「できることを考えたい」という意見も多く寄せられた。

このことから, 水戸市が抱える課題を市民と一丸となって解決するため, 市民が参加できる, 参加したいと思える取組の充実及び積極的な情報提供を行い, 市民との協働のまちづくりを一層進めていくことが重要である。

7 まとめ

水戸市は災害等が比較的少なく安全で、歴史と伝統があり、自然に恵まれ、清潔であるなど、住みやすいまちであると市民から評価される一方、産業振興や交通の利便性などの分野において評価が低く、改善が求められている。

これまでの地方創生の取組は、現時点で市民から高い評価を受けているとは言いがたい。今後の人口減少対策としては、産業の振興により、経済を活性化させる取組および結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組に一層力を入れていく必要がある。

本調査において、学生のうち、水戸市内での就職を希望する割合は4割にとどまった。若い世代が水戸市に定着するためには、選択できる職種や安定した待遇の充実が必要であることから、これらに資する取組を行っていくことが重要である。

資料編

1 集計表

◎水戸市の住みやすさや、印象など

(上段：件 下段：%)

問1 水戸市の印象

	調査数	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	加重平均
(1) 住居の周囲が自然に恵まれている	1,652 100.0	555 33.6	748 45.3	248 15.0	98 5.9	3 0.2	0.86
(2) 水が豊富できれいである	1,657 100.0	379 22.9	723 43.6	376 22.7	137 8.3	42 2.5	0.51
(3) レジャーや娯楽のための施設があり、生活を 楽しめる	1,650 100.0	89 5.4	418 25.3	652 39.5	453 27.5	38 2.3	-0.60
(4) 百貨店や大型店があり、楽しい買物ができる	1,659 100.0	200 12.1	601 36.2	491 29.6	353 21.3	14 0.8	-0.12
(5) 都会的な雰囲気がある	1,658 100.0	51 3.1	176 10.6	636 38.4	773 46.6	22 1.3	-1.16
(6) 交通機関が発達している	1,656 100.0	105 6.3	441 26.6	533 32.2	553 33.4	24 1.4	-0.61
(7) 道路が整備されている	1,653 100.0	193 11.7	773 46.8	399 24.1	266 16.1	22 1.3	0.14
(8) 災害などが比較的少なく安全である	1,662 100.0	584 35.1	799 48.1	173 10.4	70 4.2	36 2.2	1.02
(9) 清潔で衛生的である	1,653 100.0	251 15.2	941 56.9	330 20.0	81 4.9	50 3.0	0.59
(10) 福祉がゆき届いている	1,651 100.0	106 6.4	482 29.2	553 33.5	215 13.0	295 17.9	-0.21
(11) 病院などの医療機関が整っている	1,654 100.0	280 16.9	870 52.6	300 18.1	139 8.4	65 3.9	0.54
(12) 子育てや教育の環境が整っている	1,648 100.0	167 10.1	633 38.4	432 26.2	155 9.4	261 15.8	0.16
(13) 音楽、美術などの芸術鑑賞や文化活動の 機会が多い	1,657 100.0	198 11.9	570 34.4	496 29.9	230 13.9	163 9.8	0.01
(14) 図書館、博物館、文化教養施設などが 充実している	1,654 100.0	258 15.6	747 45.2	408 24.7	151 9.1	90 5.4	0.35
(15) 歴史と伝統がある	1,656 100.0	539 32.5	793 47.9	197 11.9	56 3.4	71 4.3	0.99
(16) 公園、スポーツ施設、グラウンドなどが 充実している	1,656 100.0	222 13.4	702 42.4	497 30.0	167 10.1	68 4.1	0.20
(17) 住居と職場(学校)が近く通勤(通学)に 便利である	1,649 100.0	367 22.3	676 41.0	340 20.6	191 11.6	75 4.5	0.44
(18) 物価が比較的安く生活しやすい	1,652 100.0	186 11.3	718 43.5	459 27.8	165 10.0	124 7.5	0.20
(19) 産業が盛んで活力を感じる	1,650 100.0	40 2.4	217 13.2	765 46.4	477 28.9	151 9.2	-0.95
(20) 魅力ある職場が多い	1,652 100.0	28 1.7	171 10.4	683 41.3	432 26.2	338 20.5	-1.00
(21) 祭り、盆踊り、運動会などの地域行事が 盛んである	1,660 100.0	206 12.4	675 40.7	483 29.1	184 11.1	112 6.7	0.15
(22) 近所の人々が親切で人情がある	1,660 100.0	274 16.5	736 44.3	382 23.0	146 8.8	122 7.3	0.40

◎水戸市の住みやすさや、印象など

(上段：件 下段：%)

問2 全体としての住みやすさ

調査数	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
1,642 100.0	257 15.7	1,051 64.0	244 14.9	67 4.1	23 1.4

問3 定住意向

調査数	住みたい	どちらともいえない	住みたくない
1,658 100.0	1,062 64.1	509 30.7	87 5.2

問3 (1) 定住を希望する理由

調査数	自分だから 自分が生まれ育ったところ	自分の家や土地があるから	親類や知人が近くに いるから	人情など人間関係が 良いから	この土地に愛着がある から	自然環境が良いから	仕事の関係から	文化施設が整っている から	道など）が整っている から 生活インフラ（道路、 上下水	通勤・通学に便利だ から	買物に便利だから	自然災害が少ないから
1,020 100.0	409 40.1	641 62.8	250 24.5	54 5.3	165 16.2	122 12.0	127 12.5	10 1.0	78 7.6	109 10.7	150 14.7	399 39.1

物価が安いから	子育て環境が良いから	教育環境が良いから	医療機関が整っている から	福祉環境が整っている から	まちのイメージが良い から	歴史と伝統があるから	レジャー施設が多いから	その他	特にない
31 3.0	18 1.8	10 1.0	94 9.2	17 1.7	24 2.4	56 5.5	4 0.4	14 1.4	4 0.4

◎水戸市の住みやすさや、印象など

(上段：件 下段：%)

問3 (2) 定住を希望しない理由

調査数	自分ではないから 生まれて育ったところ	自にくいから 自分の家や土地が手に入り	親類や知人が近くにいない	人情など人間関係が悪いから	この土地に愛着がないから	自然環境が悪いから	仕事の関係から	文化施設が整っていないから	生活(道など)が整っていないから インフラ(道路, 上下水)	通勤・通学に不便だから	買物に不便だから	自然災害が多いから
82 100.0	16 19.5	4 4.9	12 14.6	7 8.5	26 31.7	3 3.7	12 14.6	2 2.4	9 11.0	19 23.2	23 28.0	1 1.2

物価が高いから	子育て環境が悪いから	教育環境が悪いから	医療機関が整っていないから	福祉環境が整っていないから	まちのイメージが悪いから	歴史と伝統がないから	レジャー施設が少ないから	その他	特になし
1 1.2	2 2.4	6 7.3	9 11.0	7 8.5	12 14.6	- -	13 15.9	26 31.7	1 1.2

問4 住む場所を選ぶ際に重視すること

調査数	親類や知人が近くに住んでいること	近の交流があること 所づきあいなど, 身近な人と	自然環境に恵まれていること	働く場所が多いこと	交通の便が良いこと	通勤・通学がしやすいこと	買物がしやすいこと	自然災害が少ないこと	治安が良いこと	子育て支援が充実していること	教育環境が充実していること	福祉・医療が充実していること
1,298 100.0	233 18.0	127 9.8	251 19.3	153 11.8	550 42.4	244 18.8	444 34.2	455 35.1	475 36.6	114 8.8	75 5.8	364 28.0

まちのイメージが良いこと	歴史と伝統があること	施設などが整備されていること スポーツ施設やレジャー・娯楽	その他
101 7.8	35 2.7	109 8.4	24 1.8

◎水戸市の地方創生の取組

(上段：件 下段：%)

問5 水戸市の地方創生の取組の成果

	調査数	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	加重平均
(1) 市内の企業や商店などの活動が活発になり、地域経済が活性化した	1,656 100.0	34 2.1	202 12.2	721 43.5	476 28.7	223 13.5	-0.98
(2) 観光客が増え、まちに新たなにぎわいが生まれた	1,656 100.0	47 2.8	231 13.9	714 43.1	502 30.3	162 9.8	-0.93
(3) 企業の進出や新しい店舗の出店により、働くことができる場所が増えた	1,656 100.0	34 2.1	188 11.4	652 39.4	465 28.1	317 19.1	-0.99
(4) 働く高齢者や障害者、女性などが増えた	1,654 100.0	126 7.6	488 29.5	435 26.3	214 12.9	391 23.6	-0.10
(5) 水戸市へ移住してくる人が増えた	1,654 100.0	30 1.8	121 7.3	578 34.9	380 23.0	545 33.0	-1.04
(6) 水戸市から移住していく人が減った	1,655 100.0	22 1.3	128 7.7	509 30.8	228 13.8	768 46.4	-0.89
(7) 芸術文化活動やスポーツが盛んになった	1,656 100.0	113 6.8	537 32.4	481 29.0	232 14.0	293 17.7	-0.13
(8) 水戸の歴史を生かしたまちづくりが進んだ	1,659 100.0	100 6.0	515 31.0	540 32.5	220 13.3	284 17.1	-0.19
(9) 豊かな自然環境を生かした魅力ある公園や緑地が増えた	1,653 100.0	71 4.3	419 25.3	635 38.4	303 18.3	225 13.6	-0.48
(10) 地元企業に就職する若い世代が増えた	1,635 100.0	32 2.0	132 8.1	530 32.4	277 16.9	664 40.6	-0.91
(11) 出産・子育てがしやすい環境づくりが進んだ	1,646 100.0	34 2.1	279 17.0	513 31.2	250 15.2	570 34.6	-0.62
(12) 子どもたちの教育環境が充実した	1,647 100.0	66 4.0	347 21.1	514 31.2	220 13.4	500 30.4	-0.41
(13) ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の両立）など、働き方の意識が変わった	1,644 100.0	52 3.2	303 18.4	502 30.5	236 14.4	551 33.5	-0.52
(14) バスなどの公共交通が利用しやすくなった	1,639 100.0	93 5.7	300 18.3	591 36.1	491 30.0	164 10.0	-0.74
(15) 古くなった住宅のリフォームや、人が住まなくなった住宅の利活用が進んだ	1,641 100.0	34 2.1	129 7.9	493 30.0	534 32.5	451 27.5	-1.15
(16) 医療や介護のサービスが充実し、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりが進んだ	1,641 100.0	69 4.2	391 23.8	502 30.6	273 16.6	406 24.7	-0.42
(17) 地域防災の取組が活性化するなど、災害に強いまちづくりが進んだ	1,633 100.0	60 3.7	396 24.2	534 32.7	236 14.5	407 24.9	-0.40
(18) スポーツ施設や図書館の相互利用など、近隣の市町村と連携した取組が進んだ	1,620 100.0	71 4.4	325 20.1	456 28.1	210 13.0	558 34.4	-0.39

◎水戸市の地方創生の取組

(上段：件 下段：%)

問6 今後優先すべき取組

調査数	市内の企業や商店などの活動を活発にし、地域経済を活性化させる	観光客を増やし、まちに新たなにぎわいを生む	企業の進出や新しい店舗の出店による働き場の増やす	働く高齢者や障害者、女性などの増加	水戸市へ移住してくる人の増加	水戸市から移住していく人の減少	芸術文化活動やスポーツの活性化	水戸の歴史を生かしたまちづくり	豊かな自然環境を生かした魅力ある公園や緑地の増加	地元企業に就職する若い世代の増加	出産・子育てがしやすい環境づくり	子どもたちの教育環境の充実
1,589 100.0	474 29.8	239 15.0	320 20.1	119 7.5	144 9.1	41 2.6	95 6.0	121 7.6	156 9.8	261 16.4	457 28.8	218 13.7

生活の両立（ワーク・ライフ・バランス）意識改革	バスなどの公共交通の利便性の向上	古くなくなつた住宅のリフォームや、人が住まなかつた住宅の活用	医療や介護の暮らしを充実し、住み慣れた地域で暮らす環境づくり	地域防災の取組が活性化するなど、災害に強いまちづくり	近隣の市町村と連携した取組、スポーツ施設や図書館の相互利用など、
167 10.5	491 30.9	259 16.3	695 43.7	296 18.6	83 5.2

◎住まいの周囲の環境

(上段：件 下段：%)

問7 生活環境の評価

	調査数	非常に良い	やや良い	やや悪い	非常に悪い	加重平均
(1) ごみの収集	1,618 100.0	721 44.6	781 48.3	99 6.1	17 1.1	1.29
(2) 生活排水(汚水)処理やし尿のくみ取り	1,622 100.0	606 37.4	846 52.2	126 7.8	44 2.7	1.14
(3) 雨水の水はけ	1,639 100.0	407 24.8	758 46.2	398 24.3	76 4.6	0.62
(4) 水道水の味や出ぐあい	1,640 100.0	505 30.8	858 52.3	218 13.3	59 3.6	0.93
(5) 近所の道路の幅や舗装	1,643 100.0	218 13.3	648 39.4	577 35.1	200 12.2	0.07
(6) 近所の夜道の照明	1,646 100.0	160 9.7	593 36.0	620 37.7	273 16.6	-0.15
(7) 歩道などの交通安全施設	1,633 100.0	138 8.5	602 36.9	652 39.9	241 14.8	-0.16
(8) 近所の空家・空地	1,632 100.0	196 12.0	635 38.9	630 38.6	171 10.5	0.03
(9) 子どもの遊び場	1,630 100.0	100 6.1	506 31.0	685 42.0	339 20.8	-0.40
(10) 保育所, 幼稚園への通所, 通園	1,608 100.0	221 13.7	900 56.0	396 24.6	91 5.7	0.48
(11) 学校への通学	1,619 100.0	331 20.4	840 51.9	349 21.6	99 6.1	0.59
(12) 日用品, 食料品の買物	1,650 100.0	498 30.2	828 50.2	246 14.9	78 4.7	0.86
(13) 勤務先への通勤	1,558 100.0	308 19.8	853 54.7	311 20.0	86 5.5	0.63
(14) 病院, 医院への通院	1,643 100.0	304 18.5	923 56.2	339 20.6	77 4.7	0.63
(15) 市民センターや集会所の利用のしやすさ	1,631 100.0	231 14.2	830 50.9	444 27.2	126 7.7	0.37
(16) バスや鉄道などの交通機関	1,642 100.0	212 12.9	642 39.1	537 32.7	251 15.3	0.02
(17) 市役所, 出張所などの窓口サービス	1,639 100.0	290 17.7	1,004 61.3	276 16.8	69 4.2	0.71
(18) 空気のきれいさ	1,644 100.0	440 26.8	972 59.1	191 11.6	41 2.5	0.96
(19) 近所の騒音	1,650 100.0	454 27.5	817 49.5	295 17.9	84 5.1	0.76
(20) 自動車の騒音	1,646 100.0	376 22.8	790 48.0	382 23.2	98 6.0	0.59
(21) 自動車の排気ガス	1,640 100.0	369 22.5	842 51.3	348 21.2	81 4.9	0.65
(22) 工場のばい煙, におい	1,627 100.0	787 48.4	662 40.7	125 7.7	53 3.3	1.23
(23) 近所の下水のにおい	1,635 100.0	617 37.7	745 45.6	217 13.3	56 3.4	1.01
(24) 日あたり	1,645 100.0	830 50.5	673 40.9	110 6.7	32 1.9	1.31
(25) 樹木, 生垣などの緑	1,647 100.0	543 33.0	845 51.3	217 13.2	42 2.6	0.99
(26) まちの美観やまちなみ	1,639 100.0	279 17.0	960 58.6	351 21.4	49 3.0	0.65

◎住まいの周囲の環境

(上段：件 下段：%)

問8 生活環境の満足度

調査数	満足	やや満足	やや不満	不満
1,630 100.0	328 20.1	1,016 62.3	243 14.9	43 2.6

問9 施設整備の要望

調査数	道路の拡幅や舗装	橋	生活排水処理施設 (公共下水道等)	雨水排水設備 (側溝等)	街路灯, 防犯灯	交通安全施設 (歩道等)	小学校, 中学校	幼稚園	保育所	児童館等の 子どもの遊び	公園や緑地	プール
1,620 100.0	606 37.4	7 0.4	101 6.2	120 7.4	561 34.6	358 22.1	46 2.8	6 0.4	39 2.4	150 9.3	167 10.3	105 6.5

サイジング リングコース や	さまざまな 目的の広場 が	テニスコート, スポーツ場	集会所	図書館	子育て支援施設	駐車場	駐輪場	自転車の 通行スペース	バスなどの 公共交通	公衆トイレ	防火水槽, 消火栓
124 7.7	182 11.2	64 4.0	31 1.9	102 6.3	73 4.5	59 3.6	29 1.8	368 22.7	425 26.2	96 5.9	35 2.2

病院, 医院	老人福祉センター	高齢者福祉施設 (特別)	養老ホーム (デイ)	サニタリー センター等	障害者福祉施設 (デイ)	授産施設等	買物施設 (日用品, 食料品)	その他
154 9.5	53 3.3	168 10.4	47 2.9	265 16.4	54 3.3			

◎人口減少に対する意識やその対応策

(上段：件 下段：%)

問10 人口減少が進んだ場合に影響が大きいこと

調査数	社会保険料や医療費の増額などが	悪くなる、行政サービスが	経済活動を支える働き手が不足	地域産業が衰退し、働く場が	消費活動が不便になる、商店街など	地域活動の担い手が不足し、地	空家が空地が増えるなど、治安	地域の伝統や文化が衰退する	スポーツ、芸術・文化、娯楽などが	医療機関が受けられなくなる、安心し	電車がなくなり、不便になる	それほど影響はない	その他
1,652 100.0	1,087 65.8	609 36.9	547 33.1	346 20.9	316 19.1	198 12.0	563 34.1	89 5.4	81 4.9	311 18.8	534 32.3	27 1.6	18 1.1

問11 産業振興のために取り組むべきこと

調査数	企業誘致などによる新規産業の創出	企業拡大における生産性向上、販売	商工業の振興	正規雇用の拡大や雇用における	ミスマッチの解消	女性の社会進出、職域拡大など	高齢者の増加、外国人など新たな働き	手の増加	6次産業化や農産物のブランド	化などによる農業の振興	老舗や名店、伝統技術などの	次世代への承継	本市ならではの歴史、文化、観光	豊かな自然を生かした観光	産業の振興	外国からの観光客の呼び込みや	外国からの観光客の呼び込みや	教育や企業と連携、若者の人材ア	育成	A I (人工知能) などを活用し	た社会全体の効率化	その他
1,624 100.0	773 47.6	414 25.5	563 34.7	376 23.2	309 19.0	359 22.1	290 17.9	570 35.1	141 8.7	439 27.0	163 10.0	61 3.8										

問12 少子化対策の取組

調査数	結婚につながる出会いの機会の	若い世代の雇用確保などによる	経済活動の活性化	結婚に対する経済的な支援	安心できる医療提供体制の充実	健康診断・健康相談などの保健	サービスの充実	不妊で悩む人への支援の充実	子育てと仕事を両立できる職場	環境づくり	医療費の助成、奨学金制度の充	経済的な支援、子育てや教育における	実費の補助、奨学金制度の充	仕事を預けられる保育環境の充	相談できる場所の提供	子育ての悩みや不安を気軽に	発信の充実	子育て情報を入手しやすい情報	など、住宅面での支援	多子世帯に対する支援の充実
1,614 100.0	329 20.4	509 31.5	236 14.6	647 40.1	98 6.1	140 8.7	730 45.2	475 29.4	559 34.6	103 6.4	50 3.1	137 8.5	110 6.8							

幼児教育の充実や少人数制の整備	開放学級や児童クラブなどの	生命や家庭についての教育	価値観	その他
70 4.3	240 14.9	151 9.4	22 1.4	

◎人口減少に対する意識やその対応策

(上段：件 下段：%)

問13 安全安心に暮らせる地域づくりへの取組

調査数	自治会の活性化や地域コミュニティによる地域力の活動	強化高齢者や若者など地域住民の参加促進	社会活動への参加促進	地域の防災、防犯、治安の向上	クック・ウォーク、住民のネットワーク	防犯・災害対策や空家対策など	安心して暮らせる居住環境づくり	路線バスなどの公共交通網の整備	その他
1,605 100.0	245 15.3	224 14.0	271 16.9	483 30.1	360 22.4	22 1.4			

問14 高齢者が安心して暮らせる地域づくりへの取組

調査数	介護予防、認知症予防、健康づくり	くすりなどの健康向上を目指す	高齢者の就業支援、社会活動への参加促進	買い物・通院等が不便・困難など	地域生活の利便性の向上	介護サービスの充実	医療提供体制の充実	その他
1,628 100.0	267 16.4	319 19.6	653 40.1	278 17.1	96 5.9	15 0.9		

問15 地域の活性化やにぎわい創出のための取組

調査数	中心市街地の活性化	観光によるまちづくり	食、土産品の魅力向上	歴史資源を生かしたまちづくり	大規模なコンベンションの強化	誘致などによる高齢者の交流	多世代交流などによるまちづくり	社会参加と生きがいの創出	女性が活躍できる場の創出	スポーツ、芸術・文化の促進	その他
1,613 100.0	604 37.4	215 13.3	178 11.0	113 7.0	80 5.0	183 11.3	73 4.5	135 8.4	32 2.0		

問16 水戸市への新たなひとの流れを生み出すための取組

調査数	企業の情報発信などによる促進	大学生等の市内就職による雇用	地元企業の支援などによる雇用	移住者への支援の充実	空家の活用など、住まいの提供	市外に引っ越す人の受け入れ	創出拡大	体験型観光の充実	水戸市における生活の魅力等の発信	郷土教育への理解と愛情を深め	その他
1,620 100.0	207 12.8	328 20.2	174 10.7	210 13.0	76 4.7	153 9.4	371 22.9	52 3.2	49 3.0		

問17 今後の人口減少対策で最も重要なこと

調査数	産業の活性化による雇用の拡大	移住・定住を促進する取組	子育て支援や結婚・出産の両立	子育ての希望をかなえる取組	福祉・医療の充実により、誰もが安心して暮らせる地域づくり	介護サービスや、認知症対策など	の充実による地域の高齢者に対する安心	子どもへの教育環境の充実と愛情	深める取組	防犯・災害対策など、安全安心	女性、高齢者が活躍できる、外国人	向けた取組	その他
1,629 100.0	461 28.3	120 7.4	381 23.4	312 19.2	67 4.1	83 5.1	61 3.7	110 6.8	34 2.1				

◎職業意識・職業観や結婚・子育て

(上段：件 下段：%)

問21 職業や就職先を選ぶときに重視すること

調査数	賃金・給与	休日（週休2日など）	自分に向いているか	やりがいを感じられるか	勤務時間や残業の有無	職種（例：事務、営業、技術職など）	サービス業など（例：建設、製造、業種）	福利厚生の充実	育児・介護休業制度の充実	勤務地（通勤時間）	雇用形態（正社員・非正社員）	免許・資格が生かせるか
331 100.0	222 67.1	128 38.7	154 46.5	128 38.7	43 13.0	18 5.4	13 3.9	31 9.4	22 6.6	37 11.2	21 6.3	27 8.2

将来に役立つ（起業、独立など）	会社の安定性・将来性	会社の規模・従業員数	会社の知名度・評判	その他
12 3.6	69 20.8	- -	16 4.8	5 1.5

問22 将来就職を希望する場所

調査数	水戸市内	水戸市外（東京圏）	水戸市外（東京圏以外）
337 100.0	128 38.0	168 49.9	41 12.2

問22（1）水戸市で就職を希望する理由

調査数	水戸市が好き・愛着がある	魅力的なまちである	住みやすい・生活しやすい	家族がいる	希望する職種がある	水戸市に貢献したい	他市町村の情報がわからない	給料などに満足できる	親が勧める	友達や仲間がいる	その他
128 100.0	35 27.3	2 1.6	49 38.3	67 52.3	9 7.0	9 7.0	24 18.8	1 0.8	4 3.1	20 15.6	3 2.3

◎職業意識・職業観や結婚・子育て

(上段：件 下段：%)

問22 (2) 市内での就職に向けて行政に希望すること

調査数	企業向上に対する働きかけ	企業創出誘致による雇用	企業の働きかけに対する求人増	充実する就職情報の提供	ナーズの活動講座やセミナー	職業訓練の充実	職場見学の充実	就労体験・インターンシップの充実	就労面接会の開催	その他
109	55	17	22	27	14	6	29	17	5	1
100.0	50.5	15.6	20.2	24.8	12.8	5.5	26.6	15.6	4.6	0.9

問22 (3) 市外で就職を希望する理由

調査数	希望する職種がある	自立したい	給料などに満足	市外(都会)に住みたい	親が勧める	出身地(Uターン)に戻る	その他
205	87	74	29	95	2	6	20
100.0	42.4	36.1	14.1	46.3	1.0	2.9	9.8

問23 結婚に対する考え

調査数	い(結婚していい)	今思わな(結婚したい)
341	254	87
100.0	74.5	25.5

問23 (1) 結婚したい理由

調査数	好きな人と暮らせる	子どもや家族が持てる	将来い(ひとり)でいたい	親を安心させられる	経済的な安定を得られる	人として成長できる	親から独立できる	社会的な信用が得られる	一般的なことだと	思(う)から	その他
250	96	130	68	32	33	47	13	4	25	4	
100.0	38.4	52.0	27.2	12.8	13.2	18.8	5.2	1.6	10.0	1.6	

問23 (2) 結婚したい年齢

調査数	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳
254	50	174	29	1	-	-	-
100.0	19.7	68.5	11.4	0.4	-	-	-

問23 (3) 欲しい子どもの人数

調査数	1人	2人	3人	4人以上	子どもは欲しくない
252	14	178	48	3	9
100.0	5.6	70.6	19.0	1.2	3.6

問23 (4) 結婚や結婚生活で心配なこと

調査数	相手を見つけること	相手との価値観の違い	経済面	付き合いや自分の家族との	結婚生活と仕事の両立	自分の時間が取れなく	子育て	家事・育児の夫婦間で	家族の介護	その他
248	100	61	85	38	48	33	60	29	8	3
100.0	40.3	24.6	34.3	15.3	19.4	13.3	24.2	11.7	3.2	1.2

◎職業意識・職業観や結婚・子育て

(上段：件 下段：%)

問23 (5) 結婚したいと思わない理由

調査数	結婚したいと思わないから	結婚するからには	仕事や学業に専念	結婚する必要性を	経済的に自立できる	不安だから	独身の気楽さや自由	趣味や娯楽を楽しみ	異性とうまく付き合	その他
82 100.0	23 28.0	20 24.4	11 13.4	27 32.9	11 13.4	19 23.2	15 18.3	9 11.0	7 8.5	

問23 (6) 結婚したいと思える条件

調査数	結婚後の生活が維持でき	結婚後の生活に必要な	余裕や相手の時間的な	親の理解	自分の雇用、労働条件の	自分や相手の結婚に適し	子育てや行政サービスの充実	子育ての充実	その他
79 100.0	42 53.2	14 17.7	25 31.6	2 2.5	16 20.3	13 16.5	8 10.1	4 5.1	9 11.4

◎あなたご自身のこと

(上段：件 下段：%)

問24 性別

調査数	男性	女性	無回答
1,672 100.0	712 42.6	941 56.3	19 1.1

問25 年齢

調査数	1 5 ~ 1 7 歳	1 8 ・ 1 9 歳	2 0 ~ 2 9 歳	3 0 ~ 3 9 歳	4 0 ~ 4 9 歳	5 0 ~ 5 9 歳	6 0 ~ 6 9 歳	7 0 ~ 7 9 歳	8 0 歳 以上	無回答
1,672 100.0	335 20.0	24 1.4	76 4.5	148 8.9	247 14.8	231 13.8	276 16.5	233 13.9	83 5.0	19 1.1

性・年齢

調査数	男性	1 8 ・ 1 9 歳	2 0 ~ 2 9 歳	3 0 ~ 3 9 歳	4 0 ~ 4 9 歳	5 0 ~ 5 9 歳	6 0 ~ 6 9 歳	7 0 ~ 7 9 歳	8 0 歳 以上
1,672 100.0	157 9.4	11 0.7	28 1.7	58 3.5	107 6.4	100 6.0	109 6.5	106 6.3	33 2.0

女性	1 8 ・ 1 9 歳	2 0 ~ 2 9 歳	3 0 ~ 3 9 歳	4 0 ~ 4 9 歳	5 0 ~ 5 9 歳	6 0 ~ 6 9 歳	7 0 ~ 7 9 歳	8 0 歳 以上	無回答
178 10.6	13 0.8	48 2.9	90 5.4	140 8.4	130 7.8	167 10.0	127 7.6	47 2.8	23 1.4

問26 職業

調査数	正社員	パート・アルバイト等	自営業	無職	専業主婦・主夫	学生・生徒	その他	無回答
1,672 100.0	387 23.1	251 15.0	126 7.5	259 15.5	207 12.4	371 22.2	41 2.5	30 1.8

◎あなたご自身のこと

(上段：件 下段：%)

問27 お住まいの地区 (小学校区)

調査数	三の丸	五軒	新荘	城東	浜田	常磐	緑岡	寿	上大野	柳河	渡里	吉田
1,672 100.0	54 3.2	43 2.6	39 2.3	51 3.1	64 3.8	86 5.1	54 3.2	61 3.6	15 0.9	17 1.0	69 4.1	80 4.8

酒門	石川	飯富	国田	河和田	上中妻	見川	千波	梅が丘	双葉台	笠原	赤塚
69 4.1	45 2.7	29 1.7	21 1.3	53 3.2	26 1.6	90 5.4	134 8.0	80 4.8	76 4.5	69 4.1	53 3.2

吉沢	堀原	下大野	稻荷第一	稻荷第二	大場	妻里	鯉淵	内原	無回答
46 2.8	34 2.0	19 1.1	30 1.8	18 1.1	12 0.7	20 1.2	26 1.6	50 3.0	39 2.3

問28 結婚

調査数	結婚している	結婚していない	無回答
1,672 100.0	1,039 62.1	609 36.4	24 1.4

問29 子どもの有無

調査数	いる	いない	無回答
1,672 100.0	982 58.7	636 38.0	54 3.2

問29 子どもの数

調査数	1人	2人	3人	4人以上	無回答	平均(人)	最小値	最大値
982 100.0	216 22.0	556 56.6	189 19.2	12 1.2	9 0.9	2.00	1	5

2 調査票

水戸市の地方創生に関する市民アンケート

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素から、市政に対しご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

水戸市では、訪れてみたい、住んでみたいと思われるような、選ばれる魅力あるまちをつくっていくため、地方創生推進の指針となる総合戦略の見直しを進めています。このたび、市民の皆様のご生活環境や市政に対する評価・ご意見等を把握し、今後の行政運営に反映させるため、住民基本台帳(令和元年7月1日現在)から無作為にお選びした満15歳以上の4千人の市民の皆様を対象に、本アンケート調査を実施することになりました。

お忙しいところ誠にお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご記入いただいた内容については、個人が特定できないよう、すべて統計的に集計処理し、他の目的には一切使用いたしません。個人の秘密は厳守いたしますので、率直なご意見をお聞かせください。

敬具

令和元年8月

水戸市長 高橋 靖

ご記入にあたってのお願い

- 1 このアンケートは、あて名のご本人がご記入ください。ご本人によるご記入が難しい場合は、聞き取りなどにより代理の方がご記入ください。
- 2 ご記入は、濃い鉛筆か黒または青のボールペン・万年筆でお願いします。また、ボールペン・万年筆の場合の訂正は、二重線をお願いします。
- 3 ご回答は、○印をつけていただくものと、番号を書いていただくものがあります。また、「その他」の場合は、具体的な内容を()内にご記入ください。
- 4 質問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や「ことわり書き」をよくお読みください。

ご記入いただいたアンケートは、恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

8月19日(月)までに ご投函ください。

なお、アンケート及び返信用封筒への住所・氏名などのご記入は不要です。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

担当：水戸市 市長公室 政策企画課 政策審議室

住所 〒310-8610 水戸市中央1丁目4番1号

電話 (029) 224-1111 (内線1042, 1041)

(029) 350-1580 (直通)

◎はじめに、水戸市の住みやすさや、印象などについておたずねします。
(全員)

問1 あなたは、水戸市をどのように感じていますか。各項目について、「1 そう思う」「2 まあそう思う」「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」「5 わからない」の中から1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

	1 そう 思う	2 まあ そう 思う	3 あ ま り そ う 思 わ な い	4 そ う 思 わ な い	5 わ か ら な い
(1) 住居の周囲が自然に恵まれている	1	2	3	4	5
(2) 水が豊富できれいである	1	2	3	4	5
(3) レジャーや娯楽のための施設があり、生活を楽しめる	1	2	3	4	5
(4) 百貨店や大型店があり、楽しい買物ができる	1	2	3	4	5
(5) 都会的な雰囲気がある	1	2	3	4	5
(6) 交通機関が発達している	1	2	3	4	5
(7) 道路が整備されている	1	2	3	4	5
(8) 災害などが比較的少なく安全である	1	2	3	4	5
(9) 清潔で衛生的である	1	2	3	4	5
(10) 福祉がゆき届いている	1	2	3	4	5
(11) 病院などの医療機関が整っている	1	2	3	4	5
(12) 子育てや教育の環境が整っている	1	2	3	4	5
(13) 音楽、美術などの芸術鑑賞や文化活動の機会が多い	1	2	3	4	5
(14) 図書館、博物館、文化教養施設などが充実している	1	2	3	4	5
(15) 歴史と伝統がある	1	2	3	4	5
(16) 公園、スポーツ施設、グラウンドなどが充実している	1	2	3	4	5
(17) 住居と職場(学校)が近く通勤(通学)に便利である	1	2	3	4	5
(18) 物価が比較的安く生活しやすい	1	2	3	4	5
(19) 産業が盛んで活力を感じる	1	2	3	4	5
(20) 魅力ある職場が多い	1	2	3	4	5
(21) 祭り、盆踊り、運動会などの地域行事が盛んである	1	2	3	4	5
(22) 近所の人々が親切で人情がある	1	2	3	4	5

問4 あなたが住む場所（市町村）を選ぶ際に重視することは何ですか。（〇は3つまで）

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 1 親類や知人が近くに住んでいること | 10 子育て支援が充実していること |
| 2 近所づきあいなど、身近な人との交流があること | 11 教育環境が充実していること |
| 3 自然環境に恵まれていること | 12 福祉・医療が充実していること |
| 4 働く場所が多いこと | 13 まちのイメージが良いこと |
| 5 交通の便が良いこと | 14 歴史と伝統があること |
| 6 通勤・通学がしやすいこと | 15 スポーツ施設やレジャー・娯楽施設などが整備されていること |
| 7 買物がしやすいこと | 16 その他 |
| 8 自然災害が少ないこと | () |
| 9 治安が良いこと | |

◎水戸市の地方創生の取組についておたずねします。(全員)

問5 水戸市では、平成27年度から、「Ⅰ しごとをつくる」「Ⅱ ひとの流れを生み出す」「Ⅲ 若い世代を応援する」「Ⅳ 快適に暮らせるまちをつくる」ことを目標として、地方創生に向けた取組を進めています。

あなたは、この4年間で、水戸市において次にあげる結果が生じたと思いますか。各項目について、「1 そう思う」「2 まあそう思う」「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」「5 わからない」の中から1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

		1 そう 思う	2 まあ そう 思う	3 あ ま り そ う 思 わ な い	4 そ う 思 わ な い	5 わ か ら な い
Ⅰ し ご と を つ く る	(1) 市内の企業や商店などの活動が活発になり、 地域経済が活性化した	1	2	3	4	5
	(2) 観光客が増え、まちに新たなにぎわいが生まれた	1	2	3	4	5
	(3) 企業の進出や新しい店舗の出店により、 働くことができる場所が増えた	1	2	3	4	5
	(4) 働く高齢者や障害者、女性などが増えた	1	2	3	4	5
Ⅱ ひ と の 流 れ を 生 み 出 す	(5) 水戸市へ移住してくる人が増えた	1	2	3	4	5
	(6) 水戸市から移住していく人が減った	1	2	3	4	5
	(7) 芸術文化活動やスポーツが盛んになった	1	2	3	4	5
	(8) 水戸の歴史を生かしたまちづくりが進んだ	1	2	3	4	5
	(9) 豊かな自然環境を生かした魅力ある公園や緑地が 増えた	1	2	3	4	5
Ⅲ 若 い 世 代 を 応 援 す る	(10) 地元企業に就職する若い世代(※)が増えた	1	2	3	4	5
	(11) 出産・子育てがしやすい環境づくりが進んだ	1	2	3	4	5
	(12) 子どもたちの教育環境が充実した	1	2	3	4	5
	(13) ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の 両立）など、働き方の意識が変わった	1	2	3	4	5

※若い世代…18歳から40歳前後まで

項目		設問					
		1 そう思う	2 まあそう思う	3 あまり そう 思わない	4 そう 思わない	5 わからない	
IV 快適に暮らせるまちづくり	(14)	バスなどの公共交通が利用しやすくなった	1	2	3	4	5
	(15)	古くなった住宅のリフォームや、人が住まなくなった住宅の利活用が進んだ	1	2	3	4	5
	(16)	医療や介護のサービスが充実し、住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりが進んだ	1	2	3	4	5
	(17)	地域防災の取組が活性化するなど、災害に強いまちづくりが進んだ	1	2	3	4	5
	(18)	スポーツ施設や図書館の相互利用など、近隣の市町村と連携した取組が進んだ	1	2	3	4	5

問6 あなたが、水戸市において今後優先すべきと思う項目は何ですか。問5に示した項目（1）～（18）の中から**3つまで**選んで、下記の回答欄に記入してください。

[回答欄]

--	--	--

◎お住まいの周囲の環境についておたずねします。(全員)

問7 あなたは、お住まいの周囲の環境について、どのように思いますか。各項目について、「非常に(良い)…1」「やや(良い)…2」「やや(悪い)…3」「非常に(悪い)…4」の中から1つずつ選んで番号に○をつけてください。

			非常に (良い)	やや (良い)	やや (悪い)	非常に (悪い)	
衛生	(1) ごみの収集	良い	1	2	3	4	悪い
	(2) 生活排水(汚水)処理やし尿のくみ取り	良い	1	2	3	4	悪い
	(3) 雨水の水はけ	良い	1	2	3	4	悪い
	(4) 水道水の味や出ぐあい	良い	1	2	3	4	悪い
安全	(5) 近所の道路の幅や舗装	良い	1	2	3	4	悪い
	(6) 近所の夜道の照明	明るい	1	2	3	4	暗い
	(7) 歩道などの交通安全施設	良い	1	2	3	4	悪い
	(8) 近所の空家・空地	少ない	1	2	3	4	多い
利便	(9) 子どもの遊び場	多い	1	2	3	4	少ない
	(10) 保育所, 幼稚園への通所, 通園	便利	1	2	3	4	不便
	(11) 学校への通学	便利	1	2	3	4	不便
	(12) 日用品, 食料品の買物	便利	1	2	3	4	不便
	(13) 勤務先への通勤	便利	1	2	3	4	不便
	(14) 病院, 医院への通院	便利	1	2	3	4	不便
	(15) 市民センターや集会所の利用のしやすさ	便利	1	2	3	4	不便
	(16) バスや鉄道などの交通機関	便利	1	2	3	4	不便
快適	(17) 市役所, 出張所などの窓口サービス	便利	1	2	3	4	不便
	(18) 空気のきれいさ	きれい	1	2	3	4	汚い
	(19) 近所の騒音	静か	1	2	3	4	うるさい
	(20) 自動車の騒音	静か	1	2	3	4	うるさい
	(21) 自動車の排気ガス	少ない	1	2	3	4	多い
	(22) 工場のばい煙, におい	少ない	1	2	3	4	多い
	(23) 近所の下水のにおい	臭くない	1	2	3	4	臭い
	(24) 日あたり	良い	1	2	3	4	悪い
	(25) 樹木, 生垣などの緑	多い	1	2	3	4	少ない
	(26) まちの美観やまちなみ	良い	1	2	3	4	悪い

◎人口減少に対する意識やその対応策についておたずねします。（全員）

問10 水戸市の人口は、現在269,677人（令和元年7月1日現在）ですが、将来的には減少していくことが予想されます。水戸市の人口減少が進んだ場合に、あなたが、社会への影響が大きいと考えることは何ですか。（〇は3つまで）

- 1 社会保険料や医療費の増額など、社会保障に係る個人の負担が増える
- 2 税収が減り、行政サービスが悪くなる
- 3 経済活動を支える働き手が不足する
- 4 地域産業が衰退し、働く場がなくなる
- 5 消費活動が縮小し、商店街などでの買物が不便になる
- 6 地域活動の担い手が不足し、地域コミュニティ活動が縮小する
- 7 空家、空地が増えるなど、治安が悪くなる
- 8 地域の伝統や文化が衰退する
- 9 スポーツ、芸術・文化、娯楽など、余暇を楽しむ場所や機会が減少する
- 10 医療機関が少なくなり、安心して医療を受けられなくなる
- 11 電車やバスなどの公共交通機関が少なくなり、不便になる
- 12 それほど影響はない
- 13 その他（)

問11 あなたは、地域経済の活性化を図っていくために、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。（〇は3つまで）

- 1 企業誘致、起業しやすい環境の整備などによる新規産業の創出
- 2 企業における生産性向上、販売拡大などに対する支援による商工業の振興
- 3 正規雇用の拡大や雇用におけるミスマッチの解消
- 4 女性の社会進出、職域拡大などの女性の活躍促進
- 5 高齢者、外国人など新たな働き手の増加
- 6 6次産業化(※1)や農産物のブランド化などによる農業の振興
- 7 老舗や名店、伝統技術などの次世代への承継
- 8 本市ならではの歴史、文化、豊かな自然などを生かした観光産業の振興
- 9 外国からの観光客の呼び込みや外国への観光の売り込み
- 10 大学や企業と連携したキャリア教育(※2)の推進など、若者の人材育成
- 11 AI（人工知能）などを活用した社会全体の効率化
- 12 その他（)

※1 6次産業化…農業や水産業などの事業者（第一次産業）が、食品加工（第二次産業）、流通販売（第三次産業）にも総合的に業務展開すること

※2 キャリア教育…社会的・職業的自立に向けて、必要な能力等を育てる教育

問12 あなたは、結婚・出産・子育ての希望をかなえるために、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。(〇は3つまで)

- 1 結婚につながる出会いの機会の創出
- 2 若い世代の雇用確保などによる経済活動の活性化
- 3 結婚に対する経済的な支援
- 4 安心して妊娠・出産・子育てができる医療提供体制の充実
- 5 健康診断・健康相談などの保健サービスの充実
- 6 不妊で悩む人への支援の充実
- 7 子育てと仕事を両立できる職場環境づくり
- 8 医療費の助成、奨学金制度の充実など、子育てや教育における経済的な支援
- 9 仕事をしながら安心して子どもを預けられる保育環境の充実
- 10 子育ての悩みや不安を気軽に相談できる場所の提供
- 11 子育て情報を入手しやすい情報発信の充実
- 12 子育て世帯向け公営住宅の提供など、住宅面での支援
- 13 多子世帯に対する支援の充実
- 14 幼児教育の充実や少人数学級などによる教育環境の整備
- 15 開放学級や学童クラブなどの放課後児童対策の充実
- 16 生命や家庭の大切さといった価値観についての教育
- 17 その他 ()

問13 あなたは、人口減少社会の中でも、安全で安心して暮らせる地域づくりを進めていくために、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 自治会や地域コミュニティ活動の活性化などによる地域力の強化
- 2 高齢者や若者など地域住民の社会活動への参加促進
- 3 地域の防災、防犯、治安の向上のための住民同士のネットワークづくり
- 4 防犯・災害対策や空家対策など安心して暮らせる居住環境づくり
- 5 路線バスなどの公共交通網の整備
- 6 その他 ()

問14 あなたは、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを進めていくために、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 介護予防、認知症予防、健康づくりなど健康寿命(※)の向上を目指す取組の充実
- 2 高齢者の就労支援の充実、生きがいづくりなど、社会活動への参加促進
- 3 買い物・通院等が不便・困難な地域における移動支援など、地域生活の利便性の向上
- 4 介護を必要とする高齢者へのサービスの充実
- 5 医療提供体制の充実
- 6 その他 ()

※健康寿命…健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

問15 あなたは、地域の活性化やにぎわいの創出に向けて、どのような取組に力を入れていく必要があると思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 中心市街地の活性化
- 2 観光によるまちづくり
- 3 食、土産品の魅力向上
- 4 歴史資源を生かしたまちづくり
- 5 大規模会議・スポーツ大会の誘致などコンベンションの強化
- 6 多世代交流などによる高齢者の社会参加と生きがいづくり
- 7 女性が活躍できる場の創出
- 8 スポーツ、芸術・文化に触れる機会の充実、活動の促進
- 9 その他 ()

問16 あなたは、移住・定住、観光交流など、水戸市への新たなひとの流れを生み出すために、どのような取組に力を入れていく必要があると思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 企業の情報発信などによる、大学生等の市内就職の促進
- 2 地元企業の支援などによる雇用の創出
- 3 移住者への支援の充実
- 4 空家の活用など、住まいの提供
- 5 市外に住んでいて、水戸市とかかわりを持ち、応援する人の創出、拡大
- 6 体験型観光の充実などによる、インバウンド観光を含めたさらなる交流の創出
- 7 水戸市における生活の魅力等の発信
- 8 郷土水戸への理解と愛情を深める教育
- 9 その他 ()

問17 あなたは、問11から問16を総合すると、今後水戸市が人口減少対策として取り組むべきことについて、最も重視する必要があると考えることは何ですか。(〇は1つだけ)

- 1 産業の振興により、経済を活性化させて、雇用を拡大する取組
- 2 移住・定住を促進する取組
- 3 子育て支援や仕事と家庭の両立の実現により、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組
- 4 福祉、医療の充実により、誰もが安心して暮らせる地域を目指す取組
- 5 介護サービスや認知症施策などの充実により、高齢者が安心して暮らせる地域を目指す取組
- 6 子どもの教育環境の充実と、郷土水戸に対する理解と愛情を深める取組
- 7 防犯・災害対策など、安全安心なまちに向けた取組
- 8 女性、高齢者、障害者、外国人など、誰もが活躍できるまちに向けた取組
- 9 その他 ()

◎職業意識・職業観や結婚・子育てについておたずねします。

(問18から23は、高校生、大学生、短期大学生、専門学生の方のみ)

※ 該当しない方は、15ページの間24へお進みください。

問18 あなたが将来、就職を希望する職種はどれですか。(〇はいくつでも)

1 事務系	4 企画系	7 営業系
2 サービス系	5 製造系	8 研究・開発系
3 技術系	6 販売系	9 その他 ()

問19 あなたが将来、就職を希望する分野はどれですか。(〇はいくつでも)

1 福祉・医療	8 ファッション	15 弁護士・税理士
2 公務員	9 旅行・観光	16 外食
3 教員	10 IT系	17 不動産
4 食品・化粧品	11 農林水産	18 理美容
5 電気・機械	12 芸能・スポーツ	19 コンサルタント
6 建築・土木	13 インテリア	20 配送
7 広告・出版	14 金融・証券・保険	21 その他 ()

問20 あなたが就職先を決める場合に、参考にしたい情報元はどこですか。(〇はいくつでも)

1 会社のホームページ	4 新聞	7 大学・先生・先輩
2 就活サイト	5 就職情報誌	8 友達
3 会社訪問	6 親・兄弟・姉妹	9 その他 ()

問21 あなたが職業や就職先を選ぶときに、重視することは何ですか。(〇は3つまで)

1 賃金・給与	9 育児・介護休業制度の充実
2 休日(週休2日など)	10 勤務地(通勤時間)
3 自分に向いているか	11 雇用形態(正社員・非正社員)
4 やりがいが感じられるか	12 免許・資格が活かせるか
5 勤務時間や残業の有無	13 将来に役立つ(起業, 独立など)
6 職種(例: 事務, 営業, 技術職など)	14 会社の安定性・将来性
7 業種(例: 建設, 製造, サービス業など)	15 会社の規模・従業員数
8 福利厚生(充実)	16 会社の知名度・評判
	17 その他 ()

(2) あなたは何歳ごろに結婚したいですか。(〇は1つだけ)

1 ~24歳	3 30~34歳	5 40歳~
2 25~29歳	4 35~39歳	

(3) あなたは子どもを何人欲しいですか。(〇は1つだけ)

1 1人	3 3人	5 子どもは欲しくない
2 2人	4 4人以上	

(4) あなたが結婚や結婚生活で心配なことは何ですか。(〇は2つまで)

1 相手を見つけること	6 自分の時間が取れなくなること
2 相手との価値観の違い	7 子育て
3 経済面	8 家事・育児の夫婦間での分担
4 相手や自分の家族との付き合い	9 家族の介護
5 結婚生活と仕事の両立	10 その他 ()

(問23で「2 今は結婚したいと思わない」とお答えの方)

(5) あなたが今は結婚したいと思わない理由は何ですか。(〇は2つまで)

1 結婚したいと思える相手がいないから	6 独身の気楽さや自由を失いたくないから
2 結婚を考えるには若すぎるから	7 趣味や娯楽を楽しみたいから
3 仕事や学業に専念したいから	8 異性とうまく付き合えないから
4 結婚する必要性を感じないから	9 その他 ()
5 経済的に自立できるか不安だから	

(6) あなたが結婚したいと思えるようになるためには、どのようなものが必要ですか。

(〇は2つまで)

1 結婚後の生活が維持できる収入	6 自分や相手が結婚に適した年齢かどうか
2 結婚後の生活に必要な貯蓄	7 子育てしやすい環境の整備や行政サービスの充実
3 自分や相手の時間的な余裕	8 子育てしやすい勤務先の支援の充実
4 親の理解	9 その他 ()
5 自分の雇用、労働条件の向上	

◎あなたご自身のことについておたずねします。(全員)

統計的にのみ用いますので、ご迷惑をおかけするようなことはございません。
各項目について、あてはまる番号に○をつけてください。

問24 あなたの性別は。(○は1つだけ)

1 男性	2 女性
------	------

問25 あなたの年齢(令和元年7月1日現在)は。(○は1つだけ)

1 15~17歳	4 30~39歳	7 60~69歳
2 18・19歳	5 40~49歳	8 70~79歳
3 20~29歳	6 50~59歳	9 80歳以上

問26 あなたの職業は。(○は1つだけ)

1 正社員	4 無職	7 その他
2 パート・アルバイト等	5 専業主婦・主夫	(具体的に：)
3 自営業	6 学生・生徒	

問27 あなたのお住まいの地区(小校区)は、次のうちどれにあてはまりますか。

(○は1つだけ)

1 三の丸	10 柳河	19 見川	28 稲荷第一
2 五軒	11 渡里	20 千波	29 稲荷第二
3 新荘	12 吉田	21 梅が丘	30 大場
4 城東	13 酒門	22 双葉台	31 妻里
5 浜田	14 石川	23 笠原	32 鯉淵
6 常磐	15 飯富	24 赤塚	33 内原
7 緑岡	16 国田	25 吉沢	
8 寿	17 河和田	26 堀原	
9 上大野	18 上中妻	27 下大野	

問28 あなたは結婚していますか。(○は1つだけ)

1 結婚している	2 結婚していない
----------	-----------

問29 お子さんはいらっしゃいますか。(○は1つだけ)

また、いると答えた方は人数もお答えください。

1 いる ⇒ ()人	2 いない
-------------	-------

◎最後に、これからのまちづくりについて、自由なご意見をお聞かせください。（全員）

問30 あなたは、これからの水戸市はどのようなまちになっていけばよいと思いますか。また、そのようなまちにするにあたって、現在課題となっていると思うことは何ですか。ご自由にご記入ください。

問31 水戸市では、人口減少や社会環境の変化、市民ニーズの多様化に対応するため、市民と行政があらゆる分野で協力する「協働のまちづくり」を進めています。あなたが、問30でご回答いただいた、現在課題となっていると思うことを解決するために、水戸市に協力したいことまたは協力できることがあれば、ご自由にご記入ください。

最後までご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに、8月19日（月）までにご投函ください。なお、住所・氏名などのご記入は不要です。

水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定
基礎調査報告書
令和元年11月

発行／水戸市役所市長公室政策企画課
水戸市中央1丁目4番1号
電話 (029) 224-1111